

工 事 設 計 図 書									
年 度	令和5年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	第3次整備事業費	
工 事 番 号	05-1252							設 計 年 月 日	令和5年4月4日
着 工 番 号								精 算 年 月 日	令和5年4月4日
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市大道町1丁目ほか地内					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限		<input type="checkbox"/> 請負 単価契約 令和6年3月10日まで	
工 事 名 称	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)					支 払 い 方 法		前 払 金	あり(40%以内)
								中 間 前 払 金	あり(20%以内)
								部 分 払	あり(3回以内)
工 事 概 要	連絡管布設工計 L=808.2m								
	連絡管布設工 φ400 L=808.2m								
	バタフライ弁設置工 φ400 5基 , φ300 2基								
	仕切弁設置工 φ400 1基 , φ200 1基 空気弁設置工 φ75 2基								
	場内配管工 1式								
	流入弁室築造工 1式								
舗装復旧工 1式									
当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円		
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円		
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円		

契約数量表

本工事費	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
管路						
管路(φ400)開削						
管布設工(φ400)			式		1	
管布設工(φ400)			式		1	
DGX-S 直管 φ400×6000		ゴム輪・ロックリング(ホルダー含)	本		116	
DGX-1 直管 φ400×6000		ゴム輪・ロックリング(ホルダー含)	本		17	
DGX 曲管 φ400×45°		ロックリング含	個		18	
DGX 曲管 φ400×22° 1/2		ロックリング含	個		14	
DGX 両受曲管 φ400×45°		ロックリング含	個		8	
DGX 両受曲管 φ400×22° 1/2		ロックリング含	個		9	
DGX フランジ付きT字管 φ400×75		10K ロックリング含	個		1	
DGX 継ぎ輪 φ400		ロックリング含	個		2	
GX形継ぎ輪用特殊押輪 φ400			個		4	
DGX 両受短管 φ400		ロックリング含	個		1	
GX形ハタフライ弁 φ400		ロックリング含	基		2	
ハタフライ弁ボックス(円形3号)(H=640)		鉄蓋及び無収縮モルタル含む	組		2	
カムレバーロック式急速空気弁 φ75		フランジ一体型	基		1	

契約数量表

頁0-0002/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
ケルップ式消火栓(浅埋形)(損料) φ 75×65	JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa	基		1	
フランジ短管(損料) φ 75×200	0.75MPa	個		1	
フランジ短管 φ 75×200	1.0MPa	個		1	
フランジ短管(損料) φ 75×300	0.75MPa	個		1	
フランジ短管 φ 75×300	1.0MPa	個		1	
補修弁: キャップ式(損料) φ 75×100	JWWA B 126, 0.75MPa	基		1	
補修弁: (キャップ式) φ 75×100	JWWA B 126, 1.0MPa	基		1	
フランジ継手材(損料) φ 75	ボルト・ナット(SUS製)及びGF形がスケツト2号	組		1	
フランジ継手材(損料) φ 75	ボルト・ナット(SUS製)及びRF形がスケツト	組		3	
フランジ蓋 φ 75	0.75MPa RF形	個		1	
フランジ接合補強具(LSP形) φ 75	10K LSPパッキン	組		4	
空気弁ボックス(円形3号)(H=1040)	鉄蓋及び無収縮モルタル含む	組		1	
仮消火栓ボックス(円形3号)(H=1040)	鉄蓋含む	組		1	
GX形接合セット φ 400	異形管・V用	組		73	
GX形ラ付 φ 400	ライボート含	組		45	
GX形挿しロリング φ 400	ライボート含	組		46	
DK フランジ付きT字管 φ 400× 75	JIS G 5527, 5528, JWWA G 112, 114	個		1	
DK 特殊押輪(3DkN以上) φ 400	接合材含む	組		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
DK 帽 φ400	特殊押輪, 接合材含む	個		1	
表示帯		m		808.2	
ポリエチレンスリーブ φ400	固定材料含む	m		808.2	
管明示テープ (幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		95	
手間 (φ400)		式		1	
鋳鉄管吊込み据付 (機械力)	呼び径 400mm	m		791	
鋳鉄管切断・溝切り加工 (同時)	呼び径400mm、GX形継手	口		39	
鋳鉄管(新設管)溝切り加工	ダクタイル鋳鉄管 呼び径400mm	口		7	
バタフライ弁 (鋳鉄製) 設置 (機械力)	縦型バタフライ弁 呼び径 400mm	基		2	
円形3号ボックス設置工 (H=640)	鉄蓋設置含む	箇所		2	
空気弁 設置 呼び径 75mm	機械施工	基		1	
消火栓(地下式 単口)設置・撤去工	機械施工 フランジ 接合1口含む	箇所		1	
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm)	J W W A 7.5K	口		4	
フランジ継手 取外し(呼び径 75(80)mm)	J W W A 7.5K	口		3	
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm)	J W W A 10K	口		4	
円形3号ボックス設置工 (H=1040)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
円形3号ボックス設置撤去工 (H=1040)	鉄蓋設置撤去含む	箇所		1	
G X継手接合(呼び径 400mm)	直管	口		130	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
G X継手接合(呼び径 400mm)	異形管	口		71	
G X継手挿口加工 (呼び径 400mm)	タッピンねじ式	口		46	
メカニカル継手 接合(呼び径 400mm)	継手：K形 特殊押輪補正あり	口		2	
管明示シート工		m		792	
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 400mm)		m		792	
管明示テープ工 (铸铁管布設工)	呼び径400mm×6000mm	m		792	
手間 (φ400) 【夜間施工】	国道横断部	式		1	
铸铁管吊込み据付 (機械力)	呼び径 400mm	m		16.2	
G X継手接合(呼び径 400mm)	直管	口		3	
G X継手接合(呼び径 400mm)	異形管	口		6	
管明示シート工		m		16.2	
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 400mm)		m		16.2	
管明示テープ工 (铸铁管布設工)	呼び径400mm×6000mm	m		16.2	
管布設土工		式		1	
土工 (φ400)		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		820	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cmを超え30cm以下	m		750	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		411	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		377	
特殊ブロック舗装	作業区分->撤去	m2		3	
掘削積込工		m3		1,300	
残塊処分工(アスファルト)	[(株)NIPPO神戸合材センター]	m3		134	
残塊処分工(土砂)	[(株)明神リサイクルセンター]	m3		1,300	
仮復旧工 [密粒度[再](13)]	厚 8cm	m2		377	
仮復旧工 [密粒度[再](13)]	厚 5cm	m2		413	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		377	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		324	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		3	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		25	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		62	
埋戻工 (埋戻し材->再生切込碎石)		m3		680	
埋戻工 (埋戻し材->スクリーニングス)		m3		390	
アルミ矢板建込引抜工 (両側分)		m		653.8	
アルミ矢板建込引抜工 (両側分)		m		94.2	
アルミ矢板建込引抜工 (両側分)		m		34.3	
アルミ矢板建込引抜工 (両側分)		m		10.6	

契約数量表

頁0-0006/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
土留支保工(設置+撤去)		m		653.8	
土留支保工(設置+撤去)		m		139.1	
アルミ矢板賃料		式		1	
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板2.0m用)					
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板2.5m用)					
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板3.0m用)					
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板3.5m用)					
アルミ矢板整備費					
アルミ矢板賃料					
土工(φ400)【夜間施工】	国道横断部	式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚→15cmを超え30cm以下	m		31	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m ²		15	
掘削積込工		m ³		27	
仮復旧工[密粒度[再](13)]	厚 8cm	m ²		15	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m ²		15	
埋戻工(埋戻し材→再生切込碎石)		m ³		15	
埋戻工(埋戻し材→スクリーニングス)		m ³		7	
アルミ矢板建込引抜工(両側分)		m		15.3	

契約数量表

頁0-0007/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
土留支保工(設置+撤去)		m		15.3	
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板2.5m用)	2段	m		15.3	
付帯工					
撤去復旧工		式		1	
ブロック積		式		1	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m ³		2	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m ³		1	
残塊処分工(無筋コンクリート)	[田口建材(株)]	m ³		3	
コンクリートブロック積工	普通ブロック	m ²		5	
胴込・裏込コンクリート	間知ブロック・緑化ブロック	m ³		0.5	
胴込・裏込材(碎石)	施工箇所->間知・平・連節・緑化ブロック	m ³		3	
天端コンクリート	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]	m ³		0.2	
現場打基礎コンクリート	18-8-40BB[水セメント比 60%以下]	m ³		0.2	
国道歩車道境界ブロック		式		1	
歩車道境界ブロック撤去	撤去後->再利用	m		2	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m ³		0.2	
残塊処分工(無筋コンクリート)	[田口建材(株)]	m ³		0.2	
歩車道境界ブロック再利用設置	標準部 C型	m		2	

契約数量表

頁0-0008/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		0.2	
型枠	一般型枠	m2		0.6	
基礎砕石	砕石厚→7.5cmを超え12.5cm以下	m2		2	
横断防止柵		式		1	
横断・転落防止柵撤去工	土中建込 ビーム・パネル式 支柱間隔 3.0m	m		3	
横断・転落防止柵流用設置工 [土中建込]		m		3	
転落防止柵		式		1	
横断・転落防止柵撤去工	土中建込 ビーム・パネル式 支柱間隔 3.0m	m		3	
横断・転落防止柵流用設置工 [コンクリート建込]		m		3	
メッシュフェンス		式		1	
メッシュフェンス撤去		m		2	
メッシュフェンス設置		m		2	
舗装復旧工		式		1	
国道車道アスファルト3層	実掘削部打替え及び切削オーバーレイ	式		1	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		374	
掘削積込工		m3		64	
残塊処分工(アスファルト)	〔(株)NIPPO神戸合材センター〕	m3		30	
残塊処分工(土砂)	〔(株)明神リサイクルセンター〕	m3		64	

契約数量表

頁0-0009/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
不陸整正工(補足材なし)	施工幅：1.8m 未満	m2		374	
上層路盤(車道・路肩部)	瀝青安定処理材(再生材) TOP25	m2		374	
基層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		374	
中間層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		374	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		374	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		400	
廃材処分工	〔(株)NIPPO神戸合材センター〕	m3		63	
路面切削	全面切削6cm以下(4000m2以下)	m2		1,250	
排水性舗装・表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm 導水パイプ無し	m2		1,250	
国道車道アスファルト3層【夜間施工】	実掘削部打替え及び切削オーバーレイ	式		1	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		15	
掘削積込工		m3		3	
残塊処分工(アスファルト)	〔(株)NIPPO神戸合材センター〕	m3		1	
残塊処分工(土砂)	〔(株)明神リサイクルセンター〕	m3		3	
不陸整正工(補足材なし)	施工幅：1.8m 未満	m2		15	
上層路盤(車道・路肩部)	瀝青安定処理材(再生材) TOP25	m2		15	
基層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		15	
中間層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		15	

契約数量表

頁0-0010/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
表層(車道・路肩部)	t = 50mm	m ²		15	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		27	
廃材処分工	[(株)NIPPO神戸合材センター]	m ³		8	
路面切削	全面切削6cm以下(4000m ² 以下)	m ²		155	
排水性舗装・表層(車道・路肩部)	t = 50mm 導水パイク無し	m ²		155	
国道側道アスファルト3層		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m ²		9	
掘削積込工		m ³		0.5	
残塊処分工(アスファルト)	[(株)NIPPO神戸合材センター]	m ³		2	
残塊処分工(土砂)	[(株)明神リサイクルセンター]	m ³		0.5	
不陸整正工(粒調碎石)	施工幅:1.8m 未満、補足材厚3cm	m ²		9	
上層路盤(車道・路肩部)	瀝青安定処理材(再生材) TOP25	m ²		9	
基層(車道・路肩部)	t = 50mm	m ²		9	
中間層(車道・路肩部)	t = 50mm	m ²		9	
表層(車道・路肩部)	t = 50mm	m ²		9	
国道歩道アスファルト1層		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		11	
舗装版取壊し積込工	舗装厚=>0cm越え 10cm以下	m ²		78	

契約数量表

頁0-0011/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
掘削積込工		m3		11	
残塊処分工(アスファルト)	[(株)NIPPO神戸合材センター]	m3		4	
残塊処分工(土砂)	[(株)明神リサイクルセンター]	m3		11	
不陸整正工(再生切込砕石)	施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	m2		78	
フィルター層	t =40mm以上60mm未満	m2		78	
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚 t = 1 0 0 1層施工	m2		78	
透水性アスファルト舗装	t = 5 0 mm	m2		78	
国道歩道平板ブロック		式		1	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		3	
特殊ブロック舗装	作業区分→撤去	m2		3	
掘削積込工		m3		1	
残塊処分工(アスファルト)	[(株)NIPPO神戸合材センター]	m3		0.1	
残塊処分工(土砂)	[(株)明神リサイクルセンター]	m3		1	
不陸整正工(再生切込砕石)	施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	m2		5	
フィルター層	t =40mm以上60mm未満	m2		5	
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚 t = 1 0 0 1層施工	m2		5	
特殊ブロック舗装	作業区分→再利用設置	m2		5	
神戸市道車道アスファルト2層		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		280	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m ²		873	
掘削積込工		m ³		60	
残塊処分工(アスファルト)	[(株)NIPPO神戸合材センター]	m ³		71	
残塊処分工(土砂)	[(株)明神リサイクルセンター]	m ³		60	
路盤工(粒調碎石)	上層路盤 施工幅：1.8m 以上 仕上り厚5cm	m ²		873	
基層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m ²		873	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m ²		873	
明石市道車道アスファルト1層		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		70	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m ²		226	
残塊処分工(アスファルト)	[(株)NIPPO神戸合材センター]	m ³		11	
不陸整正工(粒調碎石)	施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	m ²		226	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m ²		226	
区画線工		式		1	
区画線工 (一般舗装部)		式		1	
区画線設置 [溶融式]	実線 15cm t=1.5mm	m		110	
区画線設置 [溶融式]	破線 15cm t=1.5mm	m		19	

契約数量表

頁0-0013/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
区画線設置 [溶融式]	実線 30cm t=1.5mm	m		3	
区画線設置 [溶融式]	矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	m		7	
区画線工 (排水性舗装部)		式		1	
区画線設置 [溶融式]	実線 15cm t=1.5mm	m		370	
区画線設置 [溶融式]	破線 15cm t=1.5mm	m		140	
区画線設置 [溶融式]	実線 30cm t=1.5mm	m		6	
区画線設置 [溶融式]	実線 45cm t=1.5mm	m		16	
区画線設置 [溶融式]	矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	m		2	
区画線設置 [溶融式]	矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	m		19	
区画線工 (排水性舗装部) 【夜間施工】		式		1	
区画線設置 [溶融式]	実線 15cm t=1.5mm	m		55	
区画線設置 [溶融式]	破線 15cm t=1.5mm	m		5	
区画線設置 [溶融式]	実線 45cm t=1.5mm	m		8	
区画線設置 [溶融式]	矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	m		19	
交通管理工					
交通管理工		式		1	
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 A		人日		114	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
交通誘導警備員 B		人日		534	
交通誘導警備員【夜間施工】		式		1	
交通誘導警備員 A		人日		16	
交通誘導警備員 B		人日		48	
重建設機械分解組立輸送費		式		1	
建設機械運搬 [車載]					
仮設材運搬費		式		1	
仮設材等の運搬					
仮設材等の積込み・取卸し					
試掘調査工		式		1	
試掘調査工					
路面復旧監督費		式		1	
路面復旧監督費 (神戸市道)		式		1	
通水試験費		式		1	
通水試験費	給水車不要の場合	回		1	

契約数量表

頁0-0015/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
附帯工事費					
管路					
管路 (φ400) 開削					
管布設工 (φ400)		式		1	
場内配管工 (φ400)		式		1	
DGX-S 直管 φ400×6000	ゴム輪・ロックリング (ホルダー含)	本		10	
DGX-1 直管 φ400×6000	ゴム輪・ロックリング (ホルダー含)	本		7	
DGX 曲管 φ400×45°	ロックリング含	個		9	
DGX 曲管 φ400×22° 1/2	ロックリング含	個		1	
DGX 曲管 φ400×11° 1/4	ロックリング含	個		2	
DGX 両受曲管 φ400×45°	ロックリング含	個		3	
DGX 両受曲管 φ400×22° 1/2	ロックリング含	個		2	
DGX 二受T字管 φ400×400	ロックリング含	個		1	
DGX フランジ付きT字管 φ400×75	10K ロックリング含	個		1	
DGX 継ぎ輪 φ400	ロックリング含	個		6	
DGX 短管1号 φ400	10K ロックリング含	個		2	
GX形ハブライ弁 φ400	ロックリング含	基		2	
ソフトセル仕切弁 (フランジ形) φ400	JWWA B 120, 1.0MPa, 内ねじ	個		1	

契約数量表

頁0-0016/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
割T字管 φ450×400		個		1	
DGX 伸縮可とう管 φ400	U-U 200m/m沈下 SUSタイロット付	個		1	
DGX 伸縮可とう管 φ400	U-S 200m/m沈下 SUSタイロット付	個		1	
カムレバーロック式急速空気弁 φ75	フランジ一体型	基		1	
補修弁(キャップ式) φ75×100	JWWA B 126, 1.0MPa	基		1	
GX形ラ付 φ400	ライボート含	組		11	
GX形接合セット φ400	異形管・V用	組		36	
GX形挿しロリング φ400	ライボート含	組		28	
GX形継ぎ輪用特殊押輪 φ400		個		10	
フランジ接合補強具(LSP形) φ400	10K LSPハッキン	組		3	
フランジ耐震金具 φ400 (3DkN以上)		組		3	
フランジ接合補強具(LSP形) φ75	10K LSPハッキン	組		2	
不断水簡易ハルブ(鋳鉄管用) φ600		基		1	
表示帯		m		120.5	
ポリエチレンテープ φ400	固定材料含む	m		113.8	
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		14	
仕切弁ボックス(円形1号)(H=640)	鉄蓋含む	組		1	
仕切弁ボックス(円形1号)(H=1240)	鉄蓋含む	組		1	

契約数量表

頁0-0017/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
ハタライ弁ボックス(円形3号) (H=640)	鉄蓋及び無収縮モルタル含む	組		2	
空気弁ボックス(円形3号) (H=940)	鉄蓋及び無収縮モルタル含む	組		1	
流入弁室内配管工		式		1	
DIP片フランジ管 φ400	外面：DD 内面：粉体 挿口GX形加工	個		1	
DIP片フランジ管 φ400	外面：DD 内面：粉体 挿口GX形加工	個		1	
NCP 両ネックフランジ管 φ400	L=1.20m	個		1	
NCP 両ネックフランジ管 φ400	L=2.00m	個		1	
NCP 両ネックフランジ管 φ300	L=2.00m	個		3	
NCP 両ネックフランジ管 φ300	L=0.779m	個		1	
NCP 両ネックフランジ管 φ200	L=0.50m	個		1	
NCP 両ネックフランジ管 φ200	L=0.40m	個		1	
NCP ネックフランジT字管 φ400×300	L=0.77m H=0.355m	個		2	
NCP ネックフランジ片落管 φ400×200	L=0.372m	個		2	
NCP ネックフランジ曲管 φ300×90°	L=0.465m	個		2	
NCP 両ネックフランジ管 φ400	L=0.575m	個		1	
NCP ネックフランジT字管 φ300×40	L=1.30m H=0.35m	個		1	
伸縮管 φ200	L=0.50m 2F 10K	個		1	
ハタライ弁 φ400	2F 10K 手動 丸ハンドル付	個		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
ハタライ弁 φ300	2F 10K 手動 丸ハンドル付	個		2	
ソフトシール仕切弁 φ200	2F 10K 手動 ハンドル付	個		1	
SUS製ボール弁 φ40	2F 10K	基		1	
NCP ネットフランジ T字管 φ400×20	L=1.20m H=0.35m	個		1	
NCP 両ネットフランジ管 φ200	L=0.35m	個		1	
SUS製ボール弁 φ20	2F 10K	基		1	
TSソケット φ50		個		1	
フランジ継手材 φ400	SUS 10K	組		9	
フランジ継手材 φ300	SUS 10K	組		10	
フランジ継手材 φ200	SUS 10K	組		6	
フランジ継手材 φ40	SUS 10K	組		1	
フランジ継手材 φ20	SUS 10K	組		1	
床排水管工		式		1	
硬質塩化ビニル管 HIパイプ	径50×厚4.5×長4000mm	本		1	
TSエルボ φ50		個		2	
TSソケット φ50		個		1	
手間 (φ400)		式		1	
鋳鉄管吊込み据付 (機械力)	呼び径 400mm	m		114.6	

契約数量表

頁0-0019/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
G X継手接合(呼び径 400mm)	直管	口		17	
G X継手接合(呼び径 400mm)	異形管	口		36	
メカニカル継手 接合(呼び径 400mm)	継手: K形 特殊押輪補正あり	口		10	
鋳鉄管切断・溝切り加工(同時)	呼び径400mm、GX形継手	口		20	
鋳鉄管(新設管)溝切り加工	ダクタイル鋳鉄管 呼び径400mm	口		8	
G X継手挿口加工(呼び径 400mm)	タッピンねじ式	口		28	
フランジ継手 接合(呼び径 400mm)	J WWA 10K	口		2	
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm)	J WWA 10K	口		2	
バタフライ弁(鋳鉄製)設置(機械力)	縦型バタフライ弁 呼び径 400mm	基		2	
空気弁 設置 呼び径 75mm	機械施工	基		1	
円形1号ボックス設置工(H=640)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
円形1号ボックス設置工(H=1240)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
円形3号ボックス設置工(H=640)	鉄蓋設置含む	箇所		2	
円形3号ボックス設置工(H=940)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
伸縮可とう管設置(呼び径 400mm)	接合形式 U×U	基		1	
伸縮可とう管設置(呼び径 400mm)	接合形式 U×S	基		1	
鋳鉄管用割T字管設置工 φ450×400		基		1	
不断水バルブ設置工(鋳鉄管用) φ600		基		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
管明示シート工		m		120.5	
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 400mm)		m		113.8	
管明示テープ工(铸铁管布設工)	呼び径400mm×6000mm	m		113.8	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m ³		9	
型枠	一般型枠	m ²		24	
基礎碎石	碎石厚->17.5cmを超え20.0cm以下	m ²		12	
流入弁室内配管手間		式		1	
铸铁管吊込み据付(機械力)	呼び径 400mm	m		2.4	
鋼管吊込み据付(機械力)	呼び径 400mm 呼び厚さ A種	m		7.3	
鋼管吊込み据付(機械力)	呼び径 300mm 呼び厚さ A種	m		10.7	
鋼管吊込み据付(機械力)	呼び径 200mm 呼び厚さ A種	m		1.8	
硬質塩化ビニル管 据付	呼び径 50mm	m		1.6	
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 50mm)		口		2	
硬質塩化ビニル管(新設管)切断工	φ 50mm	口		2	
フランジ継手 接合(呼び径 400mm)	J WWA 10K	口		9	
フランジ継手 接合(呼び径 300mm)	J WWA 10K	口		10	
フランジ継手 接合(呼び径 200mm)	J WWA 10K	口		6	
フランジ継手 接合(呼び径 65mm以下)	J WWA 10K	口		2	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
パタライ弁 (鋳鉄製) 設置 (機械力)	縦型パタライ弁 呼び径 400mm	基		1	
パタライ弁 (鋳鉄製) 設置 (機械力)	縦型パタライ弁 呼び径 300mm	基		2	
鋳鉄製仕切弁 (機械力) 設置	縦型仕切弁 呼び径 200mm	基		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		2	
型枠	一般型枠	m2		11	
鉄筋工	異形棒鋼 (SD345) D13mm	t		0.099	
差し筋アンカー D13	L=600 (材工共)	本		148	
400A用 鋼管用支持金物	SUS製 (材工共)	箇所		4	
300A用 鋼管用支持金物	SUS製 (材工共)	箇所		4	
200A用 鋼管用支持金物	SUS製 (材工共)	箇所		1	
管廻り防水処理工	φ 400/ φ 600 t=40cm	箇所		2	
管廻り防水処理工	φ 50/ φ 250 t=40cm	箇所		1	
床排水管手間		式		1	
硬質塩化ビニル管 据付	呼び径 50mm	m		2	
硬質塩化ビニル管 TS継手工 (呼び径 50mm)		口		6	
硬質塩化ビニル管 (新設管) 切断工	φ 50mm	口		3	
作業土工		式		1	
土工		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		178	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m ²		94	
残塊処分工(アスファルト)	[(株)NIPPO神戸合材センター]	m ³		5	
掘削積込工		m ³		258	
残塊処分工(土砂)	[(株)明神リサイクルセンター]	m ³		258	
埋戻工(埋戻し材->スクリーンングス)		m ³		94	
埋戻工(埋戻し材->再生切込砕石)		m ³		123	
軽量鋼矢板建込引抜工(両側分)		m		4.3	
軽量鋼矢板建込引抜工(両側分)		m		19.4	
軽量鋼矢板建込引抜工(両側分)		m		14	
土留支保工(設置+撤去)		m		4.3	
土留支保工(設置+撤去)		m		33.4	
アルミ矢板賃料		式		1	
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板2.0m用)					
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板2.5m用)					
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板3.0m用)					
鋼矢板賃料 軽量型(Ⅱ型・Ⅲ型)					
鋼矢板整備費 軽量型(Ⅱ型・Ⅲ型)					

契約数量表

頁0-0023/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
支障物撤去工		式		1	
U型側溝 機械・労務		m		2	
U型側溝 機械・労務		m		1	
歩車道境界ブロック撤去	撤去後->再利用	m		1	
付帯工					
流入弁室築造工		式		1	
基礎工		式		1	
基面整正		m2		53	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		6	
型枠	一般型枠	m2		5	
躯体工		式		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		57	
型枠	一般型枠	m2		191	
型枠	一般型枠	m2		3	
鉄筋工	異形棒鋼 (SD345) D16mm	t		5.51	
鉄筋工	異形棒鋼 (SD345) D13mm	t		0.3	
膨張止水材		m		29.2	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		5	

契約数量表

頁0-0024/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
型枠	一般型枠	m2		0.1	
床コンクリート直押え	金ごて 直均し仕上げ	m2		31	
仮設工		式		1	
足場工設置・撤去		掛m2		115	
支保工設置・撤去		空m3		78	
附帯設備工		式		1	
マンホール蓋	φ 600 鋳鉄製 防水型 T-2	箇所		2	
搬入開口蓋	□2000×6000 FRP製	箇所		1	
弁室用通風塔	φ 150 SUS製 防虫網付	箇所		2	
足掛金物 B300	@300 芯材 φ 19 SUS製ホリフポリエレン被覆	箇所		20	
階段工		式		1	
基面整正		m2		0.7	
基礎碎石	碎石厚->7.5cmを超え12.5cm以下	m2		0.7	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		0.03	
型枠	一般型枠	m2		0.1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		0.2	
型枠	一般型枠	m2		0.9	
階段モルタル上塗	t=20 金ごて	m2		1.3	

契約数量表

頁0-0025/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
既設構造物撤去工		式		1	
ウォールソーイング工	t=250~350mm	m		4.4	
コンクリートカッター	t=20~30mm	m		12.8	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		2	
残塊処分工(鉄筋コンクリート)	〔田口建材(株)〕	m3		2	
支障物撤去工		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚→15cm以下	m		40	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		977	
残塊処分工(アスファルト)	〔(株)NIPPO神戸合材センター〕	m3		49	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		1	
残塊処分工(鉄筋コンクリート)	〔田口建材(株)〕	m3		1	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m3		0.5	
残塊処分工(無筋コンクリート)	〔田口建材(株)〕	m3		0.5	
張芝すきとり工		m3		8	
残塊処分工(土砂)	〔(株)明神リサイクルセンター〕	m3		8	
中木撤去		本		3	
現場発生品・支給品運搬		回		1	
処分費	木材	式		1	

契約数量表

頁0-0026/0028

費目・工種明細など		規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
土工			式		1	
床掘り		土砂 標準	m3		530	
埋戻し		最小埋戻幅4m以上	m3		200	
再生切込砕石		(0~30mm・0~40mm)	m3		200	
埋戻し		最大埋戻幅1m以上4m未満	m3		180	
路床盛土		; 施工幅員=4.0m以上	m3		8	
タンパ締固め			m3		390	
残塊処分工(土砂)		[(株)明神リサイクルセンター]	m3		320	
支障物復旧工			式		1	
歩車道境界ブロック再利用設置		標準部 B型	m		1	
U型側溝 機械・労務			m		2	
U型側溝 機械・労務			m		1	
プレキャストU型水路 [U形側溝(トラフ)]		PUS263	m		17.4	
車止め設置			個		18	
張芝		野 芝(バク張り)	m2		75	
舗装復旧工			式		1	
アスファルト舗装①			式		1	
路盤工(再生切込砕石)		下層路盤 施工幅: 1.8m 以上 仕上り厚20cm	m2		109	

契約数量表

頁0-0027/0028

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
路盤工(粒調碎石)	上層路盤 施工幅：1.8m 以上 仕上り厚10cm	m ²		109	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m ²		109	
アスファルト舗装②		式		1	
路盤工(粒調碎石)	上層路盤 施工幅：1.8m 以上 仕上り厚10cm	m ²		96	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m ²		96	
アスファルト舗装③		式		1	
不陸整正工(粒調碎石)	施工幅：1.8m 以上、補足材厚2cm	m ²		820	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m ²		820	
区画線工 (一般舗装部)		式		1	
区画線設置 [溶融式]	実線 15cm t=1.5mm	m		63	
交通管理工					
交通管理工		式		1	
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 B		人日		55	
仮設材運搬費		式		1	
仮設材等の運搬					
仮設材等の積込み・取卸し					
試掘調査工		式		1	

特記仕様書
(令和5年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																					
1	<p>一般共通事項</p> <p>※ 1 現場代理人の兼務 ※ 1 本工事については、本工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。</p> <p>※ 2 合併工事 ※ 1 本工事は、他部署との合併工事はない。</p> <p>※ 3 近接工事 ※ 1 発注時に、確認している近接工事は無いが、近接工事が確認された場合は、関連他業者との連絡を密にし、互いの工事の影響が少ないように工程管理すること。 ※ 2 今回、本管布設箇所の一部において、神戸市の水道管の移設が必要となる。移設工事は神戸市水道局で行うことになるので、工程調整等を密に行うこと。</p> <p>※ 4 占用関係 ※ 1 国道(国道175号) 2 県道() ※ 3 市道(神戸市道) 4 法定外道路() 5 港湾() 6 河川() 7 その他() 上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を提出すること。</p> <p>※ 5 協議関係(上記占用以外) 1 鉄道等() ※ 2 バス道等(神姫バス) 3 学校関係() ※ 4 その他(明石川浄水場) 上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。</p> <p>※ 6 工事の範囲 ※ 1 当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。</p> <p>※ 7 交通誘導警備員 ※ 1 交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>合計</th> <th>本体工事 昼間</th> <th>本体工事 夜間</th> <th>附帯工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>130名</td> <td>114名</td> <td>16名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>637名</td> <td>534名</td> <td>48名</td> <td>55名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>767名</td> <td>648名</td> <td>64名</td> <td>55名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 1日1現場当り5名(標準) ※ 1日1現場当り市道交差点部 国道縦断部 6名 ※ 1日1現場当り国道横断部8名 ※ 場内作業 1名 ※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議すること。 なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。 交通誘導警備員A;警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する</p>	種類	合計	本体工事 昼間	本体工事 夜間	附帯工事	A	130名	114名	16名	0名	B	637名	534名	48名	55名	合計	767名	648名	64名	55名
種類	合計	本体工事 昼間	本体工事 夜間	附帯工事																	
A	130名	114名	16名	0名																	
B	637名	534名	48名	55名																	
合計	767名	648名	64名	55名																	

特記仕様書
(令和5年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>警備員を言う。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員</p> <p>交通誘導警備員B;警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの</p> <p>※ 8 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について</p> <ul style="list-style-type: none">※ 1 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。 <p>※ 9 断水作業及び管内清掃作業等に伴う弁栓類操作および放水作業について</p> <ul style="list-style-type: none">※ 1 受注者は、弁栓類操作および放水作業にかかる作業員を用意すること。※ 2 上記作業については、監督員または水道局職員の指導のもと、受注者が行うものとする。※ 3 上記作業に伴い濁水等が発生した場合は直ちに監督員に連絡の上、監督員の作業指示に従い、監督員と協力の上、濁水等の処理を行うこと。※ 4 受注者は、上記作業に伴う放水用器具を1セット用意すること。 (放水用器具1セット:消火栓スタンド,バルブキー2本,放水用ホース) <p>※ 10 工事日報について</p> <ul style="list-style-type: none">※ 1 工事日報は該当箇所作業後、該当箇所の日報を2週間以内にセンター監督員に提出すること。※ 2 工事日報は以下の工種について提出するものとする。<ul style="list-style-type: none">※ ① 試掘工※ ② 仮配水管, 仮給水管布設撤去工※ ③ 水道本管布設撤去工(残置処理配管共)※ ④ 給水管布設工※ ⑤ 水圧試験※ ⑥ 白紙様式3枚(検査合格報告書分)なお、提出工種に疑義が生じた場合は、監督員と協議の上、提出内容を決定すること。※ 3 その他内容については、水道工事標準仕様書(6.提出書類)に基づくものとする。 <p>※ 11 工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険の付保について</p> <ul style="list-style-type: none">※ 1 本工事において、受注者は発注者と受注者を被保険者とした「工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険」に付さなければならない、発注者においては(保険金額→対物500万円以上・保険期間→工期内)とすること。なお、上記保険については掛金相当額が諸経費の中に積算されているので、入札にあたってはこれを含めて積算すること。また、明石市工事請負契約約款第58条(火災保険等)に基づき、保険契約を締結したのち、その証券等を発注者に提示すること。 <p>※ 12 建設リサイクル法等に基づく手続きについて</p> <ul style="list-style-type: none">※ 1 受注者は、再生資源利用計画書(実施書)及び再生資源利用促進計画書(実施書)を提出するものとする。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県HPに掲載の様式を使用すること。 <p>※ 13 その他事項</p> <ul style="list-style-type: none">※ 1 設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書のことをいう。※ 2 工期については、契約締結日の翌日から令和6年3月10日までの予定である。ただし、本件に係る予算について、公営企業管理者による次年度への繰り越しが決定されたときは、令和6年9月30日までとする工期延期を行う予定である。

特記仕様書
(令和5年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<ul style="list-style-type: none"> ※ 3 当該工事設計図書は令和4年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。 ※ 4 工事車両、現場ハウス、トイレ、および資器材等については、明石川浄水場内に存置することは可能であるが、設置場所については施工計画書等に明記の上、監督員に了承を得た場所とすること。 ※ 5 明石川浄水場内における工事用車両の駐車スペースは、監督職員と調整すること。また、工事用車両のフロントガラスに元請会社名が分かるよう明示しておくこと。 ※ 6 場内点検の職員のために、点検動線を確保すること。 ※ 7 明石川浄水場内への工事に伴う入退場時間については、平日8:40～17:30(朝礼、準備、後片付け含む)とする。それ以外の時間は原則認めないものとする。 ※ 8 土曜日の作業については、明石川浄水場全体に職員がいないため原則禁止とする。祝祭日も同様の扱いとする。 ※ 9 防犯上の理由により現場作業終了後、最後の者は必ず浄水場に連絡して退出すること。万が一、忘れ物等で再入場する場合、必ず浄水場に連絡してから入場すること。 ※ 10 設計図書及び本特記仕様書に示されていない事項であっても、施工する上で当然必要と認められる軽微な事項については監督員と協議のうえ請負者の負担で対応すること。

章	
2	<p>管きよ工</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 使用材料 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 使用材料確認願(様式29-1)には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料に記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図(承認図)(不断水バルブ、割T字管(付属バルブ)、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、サドル分水栓、その他監督員が必要と認める材料)とする。 ※ 2 土木工事承諾願(様式30-1)には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料に記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図(承認図)またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。 ※ 3 水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。 ※ 4 在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。また、立会願いを提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。 ※ 2 不断水簡易バルブ <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 バルブの開閉が何度でも使用可能な『(株)水研 エスゲートφ600』を標準とする。 ※ 2 大成機工(株)、コスモ工機(株)の不断水簡易バルブは上記の基準を満たさないため、使用は不可とする。 ※ 3 上記基準を満たすインサートバルブ(大成機工(株)等)の使用は、監督員が許可した場合は使用可能とする。ただし、上位機種 of 不断水バルブを設置した場合の増額変更は行わないものとする。

特記仕様書
(令和5年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>※ 3 一体化長さ</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 設計水圧1.0Mpa、摩擦係数0.3で設計している。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。</p> <p>※ 4 管の据付</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 管路の高さを調整する場合は、スクリーニングス等を詰めた土嚢を原則使用すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 木材を使用する場合には、防腐処理を施した材料を使用すること。</p> <p>※ 5 消火栓・空気弁</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90°の位置に設置すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 消火栓及び空気弁の口の高さは、GL-20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 3 フランジ部で使用するボルトは75mm以上のSUS製とすること。 また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。</p> <p>※ 6 水圧試験</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 標準仕様書5.10(1)について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0%以内を許容限度とする。 ・材質は鋳鉄管 ・口径は300mm以下 ・試験延長合計は100m未満</p> <p>7 現場発生品の処分</p> <p style="margin-left: 2em;">1 既設鋳鉄管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出すること また、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地は で運搬距離は kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。 その場合は、設計変更の対象としない。</p> <p style="margin-left: 2em;">2 既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」(平成17年8月、厚生労働省健康局水道課)を参考として作業を行うこと。 その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。</p> <p style="margin-left: 2em;">3 既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分すること。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター(播磨事業所)、運搬距離 km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。 ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。</p> <p>8 スクラップの種類</p> <p style="margin-left: 2em;">1 撤去鋳鉄管関係については、故銑Bで計上している。</p> <p>9 その他事項</p> <p style="margin-left: 2em;">1 本工事における仮配水管の供用日数について、日までとして計上している。</p>

章	
3	<p>土工事</p> <p style="margin-left: 2em;">1 重機</p> <p style="margin-left: 4em;">1 特殊車両(一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両)を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。</p>

特記仕様書
(令和5年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																																																																																																																																																				
	<p>※ 2 アスファルト切断</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。</p> <p>※ 3 配水管布設時の掘削幅</p> <p style="margin-left: 20px;">1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>口径</th> <th>φ75</th> <th>φ100</th> <th>φ150</th> <th>φ200</th> <th>φ250</th> <th>φ300</th> <th>φ350</th> <th>φ400</th> <th>φ450</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GX形</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>650</td> <td>700</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>NS形</td> <td>600</td> <td>650</td> <td>700</td> <td>750</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>K形</td> <td>600</td> <td>650</td> <td>700</td> <td>750</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>口径</th> <th>φ75</th> <th>φ100</th> <th>φ150</th> <th>φ200</th> <th>φ250</th> <th>φ300</th> <th>φ350</th> <th>φ400</th> <th>φ450</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GX形</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>950</td> <td>1000</td> <td>1100</td> </tr> <tr> <td>NS形</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> <td>1100</td> </tr> <tr> <td>K形</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> <td>1100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 4 配水管布設時の掘削深</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 配水管布設時の掘削深は、土被り+布設管外径(D2)+100を基本とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100mm程度上げた状態で管を布設することを基本とする。ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 3 会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 4 会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ350mm以下の場合、延長500mm、深さ200mm、φ400mm以上の場合、延長800mm、深さ500mmとし、幅はそれぞれの掘削幅とする。</p> <p>5 仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深</p> <p style="margin-left: 20px;">1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>口径</th> <th>φ100以下</th> <th>φ150</th> <th>φ200</th> <th>φ250</th> <th>φ300</th> <th>φ400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅</td> <td>400</td> <td>450</td> <td>500</td> <td>550</td> <td>600</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>深さ</td> <td>400</td> <td>450</td> <td>500</td> <td>550</td> <td>600</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">2 矢板有の場合の掘削幅、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>口径</th> <th>φ100以下</th> <th>φ150</th> <th>φ200</th> <th>φ250</th> <th>φ300</th> <th>φ400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅</td> <td>700</td> <td>750</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">3 仮給水管設置撤去時の掘削幅は400mm、掘削深は300mmとすること。</p> <p style="margin-left: 20px;">4 直轄国道に布設撤去する場合は深さ600mm以上とすること。</p> <p>6 既設管撤去の掘削幅</p> <p style="margin-left: 20px;">1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>口径</th> <th>φ75~150</th> <th>φ200</th> <th>φ250</th> <th>φ300</th> <th>φ350</th> <th>φ400</th> <th>φ450</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅</td> <td>550</td> <td>600</td> <td>650</td> <td>700</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>口径</th> <th>φ75~150</th> <th>φ200</th> <th>φ250</th> <th>φ300</th> <th>φ350</th> <th>φ400</th> <th>φ450</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>950</td> <td>1000</td> <td>1050</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 給水管の掘削幅、掘削深、延長</p> <p style="margin-left: 20px;">1 分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600mm、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600mm、深さは既設管土被り+既設管呼び径+100mmとする。</p>	口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450	GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000	NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450	GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1100	NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1100	K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1100	口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400	幅	400	450	500	550	600	700	深さ	400	450	500	550	600	800	口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400	幅	700	750	800	850	900	1000	口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450	幅	550	600	650	700	900	950	1000	口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450	幅	850	850	850	850	950	1000	1050
口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450																																																																																																																																											
GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																																											
NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																																											
K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																																											
口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450																																																																																																																																											
GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1100																																																																																																																																											
NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1100																																																																																																																																											
K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1100																																																																																																																																											
口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400																																																																																																																																														
幅	400	450	500	550	600	700																																																																																																																																														
深さ	400	450	500	550	600	800																																																																																																																																														
口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400																																																																																																																																														
幅	700	750	800	850	900	1000																																																																																																																																														
口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450																																																																																																																																													
幅	550	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																																													
口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450																																																																																																																																													
幅	850	850	850	850	950	1000	1050																																																																																																																																													

特記仕様書
(令和5年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>2 給水管部は、幅500mm、延長は給水管延長(本管～止水栓距離)－分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。</p> <p>※ 8 掘削・埋戻し</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 埋戻し一層厚さ20cm未満とする。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 3 管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。</p> <p>※ 9 残土・殻処分地</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 処分地は特記仕様書(追記)参照。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。</p> <p style="margin-left: 2em;">ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。</p> <p>※ 10 各種試験</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。</p> <p style="margin-left: 4em;">※ 上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。</p> <p>※ 11 仮設材の運搬</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。</p> <p style="margin-left: 4em;">なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。</p> <p>※ 12 その他事項</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。</p>

章	
4	<p>舗装工</p> <p>※ 1 舗装前準備</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 既設構造物(側溝、街渠等)等に損傷を与えていないか、動いていないか等を確認し、異常がある場合は、適正な方法を検討し、監督員と協議すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 下水道の鉄蓋で古い鉄蓋(コンクリート蓋、コンクリート巻鉄蓋等)がある場合は、舗装復旧前に下水道室が取り替えることがあるので、位置が分かるものと現況写真を提出すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 3 他の地下埋設物の鉄蓋で高さ調整が必要なものは、位置が分かるものと現況写真と高さ調整の程度(+〇cm等)が分かるものを提出すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 4 舗装復旧内に古い消火栓蓋、空気弁蓋、仕切弁蓋がある場合は、取替するかどうか監督員と協議すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 5 切削オーバーレイで施工を予定している。</p> <p style="margin-left: 4em;">土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)及び土木工事施工管理基準(兵庫県県土整備部監修)に記載のとおり、測量し計画書を作成し、監督員の承諾を得たのち、施工すること。</p>

特記仕様書
(令和5年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<ul style="list-style-type: none"> ※ 2 不陸整正工 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 補充材の有無を確認し、路床面の不陸を整正すること。 ※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分は、入念に清掃すること。 ※ 3 乳剤散布 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 ムラにならないよう、均一に散布すること。 ※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分等にも散布すること。 ※ 4 アスファルト舗装工 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 当日舗装版撤去した範囲について、表層まで復旧出来ない場合は監督員と協議すること。 その場合は、周辺住民によく周知し、既設構造物、各種鉄蓋の箇所が歩行者、二輪車、自動車等の交通車両に危険が無いよう、すり合わせし、段差有の看板を立てるなど注意喚起すること。 ※ 5 区画線工 <ul style="list-style-type: none"> 1 インターロッキング舗装等のブロック舗装範囲に消火栓を設置した際の消火栓周り(黄色)の区画線は設置しないこと。 ※ 2 施工直前に施工箇所を清掃し、プライマーを塗布すること。 ※ 3 ガラスビーズを配合すること。 ※ 6 各種試験 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める必要な試験等について、試験位置、試験方法等を事前に監督員に報告すること。 ※ 2 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 アスファルトの現場密度の測定・・・同一配合のアスファルト施工面積500m²未満について省略する。 ※ 2 アスファルトコア採取・・・同一配合のアスファルト施工面積1箇所20m²以上500m²未満の箇所についてコア採取は1箇所とする。また、20m²未満については省略する。 ※ 3 表層の平坦性・・・省略する 4 既設管充填処理に使用するモルタル等の強度試験・・・省略する。 ※ 7 その他事項 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 神戸市道路面復旧監督費は、道路掘削後復旧工事単価表(令和2年4月1日改正)(神戸市建設局道路工務課)を参考としている。 本件工事受注者が、神戸市道路管理者と協議のうえ、舗装監督費を支払うものとする。 なお本件は、協議結果により設計変更の対象とする。

章	
5	コンクリート工 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 コンクリートの配合 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 本工事に使用するコンクリートは、設計書及び図面に示す配合とする。ただし、水セメント比55%以下になるような配合に変更して施工すること。 ※ 2 コンクリート工場の選定 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 本工事に使用するレディミクストコンクリートは全て、『マーク所得工場』の製品を使用すること。 また、証明書を提出すること。

特記仕様書
(令和5年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<ul style="list-style-type: none">※ 3 コンクリートの打込み<ul style="list-style-type: none">※ 1 一日にてコンクリートの打込みが出来ない場合(底盤)は、打継部については、レイトンス処理を行うこと。※ 2 受注者にて複数プラント同時によるコンクリートの打込みを考える場合は、躯体(底盤)に与える影響等をまとめ、報告書を提出の上、監督職員と協議し、許可を得たのち実施すること。※ 4 コンクリート圧縮強度試験<ul style="list-style-type: none">※ 1 公共試験場にて試験を行うこと。※ 2 シュミットハンマーによる現場試験を行い、報告書を提出すること。

特記仕様書(追記)

1 建設発生土の搬出先

品目	建設発生土
施設の名称	(株)明神リサイクルセンター
所在地	明石市大久保町松陰字石ヶ谷1240他
運搬距離	6.2km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

2 建設廃棄物(木材)の搬出先

品目	木材
施設の名称	田口建材(株)
所在地	明石市大久保町松陰字堂屋敷342-36
運搬距離	8.0km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

3 再資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	アスファルト塊
施設の名称	(株)NIPPO神戸合材センター
所在地	神戸市西区樫谷町寺谷字従弟谷723-11
運搬距離	13.2km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

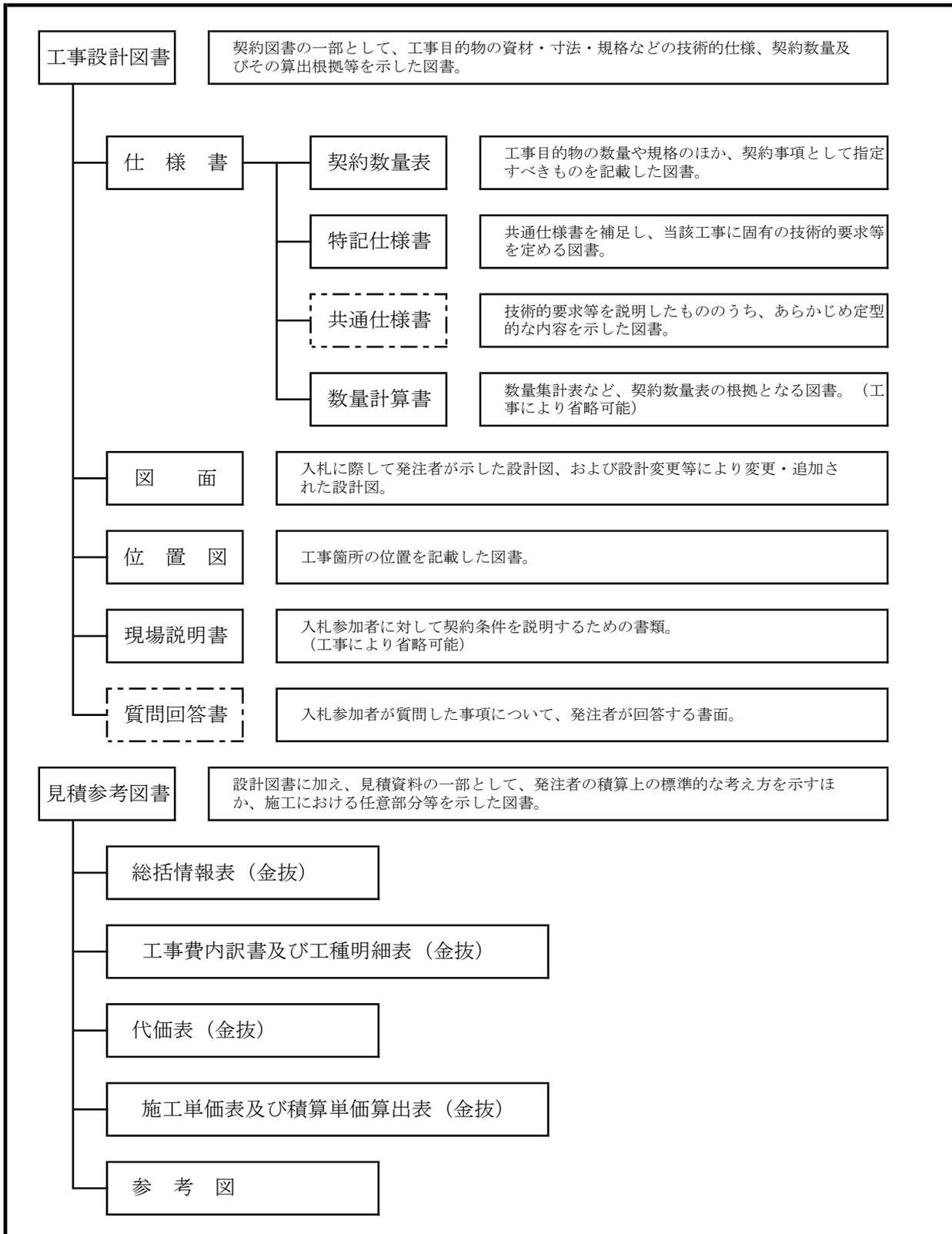
品目	コンクリート塊(無筋)
施設の名称	田口建材(株)
所在地	明石市大久保町松陰字堂屋敷342-36
運搬距離	8.0km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

品目	コンクリート塊(有筋)
施設の名称	田口建材(株)
所在地	明石市大久保町松陰字堂屋敷342-36
運搬距離	8.0km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

3 仕様書

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、明石市工事請負契約約款 第1条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。

本工事の内容については、契約数量表・数量計算書・設計図面のうち、契約数量表を優先する。



水道工事標準仕様書

1 総則

1.1 (適用)

- 1 水道工事標準仕様書(以下「標準仕様書」という。)は、明石市水道局が発注する水道管(導水・送水・配水)を布設する工事及び給水管工事(以下「工事」という。)に係る工事請負契約書(頭書を含み以下「契約書」という。)及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。
- 2 契約書及び仕様書・契約数量表・設計図(以下「設計図書」(標準仕様書を除く)という。)に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。
- 3 本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書(日本水道協会)・給水装置工事施行基準(明石市水道局)及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)の水道編の第2章第2節については、適用しない。

1.2 (法令等の厳守)

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3 (書類の提出)

- 1 受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。
- 2 提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4 (監督員)

- 1 監督員とは、水道法第12条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員(主任監督員及び監督員)をいう。

1.5 (工事实績データの登録)

水道工事を2件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が500万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6 (目的物の引渡し)

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼(引渡書)を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2 安全管理

2.1 (事故防止)

- 1 工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。
- 2 掘削及び埋戻し工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

- 3 受注者は熱中症対策等について十分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2 (事故発生時の措置)

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3 (現場の整理整頓)

- 1 受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。
- 2 受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3 工事施工

3.1 (一般事項)

- 1 受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

- 2 施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。
- 3 受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2 (現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査)

- 1 近接構造物(家屋含む)の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。
- 2 施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。
- 3 当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。
- 4 給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。
- 5 その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3 (地元説明)

- 1 受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。
- 2 工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

- 3 施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこの軽減に努めること。
- 4 工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。
- 5 受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。
- 6 給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起らないようにすること。

3.4 (試掘調査)

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

- ・ 試掘断面の地下埋設物の状況
- ・ 既設舗装構成
- ・ 設計図書通りの撤去・埋設が可能か
- ・ 既設管の外面腐食等の異常の有無
- ・ 接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
- ・ その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5 (夜間工事)

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないように十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6 (立会)

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

- ・ 材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
- ・ 通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
- ・ その他監督員が必要と判断した事項

3.7 (工事関係書類の整備)

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4 材料

4.1 (水道材料の規格)

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合には、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計図書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

- (1) K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。
- (2) 特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

- (3) K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。
- (4) フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。
- (5) フランジ部の紛体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。
- (6) 弁栓類等で使用するフランジの規格は2種(0.75MPa)とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。
- (7) 仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。
- (8) 鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓(空気弁)鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。
- (9) 割T字管の分岐口径φ150以下について、密着コアを使用すること。
- (10) サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。
- (11) 直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。
- (12) 表示帯(管明示シート)は、15cm幅2倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。
- (13) 管明示テープは、5cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2 (土木材料の規格)

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

- (1) スクリーニングスは、JIS A5001 F-2.5とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。
- (2) 再生砕石は、路盤部分はRC-30とし、その他はRC-40とする。
- (3) 粒調砕石は、M-30とする。
- (4) 再生密粒度アスファルトは、最大粒径13mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (5) 再生粗粒度アスファルトは、最大粒径20mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (6) 再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径25mm、締固め密度2.35t/m³とする。

4.3 (水道材料の確認)

- 1 受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。
- 2 現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。
- 3 仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。
- 4 支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式15)を提出すること。

5 管布設工事

5.1 (配管技能者)

- 1 受注者は、鋳鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はT・K形管等の一般継手(φ450mm以下)、耐震登録はNS・GX形管等の耐震継手(φ450mm以下)、大口径は一般継手と耐震継手(全口径)を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、NS形・耐震管の受講証については、その口径のNS・GX形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。
- 2 受注者は、鋳鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。
- 3 受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準(明石市水道局)に基づき監督・指導すること。
- 4 受注者は、上記以外の管種(配水用ポリエチレン管・鋼管等)の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2 (工種の制限)

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3 (断水を伴う連絡工事)

- 1 断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。
- 2 断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は13時30分から16時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輛等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。
- 3 断水作業及び管内洗浄作業等に必要な弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。
- 4 万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4 (広報活動)

- 1 断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。
- 2 断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3 上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4 受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5 (ボルトの締め付け)

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの7割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6 (使用機材)

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは、先端角度が90°から100°、ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7 (管の明示)

1 管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2 表示帯(管明示シート)は、管天より40cmの位置に丁寧に設置すること。

5.8 (仮消火栓)

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9 (仮舗装復旧)

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10 (水圧試験)

1 水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1) 通常配管(以下の特殊箇所以外)の場合、試験水圧を0.75MPaとする。30分間以上の経過後、低下率1.0%以内を許容限度とする。

(2) 不断水工事の割T字管箇所は、試験水圧を1.25MPaとする。ただし、既設管の状態が悪い場合(FC管又は表面の腐食等が激しい場合)・ACP管・VP管の場合は、最高試験水圧は1.0MPa以下でもよい。5分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3) 中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧0.50MPaを負荷して5分経過後に0.40MPa以上保持することを確認するものとする。

(4) 管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5) 配水用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2 給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ 1.75MPa まで加圧し、1 分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11 (水道メーターの確認)

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6 提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないとした場合は、この限りでない。

1 工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業において、必要な工種に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別）、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長）、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様）とする。また、白色ケント紙 110kg（A 4 サイズ）で作成すること。

2 竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1) 配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎）、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値はmm表示とし、整数 1 位を四捨五入とし、2 位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d. 配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2) 消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他 3 点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3) 仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

(4) 掘削断面に他企業埋設管（下水管、ガス管等）が出てきた箇所については、竣工図の断面箇所図に他企業埋設管の位置、口径がわかるように図示すること。

3 竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙 110kg（A 3 サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、

本管深さ、PPユニオン、PPエルボ、VPユニオン、止水栓、ボックス、PPパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

4 その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1部	JPEG(A1・カラー・解像度200dpi以上)で保存したCDを提出
竣工図(焼き図)(原則A1サイズ)	竣工時	4部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横15cm×縦23cm)

その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD及びDVDで提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

* 竣工図書は、B4A4サイズの文書保存箱で工事名・施工年度等を明示して納品すること。
(施行期日)

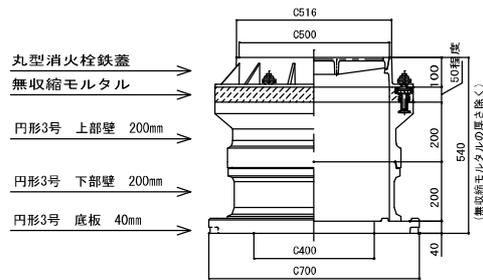
この仕様書は、2022年9月1日より施行する。

使用材料登録業者一覧表

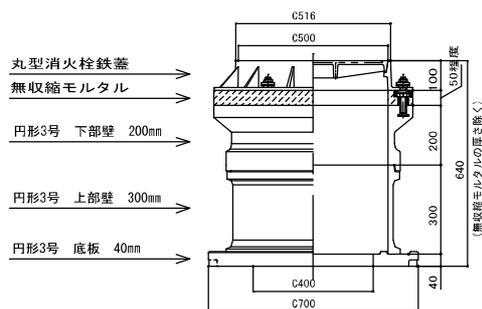
材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用ダクタイル鋳鉄管直管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	GX形5種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱
水道用ダクタイル鋳鉄異形管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鋳工㈱、梅原工業㈱、九州鋳鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー 鋳造
水道用ソフトシール仕切弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、角田鉄工㈱、宮部鉄工㈱
水道用ハタフライ弁 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、クレップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用急速空気弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鉄工㈱、 協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用補修弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、角田鉄工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水バルブ (接水部エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ゴム工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鋳鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
フランジ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、フランジ形はステンレス製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鋳鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鋳螺(株)
ボルト・ナット(SUS304製 緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用ダクタイル鋳鉄管用 ホリエチレンスリーブ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鋳物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(レジンコンクリート製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鋳物㈱ スズキ鋳鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管 PE管	明和工業㈱、㈱多久製作所 ㈱光明製作所

円形3号ボックス組合せ図(標準図)

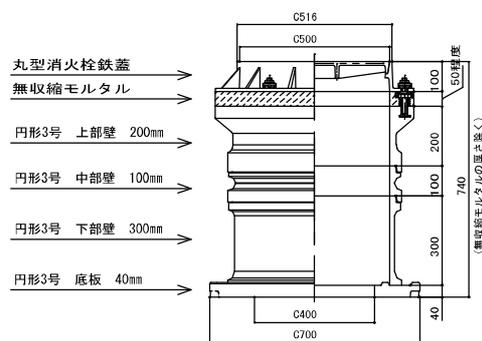
製品高さ H = 540



製品高さ H = 640



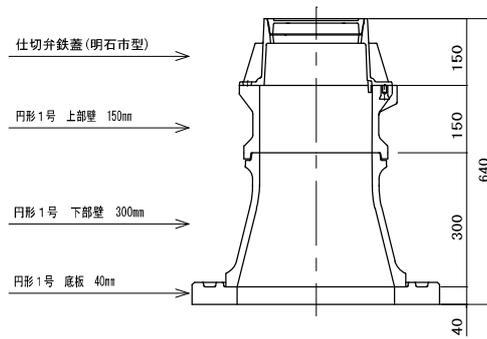
製品高さ H = 740



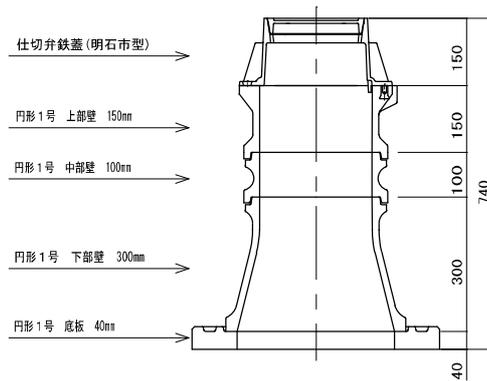
図名	組合せ図(標準図)
種類	円形3号ボックス
明石市水道局	

円形1号ボックス組合せ図(標準図)

製品高さH=640



製品高さH=740



図名	組合せ図(標準図)
種類	円形1号ボックス
明石市水道局	

明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事（その2）

数量計算書 （本体工事）

φ 400配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)				本数	延長	備考	
直管 (L= 6.0 m)				116	696.000		
切管使用本数				17	86.320		
甲切管	DGX-G-1			17	46.780		
	乙切管①	DGX-G-1			15	27.500	
DGX-K-1			1	2.000			
乙切管②	DG-G-1			7	10.040		
名称・形質等				管長	当初		備考
					数量	延長	
DGX-S	直管	φ 400			116	696.000	
DGX-1	直管	φ 400			17	86.320	
DGX	曲管	φ 400 × 45°	0.641		18	11.538	
DGX	曲管	φ 400 × 22° 1/2	0.498		14	6.972	
DGX	両受曲管	φ 400 × 45°	0.336		8	2.688	
DGX	両受曲管	φ 400 × 22° 1/2	0.208		9	1.872	
DGX	フランジ付きT字管	φ 400 × 75	0.465		1	0.465	
DGX	継ぎ輪	φ 400	0.300		2	0.600	
DGX	継ぎ輪用特殊押輪	φ 400			4		
DGX	両受短管	φ 400	0.020		1	0.020	
GX形	ハタフライ弁(両受)	φ 400	0.500		2	1.000	
	ハタフライ弁ボックス(円形3号)	H=640			2		
	カムバーロック式急速空気弁	φ 75			1		10K
	ケルプ式単口消火栓(浅埋形)(損料)	φ 75 × 65			1		仮設
	フランジ短管(損料)	φ 75 × 200			1		仮設
	フランジ短管	φ 75 × 200			1		10K
	フランジ短管(損料)	φ 75 × 300			1		仮設
	フランジ短管	φ 75 × 300			1		10K
	補修弁(キャップ式)(損料)	φ 75 × 100			1		仮設
	補修弁(キャップ式)	φ 75 × 100			1		10K
	フランジ継手材(GF形2号)(損料)	φ 75			1		仮設
	フランジ継手材(RF形)(損料)	φ 75			3		仮設
	フランジ蓋	φ 75			1		
	フランジ接合補強具(LSP形)	φ 75			4		10K
	空気弁ボックス(円形3号)	H=1040			1		
	消火栓ボックス(円形3号)(損料)	H=1040			1		仮設
GX形	接合セット	φ 400			73		
GX形	ライナ	φ 400			45		
GX形	挿しロリング	φ 400			46		
DK	フランジ付きT字管	φ 400 × 75	0.770		1	0.770	
DK	特殊押輪	φ 400			1		
DK	帽	φ 400			1		特殊押輪含む
	表示帯				808.2		
	ポリエチレンスリーブ	φ 400			808.2		
	管明示テープ(区間距離 × 2.34 / 20 =)				95		
管材料延長計					808.245		

DGX-1 φ 400切管調書

直管 6.0 m

切管 番号	延長	甲切管	乙切管②			乙切管 ①	管延長	残管 延長	挿口リク	切断溝切加 工同時	溝切加工	特殊押輪	
			1	2	3							K形	A形
1	6.00	DGX-G 1.05	DG- G 2.14			DGX-G 2.14	5.33	0.67	4	3	1		
2	6.00	DGX-G 3.20				DGX-K 2.00	5.20	0.80	1	1		1	
3	6.00	DGX-G 2.21	DG- G 1.34			DGX-G 1.50	5.05	0.95	4	3	1		
4	6.00	DGX-G 1.78	DG- G 1.88			DGX-G 1.88	5.54	0.46	4	3	1		
5	6.00	DGX-G 2.50	DG- G 1.02			DGX-G 1.49	5.01	0.99	4	3	1		
6	6.00	DGX-G 3.00	DG- G 1.02			DGX-G 1.49	5.51	0.49	4	3	1		
7	6.00	DGX-G 3.21	DG- G 1.02			DGX-G 1.31	5.54	0.46	4	3	1		
8	6.00	DGX-G 4.18				DGX-G 1.02	5.20	0.80	2	2			
9	6.00	DGX-G 4.55					4.55	1.45	1	1			
10	6.00	DGX-G 2.50				DGX-G 1.78	4.28	1.72	2	2			
11	6.00	DGX-G 3.00				DGX-G 1.50	4.50	1.50	2	2			
12	6.00	DGX-G 2.30	DG- G 1.62			DGX-G 1.62	5.54	0.46	4	3	1		
13	6.00	DGX-G 3.30				DGX-G 1.50	4.80	1.20	2	2			
14	6.00	DGX-G 3.32				DGX-G 2.40	5.72	0.28	2	2			
15	6.00	DGX-G 2.40				DGX-G 2.51	4.91	1.09	2	2			
16	6.00	DGX-G 2.10				DGX-G 3.73	5.83	0.17	2	2			
17	6.00	DGX-G 2.18				DGX-G 1.63	3.81	2.19	2	2			
既設管接続箇所													
計							86.32	15.68	46	39	7	1	

φ 400配水管(手間)

名称・形質等	当初 数量	摘要
鑄鉄管吊込み据付工 φ 400	791.0 m	区間距離-仕切弁延長計
鑄鉄管吊込み据付工【夜間施工】 φ 400	16.2 m	国道横断部
鑄鉄管切断溝切加工 φ 400	39 口	
鑄鉄管溝切加工 φ 400	7 口	
ハタフライ弁設置工 φ 400	2 箇所	円形3号
ハタフライ弁ボックス設置工 H=640	2 箇所	
空気弁設置工	1箇所	
仮消火栓設置撤去工	1箇所	フランジ継手工 φ 75 1口含む
フランジ継手接合取外し工 (7.5K) φ 75	3 口	仮消火栓箇所
フランジ継手接合工 (7.5K) φ 75	1 口	
フランジ継手接合工 (10K) φ 75	4 口	空気弁箇所
空気弁ボックス設置工 H=1040	1 箇所	円形3号
仮消火栓ボックス設置撤去工 H=1040	1 箇所	円形3号
GX継手工(直管接合) φ 400	130 口	
GX継手工(直管接合)【夜間施工】 φ 400	3 口	国道横断部
GX継手工(異形管接合) φ 400	71 口	
GX継手工(異形管接合)【夜間施工】 φ 400	6 口	国道横断部
GX継手挿し口加工(挿し口リング取付) φ 400	46 口	
メカニカル継手工(特殊押輪) φ 400	2 口	帽設置含む
管明示シート工	792.0 m	
管明示シート工【夜間施工】	16.2 m	国道横断部
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ 400	792.0 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工【夜間施工】 φ 400	16.2 m	国道横断部
管明示テープ工 φ 400	792.0 m	
管明示テープ工【夜間施工】 φ 400	16.2 m	国道横断部

φ 400配水管土工集計表

	全体	土工無	土工A1	土工A2	土工A3	土工A4	土工B1	土工B2	土工C1	土工C2	土工C3	土工C4	土工C5	土工D1	土工D2	土工D3	土工E1
延長箇所等	808.2		357.8	2.8	16.2	15.3	25.3	2.5	215.5	1.3	88.1	10.7	8.1	52.2	2.0	7.4	3.0
会所掘箇所	2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0

工種	合計数量	採用数量	単位	土工A1	土工A2	土工A3	土工A4	土工B1	土工B2	土工C1	土工C2	土工C3	土工C4	土工C5	土工D1	土工D2	土工D3	土工E1
舗装版切断(As) t≤15cm	821.20	820	m					50.60		431.00	2.60	176.20	21.40	16.20	104.40	4.00	14.80	
舗装版切断(As) 15cm<t≤30cm	753.60	750	m	715.60	5.60	32.40												
舗装版切断(As) 15cm<t≤30cm 【夜間施工】	30.60	31	m				30.60											
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	410.60	411	m2					25.30		215.50	1.30	88.10	10.70	8.10	52.20	2.00	7.40	
舗装版破碎(As) 15cm<t≤35cm	376.80	377	m2	357.80	2.80	16.20												
舗装版破碎(As) 15cm<t≤35cm 【夜間施工】	15.30	15	m2				15.30											
平板ブロック撤去(再利用)	2.50	3	m2					2.50										
掘削積込工	1309.80	1300	m3	529.54	4.70	35.32		42.76	6.93	351.27	2.38	170.03	26.00	23.73	88.50	4.36	19.09	5.19
掘削積込工 【夜間施工】	27.23	27	m3				27.23											
残塊処分工(As)	134.49	134	m3	89.45	0.70	4.05	3.83	1.01		21.55	0.13	8.81	1.07	0.81	2.61	0.10	0.37	
残塊処分工(土砂)	1337.03	1300	m3	529.54	4.70	35.32	27.23	42.76	6.93	351.27	2.38	170.03	26.00	23.73	88.50	4.36	19.09	5.19
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=8cm	376.80	377	m2	357.80	2.80	16.20												
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=8cm 【夜間施工】	15.30	15	m2				15.30											
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	413.10	413	m2					25.30	2.50	215.50	1.30	88.10	10.70	8.10	52.20	2.00	7.40	
路盤工(粒調碎石) t=32cm	376.80	377	m2	357.80	2.80	16.20												
路盤工(粒調碎石) t=32cm 【夜間施工】	15.30	15	m2				15.30											
路盤工(粒調碎石) t=25cm	323.70	324	m2							215.50	1.30	88.10	10.70	8.10				
路盤工(粒調碎石) t=19cm	2.50	3	m2					2.50										
路盤工(粒調碎石) t=14cm	25.30	25	m2					25.30										
路盤工(粒調碎石) t=10cm	61.60	62	m2												52.20	2.00	7.40	
埋戻工(再生碎石)	677.80	680	m3	250.46	2.52	22.68		23.02	4.90	172.40	1.30	96.91	17.12	17.01	49.59	2.90	13.69	3.30
埋戻工(再生碎石) 【夜間施工】	15.30	15	m3				15.30											
埋戻工(スクリーニングス)	387.73	390	m3	174.61	1.37	7.91		12.35	1.22	105.16	0.63	42.99	5.22	3.95	26.27	0.98	3.61	1.46
埋戻工(スクリーニングス) 【夜間施工】	7.47	7	m3				7.47											
アルミ矢板設置撤去工 H=2.0m	653.80	653.8	m	357.80				25.30		215.50					52.20			3.00
アルミ矢板設置撤去工 H=2.5m	94.20	94.2	m		2.80						1.30	88.10				2.00		
アルミ矢板設置撤去工 H=2.5m 【夜間施工】	15.30	15.3	m				15.30											
アルミ矢板設置撤去工 H=3.0m	34.30	34.3	m			16.20							10.70				7.40	
アルミ矢板設置撤去工 H=3.5m	10.60	10.6	m					2.50						8.10				

φ400配水管(土工A1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	国道	車道15cm	As8cm	粒調碎石32cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
357.8	1.00	1.20	0.25	0	1.73	

加熱安定処理 0.10含む

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) 15cm<t≤30cm	0.25			357.8 × 2	715.60
舗装版破碎(As) 15cm<t≤35cm	0.25	1.00		× 357.8	357.80
掘削積込工	1.48	1.00 ×	1.48 ×	357.8	529.54
残塊処分工(As)				357.80 × 0.25	89.45
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			529.54
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.08	1.00		× 357.8	357.80
路盤工(粒調碎石)	0.32	1.00		× 357.8	357.80
埋戻工(再生碎石)	0.70	1.00 ×	0.70 ×	357.8	250.46
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	357.8	174.61
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0			357.8	357.80

φ400配水管(土工A2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	国道	側道15cm	As8cm	粒調碎石32cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
2.8	1.00	1.40	0.25	0	1.93	矢板有

加熱安定処理 0.10含む

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) 15cm<t≤30cm	0.25			2.8 × 2	5.60
舗装版破碎(As) 15cm<t≤35cm	0.25	1.00		× 2.8	2.80
掘削積込工	1.68	1.00 ×	1.68 ×	2.8	4.70
残塊処分工(As)			2.80 ×	0.25	0.70
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			4.70
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.08	1.00		× 2.8	2.80
路盤工(粒調碎石)	0.32	1.00		× 2.8	2.80
埋戻工(再生碎石)	0.90	1.00 ×	0.90 ×	2.8	2.52
埋戻工(スクリーニングス)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	2.8	1.37
(管断面控除)		—	0.142	× 2.8	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.5			2.8	2.80

φ400配水管(土工A3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	国道	車道15cm	As8cm	粒調碎石32cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
16.2	1.00	1.90	0.25	0	2.43	

加熱安定処理 0.10含む

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) 15cm<t≤30cm	0.25			16.2 × 2	32.40
舗装版破碎(As) 15cm<t≤35cm	0.25	1.00		× 16.2	16.20
掘削積込工	2.18	1.00 ×	2.18 ×	16.2	35.32
残塊処分工(As)				16.20 × 0.25	4.05
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			35.32
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.08	1.00		× 16.2	16.20
路盤工(粒調碎石)	0.32	1.00		× 16.2	16.20
埋戻工(再生碎石)	1.40	1.00 ×	1.40 ×	16.2	22.68
埋戻工(スクリーニングス)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	16.2	7.91
(管断面控除)		—	0.142	× 16.2	
アルミ矢板設置撤去工	H=3.0			16.2	16.20

φ400配水管(土工A4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
夜間施工	国道	車道15cm	As8cm	粒調碎石32cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
15.3	1.00	1.50	0.25	0	2.03	

加熱安定処理 0.10含む

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) 15cm<t≤30cm	0.25			15.3 × 2	30.60
舗装版破碎(As) 15cm<t≤35cm	0.25	1.00		× 15.3	15.30
掘削積込工	1.78	1.00 ×	1.78 ×	15.3	27.23
残塊処分工(As)				15.30 × 0.25	3.83
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			27.23
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.08	1.00		× 15.3	15.30
路盤工(粒調碎石)	0.32	1.00		× 15.3	15.30
埋戻工(再生碎石)	1.00	1.00 ×	1.00 ×	15.3	15.30
埋戻工(スクリーニングス)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	15.3	7.47
(管断面控除)		—	0.142	× 15.3	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.5			15.3	15.30

φ400配水管(土工B1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	国道	歩道4cm	As5cm	粒調碎石14cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
25.3	1.00	1.20	0.04	0	1.73	矢板有

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.04			25.3 × 2	50.60
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.04	1.00		× 25.3	25.30
掘削積込工	1.69	1.00 ×	1.69 ×	25.3	42.76
残塊処分工(As)		25.30 ×	0.04		1.01
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			42.76
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	1.00		× 25.3	25.30
路盤工(粒調碎石)	0.14	1.00		× 25.3	25.30
埋戻工(再生碎石)	0.91	1.00 ×	0.91 ×	25.3	23.02
埋戻工(スクリーニングス)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	25.3	12.35
(管断面控除)		—	0.142	× 25.3	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0	25.3			25.30

φ400配水管(土工B2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	国道	平板ブロック6cm	As5cm	粒調碎石19cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
2.5	1.00	2.30	0.06	0	2.83	矢板有

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
平板ブロック撤去(再利用)	0.06	1.00	×	2.5	2.50
掘削積込工	2.77	1.00 ×	2.77 ×	2.5	6.93
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			6.93
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00	×	2.5	2.50
路盤工(粒調碎石)	0.19	1.00	×	2.5	2.50
埋戻工(再生碎石)	1.96	1.00 ×	1.96 ×	2.5	4.90
埋戻工(スクリーニングス)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	2.5	1.22
(管断面控除)		—	0.142	×	2.5
アルミ矢板設置撤去工	H=3.5	2.5			2.50

φ400配水管(土工C1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	神戸市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石25cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
215.5	1.00	1.20	0.10	0	1.73	矢板有

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			215.5 × 2	431.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		× 215.5	215.50
掘削積込工 (管断面控除)	1.63	1.00 ×	1.63 ×	215.5	351.27
残塊処分工(As)				215.50 × 0.10	21.55
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			351.27
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.00		× 215.5	215.50
路盤工(粒調碎石)	0.25	1.00		× 215.5	215.50
埋戻工(再生碎石)	0.80	1.00 ×	0.80 ×	215.5	172.40
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	215.5	105.16
		— 0.142		× 215.5	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0			215.5	215.50

φ400配水管(土工C2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	神戸市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石25cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
1.3	1.00	1.40	0.10	0	1.93	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			1.3 × 2	2.60
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		× 1.3	1.30
掘削積込工	1.83	1.00 ×	1.83 ×	1.3	2.38
残塊処分工(As)			1.30 ×	0.10	0.13
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			2.38
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	1.00		× 1.3	1.30
路盤工(粒調碎石)	0.25	1.00		× 1.3	1.30
埋戻工(再生碎石)	1.00	1.00 ×	1.00 ×	1.3	1.30
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	1.3	0.63
		— 0.142		× 1.3	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.5			1.3	1.30

φ400配水管(土工C3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	神戸市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石25cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
88.1	1.00	1.50	0.10	0	2.03	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			88.1 × 2	176.20
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		× 88.1	88.10
掘削積込工	1.93	1.00 ×	1.93 ×	88.1	170.03
残塊処分工(As)				88.10 × 0.10	8.81
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			170.03
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	1.00		× 88.1	88.10
路盤工(粒調碎石)	0.25	1.00		× 88.1	88.10
埋戻工(再生碎石)	1.10	1.00 ×	1.10 ×	88.1	96.91
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	88.1	42.99
		—	0.142	× 88.1	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.5			88.1	88.10

φ400配水管(土工C4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	神戸市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石25cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
10.7	1.00	2.00	0.10	0	2.53	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			10.7 × 2	21.40
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		× 10.7	10.70
掘削積込工	2.43	1.00 ×	2.43 ×	10.7	26.00
残塊処分工(As)			10.70 ×	0.10	1.07
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			26.00
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	1.00		× 10.7	10.70
路盤工(粒調碎石)	0.25	1.00		× 10.7	10.70
埋戻工(再生碎石)	1.60	1.00 ×	1.60 ×	10.7	17.12
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	10.7	5.22
		—	0.142	× 10.7	
アルミ矢板設置撤去工	H=3.0			10.7	10.70

φ400配水管(土工C5)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石25cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
8.1	1.00	2.50	0.10	0	3.03	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			8.1 × 2	16.20
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		× 8.1	8.10
掘削積込工	2.93	1.00 ×	2.93 ×	8.1	23.73
残塊処分工(As)			8.10 ×	0.10	0.81
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			23.73
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	1.00		× 8.1	8.10
路盤工(粒調碎石)	0.25	1.00		× 8.1	8.10
埋戻工(再生碎石)	2.10	1.00 ×	2.10 ×	8.1	17.01
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	8.1	3.95
		—	0.142	× 8.1	
アルミ矢板設置撤去工	H=3.5		8.1		8.10

φ400配水管(土工D1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	明石市道	車道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
52.2	1.00	1.20	0.05	2	1.73	矢板有

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			52.2 ×	2	104.40
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.00		× 52.2		52.20
掘削積込工	1.68	1.00 ×	1.68 ×	52.2		88.50
		+ 1.00 ×	0.50 ×	0.80 ×	2	
残塊処分工(As)			52.20 ×	0.05		2.61
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				88.50
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	1.00		× 52.2		52.20
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00		× 52.2		52.20
埋戻工(再生碎石)	0.95	1.00 ×	0.95 ×	52.2		49.59
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	52.2		26.27
		+ 1.00 ×	0.50 ×	0.80 ×	2	
		- 0.142	×	52.2		
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0	52.2				52.20

φ400配水管(土工D2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	明石市道	車道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
2.0	1.00	1.70	0.05	0	2.23	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			2.0 × 2	4.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.00		× 2.0	2.00
掘削積込工	2.18	1.00 ×	2.18 ×	2.0	4.36
残塊処分工(As)		2.00 ×	0.05		0.10
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			4.36
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.00		× 2.0	2.00
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00		× 2.0	2.00
埋戻工(再生碎石)	1.45	1.00 ×	1.45 ×	2.0	2.90
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	2.0	0.98
		— 0.142		× 2.0	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.5	2.0			2.00

φ400配水管(土工D3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	明石市道	車道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
7.4	1.00	2.10	0.05	0	2.63	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			7.4 × 2	14.80
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.00		× 7.4	7.40
掘削積込工	2.58	1.00 ×	2.58 ×	7.4	19.09
残塊処分工(As)			7.40 ×	0.05	0.37
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			19.09
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	1.00		× 7.4	7.40
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00		× 7.4	7.40
埋戻工(再生碎石)	1.85	1.00 ×	1.85 ×	7.4	13.69
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	1.00 ×	0.63 ×	7.4	3.61
		—	0.142	× 7.4	
アルミ矢板設置撤去工	H=3.0			7.4	7.40

φ400配水管(土工E1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	場内			

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
3.0	1.00	1.20			1.73	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
掘削積込工	1.73	1.00 ×	1.73 ×	3.0	5.19
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			5.19
埋戻工(再生碎石)	1.10	1.00 ×	1.10 ×	3.0	3.30
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	1.00 × - 0.142	0.63 × ×	3.0	1.46
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0	3.0			3.00

国道横断部 数量総括表

工種	種別	形状寸法	数量	単位	摘要
	【撤去復旧工】				
	《ブロック積》				
	ブロック積取壊し		2	m3	
	コンクリート取壊し	無筋Co	1	m3	
	コンクリート殻積込運搬処分	無筋Co	3	m3	
	ブロック積設置工		5	m2	
	裏込めコンクリート	18-12-20	0.5	m3	
	裏込め材	発生土流用	3	m3	
	天端コンクリート	18-12-20	0.2	m3	
	基礎コンクリート	18-8-40	0.2	m3	
	《国道歩車道境界ブロック》				
	歩車道境界ブロック取外し		2	m	
	コンクリート取壊し	無筋Co	0.2	m3	
	コンクリート殻積込運搬処分	無筋Co	0.2	m3	
	歩車道境界ブロック再設置		2	m	
	コンクリート	24-12-20	0.2	m3	
	基礎型砕工	小型	0.6	m2	
	基礎砕石工	t=10cm RC-40	2	m2	
	《横断防止柵》				
	横断防止柵取外し再設置	H=80cm 1スパンL=3.0m	3	m	
	《転落防止柵》				
	転落防止柵取外し再設置	H=110cm 1スパンL=3.0m	3	m	
	《メッシュフェンス》				
	メッシュフェンス取外し再設置	H=200cm 1スパンL=2.0m	2	m	

舗装復旧関係

国道車道As3層(t=15cm)
実掘削部打替え
切削オーバーレイ

施工面積	採用面積
1250.9	1250

仮復旧面積
374.0

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.08	374.0	374.0	374	m ²
掘削積込工	0.17	374.0 × 0.17	63.6	64	m ³
残塊処分工(As)	0.08	374.0 × 0.08	29.9	30	m ³
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量	63.6	64	m ³
不陸整正工(補充材なし)		374.0	374.0	374	m ²
路盤工(加熱安定処理、PK-3)	0.10	374.0	374.0	374	m ²
基層(粗粒度(再)(20)、PK-4)	0.05	374.0	374.0	374	m ²
中間層(粗粒度改質 I 型(再)(20)、PK-4)	0.05	374.0	374.0	374	m ²
表層(密粒度(再)(13)、PK-4)	0.05	374.0	374.0	374	m ²
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	41.9+207.4+149.2	398.5	400	m
廃材処分工(As)		1250.9 × 0.05	62.55	63	m ³
路面切削工	0.05	1250.9	1250.9	1250	m ²
排水性舗装 (ポーラスAs(13)、PKR-T)	0.05	1250.9	1250.9	1250	m ²

国道車道As3層(t=15cm)【夜間施工】
実掘削部打替え
切削オーバーレイ

施工面積	採用面積
155.2	155

仮復旧面積
15.3

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.08	15.3	15.3	15	m ²
掘削積込工	0.17	15.3 × 0.17	2.6	3	m ³
残塊処分工(As)	0.08	15.3 × 0.08	1.2	1	m ³
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量	2.6	3	m ³
不陸整正工(補充材なし)		15.3	15.3	15	m ²
路盤工(加熱安定処理、PK-3)	0.10	15.3	15.3	15	m ²
基層(粗粒度(再)(20)、PK-4)	0.05	15.3	15.3	15	m ²
中間層(粗粒度改質 I 型(再)(20)、PK-4)	0.05	15.3	15.3	15	m ²
表層(密粒度(再)(13)、PK-4)	0.05	15.3	15.3	15	m ²
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	27.4	27.4	27	m
廃材処分工(As)		155.2 × 0.05	7.76	8	m ³
路面切削工	0.05	155.2	155.2	155	m ²
排水性舗装 (ポーラスAs(13)、PKR-T)	0.05	155.2	155.2	155	m ²

国道側道As3層(t=15cm)

施工面積	採用面積
9.2	9

仮復旧面積
2.8

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	單位
舗装版破碎(As) 15cm<t≤35cm	0.25	9.2	9.2	9	m2
掘削積込工		2.8 × 0.17	0.48	0.5	m3
残塊処分工(As)		6.4 × 0.25 + 2.8 × 0.08	1.82	2	m3
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量	0.48	0.5	m2
不陸整正工(粒調碎石)	0.03	9.2	9.2	9	m2
路盤工(加熱安定処理、PK-3)	0.10	9.2	9.2	9	m2
基層(粗粒度(再)(20)、PK-4)	0.05	9.2	9.2	9	m2
中間層(粗粒度(再)(20)、PK-4)	0.05	9.2	9.2	9	m2
表層(密粒度改質Ⅱ型(再)(13)、PK-4)	0.05	9.2	9.2	9	m2

国道歩道As1層(t=4cm)

施工面積	採用面積
77.6	78

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	單位
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	3.0+4.0+3.6	10.6	11	m
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	77.6	77.6	78	m2
掘削積込工	0.14	77.6 × 0.14	10.9	11	m3
残塊処分工(As)	0.05	77.6 × 0.05	3.9	4	m3
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量	10.9	11	m3
不陸整正工(再生碎石)	0.03	77.6	77.6	78	m2
フィルター層(砂)	0.05	77.6	77.6	78	m2
路盤工(再生碎石)	0.10	77.6	77.6	78	m2
透水性舗装工(開粒度(13))	0.04	77.6	77.6	78	m2

国道歩道平板ブロック舗装 (t=6cm)

施工面積	採用面積
5.0	5

仮復旧面積
2.5

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	2.5	2.5	3	m ²
平板ブロック撤去(再利用)	0.06	2.5	2.5	3	m ²
掘削積込工		2.5 × 0.18 + 2.5 × 0.19	0.9	1	m ³
残塊処分工(As)	0.05	2.5 × 0.05	0.1	0.1	m ³
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量	0.9	1	m ³
不陸整正工(再生碎石)	0.03	5.0	5.0	5	m ²
フィルター層	0.05	5.0	5.0	5	m ²
路盤工(再生碎石)	0.10	5.0	5.0	5	m ²
平板ブロック再設置(再利用) 透水性シート、敷砂3cm含む	0.09	5.0	5.0	5	m ²

神戸市道車道As2層 (t=10cm)

施工面積	採用面積
872.6	873

仮復旧面積
323.7

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断 (As) t≤15cm	0.10	18.4+26.1+68.8+88.5+73.2	275.0	280	m
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05~0.10	872.6	872.6	873	m ²
掘削積込工	0.05~0.10	548.9 × 0.05 + 323.7 × 0.10	59.8	60	m ³
残塊処分工(As)		548.9 × 0.10 + 323.7 × 0.05	71.1	71	m ³
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量	59.8	60	m ³
路盤工(粒調碎石)	0.05	872.6	872.6	873	m ²
基層(粗粒度(再)(20)、PK-3)	0.05	872.6	872.6	873	m ²
表層(密粒度(再)(13)、PK-4)	0.05	872.6	872.6	873	m ²

明石市道車道As1層 (t=5cm)

施工面積	採用面積
225.8	226

仮復旧面積
61.6

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断 (As) t≤15cm	0.05	69.8	69.8	70	m
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	225.8	225.8	226	m ²
残塊処分工(As)		225.8 × 0.05	11.29	11	m ³
不陸整正工(粒調碎石)	0.03	225.8	225.8	226	m ²
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-3)	0.05	225.8	225.8	226	m ²

区画線関係

一般舗装部

工種	細別	計算式	数量	採用数量	単位
実線 W=15cm	外側線	51.1 + 10.4 + 3.7 + 43.7	108.90	110	m
破線 W=15cm	外側線	19.0	19.00	19	m
実線 W=30cm	中央線	2.9	2.90	3	m
文字・記号 W=15cm換算	右折矢印	6.6	6.60	7	m

排水性舗装部

工種	細別	計算式	数量	採用数量	単位
実線 W=15cm	外側線	38.0 + 63.1 + 77.2 + 52.5 + 132.9 + 6.8	370.50	370	m
破線 W=15cm	中央線	12.0 + 78.0 + 54.0	144.00	140	m
実線 W=30cm	停止線	3.1 + 3.1	6.20	6	m
実線 W=45cm	横断歩道	16.0	16.00	16	m
文字・記号 W=15cm換算	自転車マーク	1.5	1.50	2	m
文字・記号(黄色) W=15cm換算	50 (速度表示)	18.6	18.60	19	m

排水性舗装部【夜間施工】

工種	細別	計算式	数量	採用数量	単位
実線 W=15cm	外側線	11.2 + 11.2	22.40	55	m
	中央線	11.2 + 10.7 + 10.7	32.60		
破線 W=15cm	中央線	4.5	4.50	5	m
実線 W=45cm	停止線	7.7	7.70	8	m
文字・記号 W=15cm換算	直進矢印 右折矢印	6.3 + 6.3 + 6.6	19.20	19	m

路面復旧面積総括表 兼 監督費算出書

工種	復 旧 面 積		復 旧 監 督 費				
	掘削部	影響部	単価	掘削部	単価	影響部	摘要
3号工	324 m ²	194 m ²	円	円	円	円	
計							
監督費総額				_____			

明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事（その2）

数量計算書
（附帯工事）

連絡管(資材費) 数量総括表

工種	種別	形状寸法	数量	単位	摘要
連絡管	—資材費—				
	【配管工】				
	GX DIP 直管	GX形 S種 内面:粉体 φ400×6.0m	10	本	
	GX DIP 直管	GX形 1種 内面:粉体 φ400×6.0m	7	本	
	GX DIP 曲管	GX形 内面:粉体 φ400×45°	9	個	
	GX DIP 曲管	GX形 内面:粉体 φ400×22° 1/2	1	個	
	GX DIP 曲管	GX形 内面:粉体 φ400×11° 1/4	2	個	
	GX DIP 両受曲管	GX形 内面:粉体 φ400×45°	3	個	
	GX DIP 両受曲管	GX形 内面:粉体 φ400×22° 1/2	2	個	
	GX DIP 二受T字管	GX形 内面:粉体 φ400×φ400	1	個	
	GX DIP F付T字管	GX形 内面:粉体 φ400×φ75 F-10k GF	1	個	
	GX DIP 継ぎ輪	GX形 内面:粉体 φ400	6	個	
	GX DIP 短管1号	GX形 内面:粉体 φ400 F-10k GF	2	個	
	GX形 バタフライ弁	GX形 両受式 φ400 10k	2	基	
	ソフトシール仕切弁	F形 2F φ400 10k	1	基	
	鑄鉄管用割T字管	鑄鉄管用 1F 10k φ450×φ400	1	個	
	GX形 伸縮可とう管	GX形 U-U 200m/m沈下 φ400 SUSタイロット付	1	個	
	GX形 伸縮可とう管	GX形 U-S 200m/m沈下 φ400 SUSタイロット付	1	個	
	カムレバーロック式 急速空気弁	φ75 10k	1	基	
	補修弁	φ75 10k	1	基	
	GX DIP ライナ	GX形 内面:粉体 φ400	11	個	
	GX DIP 異形管接合材	GX形 φ400	36	個	
	GX DIP 挿口リング	GX形 φ400	28	個	
	GX形継ぎ輪用特殊押輪	φ400	10	個	

工種	種別	形状寸法	数量	単位	摘要
	フランジ接合補強具	φ400 LSP 10K	3	組	
	フランジ継手部補強金具	φ400 3DkN以上	3	組	
	フランジ接合補強具	φ75 LSP 10K	2	組	
	不断水簡易バルブ	鑄鉄管用 φ600	1	基	
	管理設標識シート		120.5	m	
	ポリエチレンスリーブ	φ400	113.8	m	
	管明示テープ	φ400	14.0	巻	
	仕切弁室(明石V型)	円形1号 H=640	1	基	
	仕切弁室(明石V型)	円形1号 H=1240	1	基	
	バタフライ弁室 (明石IV型・丸型)	円形3号 H=640	2	基	
	空気弁室 (明石IV型・丸型)	円形3号 H=940	1	基	
	【流入弁室配管工】				
	DIP 片フランジ管	外面:DD 内面:粉体 挿口GX形加工 φ400 L=1.21m F=10k	1	個	
	DIP 片フランジ管	外面:DD 内面:粉体 挿口GX形加工 φ400 L=1.211m F=10k	1	個	
	NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ400 L=1.20m	1	個	
	NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ400 L=2.00m	1	個	
	NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ300 L=2.00m	3	個	
	NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ300 L=0.779m	1	個	
	NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ200 L=0.50m	1	個	
	NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ200 L=0.40m	1	個	
	NCP ネックフランジT字管	3F ネックフランジ 10k φ400×φ300 L=0.77m H=0.355m	2	個	
	NCP ネックフランジ片落管	2F ネックフランジ 10k φ400×φ200 L=0.372m	2	個	
	NCP ネックフランジ曲管	2F ネックフランジ 10k φ300×90° L=0.465m	2	個	
	NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ400 L=0.575m	1	個	

工種	種別	形状寸法	数量	単位	摘要
	NCP ネックフランジT字管	3F ネックフランジ 10k 下向き溶接 φ300×φ40 L=1.30m H=0.35m	1	個	
	NCP 伸縮管	2F 10k φ200 L=0.50m	1	個	
	バタフライ弁	2F 10k φ400 手動 丸ハンドル付	1	基	
	バタフライ弁	2F 10k φ300 手動 丸ハンドル付	2	基	
	ソフトシール仕切弁	2F 10k φ200 丸ハンドル付	1	基	
	SUS製ボール弁	2F 10k φ40	1	基	
	NCP ネックフランジT字管	3F ネックフランジ 10k 上向き溶接 φ400×φ20 L=1.20m H=0.35m	1	個	
	NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ200 L=0.35m	1	個	
	SUS製ボール弁	2F 10k φ20	1	基	
	HIVP管	【床排水管工】から流用 φ50 L=1.12m	1	個	【床排水管工】 から流用
	HIVP管	【床排水管工】から流用 φ50 L=0.50m	1	個	【床排水管工】 から流用
	TSソケット	HIVP φ50	1	個	
	フランジ継手材	10k SUS φ400	9	組	
	フランジ継手材	10k SUS φ300	10	組	
	フランジ継手材	10k SUS φ200	6	組	
	フランジ継手材	10k SUS φ40	1	組	
	フランジ継手材	10k SUS φ20	1	組	
	【床排水管工】				
	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP φ50 L=4.0m	1	本	
	TSエルボ	HIVP φ50	2	個	
	TSソケット	HIVP φ50	1	個	

連絡管(労務費) 数量総括表

工種	種別	形状寸法	数量	単位	摘要
連絡管	- 労務費 -				
	【配管工】				
	鋳鉄管吊込み据付工	機械 φ 400	114.6	m	
	鋳鉄管継手工	GX形 直管 φ 400	17	口	
	鋳鉄管継手工	GX形 異形管 φ 400	36	口	
	鋳鉄管継手工	K形 特殊押輪 φ 400	10	口	
	鋳鉄管切断・溝切加工	GX形 φ 400	20	口	
	鋳鉄管溝切加工	GX形 φ 400	8	口	
	鋳鉄管継手挿し口加工	GX形 φ 400	28	口	
	フランジ継手工	10k φ 400	2	組	
	フランジ継手工	10k φ 75	2	組	
	バタフライ弁設置工	機械 φ 400	2	基	
	空気弁設置工	機械 φ 75	1	基	
	仕切弁室設置工	円形1号 H=640	1	基	
	仕切弁室設置工	円形1号 H=1240	1	基	
	バタフライ弁室設置工	円形3号 H=640	2	基	
	空気弁室設置工	円形3号 H=940	1	基	
	ダクタイル鋳鉄製 伸縮可とう管設置工	φ 400 U-U	1	個	
	ダクタイル鋳鉄製 伸縮可とう管設置工	φ 400 U-S	1	個	
	鋳鉄管用割T字管設置工	鋳鉄管用 1F 10k φ 450×φ 400	1	基	
	不断水簡易バルブ設置工	鋳鉄管用 10k φ 600	1	基	
	管理設標識シート工		120.5	m	
	ポリエチレンスリーブ工	φ 400	113.8	m	
	管明示テープ工	φ 400	113.8	m	

工種	種別	形状寸法	数量	単位	摘要
	防護コンクリート	18-12-20BB	9	m3	
	型枠工		24	m2	
	基礎砕石	t=20cm 再生砕石(RC-40)	12	m2	
	【流入弁室配管工】				
	鋳鉄管吊込み据付工	機械 φ 400	2.4	m	
	鋼管据付工	機械 φ 400	7.3	m	
	鋼管据付工	機械 φ 300	10.7	m	
	鋼管据付工	機械 φ 200	1.8	m	
	硬質塩化ビニル管布設工	φ 50	1.6	m	
	硬質塩化ビニル管継手工	TS φ 50	2	口	
	硬質塩化ビニル管切断工	φ 50	2	口	
	フランジ継手工	10k φ 400	9	組	
	フランジ継手工	10k φ 300	10	組	
	フランジ継手工	10k φ 200	6	組	
	フランジ継手工	10k φ 40	1	組	
	フランジ継手工	10k φ 20	1	組	
	バタフライ弁設置工	機械 φ 400	1	基	
	バタフライ弁設置工	機械 φ 300	2	基	
	仕切弁設置工	機械 φ 200	1	基	
	架台コンクリート	24-12-20BB	2	m3	
	型枠工		11	m2	
	(材工共) 鉄筋	D13 SD345	0.099	t	
	(材工共) 差し筋アンカー	D13 L=600	148	本	
	(材工共) φ 400鋼管用支持金具	SUS304製 φ 400鋼管用 Uバンド 合成ゴム板 樹脂アンカー	4	箇所	

工種	種別	形状寸法	数量	単位	摘要
	(材工共) φ300鋼管用支持金具	SUS304製φ300鋼管用 Uバンド 合成ゴム板 樹脂アンカー	4	箇所	
	(材工共) φ200鋼管用支持金具	SUS304製φ200鋼管用 Uバンド 合成ゴム板 樹脂アンカー	1	箇所	
	(材工共) 管廻り防水処理	φ400/φ600 t=40cm	2	箇所	
	(管廻り防水処理) 無収縮モルタル	1箇所当り	0.063	m3/箇所	
	(管廻り防水処理) 塗膜防水(クロス入り)X-2	1箇所当り	0.640	m2/箇所	
	(材工共) 管廻り防水処理	φ50/φ250 t=40cm	1	箇所	
	(管廻り防水処理) 無収縮モルタル	1箇所当り	0.019	m3/箇所	
	(管廻り防水処理) 塗膜防水(クロス入り)X-2	1箇所当り	0.216	m2/箇所	
	【床排水管工】				
	硬質塩化ビニル管布設工	φ50	2.0	m	
	硬質塩化ビニル管継手工	TS φ50	6	口	
	硬質塩化ビニル管切断工	φ50	3	口	
	【土工】				
	(浄水場車道) 舗装切断工	t=15cm以下	178	m	
	(浄水場車道) 舗装版掘削積込	t≤10cm	94	m2	
	(浄水場車道) 舗装版運搬工		5	m3	
	掘削工	0.28m3BH	258	m3	
	掘削土運搬処分	0.28m3BH	258	m3	
	埋戻工	管頂20cm迄 スクリーニングス 0.28m3BH	94	m3	
	埋戻工	管頂20cm以上 再生砕石 0.28m3BH	123	m3	
	軽量鋼矢板たて込み・撤去	H=2.0m	4.3	m	
	軽量鋼矢板たて込み・撤去	H=2.5m	19.4	m	
	軽量鋼矢板たて込み・撤去	H=3.0m	14.0	m	
	【支障物撤去工】				

連絡管

数量計算書

種 別	形状寸法	計 算 式	数 量
—資材費—			
【配管工】			
GX DIP 直管	GX形 S種 内面:粉体 φ400×6.0m	10 = 10	10 本
GX DIP 直管	GX形 1種 内面:粉体 φ400×6.0m	7 = 7	7 本
GX DIP 曲管	GX形 内面:粉体 φ400×45°	9 = 9	9 個
GX DIP 曲管	GX形 内面:粉体 φ400×22° 1/2	1 = 1	1 個
GX DIP 曲管	GX形 内面:粉体 φ400×11° 1/4	2 = 2	2 個
GX DIP 両受曲管	GX形 内面:粉体 φ400×45°	3 = 3	3 個
GX DIP 両受曲管	GX形 内面:粉体 φ400×22° 1/2	2 = 2	2 個
GX DIP 二受T字管	GX形 内面:粉体 φ400×φ400	1 = 1	1 個
GX DIP F付T字管	GX形 内面:粉体 φ400×φ75 F-10k GF	1 = 1	1 個
GX DIP 継ぎ輪	GX形 内面:粉体 φ400	6 = 6	6 個
GX DIP 短管1号	GX形 内面:粉体 φ400 F-10k GF	2 = 2	2 個
GX形 バタフライ弁	GX形 両受式 φ400 10k	2 = 2	2 基
ソフトシール仕切弁	F形 2F φ400 10k	1 = 1	1 基
鋳鉄管用割T字管	鋳鉄管用 1F 10k φ450×φ400	1 = 1	1 個
GX形 伸縮可とう管	GX形 U-U 200m/m沈下 φ400 SUSタイロッド付	1 = 1	1 個
GX形 伸縮可とう管	GX形 U-S 200m/m沈下 φ400 SUSタイロッド付	1 = 1	1 個
カムレバーロック式 急速空気弁	φ75 10k	1 = 1	1 基
補修弁	φ75 10k	1 = 1	1 基
GX DIP ライナ	GX形 内面:粉体 φ400	11 = 11	11 個
GX DIP 異形管接合材	GX形 φ400	36 = 36	36 個
GX DIP 挿口リング	GX形 φ400	28 = 28	28 個
GX形継ぎ輪用特殊押輪	φ400	10 = 10	10 個

種 別	形状寸法	計 算 式	数 量
フランジ接合補強具	φ400 LSP 10K	3 = 3	3 組
フランジ継手部補強金具	φ400 3DkN以上	3 = 3	3 組
フランジ接合補強具	φ75 LSP 10K	2 = 2	2 組
不断水簡易バルブ	鑄鉄管用 φ600	1 = 1	1 基
管理設標識シート			120.5 m
		起点～流入弁室 0.65+5.08+5.65+0.50 = 11.88	
		流入弁室～終点 0.50+5.10+4.85+15.08+43.47 +3.03+2.18+1.85+11.56+1.46+1.46 = 90.54	
		No.1分岐 15.46+2.06+0.51 = 18.03	
		合計 = 120.45	
ポリエチレンスリーブ	φ400		113.8 m
		起点～流入弁室 0.65+5.08+5.65+0.50 = 11.88	
		流入弁室～終点 0.50+5.10+4.85+15.08+43.47 +3.03+2.18+1.85+11.56+1.46+1.46 = 90.54	
		No.1分岐 15.46+2.06+0.51 = 18.03	
		防護Co控除 -((1.20+0.47+0.47+1.20)*2) = -6.68	
		合計 = 113.77	
管明示テープ	φ400	113.77*2.34/20 = 13.31	14 巻
仕切弁室(明石V型)	円形1号 H=640	1 = 1	1 基
仕切弁室(明石V型)	円形1号 H=1240	1 = 1	1 基
バタフライ弁室 (明石IV型・丸型)	円形3号 H=640	2 = 2	2 基
空気弁室 (明石IV型・丸型)	円形3号 H=940	1 = 1	1 基

種 別	形状寸法	計 算 式	数 量
【流入弁室配管工】			
① DIP 片フランジ管	外面:DD 内面:粉体 挿口GX形加工 φ 400 L=1.21m F-10k	= 1	1 個
② DIP 片フランジ管	外面:DD 内面:粉体 挿口GX形加工 φ 400 L=1.21m F-10k	= 1	1 個
③ NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ 400 L=1.20m	= 1	1 個
④ NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ 400 L=2.00m	= 1	1 個
⑤ NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ 300 L=2.00m	= 3	3 個
⑥ NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ 300 L=0.779m	= 1	1 個
⑦ NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ 200 L=0.50m	= 1	1 個
⑧ NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ 200 L=0.40m	= 1	1 個
⑨ NCP ネックフランジT字管	3F ネックフランジ 10k φ 400 × φ 300 L=0.77m H=0.355m	= 2	2 個
⑩ NCP ネックフランジ片落管	2F ネックフランジ 10k φ 400 × φ 200 L=0.372m	= 2	2 個
⑪ NCP ネックフランジ曲管	2F ネックフランジ 10k φ 300 × 90° L=0.465m	= 2	2 個
⑫ NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ 400 L=0.575m	= 1	1 個
⑬ NCP ネックフランジT字管	3F ネックフランジ 10k 下向き溶接 φ 300 × φ 40 L=1.30m H=0.35m	= 1	1 個
⑭ NCP 伸縮管	2F 10k φ 200 L=0.50m	= 1	1 個
⑰ バタフライ弁	2F 10k φ 400 手動 丸ハンドル付	= 1	1 基
⑱ バタフライ弁	2F 10k φ 300 手動 丸ハンドル付	= 2	2 基
⑲ ソフトシール仕切弁	2F 10k φ 200 丸ハンドル付	= 1	1 基
⑳ SUS製ボール弁	2F 10k φ 40	= 1	1 基
㉑ NCP ネックフランジT字管	3F ネックフランジ 10k 上向き溶接 φ 400 × φ 20 L=1.20m H=0.35m	= 1	1 個
㉒ NCP 両ネックフランジ管	2F ネックフランジ 10k φ 200 L=0.35m	= 1	1 個
㉓ SUS製ボール弁	2F 10k φ 20	= 1	1 基
㉔ HIVP管	【床排水管工】から流用 φ 50 L=1.12m	= 1	1 個

連絡管

数量計算書

種 別	形状寸法	計 算 式	数 量
－労務費－			
【配管工】			
鋳鉄管吊込み据付工	機械 φ400		114.6 m
		起点～流入弁室 0.65+5.08+5.65 = 11.38	
		流入弁室～終点 5.10+4.85+15.08+43.47 +3.03+2.18+1.85+11.56+1.46+1.46 = 90.04	
		No.1分岐 15.46+2.06+0.51 = 18.03	
		仕切弁、伸縮可とう管、割T字控除 -(0.50*2+0.47+1.29+1.68+0.40) = -4.84	
		合計 = 114.61	
鋳鉄管継手工	GX形 直管 φ400	10+7 = 17	17 口
鋳鉄管継手工	GX形 異形管 φ400	36 = 36	36 口
鋳鉄管継手工	K形 特殊押輪 φ400	GX形継ぎ輪用特殊押輪・・・K形 特殊押輪 歩掛 10 = 10	10 口
鋳鉄管切断・溝切加工	GX形 φ400	20 = 20	20 口
鋳鉄管溝切加工	GX形 φ400	8 = 8	8 口
鋳鉄管継手挿し口加工	GX形 φ400	28 = 28	28 口
フランジ継手工	10k φ400	1組(不断水連絡工を含む) 3-1 = 2	2 組
フランジ継手工	10k φ75	2 = 2	2 組
バタフライ弁設置工	機械 φ400	2 = 2	2 基
空気弁設置工	機械 φ75	1 = 1	1 基
仕切弁室設置工	円形1号 H=640	1 = 1	1 基
仕切弁室設置工	円形1号 H=1240	1 = 1	1 基
バタフライ弁室設置工	円形3号 H=640	2 = 2	2 基
空気弁室設置工	円形3号 H=940	1 = 1	1 基
ダクタイトル鋳鉄製 伸縮可とう管設置工	φ400 U-U	1 = 1	1 個

種 別	形状寸法	計 算 式	数 量
架台コンクリート	24-12-20BB		1.8 m ³
		架台番号① (1箇所) ((0.62*0.65*0.485) +(0.62*0.53*0.42-0.15*0.53*0.05))*1 = 0.33	
		架台番号② (1箇所) (0.52*0.50*0.525)*1 = 0.14	
		架台番号③ (1箇所) ((0.52*0.20*0.58)+(0.52*0.55*0.525))*1 = 0.21	
		架台番号④ (1箇所) (0.72*0.68*0.34-0.20*0.68*0.05)*1 = 0.16	
		架台番号⑤ (1箇所) (0.72*0.30*0.41)*1 = 0.09	
		架台番号⑥ (1箇所) ((0.62*0.65*0.485)+(0.62*0.53*0.42-0.15*0.53*0.05) +(0.72*0.65*0.34-0.20*0.65*0.05))*1 = 0.48	
		架台番号⑦ (4箇所) (0.62*0.30*0.529)*4 = 0.39	
		合計 = 1.80	
型枠工			11.4 m ²
		架台番号① (1箇所) (((0.62*2+0.65*2)*0.485) +(0.53*2*0.42+0.53*2*0.05))*1 = 1.7	
		架台番号② (1箇所) ((0.52*2*0.50*2)*0.525)*1 = 0.5	
		架台番号③ (1箇所) (((0.52*2+0.20*2)*0.525)+(0.55*2*0.525))* 1 = 1.3	
		架台番号④ (1箇所) ((0.72*2+0.68*2)*0.34+0.68*2*0.05 -0.20*0.05*2)*1 = 1.0	
		架台番号⑤ (1箇所) ((0.72*2+0.30*2)*0.41)*1 = 0.8	
		架台番号⑥ (1箇所) (((0.62*2+0.65*2)*0.485)+(0.53*2*0.42+0. 53*2*0.05)+(0.65*2*0.34))*1 = 2.2	
		架台番号⑦ (4箇所) ((0.62*2+0.30*2)*0.529)*4 = 3.9	
		合計 = 11.4	
(材工共) 鉄筋	D13 SD345	0.099 = 0.099	0.099 t
(材工共) 差し筋アンカー	D13 L=600	148 = 148	148 本
(材工共) φ400鋼管用支持金具	SUS304製 φ400鋼管用 Uバンド 合成ゴム板 樹脂アンカー	4 = 4	4 箇所
(材工共) φ300鋼管用支持金具	SUS304製 φ300鋼管用 Uバンド 合成ゴム板 樹脂アンカー	4 = 4	4 箇所
(材工共) φ200鋼管用支持金具	SUS304製 φ200鋼管用 Uバンド 合成ゴム板 樹脂アンカー	1 = 1	1 箇所

種 別	形状寸法	計 算 式	数 量
【土工】			
(浄水場車道) 舗装切断工	t=15cm以下		178 m
		SP=49.57～SP=132.74(2条 L=83.17m) 83.17*2 = 166.34	
		SP=132.74～SP=137.24(2条 L=4.50m 小口L=2.50m) 4.50*2+2.50 = 11.50	
		No.1分岐工 SP=0.00～SP=2.00(2条 L=2.00m) 2.00*2 = 4.00	
		側溝等控除 -(1.15*2+0.46*2+0.46*2) = -4.14	
		合計 = 177.70	
(浄水場車道) 舗装版掘削積込	t≤10cm		94 m ²
		SP=49.57～SP=132.74(B=1.00m L=83.17m) 1.00*83.17 = 83.17	
		SP=132.74～137.24(B=2.50m L=4.50m) 2.50*4.50 = 11.25	
		No.1分岐工 SP=0.00～2.00(B=1.00m L=2.00m) 1.00*2.00 = 2.00	
		側溝等控除 -(1.00*1.15+1.00*0.46+1.00*0.46) = -2.07	
		合計 = 94.35	
(浄水場車道) 舗装版運搬工		t=5cm 94.35*0.05 = 4.72	5 m ³
掘削工	0.28m3BH		257.5 m ³
		土工B 1.00*1.51*10.17 = 15.4	
		土工A-1 1.00*1.27*1.70 = 2.2	
		土工A-2 1.00*1.54*86.77 = 133.6	
		土工A-3 1.00*1.35*17.88 = 24.1	
		床排水管工区間 1.00*0.44*2.06 = 0.9	
		割T字管設置部 (2.50*4.50*2.70)-(0.4768 ² *3.14/4*2.50) = 29.9	

種 別	形状寸法	計 算 式	数 量
		ストッパー設置部 $((4.55*5.70)+(3.20*3.00))/2*2.70$ $-(0.6308^2*3.14/4*3.70)+(1.50*1.80*0.20) = 47.4$	
		継手堀 $1.00*0.50*0.80*10 = 4.0$	
		合計 = 257.5	
掘削土運搬処分	0.28m3BH	257.5 = 257.5	257.5 m3
埋戻工	管頂20cm迄 スクリーニングス 0.28m3BH		93.5 m3
		土工B $(1.00*0.626*10.17)$ $-(0.4256^2*3.14/4*10.17) = 4.9$	
		土工A-1 $(1.00*0.626*1.70)$ $-(0.4256^2*3.14/4*1.70) = 0.8$	
		土工A-2 $(1.00*0.626*86.77)$ $-(0.4256^2*3.14/4*86.77) = 42.0$	
		土工A-3 $(1.00*0.626*17.88)$ $-(0.4256^2*3.14/4*17.88) = 8.7$	
		床排水管工区間 $(1.00*0.26*2.06)$ $-(0.06^2*3.14/4*2.50) = 0.5$	
		割T字管設置部 $(2.50*4.50*1.16)-(0.4256^2*3.14/4*3.50)$ $-(0.4768^2*3.14/4*2.50) = 12.1$	
		ストッパー設置部 $((4.55*5.70)+(3.20*3.00))/2*1.22$ $-(0.6308^2*3.14/4*3.70) = 20.5$	
		継手堀 $1.00*0.50*0.80*10 = 4.0$	
		合計 = 93.5	
埋戻工	管頂20cm以上 再生砕石 0.28m3BH		122.8 m3
		土工B $(1.00*(1.51-0.626)*10.17)$ $-(0.4256^2*3.14/4*10.17) = 7.5$	
		土工A-1 $(1.00*(1.27-0.626)*1.70)$ $-(0.4256^2*3.14/4*1.70) = 0.9$	
		土工A-2 $(1.00*(1.44-0.626)*86.77)$ $-(0.4256^2*3.14/4*86.77) = 58.3$	
		土工A-3 $(1.00*(1.34-0.626)*17.88)$ $-(0.4256^2*3.14/4*17.88) = 10.2$	
		床排水管工区間 $(1.00*(0.44-0.26)*2.06)$ $-(0.06^2*3.14/4*2.50) = 0.4$	

架台コンクリート鉄筋重量計算

架台番号 1

1 基

名称	材質	鉄筋径 (mm)	実長 (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	重量	単位	備考
横	SD345	D13	520	16	0.995	8.3	kg	
横	SD345	D13	550	8	0.995	4.4	kg	
横	SD345	D13	430	8	0.995	3.4	kg	
差し筋アンカー	D13 L=600	D13	600	24	0.995	14.3	kg	
鉄筋(材工共)計	SD345					16.1	kg	1基当り
差し筋アンカー(材工共)計	D13 L=600					24	本	1基当り
鉄筋(材工共)合計	SD345 D13					0.016	t	1基
差し筋アンカー(材工共)合計	D13 L=600					24	本	1基

架台番号 2

1 基

名称	材質	鉄筋径 (mm)	実長 (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	重量	単位	備考
横	SD345	D13	420	9	0.995	3.8	kg	
横	SD345	D13	400	10	0.995	4.0	kg	
差し筋アンカー	D13 L=600	D13	600	10	0.995	6.0	kg	
鉄筋(材工共)計	SD345					7.8	kg	1基当り
差し筋アンカー(材工共)計	D13 L=600					10	本	1基当り
鉄筋(材工共)合計	SD345 D13					0.008	t	1基
差し筋アンカー(材工共)合計	D13 L=600					10	本	1基

架台番号 3

1 基

名称	材質	鉄筋径 (mm)	実長 (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	重量	単位	備考
横	SD345	D13	420	18	0.995	7.5	kg	
横	SD345	D13	100	10	0.995	1.0	kg	
横	SD345	D13	450	10	0.995	4.5	kg	
差し筋アンカー	D13 L=600	D13	600	20	0.995	11.9	kg	
鉄筋(材工共)計	SD345					13.0	kg	1基当り
差し筋アンカー(材工共)計	D13 L=600					20	本	1基当り
鉄筋(材工共)合計	SD345 D13					0.013	t	1基
差し筋アンカー(材工共)合計	D13 L=600					20	本	1基

架台番号 4

1 基

名称	材質	鉄筋径 (mm)	実長 (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	重量	単位	備考
横	SD345	D13	580	7	0.995	4.0	kg	
横	SD345	D13	620	6	0.995	3.7	kg	
差し筋アンカー	D13 L=600	D13	600	14	0.995	8.4	kg	
鉄筋(材工共)計	SD345					7.7	kg	1基当り
差し筋アンカー(材工共)計	D13 L=600					14	本	1基当り
鉄筋(材工共)合計	SD345 D13					0.008	t	1基
差し筋アンカー(材工共)合計	D13 L=600					14	本	1基

架台番号 5

1 基

名称	材質	鉄筋径 (mm)	実長 (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	重量	単位	備考
横	SD345	D13	200	9	0.995	1.8	kg	
横	SD345	D13	620	6	0.995	3.7	kg	
差し筋アンカー	D13 L=600	D13	600	10	0.995	6.0	kg	
鉄筋(材工共)計	SD345					5.5	kg	1基当り
差し筋アンカー(材工共)計	D13 L=600					10	本	1基当り
鉄筋(材工共)合計	SD345 D13					0.006	t	1基
差し筋アンカー(材工共)合計	D13 L=600					10	本	1基

架台番号 6

1 基

名称	材質	鉄筋径 (mm)	実長 (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	重量	単位	備考
横	SD345	D13	520	16	0.995	8.3	kg	
横	SD345	D13	550	15	0.995	8.2	kg	
横	SD345	D13	430	8	0.995	3.4	kg	
横	SD345	D13	620	6	0.995	3.7	kg	
差し筋アンカー	D13 L=600	D13	600	38	0.995	22.7	kg	
鉄筋(材工共)計	SD345					23.6	kg	1基当り
差し筋アンカー(材工共)計	D13 L=600					38	本	1基当り
鉄筋(材工共)合計	SD345 D13					0.024	t	1基
差し筋アンカー(材工共)合計	D13 L=600					38	本	1基

架台番号 7

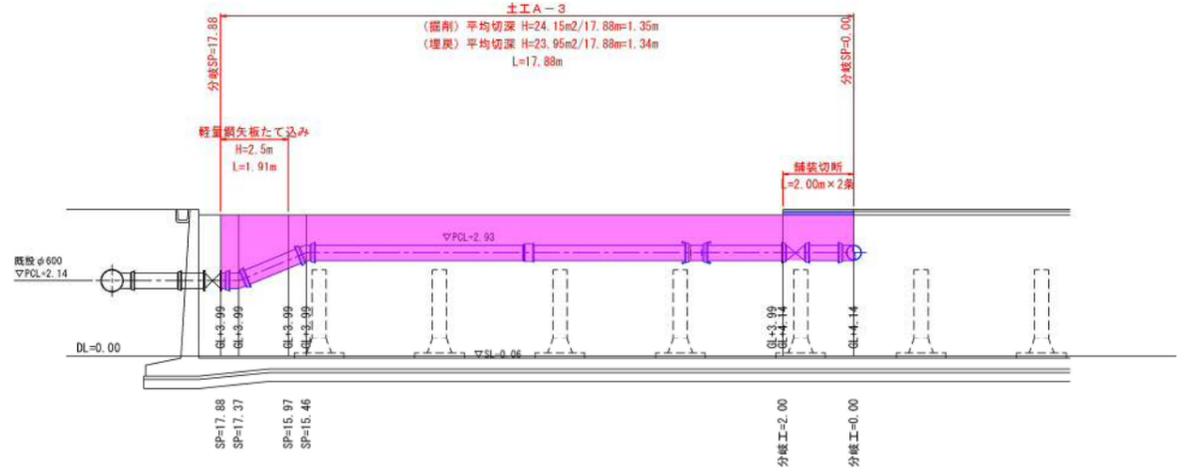
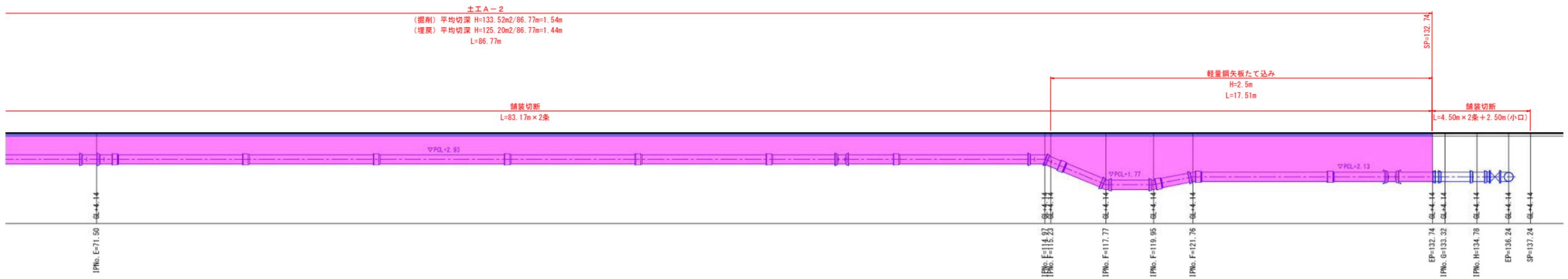
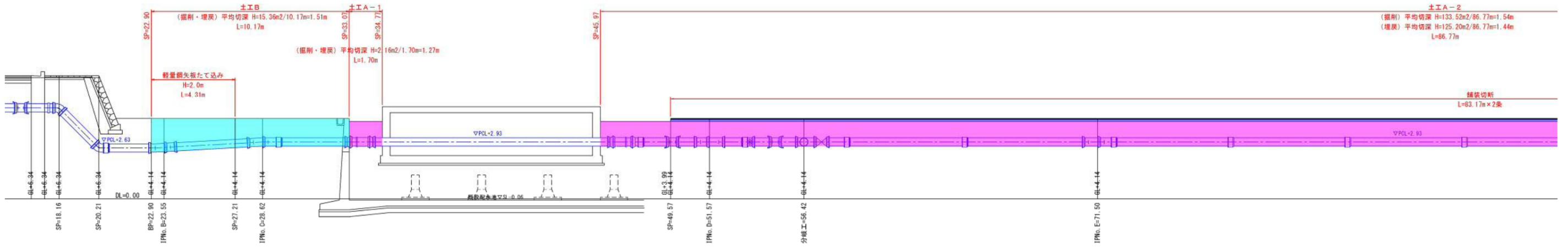
4 基

名称	材質	鉄筋径 (mm)	実長 (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	重量	単位	備考
横	SD345	D13	200	10	0.995	2.0	kg	
横	SD345	D13	520	8	0.995	4.1	kg	
差し筋アンカー	D13 L=600	D13	600	8	0.995	4.8	kg	
鉄筋(材工共)計	SD345					6.1	kg	1基当り
差し筋アンカー(材工共)計	D13 L=600					8	本	1基当り
鉄筋(材工共)合計	SD345 D13					0.024	t	4基
差し筋アンカー(材工共)合計	D13 L=600					32	本	4基

合計

鉄筋(材工共)合計	SD345 D13					0.099	t	
差し筋アンカー(材工共)合計	D13 L=600					148	本	

算出基礎図



工事数量集計表

【工事区分】・工種・種別・細別	規格	単位	計	摘要
基礎工				
基面整正		m ²	53	
均しコンクリート	18-12-20BB	m ³	6	
同上型枠	均し	m ²	5	
躯体工				
鉄筋コンクリート	24-12-20BB	m ³	57	
同上型枠	一般	m ²	191	
同上型枠	円形	m ²	3	
鉄筋	SD345 D16	t	5.51	
鉄筋	SD345 D13	t	0.30	
膨張止水材		m	29.2	
勾配コンクリート	18-12-20BB	m ³	5	
同上型枠	一般	m ²	0.1	
金コテ押え		m ²	31	
仮設工				
足場	枠組 H≦30m	掛m ²	115	
支保	パイプサポート H≦4m 40kN/m ² 以下	空m ³	78	
附帯設備工				
マンホール蓋	φ 600 鋳鉄製 防水型 T-2	箇所	2	
搬入開口蓋	□2000×6000用 FRP製	箇所	1	
通風塔	φ 150 SUS製 防虫網付き	箇所	2	
足掛金物	B300 @300 芯材 φ 19 SUS製ポリプロピレン被覆	箇所	20	
階段工				
基面整正		m ²	0.7	
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m ²	0.7	
均しコンクリート	18-12-20BB	m ³	0.03	
同上型枠	均し	m ²	0.1	
コンクリート	18-12-20BB	m ³	0.2	
同上型枠	一般	m ²	0.9	
モルタル上塗り	t=20 1:3	m ²	1.3	
既設構造物撤去工				
ウォールソー	t=250~350	m	4.4	
コンクリートカッター	t=20	m	12.8	
コンクリート取壊し	鉄筋	m ³	2	
ガラ運搬処分	鉄筋Co	m ³	2	

工 事 数 量 集 計 表

【工事区分】・工種・種別・細別	規格	単位	計	摘要
支障物撤去工				
舗装版切断	As・t=5cm	m	40	
舗装版破砕	As・t=5cm ※管路土工計上分を除く	m ²	977	
ガラ運搬処分	As	m ³	49	
※ 縁石撤去	歩車道境界ブロックB型	m		
※ 側溝①撤去	道路用鉄筋コンクリート側溝 250	m		
※ 側溝②撤去	鉄筋コンクリートU形 180	m		
車止め撤去		箇所	30	
側溝③撤去	鉄筋コンクリートU形 360A	m	17.4	
コンクリート取壊し	鉄筋	m ³	1	側溝③
ガラ運搬処分	鉄筋Co	m ³	1	側溝③
コンクリート取壊し	無筋	m ³	0.5	側溝③・車止め
ガラ運搬処分	無筋Co	m ³	0.5	側溝③・車止め
張芝撤去(すきとり)		m ³	8	
残土処分		m ³	8	
中木撤去	H=3.0～3.5m	本	3	
ガラ運搬処分	木材	m ³	0.2	
土工				
掘削土(流入弁室部)	砂質土	m ³	530	
埋戻土(流入弁室部)	再生砕石(RC-40) 最小埋戻幅4m以上	m ³	200	
埋戻土(流入弁室部)	発生土 最大埋戻幅1m以上4m未満	m ³	180	
盛土(張芝復旧部)	発生土 最小埋戻幅4m以上	m ³	8	
タンパ締固め		m ³	390	
残土		m ³	320	
支障物復旧工				
縁石復旧	(再利用)歩車道境界ブロックB型	m	1.0	単- 4
側溝①復旧	(再利用)道路用鉄筋コンクリート側溝 250	m	2.0	単- 5
側溝②復旧	(再利用)鉄筋コンクリートU形 180	m	1.0	単- 6
側溝③復旧	鉄筋コンクリートU形 360A	m	17.4	単- 7
車止め復旧	後付けタイプ 190×110×600 アンカー含む	箇所	18	
張芝復旧		m ²	75	
舗装復旧工				
アスファルト舗装①	下層路盤(再生砕石) t=20cm	m ²	109	単- 1
	上層路盤(粒調砕石) t=10cm	m ²	109	〃
	表層(再生密粒度As) t=5cm	m ²	109	〃
アスファルト舗装②	上層路盤(粒調砕石) t=10cm	m ²	96	単- 2
	表層(再生密粒度As) t=5cm	m ²	96	〃
アスファルト舗装③	不陸整正(補充材:粒調砕石) t=2cm	m ²	820	単- 3
	表層(再生密粒度As) t=5cm	m ²	820	〃
区画線復旧		m	63	
※ 管路土工にて計上。				

数 量 計 算 書

*** 躯体工 ***

細別・規格	区分・算式		単位	数量	備考
鉄筋コンクリート					
24-12-20BB	底版	$4.40 \times 0.40 \times 11.40$		20.06	
	//ピット部	$1.40 \times 1.40 \times 0.40$		0.78	
	//ピット部	$-0.50 \times 0.50 \times 0.40$		-0.10	
	壁	$0.40 \times 2.20 \times (11.20 + 3.40) \times 2$		25.70	
	//箱抜き	$-1/4 \times \pi \times 0.60^2 \times 0.40 \times 2$		-0.23	
	//	$-0.40 \times 0.30 \times 0.40 \times 2$		-0.10	
	//	$-1/4 \times \pi \times 0.25^2 \times 0.40$		-0.02	
	上床版	$4.20 \times 0.30 \times 11.20$		14.11	
	搬入開口	$-2.00 \times 6.00 \times 0.30$		-3.60	
	人孔	$-1/4 \times \pi \times 0.60^2 \times 0.30 \times 2$		-0.17	
	立上り	$0.45 \times 0.45 \times 0.15 \times 2$		0.06	
	//	$0.20 \times 0.20 \times (6.40 + 2.00) \times 2$		0.67	
				合計	
			m ³	57.16	
同上型枠					
一般	底版	$(4.40 + 11.40) \times 2 \times 0.40$		12.64	
	//ピット部外	$1.40 \times 0.40 \times 2$		1.12	
	//ピット部内	$0.50 \times 0.40 \times 4$		0.80	
	壁外	$(4.20 + 11.20) \times 2 \times 2.20$		67.76	
	壁内	$(3.40 + 10.40) \times 2 \times 2.20$		60.72	
	//箱抜き	$-1/4 \times \pi \times 0.60^2 \times 2 \times 2$		-1.13	
	//	$-0.40 \times 0.30 \times 2 \times 2$		-0.48	
	//	$(0.40 + 0.30) \times 2 \times 0.40 \times 2$		1.12	
	//	$-1/4 \times \pi \times 0.25^2 \times 2$		-0.10	
	上床版外	$(4.20 + 11.20) \times 2 \times 0.30$		9.24	
	上床版内	3.40×10.40		35.36	
	//	-2.00×6.00		-12.00	
	//	$(2.00 + 6.00) \times 2 \times 0.30$		4.80	
	//	$-1/4 \times \pi \times 0.60^2 \times 2$		-0.57	
				小計	
			m ²	179.28	

数 量 計 算 書

*** 躯体工 ***

細別・規格	区分・算式		単位	数量	備考
同上型枠 一般	上床版内	$-1/4 \times \pi \times 0.15^2 \times 2$	-0.04		
	立上り	$(2.40 + 6.40) \times 2 \times 0.20$	3.52		
	〃	$(2.00 + 6.00) \times 2 \times (0.30 + 0.20)$	8.00		
	〃	$0.45 \times 0.15 \times 4 \times 2$	0.54		
				m ²	小計 12.02
			m ²	合計 191.30	
円形	管廻り	$0.60 \times \pi \times 0.40 \times 2$	1.51		
	〃	$0.25 \times \pi \times 0.40$	0.31		
	人孔	$0.60 \times \pi \times 0.30 \times 2$	1.13		
			m ²	合計 2.95	
鉄筋					
SD345 D16	配筋図より	5506	kg	5506	
			t	5.51	
鉄筋					
SD345 D13	配筋図より	296	kg	296	
			t	0.30	
膨張止水材					
		$3.40 \times 2 + 10.40 \times 2 + 0.40 \times 4$	29.20	m	29.20

数 量 計 算 書

*** 躯体工 ***

細別・規格	区分・算式		単位	数量	備考
勾配コンクリート					
18-8-40BB	平面積	$3.40 \times 10.40 - 0.50 \times 0.50$		35.11	
	受台①控除	-0.62×1.18		-0.73	
	受台②控除	-0.50×0.52		-0.26	
	受台③控除	-0.75×0.52		-0.39	
	受台④控除	-0.68×0.72		-0.49	
	受台⑤控除	-0.30×0.72		-0.22	
	受台⑥控除	$-(0.65 \times 0.72 + 0.62 \times 1.18)$		-1.20	
	受台⑦控除	$-0.30 \times 0.62 \times 4$		-0.74	
	平面積合計			31.08	m ²
	体積	$31.08 \times 1 / 2 \times (0.10 + 0.20)$		4.66	m ³ 4.66
同上型枠					
一般		$0.50 \times 0.10 \times 2$		0.10	m ² 0.10
金コテ押え					
	平面積	$3.40 \times 10.40 - 0.50 \times 0.50$		35.11	
	受台①控除	-0.62×1.18		-0.73	
	受台②控除	-0.50×0.52		-0.26	
	受台③控除	-0.75×0.52		-0.39	
	受台④控除	-0.68×0.72		-0.49	
	受台⑤控除	-0.30×0.72		-0.22	
	受台⑥控除	$-(0.65 \times 0.72 + 0.62 \times 1.18)$		-1.20	
	受台⑦控除	$-0.30 \times 0.62 \times 4$		-0.74	
					合計
				m ²	31.08

数量計算書

*** 支障物撤去工 ***

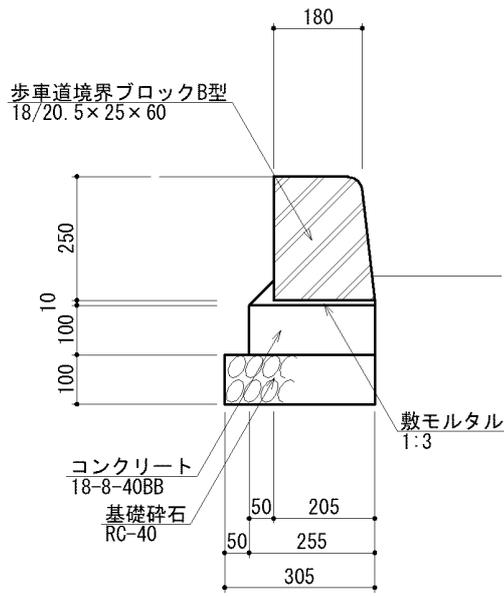
細別・規格	区分・算式		単位	数量	備考
舗装版切断 As・t=5cm		6.6+7.3+26.0	39.90	m	39.90
舗装版破碎 As・t=5cm		155.8+234.2+330.0+201.9+54.8	976.70	m ²	976.70
ガラ運搬処分 As	t=5cm	976.70×0.05	48.83	m ²	48.83
車止め撤去		6+6+18	30.00	箇所	30.00
側溝③撤去 360A			17.40	m	17.40
コンクリート取壊し 鉄筋	側溝③	0.064×17.40	1.11	m ³	1.11
ガラ運搬処分 鉄筋Co		〃	1.11	m ³	1.11
コンクリート取壊し 無筋	側溝③	0.36×0.03×17.40	0.19		
	車止め	0.018×0.60×30	0.32		
				合計	
				m ³	0.51
ガラ運搬処分 無筋Co		〃	0.51	m ³	0.51
張芝撤去(すきとり)	t=10cm	75.1×0.10	7.51	m ³	7.51
残土処分		〃	7.51	m ³	7.51
中木撤去 H=3.0~3.5m			3.00	本	3.00
ガラ運搬処分 木材	H=3.0m φ130	$1/4 \times \pi \times 0.13^2 \times 3.0 \times 2$	0.0796	m ³	
	H=3.5m φ200	$1/4 \times \pi \times 0.20^2 \times 3.5$	0.1099	m ³	
				合計	
				m ³	0.19

数量計算書

*** 土工 ***

細別・規格	区分・算式	単位	数量	備考
掘削土(流入弁室部)				
砂質土	$35.14 \times 1/2 \times (14.10 + 16.175)$		531.93	
	控除 既設柱 $-1.40 \times 1.40 \times 0.15 \times 8$		-2.35	
	〃 $-1/2 \times (0.70 \times 0.70 + 0.40 \times 0.40) \times 0.40 \times 8$		-1.04	
	〃 $-0.40 \times 0.40 \times 1.95 \times 8$		-2.50	
				合計
		m ³	526.04	
埋戻土(流入弁室部)				
再生砕石(RC-40)	$14.22 \times 1/2 \times (14.10 + 15.00)$		206.90	
最大埋戻幅4m以上				
	控除 既設柱 $-1.40 \times 1.40 \times 0.15 \times 8$		-2.35	
	〃 $-1/2 \times (0.70 \times 0.70 + 0.40 \times 0.40) \times 0.40 \times 8$		-1.04	
	〃 $-0.40 \times 0.40 \times 0.75 \times 8$		-0.96	
				合計
		m ³	202.55	
埋戻土(流入弁室部)				
発生土	$18.10 \times 1/2 \times (15.00 + 16.025)$		280.78	
最大埋戻幅1m以上				
4m未満	控除 均しコン $-4.60 \times 0.10 \times 11.60$		-5.34	
	控除 底版 $-4.40 \times 0.40 \times 11.40$		-20.06	
	控除 躯体 $-4.20 \times 1.55 \times 11.20$		-72.91	
	緑色部 $1/2 \times (0.27 + 0.35) \times 1.36 \times 1.00$		0.42	
	控除 配管 $-1/4 \times \pi \times 0.426^2 \times (2.70 + 2.02)$		-0.67	
	〃 $-1/4 \times \pi \times 0.426^2 \times (2.70 + 11.20 + 1.70)$		-2.22	
				合計
		m ³	180.00	
盛土(張芝復旧部)				
発生土	75.1×0.10	m ³	7.51	
最大埋戻幅4m以上				
タンパ締固め				
	埋戻(購入土)		202.55	
	埋戻(発生土)		180.00	
	盛土(発生土)		7.51	
		m ³	合計	
			390.06	

縁石復旧

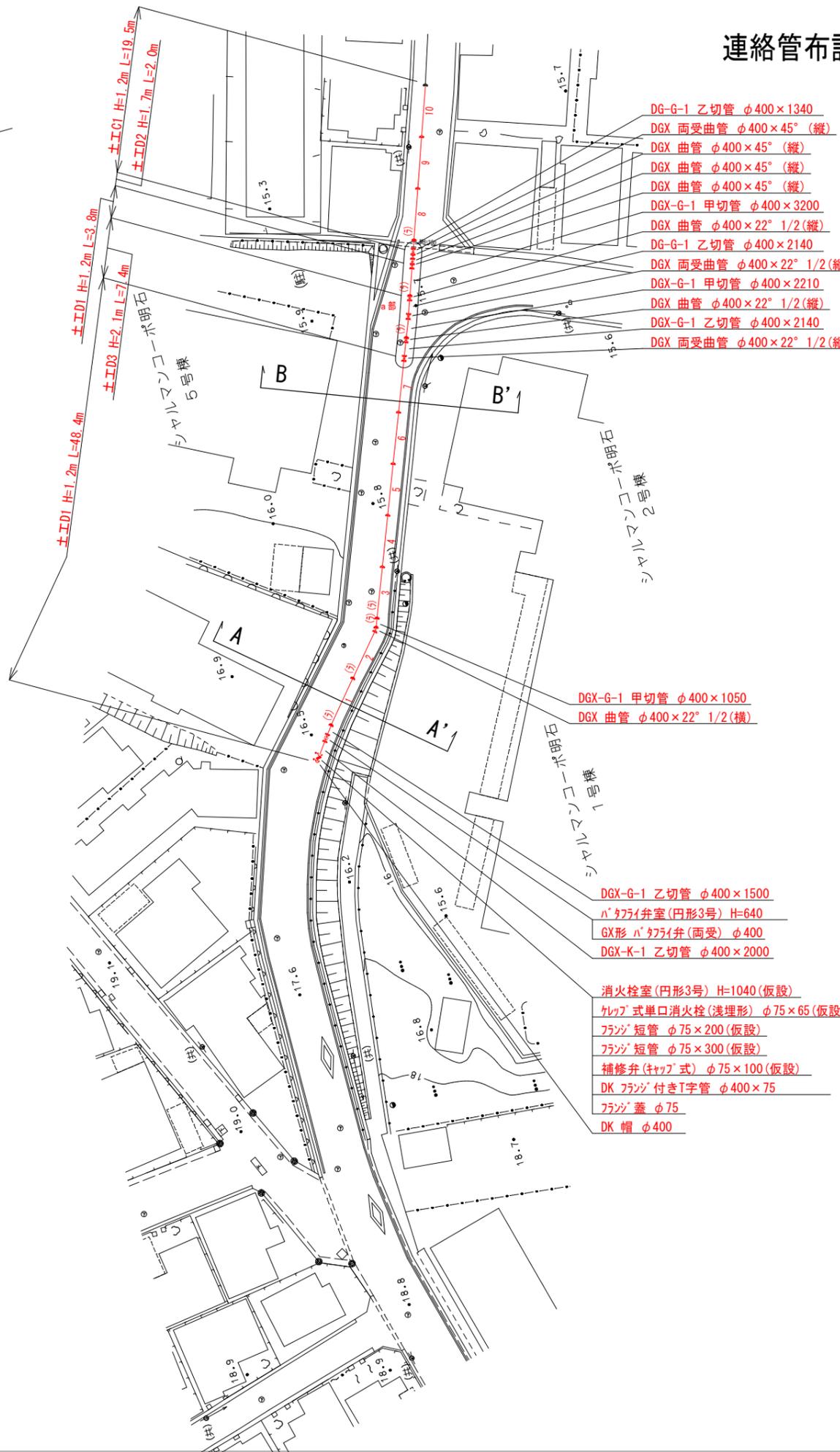


細別・規格	区分・算式	単位	数量	備考
基面整正 基礎砕石				
RC-40 t=10cm	0.305×10.0	m^2	3.05	
コンクリート				
18-8-40BB	$0.255 \times 0.10 \times 10.0$	m^3	0.26	
型枠				
一般	$0.10 \times 2 \times 10.0$	m^2	2.00	
歩車道境界ブロック				
B型	$10.0 / 0.60$	個	16.67	66kg/個
18/20.5×25×60				

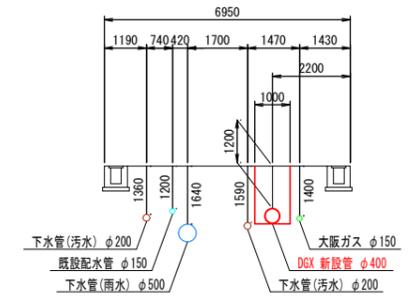
連絡管布設平面図(その1) S=1/300

連絡管布設工計 L= 808.2m

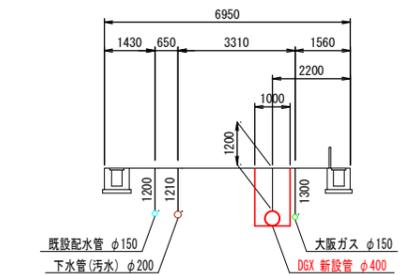
位置図 S = 1/ 5000



B-B' 断面図 S=1/100



A-A' 断面図 S=1/100

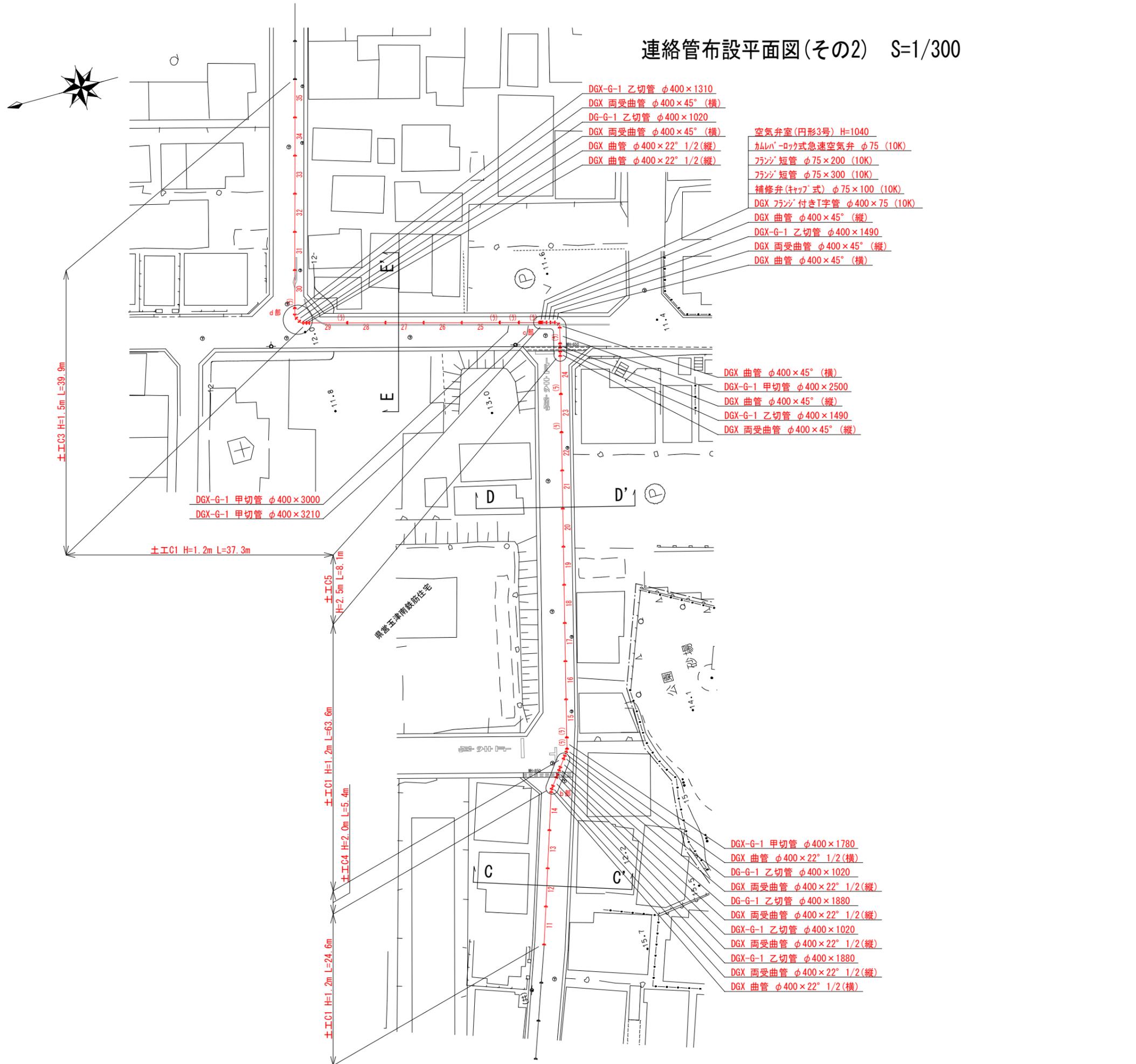
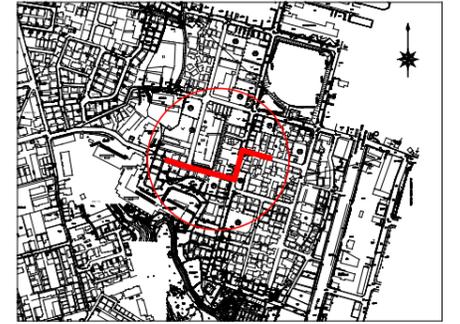


※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

図番	1/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	連絡管布設平面図(その1)・位置図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

連絡管布設平面図(その2) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000



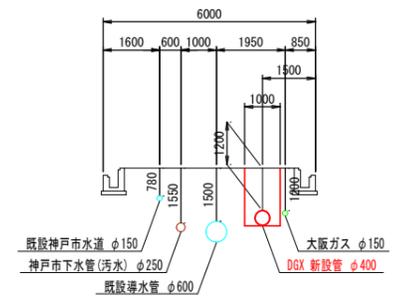
- DGX-G-1 乙切管 φ400×1310
- DGX 両受曲管 φ400×45° (横)
- DG-G-1 乙切管 φ400×1020
- DGX 両受曲管 φ400×45° (横)
- DGX 曲管 φ400×22° 1/2 (縦)
- DGX 曲管 φ400×22° 1/2 (縦)
- 空気弁室(円形3号) H=1040
- カムバ-ロック式急速空気弁 φ75 (10K)
- フランジ短管 φ75×200 (10K)
- フランジ短管 φ75×300 (10K)
- 補修弁(キップ式) φ75×100 (10K)
- DGX フランジ付きT字管 φ400×75 (10K)
- DGX 曲管 φ400×45° (縦)
- DGX-G-1 乙切管 φ400×1490
- DGX 両受曲管 φ400×45° (縦)
- DGX 曲管 φ400×45° (横)

- DGX 曲管 φ400×45° (横)
- DGX-G-1 甲切管 φ400×2500
- DGX 曲管 φ400×45° (縦)
- DGX-G-1 乙切管 φ400×1490
- DGX 両受曲管 φ400×45° (縦)

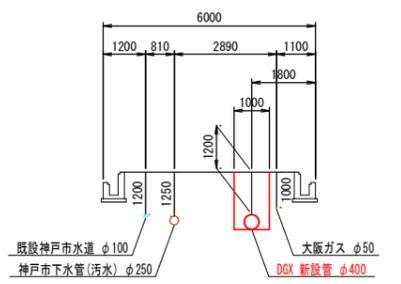
- DGX-G-1 甲切管 φ400×3000
- DGX-G-1 甲切管 φ400×3210

- DGX-G-1 甲切管 φ400×1780
- DGX 曲管 φ400×22° 1/2 (横)
- DG-G-1 乙切管 φ400×1020
- DGX 両受曲管 φ400×22° 1/2 (縦)
- DG-G-1 乙切管 φ400×1880
- DGX 両受曲管 φ400×22° 1/2 (縦)
- DGX-G-1 乙切管 φ400×1020
- DGX 両受曲管 φ400×22° 1/2 (縦)
- DGX-G-1 乙切管 φ400×1880
- DGX 両受曲管 φ400×22° 1/2 (縦)
- DGX 曲管 φ400×22° 1/2 (横)

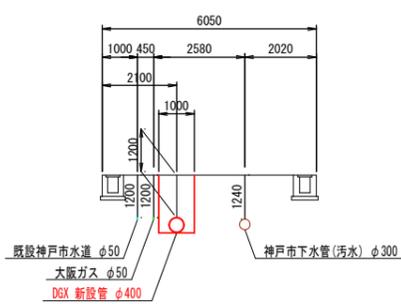
E-E' 断面図 S=1/100



D-D' 断面図 S=1/100



C-C' 断面図 S=1/100

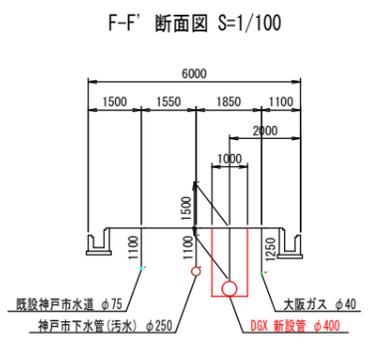
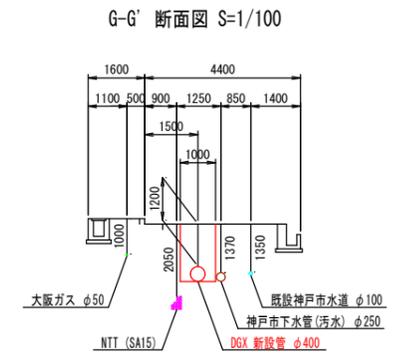
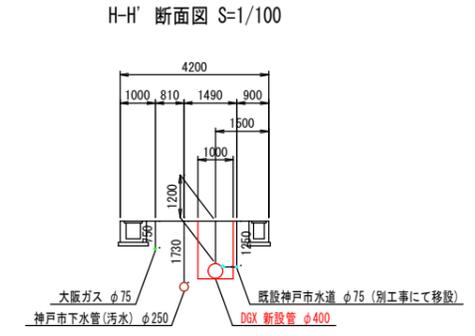
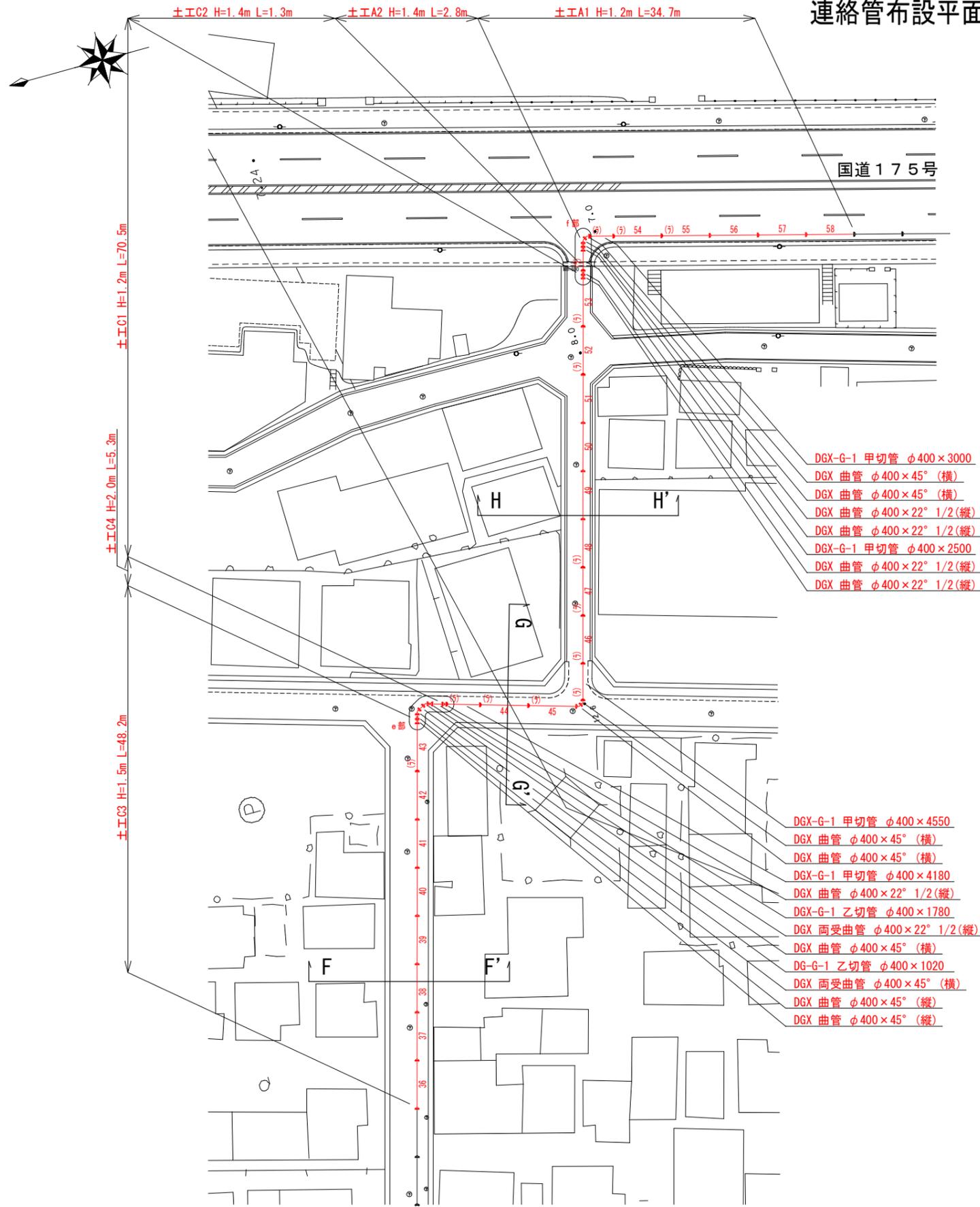


※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

図番	2/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	連絡管布設平面図(その2)・位置図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者	製図者		

連絡管布設平面図(その3) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000

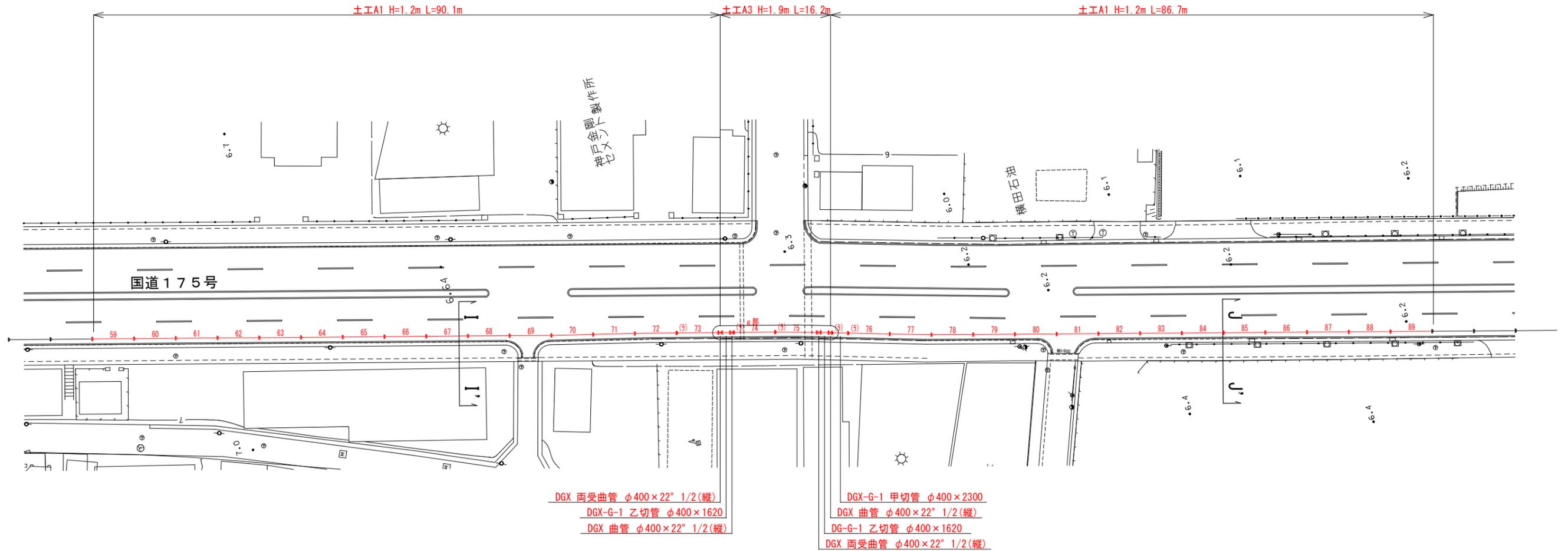


※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

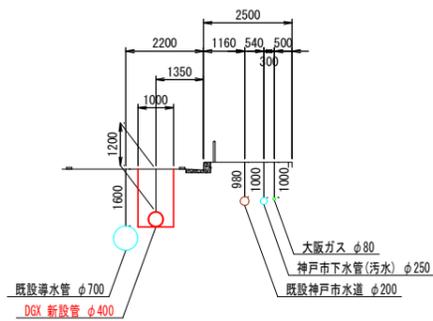
図番	3/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	連絡管布設平面図(その3)・位置図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	



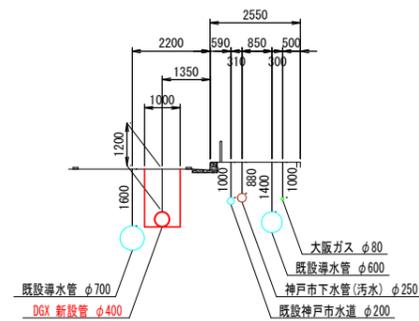
連絡管布設平面図(その4) S=1/300



I-I' 断面図 S=1/100



J-J' 断面図 S=1/100

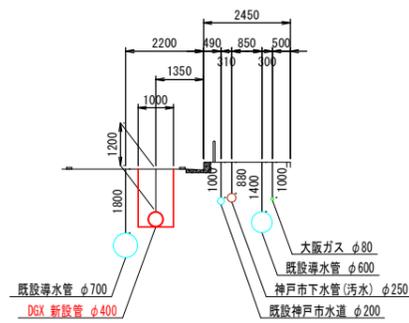
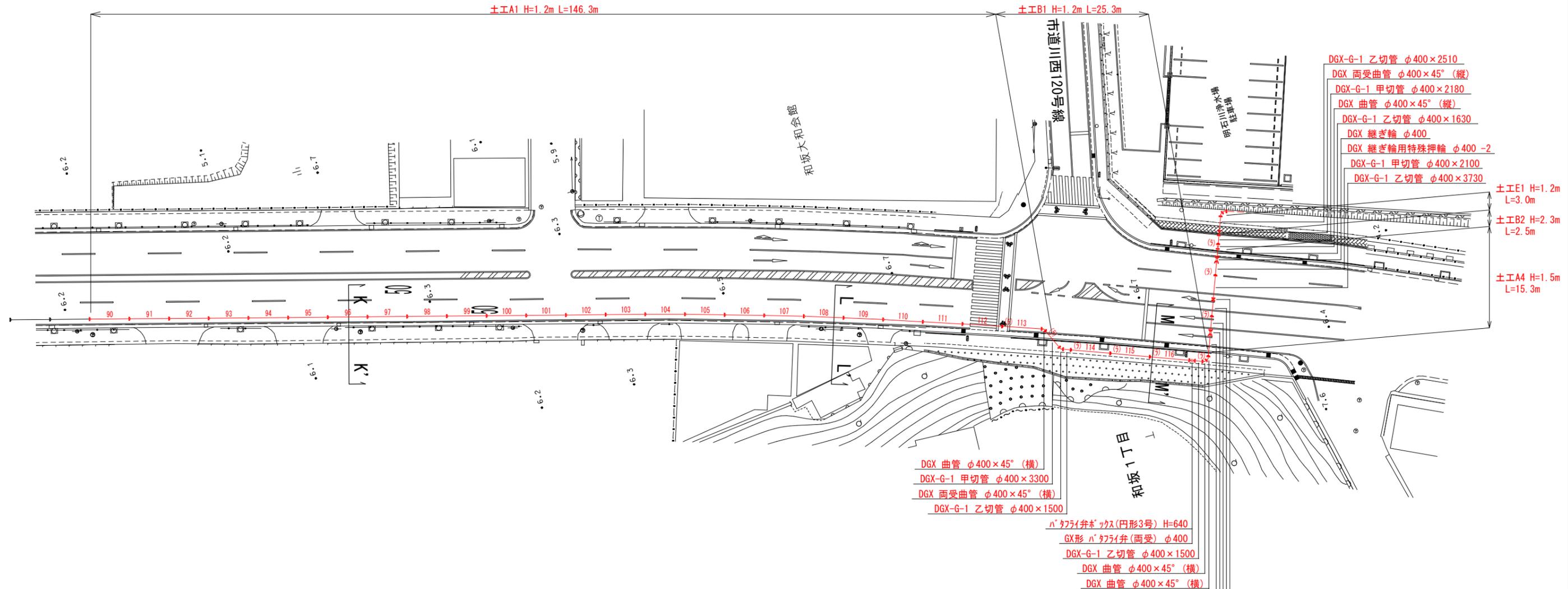


※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

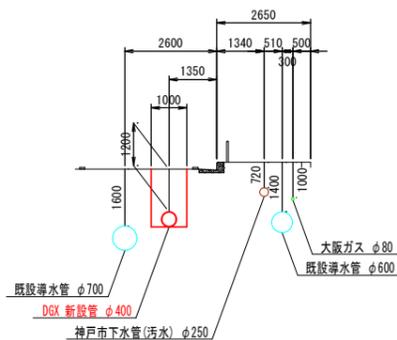
図番	4/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	連絡管布設平面図(その4)・位置図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

連絡管布設平面図(その5) S=1/300

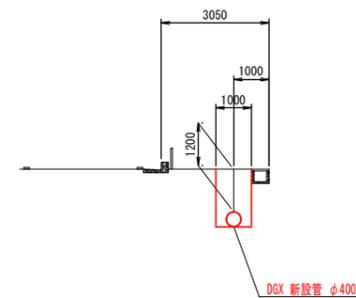
位置図 S = 1/5000



L-L' 断面図 S=1/100



M-M' 断面図 S=1/100

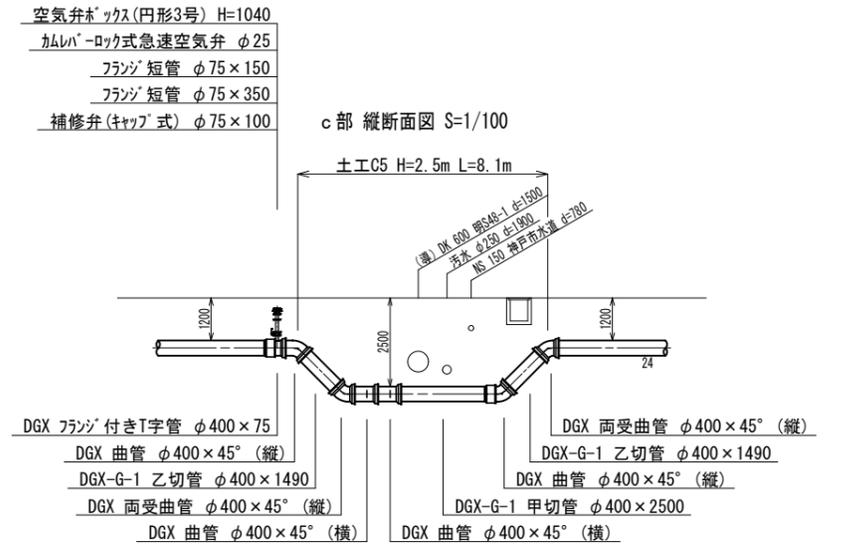
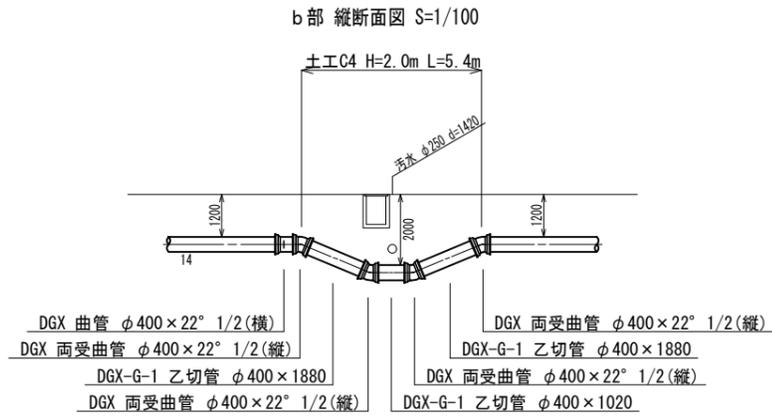
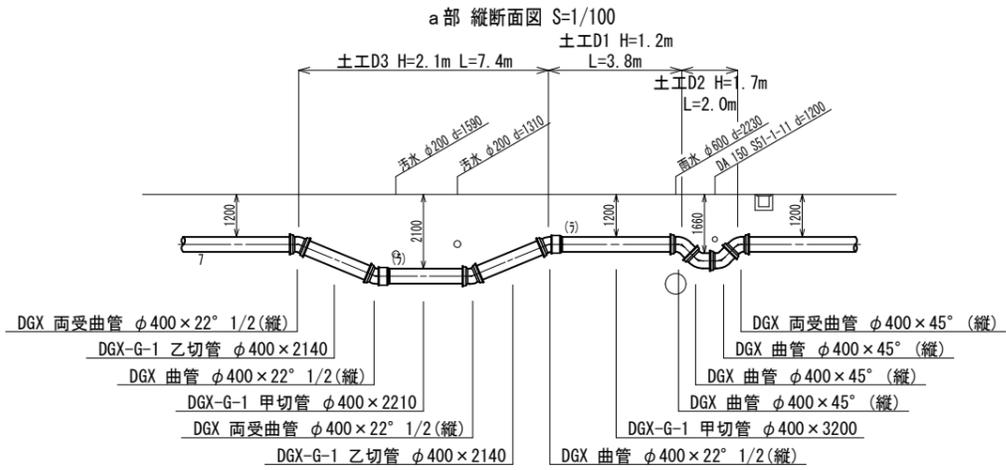


- DGX 両受短管 φ400
- DGX-G-1 甲切管 φ400×2400
- DGX-G-1 乙切管 φ400×2400
- DGX 継ぎ輪 φ400
- DGX 継ぎ輪用特殊押輪 φ400-2
- DGX-G-1 甲切管 φ400×3320

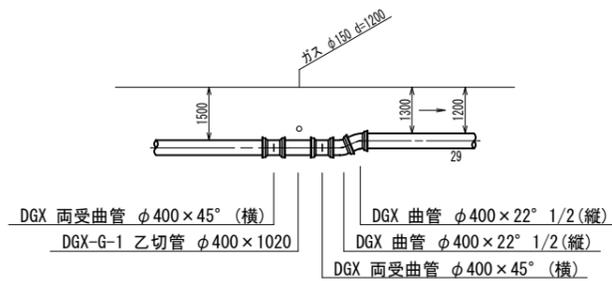
※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

図番	5/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	連絡管布設平面図(その5)・位置図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者	製図者		

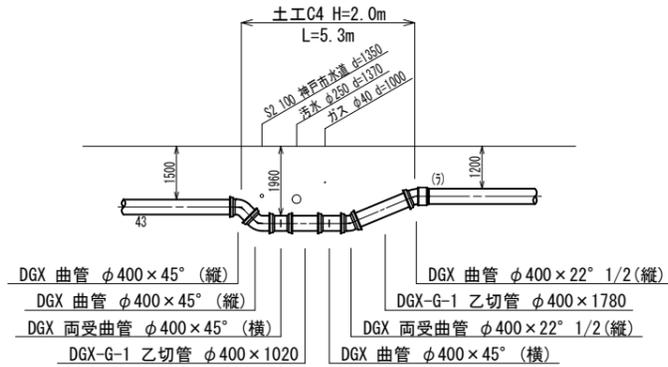
連絡管布設縦断面図 S=1/100



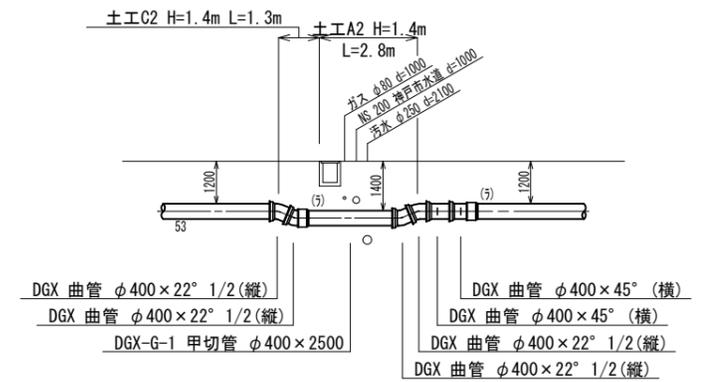
d部 縦断面図 S=1/100



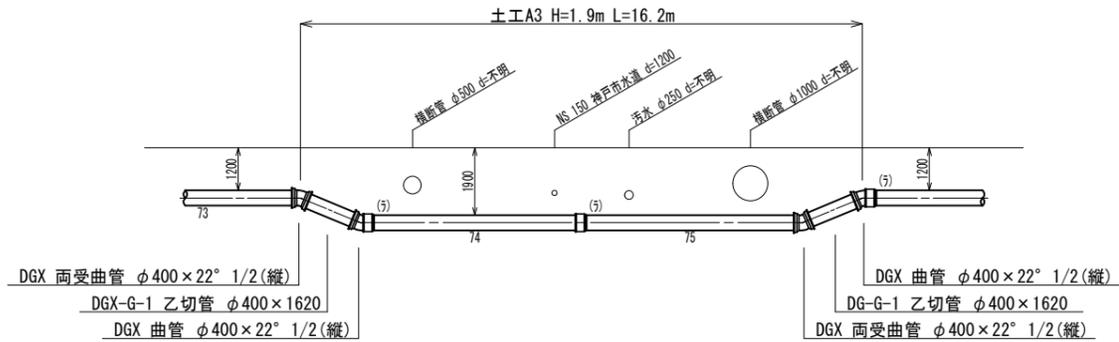
e部 縦断面図 S=1/100



f部 縦断面図 S=1/100



g部 縦断面図 S=1/100



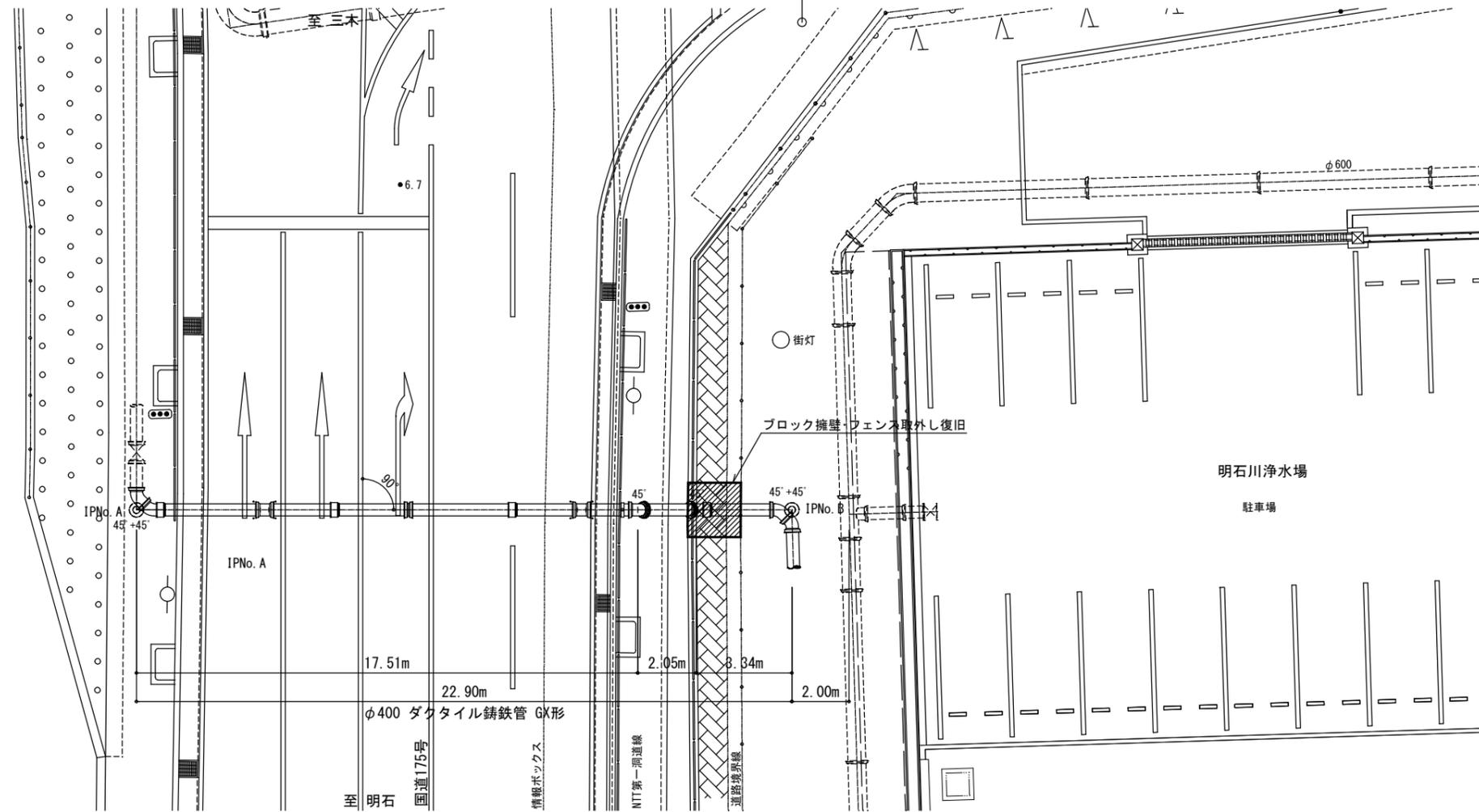
※) 地下埋設物の位置は参考であるため
 連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

図番	6/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	連絡管布設縦断面図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100		
制作日			
設計者	製図者		

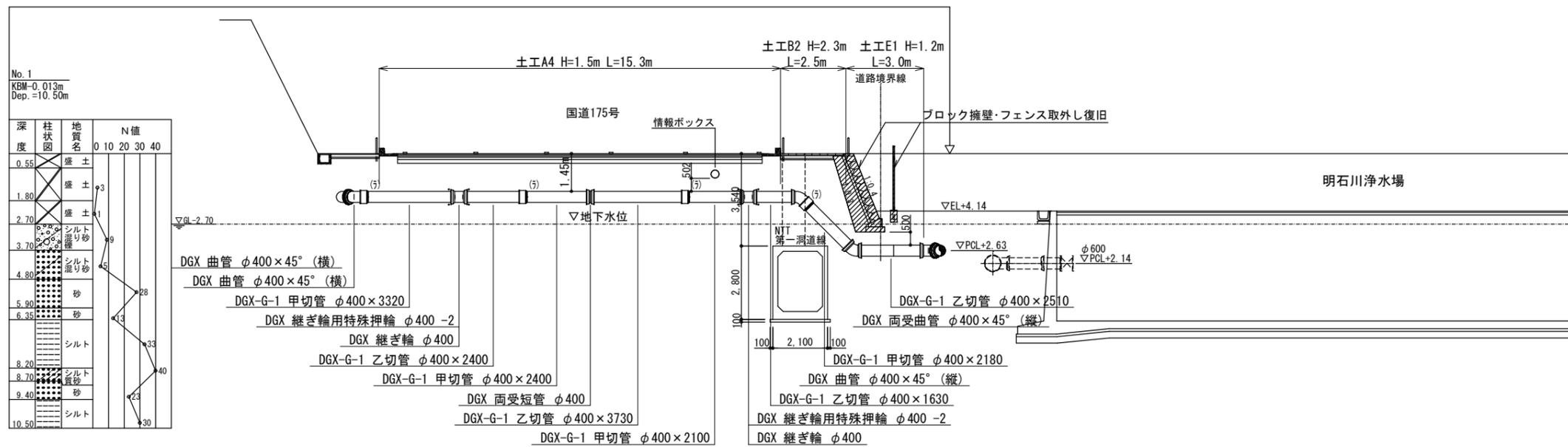
国道横断工一般図

S=1/100

平面図



側面図



※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

図番	7/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	連絡管布設国道横断工一般図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100		
制作日			
設計者		製図者	

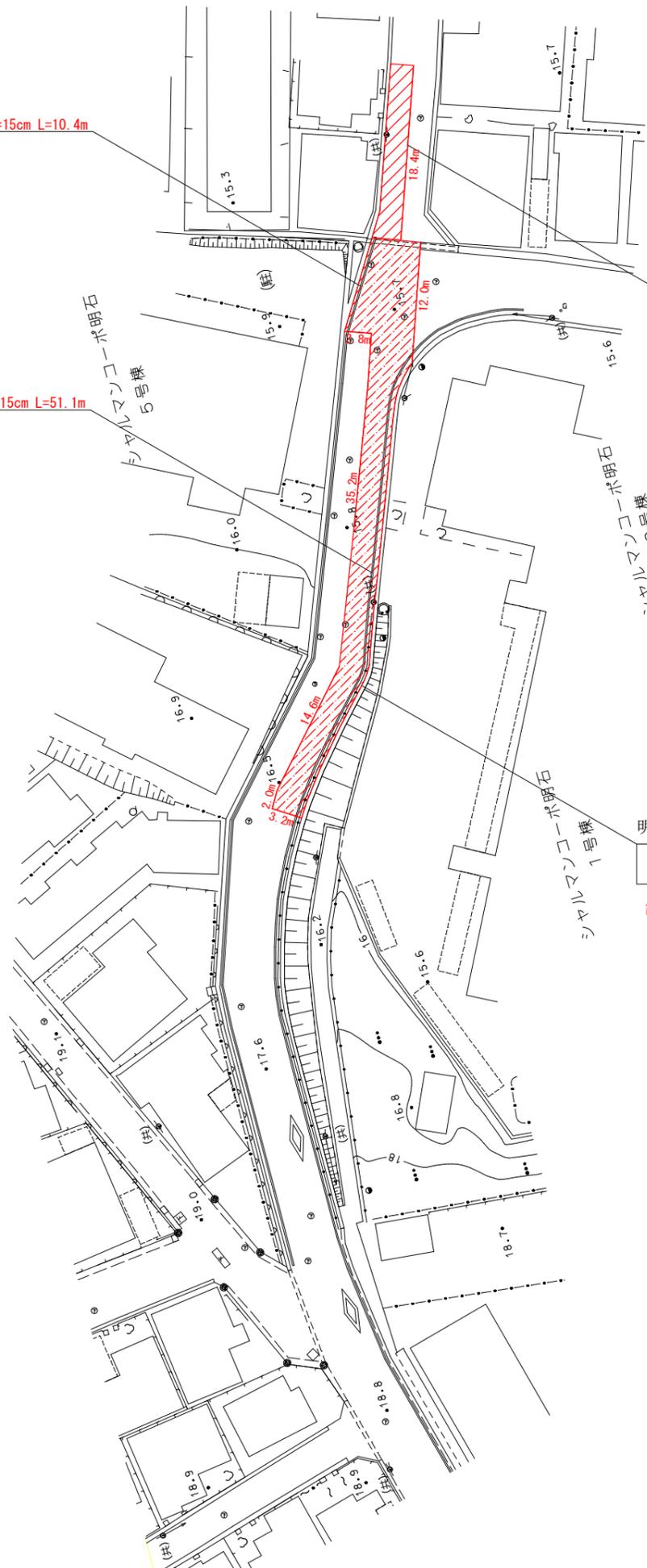
舗装復旧平面図(その1) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000



実線 外側線 W=15cm L=10.4m

実線 外側線 W=15cm L=51.1m



神戸市道車道As 2層 t=10cm

本復旧面積: 45.4m²

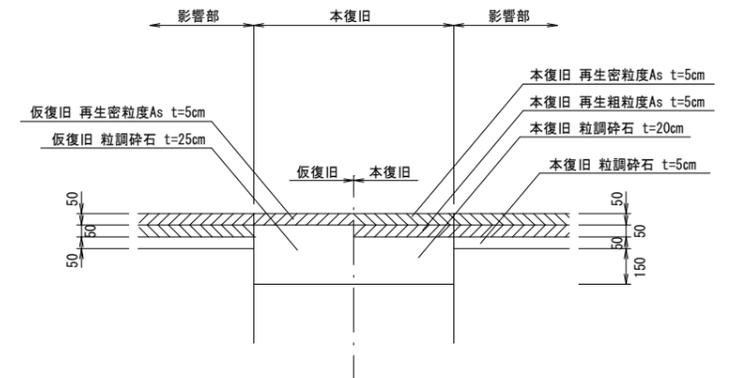
舗装版切断(As) t≦15cm L=18.4m

明石市道車道As 1層 t=5cm

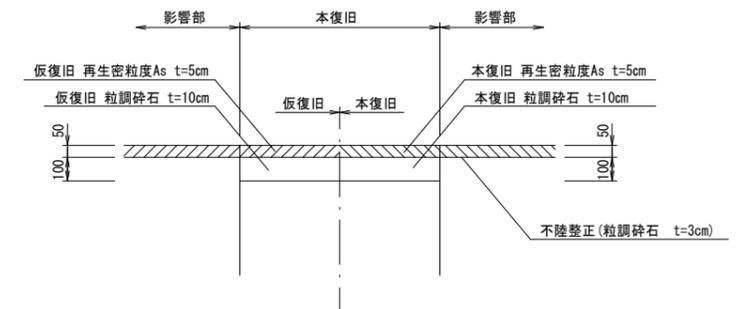
本復旧面積: 225.8m²

舗装版切断(As) t≦15cm L=69.8m

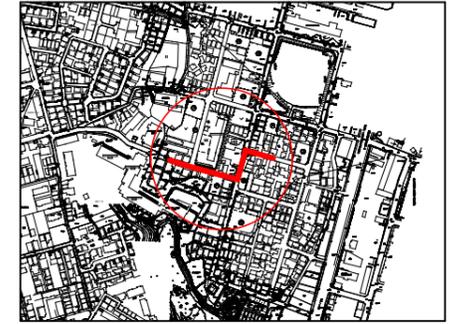
神戸市道車道部(As t=10cm)



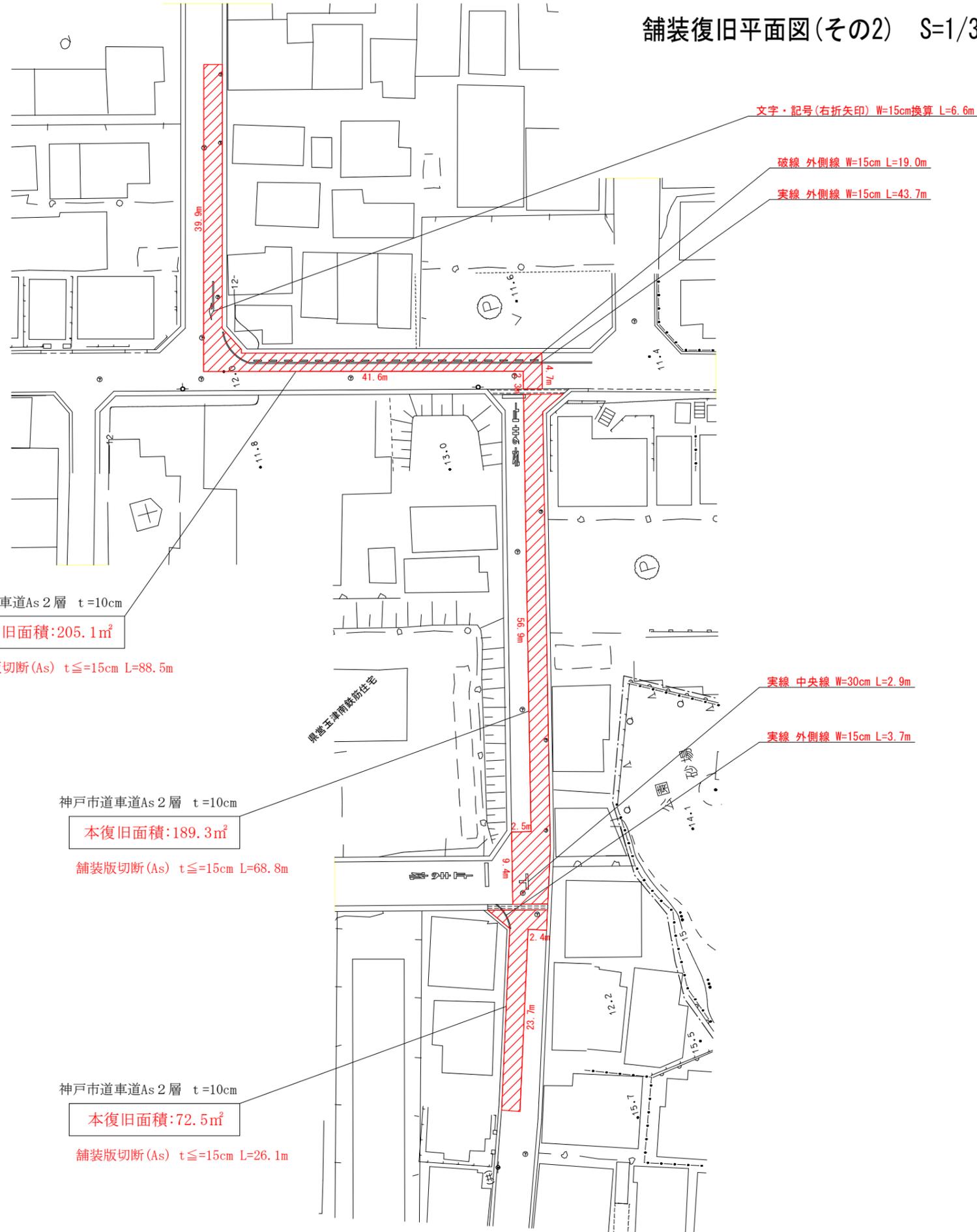
明石市道車道部(As t=5cm)



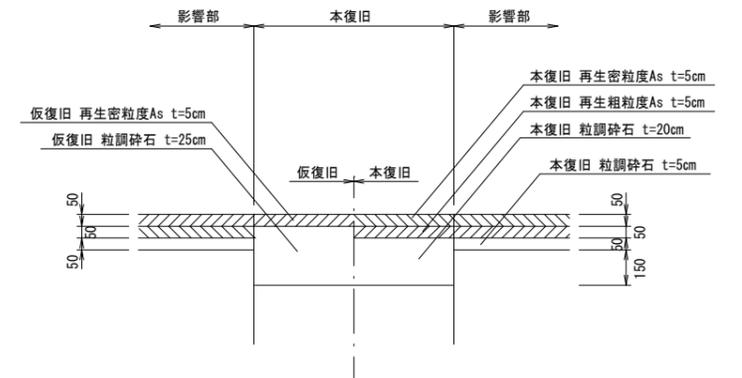
図番	8/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	舗装復旧平面図(その1)・位置図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	



舗装復旧平面図(その2) S=1/300

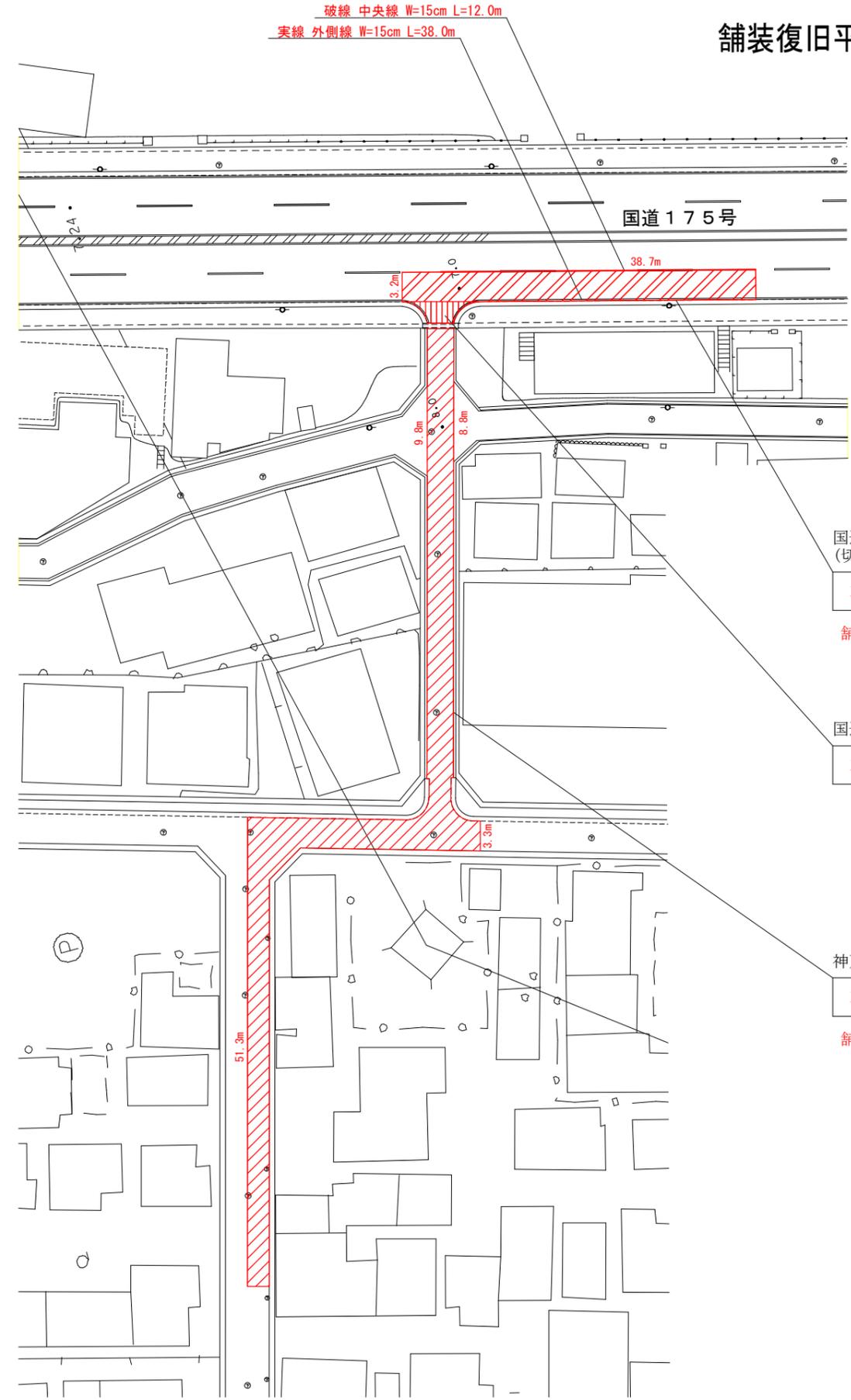
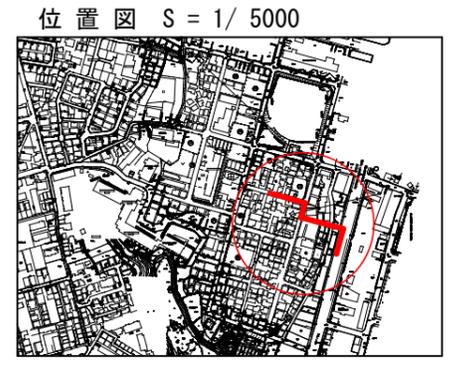


神戸市道車道部(As t=10cm)



図番	9/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	舗装復旧平面図(その2)・位置図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

舗装復旧平面図(その3) S=1/300



破線 中央線 W=15cm L=12.0m
実線 外側線 W=15cm L=38.0m

国道175号

国道車道As 3層 t=15cm
(切削オーバーレイ)
本復旧面積: 125.2㎡

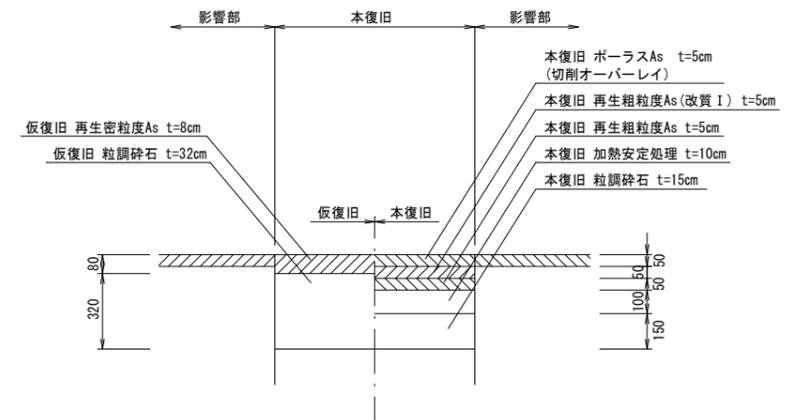
舗装版切断(As) t ≤ 15cm L=41.9m

国道側道As 3層 t=15cm
本復旧面積: 9.2㎡

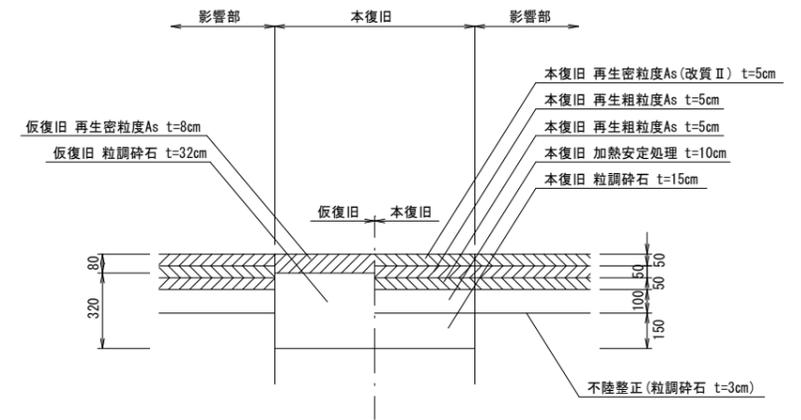
神戸市道車道As 2層 t=10cm
本復旧面積: 360.3㎡

舗装版切断(As) t ≤ 15cm L=73.2m

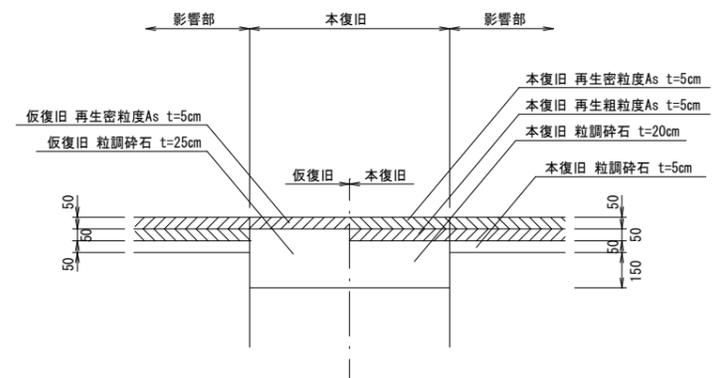
国道車道部(As t=15cm) (切削オーバーレイ)



国道側道部(As t=15cm)



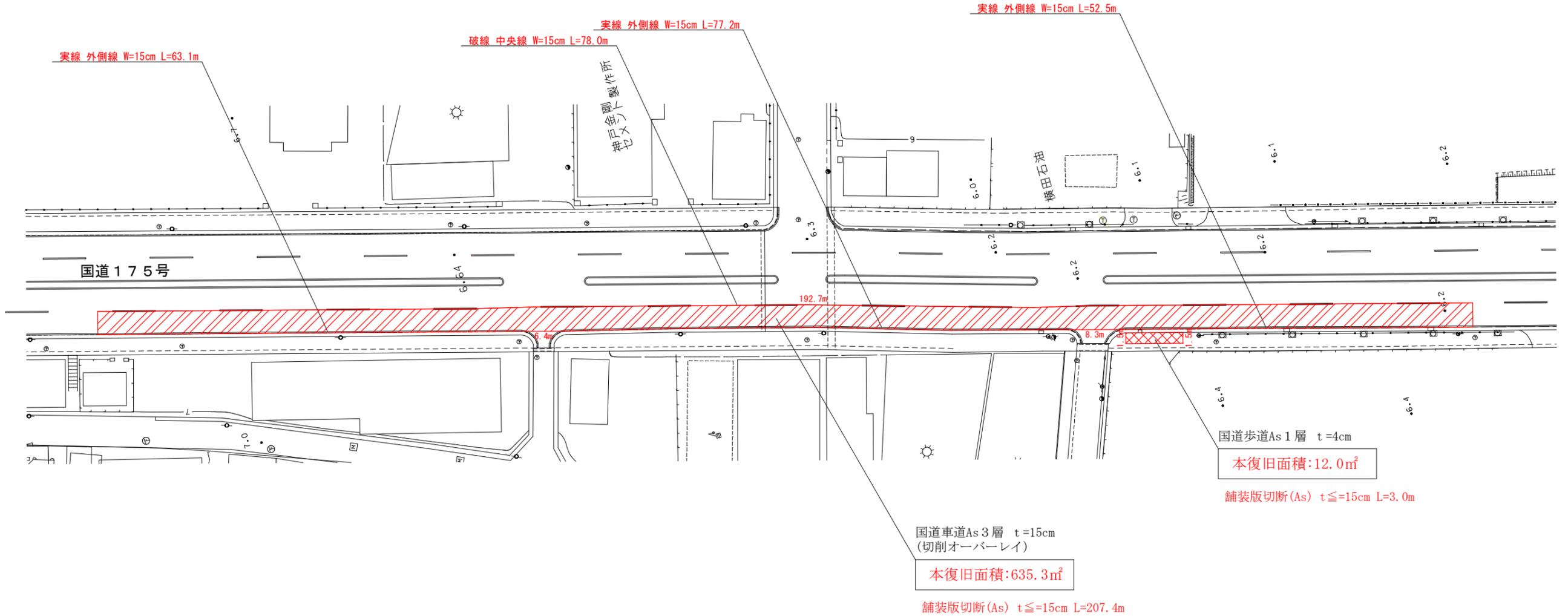
神戸市道車道部(As t=10cm)



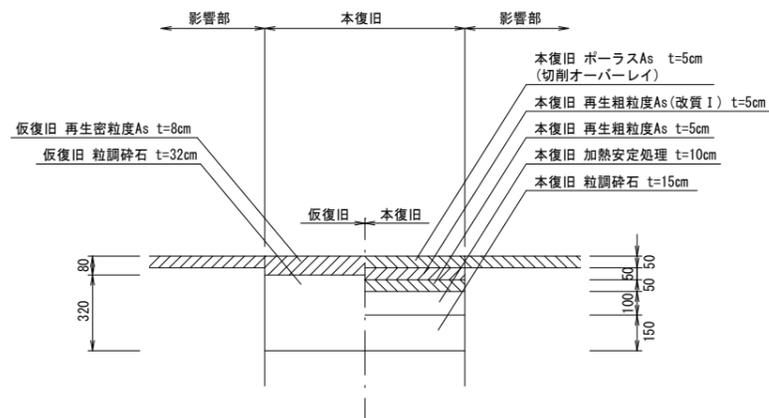
図番	10/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	舗装復旧平面図(その3)・位置図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者	製図者		

舗装復旧平面図(その4) S=1/300

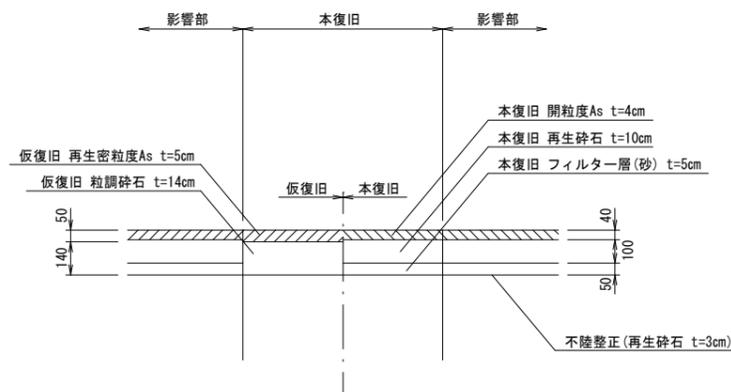
位置図 S = 1/ 5000



国道車道部 (As t=15cm) (切削オーバーレイ)



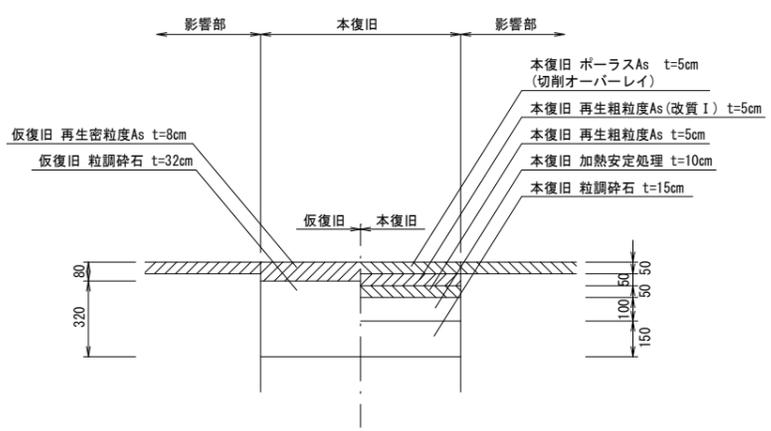
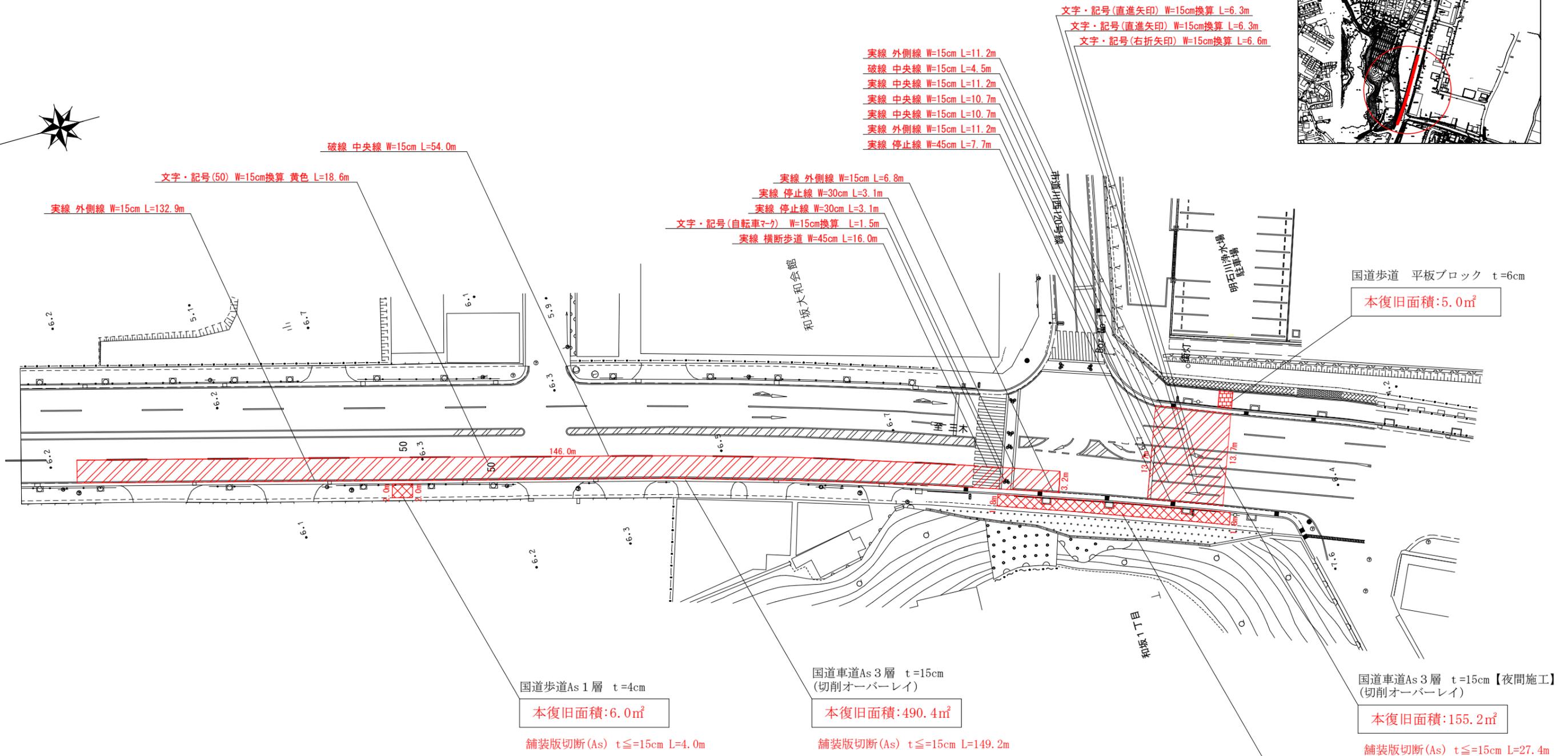
国道歩道部 (As t=4cm)



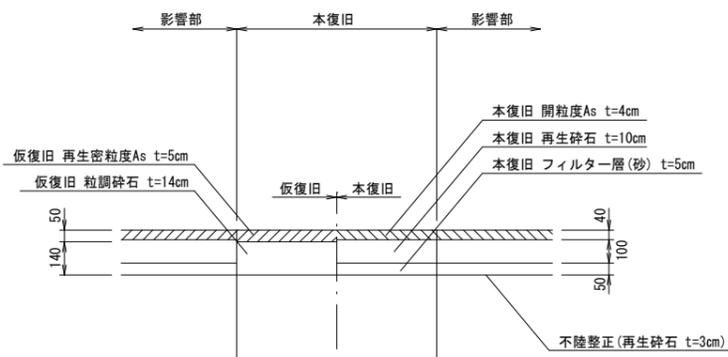
図番	11/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	舗装復旧平面図(その4)・位置図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

舗装復旧平面図(その5) S=1/300

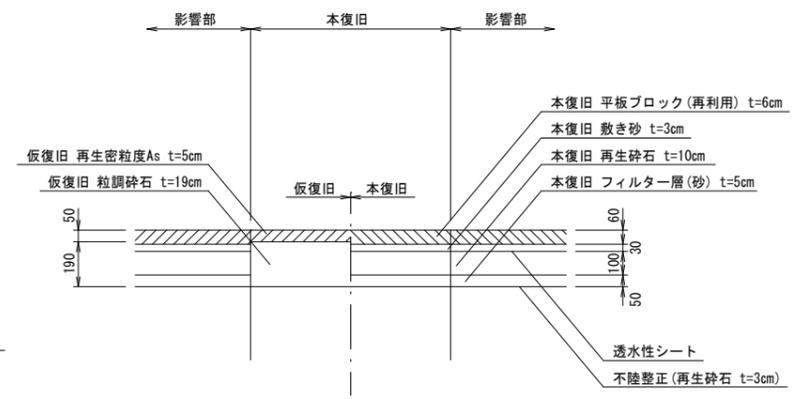
位置図 S = 1/5000



国道歩道部 (As t=4cm)



国道歩道部平板ブロック (t=6cm)

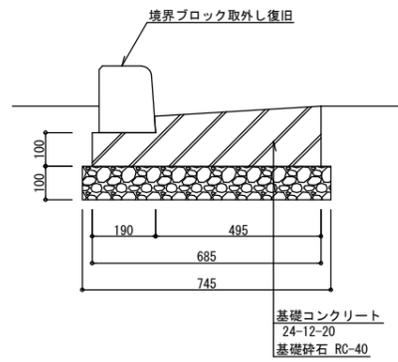


図番	12/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	舗装復旧平面図(その5)・位置図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

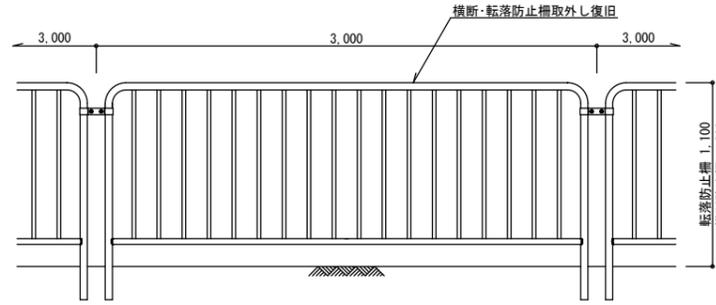
復旧工参考図

縮尺 NONE SCALE

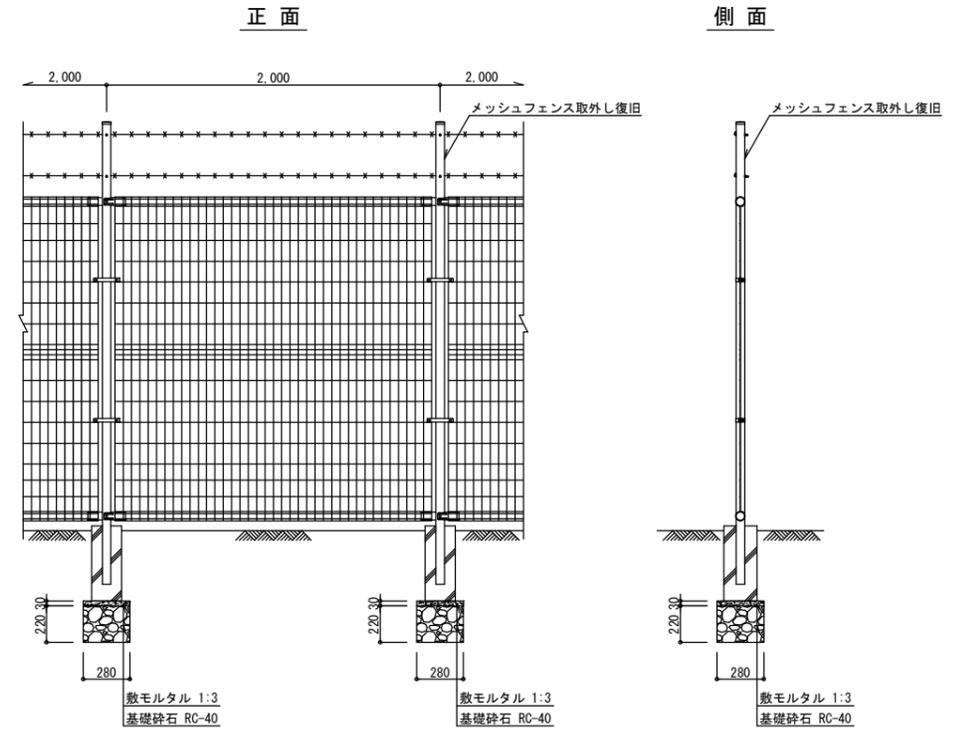
国道 境界ブロック



国道 横断・転落防止柵

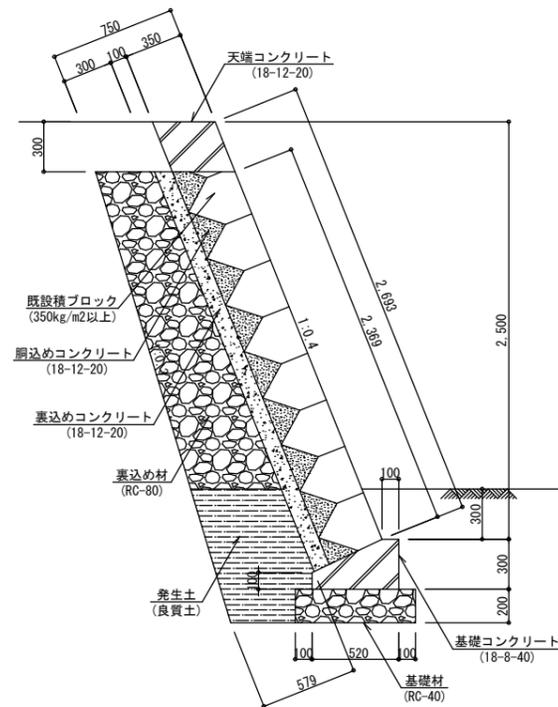


浄水場 フェンス



国道 ブロック擁壁

取外し復旧

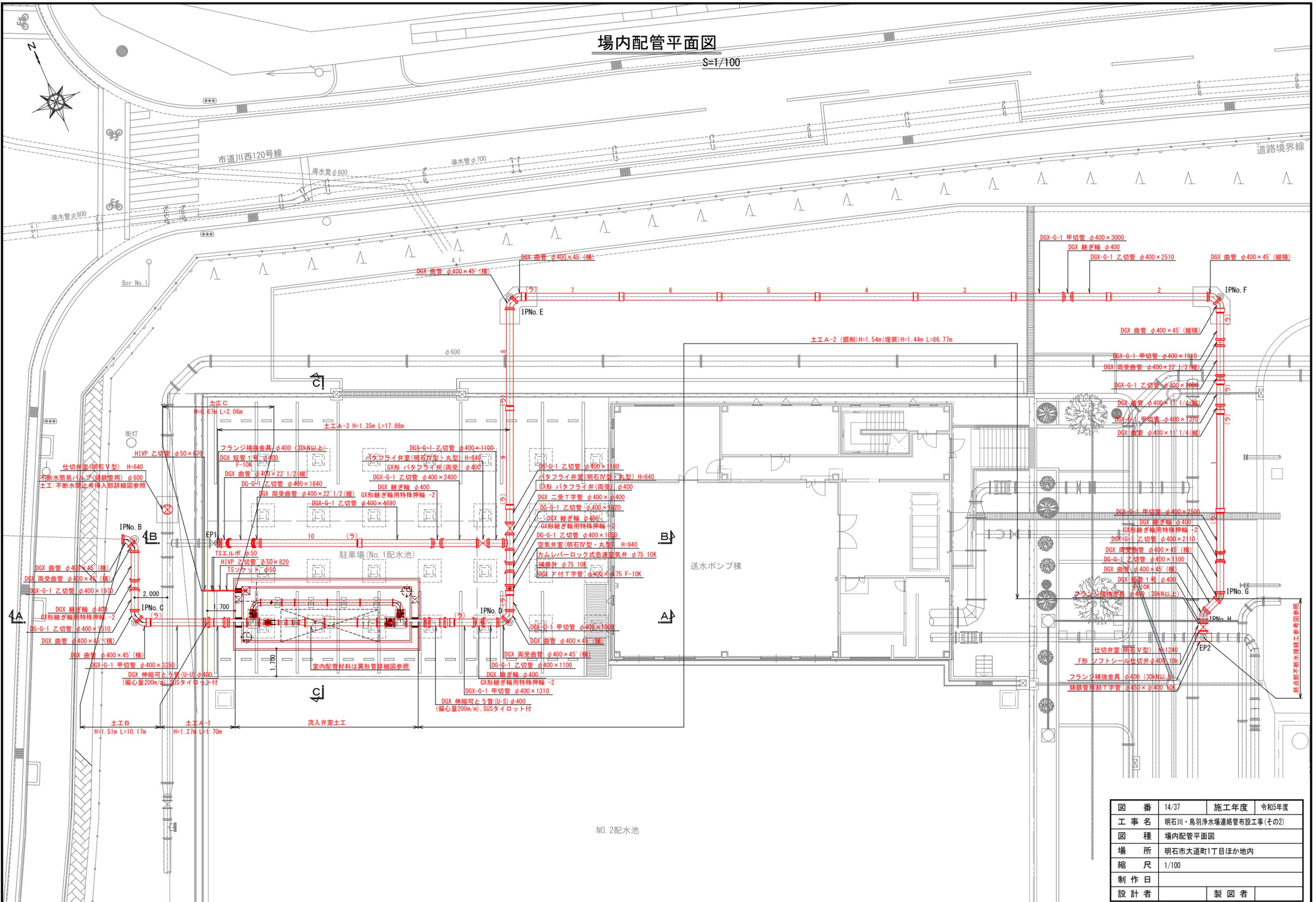


注) φ50水抜き孔を2.0~3.0m2に1箇所設置すること。

図番	13/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	復旧工参考図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	NONE SCALE		
制作日			
設計者		製図者	

場内配管平面図

S=1/100

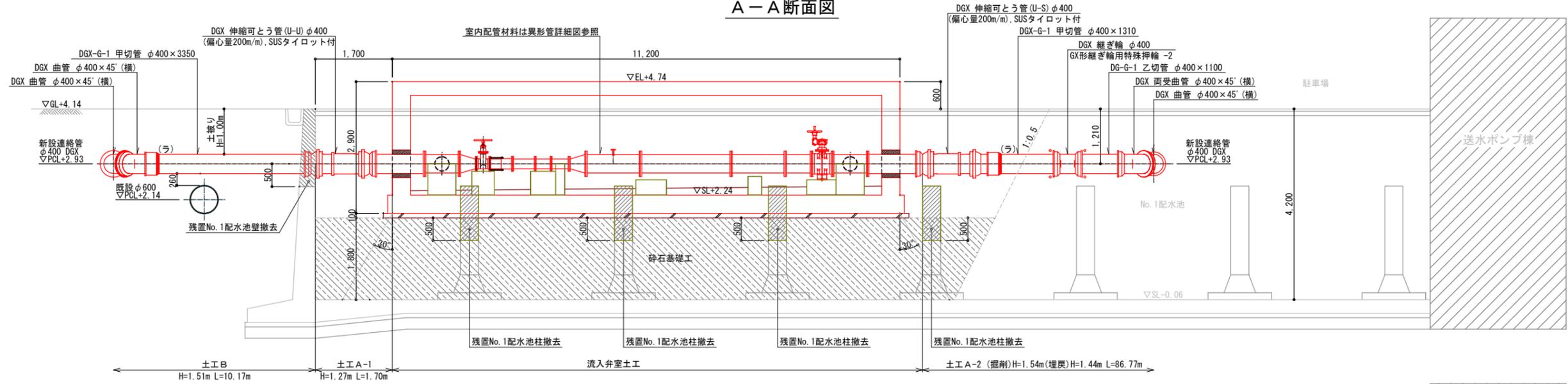


図番	14/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	場内配管平面図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100		
制作日			
設計者	製図者		

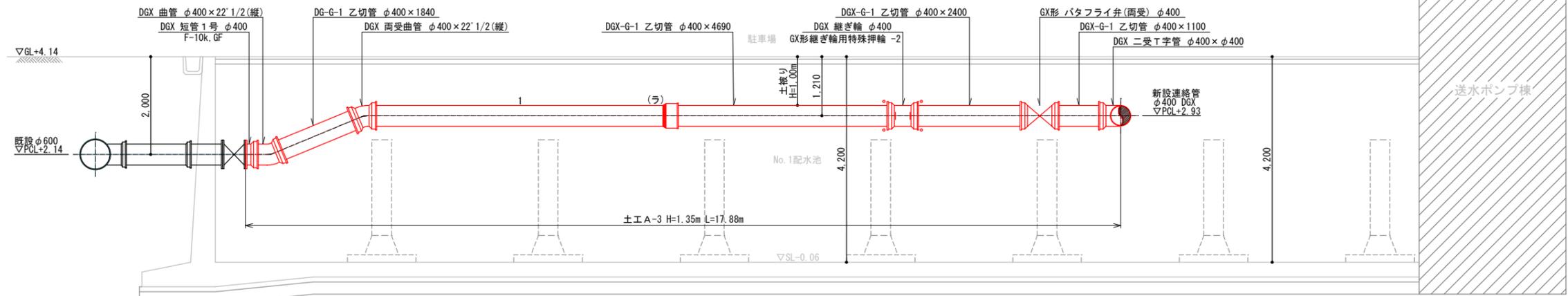
場内配管断面図

S=1/50

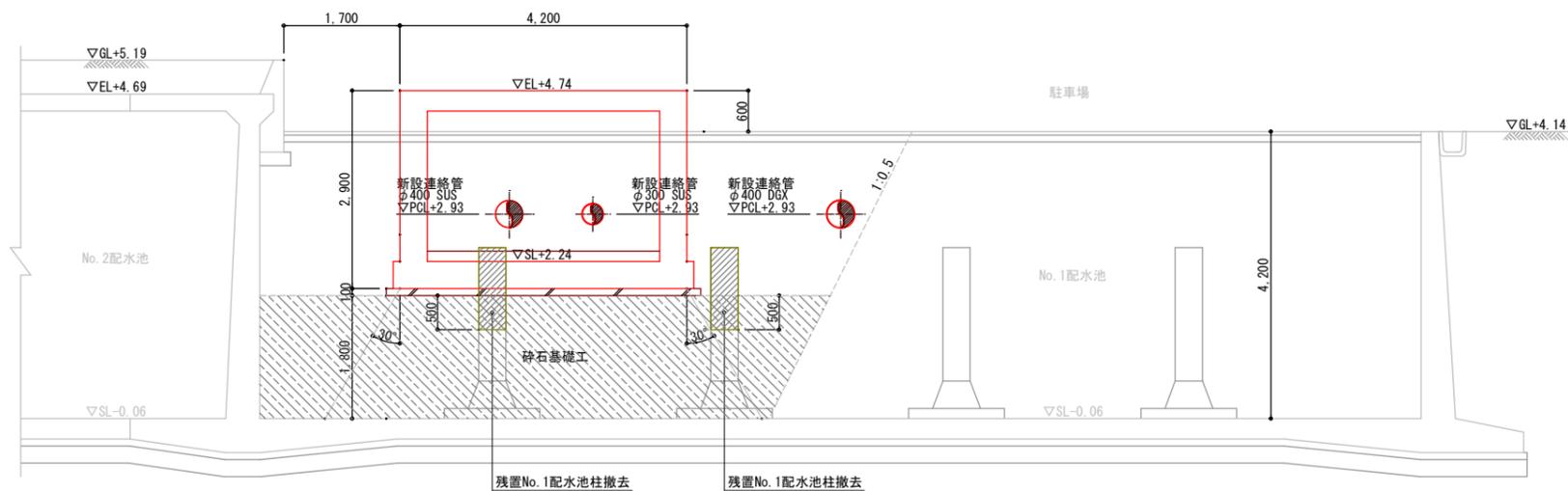
A-A断面図



B-B断面図



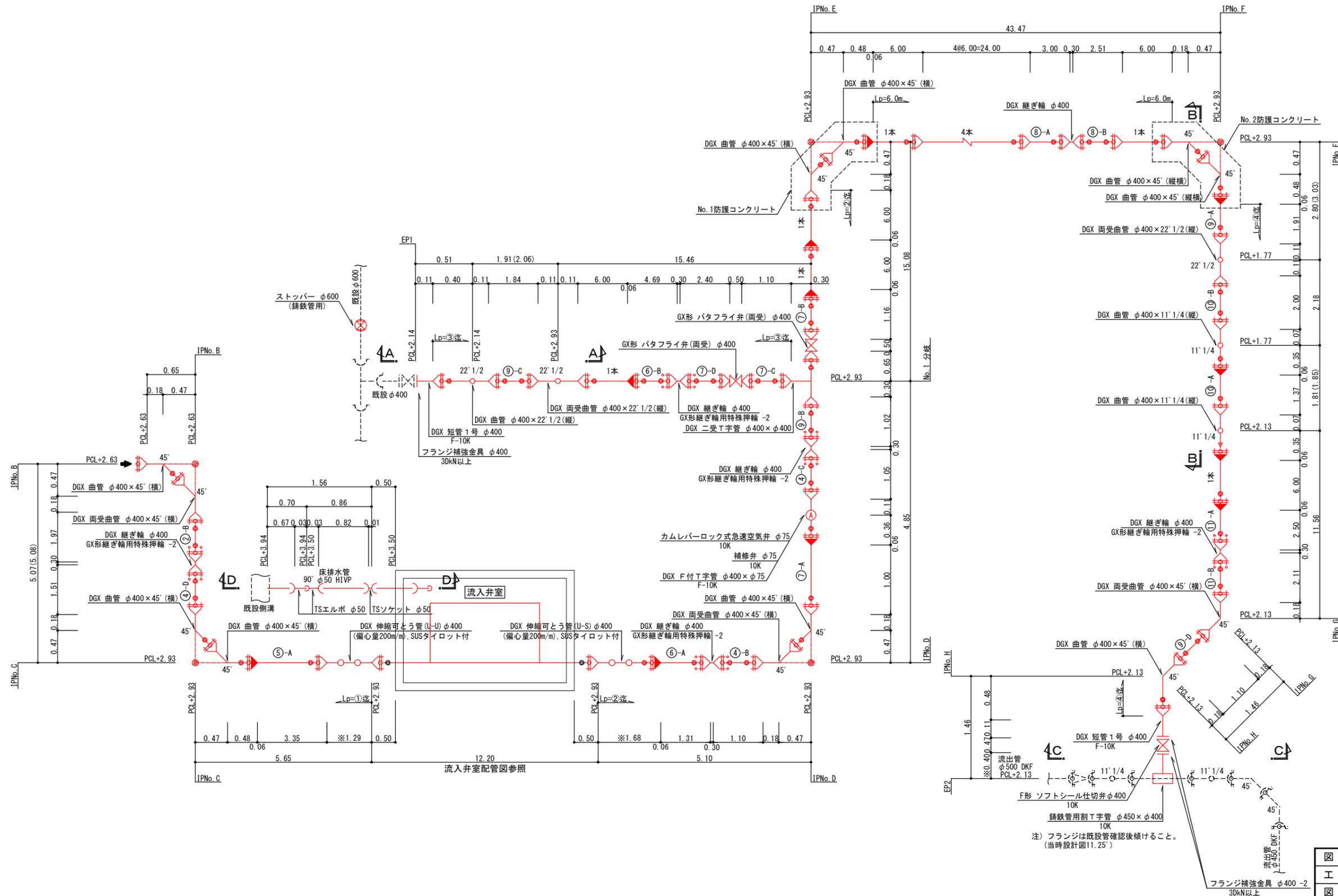
C-C断面図



図番	15/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	場内配管断面図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/50		
制作日			
設計者		製図者	

異形管詳細図(1)

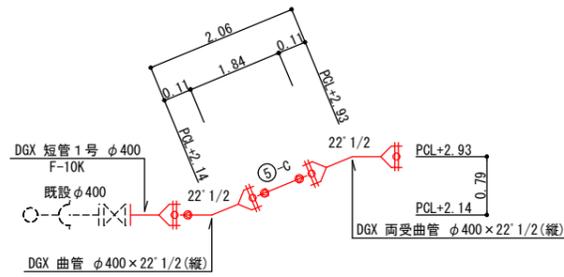
S=NONE SCALE



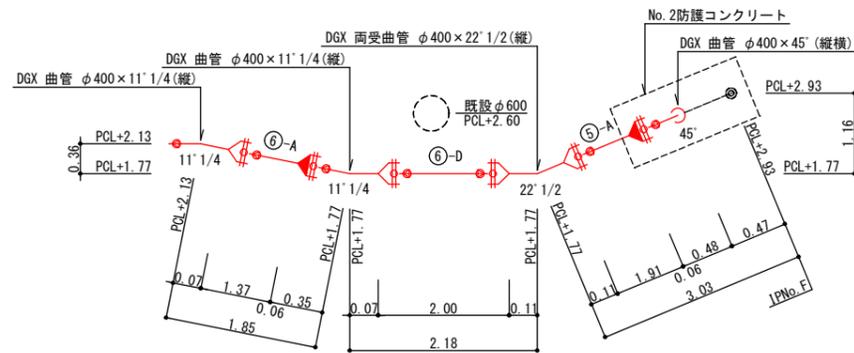
異形管詳細図(2)

S=NONE SCALE

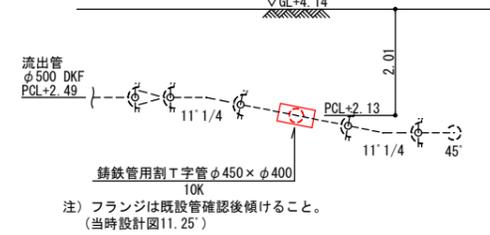
A-A断面



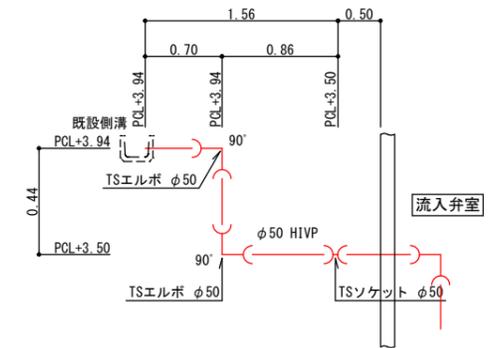
B-B断面



C-C断面



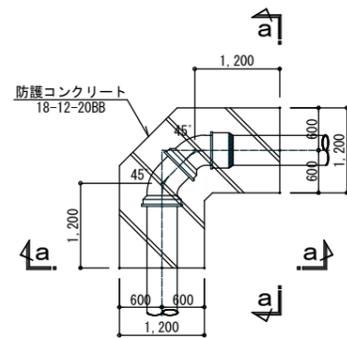
D-D断面



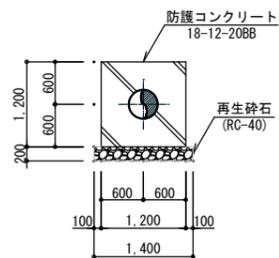
No. 1防護コンクリート詳細図

S=1/50

平面



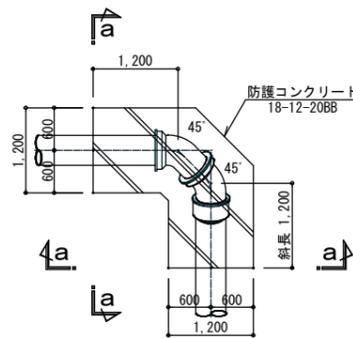
a-a



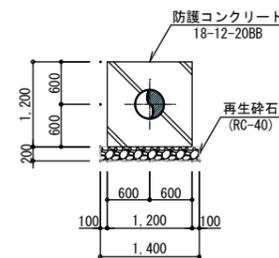
No. 2防護コンクリート詳細図

S=1/50

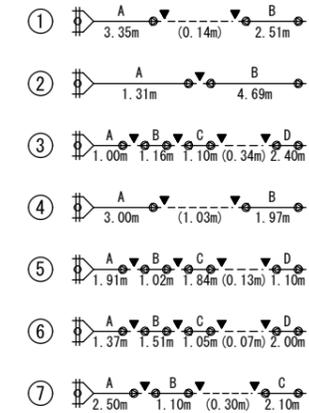
平面



a-a



φ400 GX形(1種)



	挿しロリング	切断溝切加工同時	溝切加工のみ
①	2	2	
②	2	1	1
③	6	4	2
④	2	2	
⑤	6	4	2
⑥	6	4	2
⑦	4	3	1
計	28	20	8

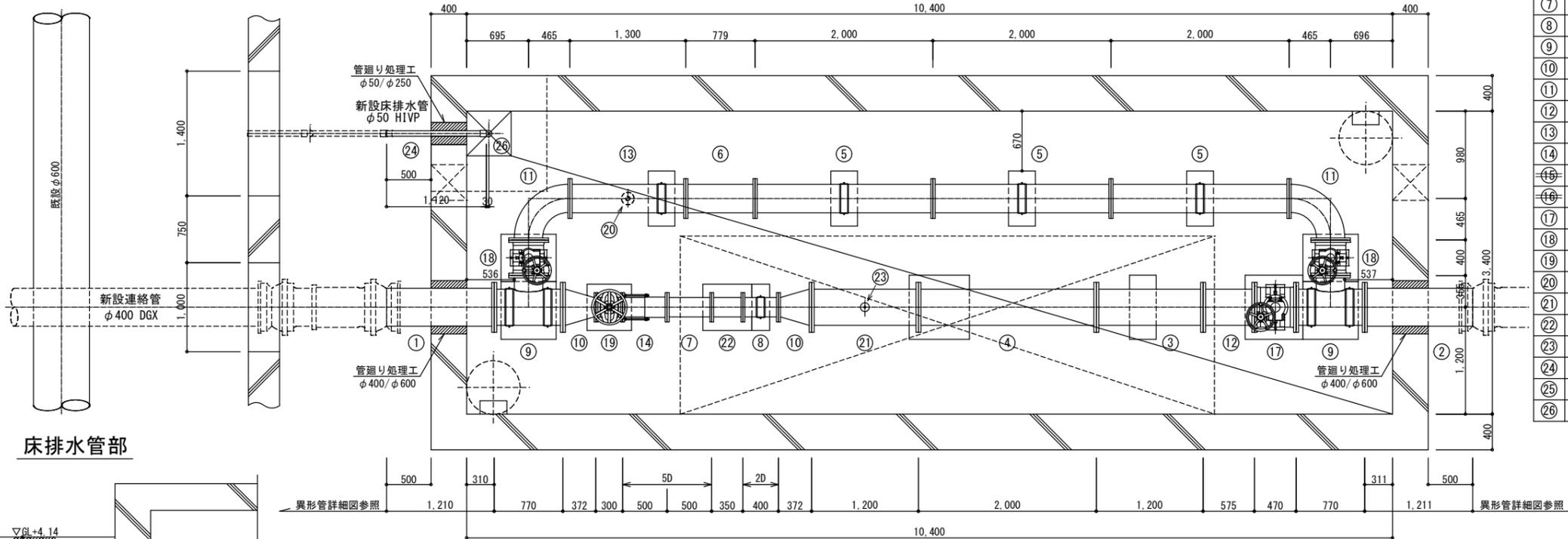
注1) ※印の寸法は参考値である。

図番	17/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	異形管詳細図(2)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/50, NONE SCALE		
制作日			
設計者	製図者		

流入弁室配管図 (参考図)

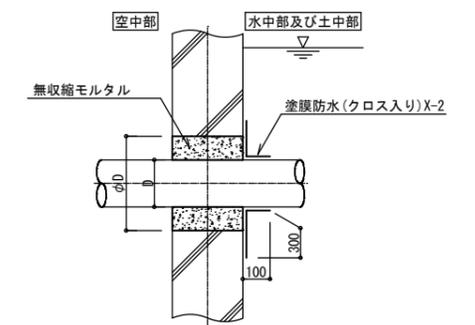
S=1/30

平面図

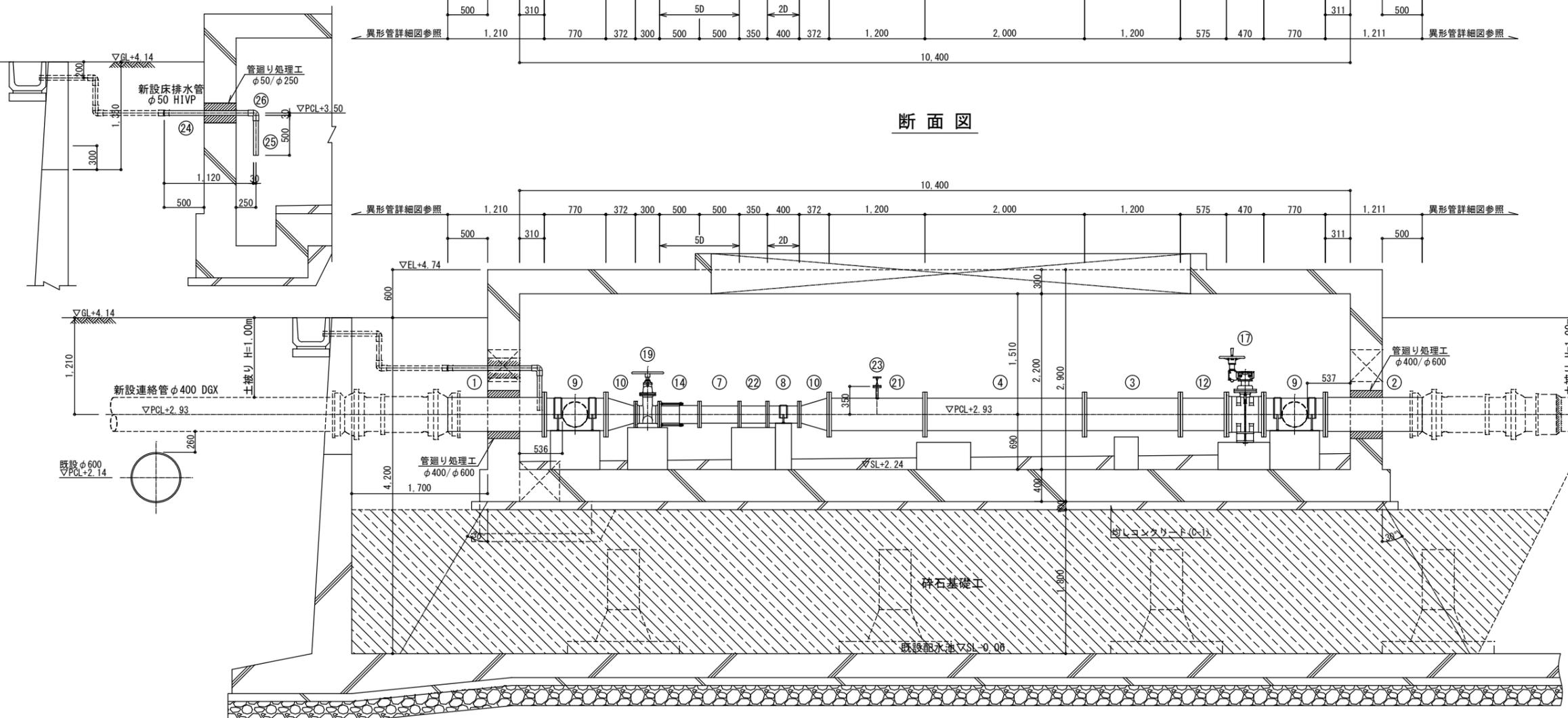


番号	名称・形状寸法	数量
①	φ400×L1210 DIP片フランジ管 F-10K (DD塗装) 挿口:GX形挿口加工	1
②	φ400×L1211 DIP片フランジ管 F-10K (DD塗装) 挿口:GX形挿口加工	1
③	φ400×L1200 NCP両ネックフランジ管 F-10K	1
④	φ400×L2000 NCP両ネックフランジ管 F-10K	1
⑤	φ300×L2000 NCP両ネックフランジ管 F-10K	3
⑥	φ300×L779 NCP両ネックフランジ管 F-10K	1
⑦	φ200×L500 NCP両ネックフランジ管 F-10K	1
⑧	φ200×L400 NCP両ネックフランジ管 F-10K	1
⑨	φ400×φ300 NCPネックフランジT字管 F-10K	2
⑩	φ400×φ200 NCPネックフランジ片落管 F-10K	2
⑪	φ300 NCP90°ネックフランジ曲管 F-10K	2
⑫	φ400×L575 NCP両ネックフランジ管 F-10K	1
⑬	φ300×φ40 NCPネックフランジT字管 F-10K 下向き溶接	1
⑭	φ200 NCP伸縮管 F-10K	1
⑮	(将来工事) φ400 くし歯バタフライ弁 10K 制御弁① (ON-OFF兼用)	1
⑯	(将来工事) φ400 オリフィス弁 制御弁② (フランジレス)	1
⑰	φ400 手動バタフライ弁 10K 丸ハンドル付	1
⑱	φ300 手動バタフライ弁 10K 丸ハンドル付	2
⑲	φ200 ソフトシール仕切弁 10k 丸ハンドル付	1
⑳	φ40 SUS製ボール弁 F-10K	1
㉑	φ400×φ20 NCPネックフランジT字管 F-10K 上向き溶接	1
㉒	φ200×L350 NCP両ネックフランジ管 F-10K	1
㉓	φ20 SUS製ボール弁 F-10K	1
㉔	φ50×1120 HIVP管	1
㉕	φ50×500 HIVP管	1
㉖	φ50 TSソケット	1

管廻り処理工標準図(参考図)



断面図



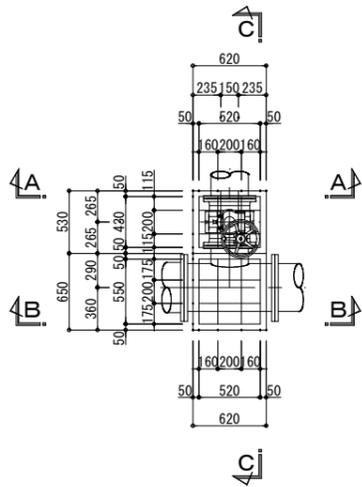
図番	18/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	流入弁室配管図(参考図)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/30		
制作日			
設計者	製図者		

配管架台詳細図(1)

S=1/30

①

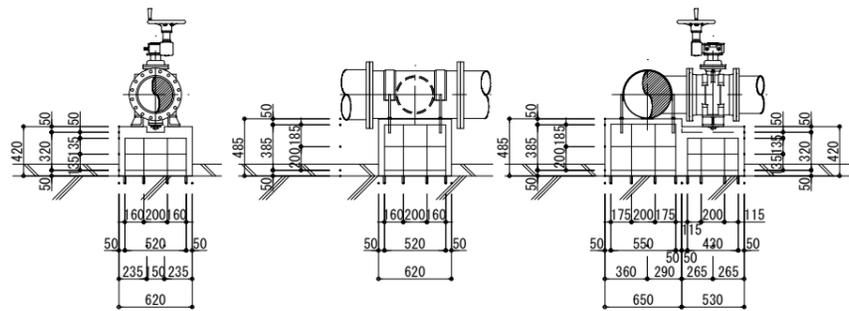
平面図



A-A断面図

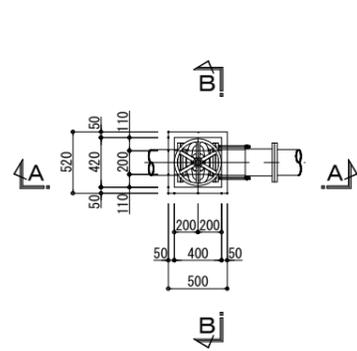
B-B断面図

C-C断面図



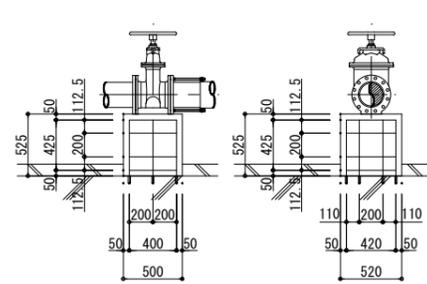
②

平面図



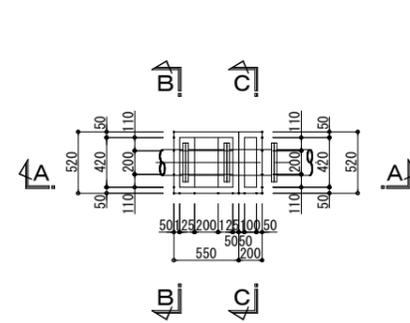
A-A断面図

B-B断面図



③

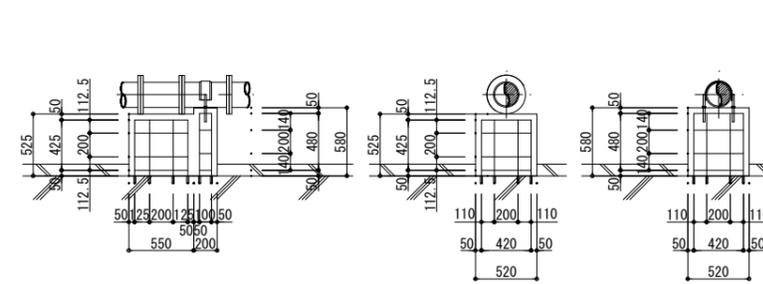
平面図



A-A断面図

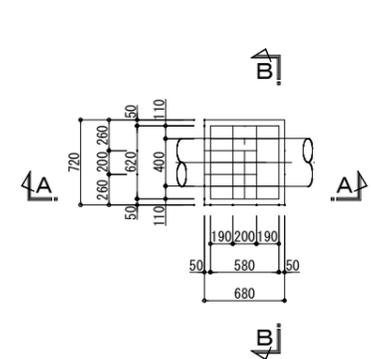
B-B断面図

C-C断面図



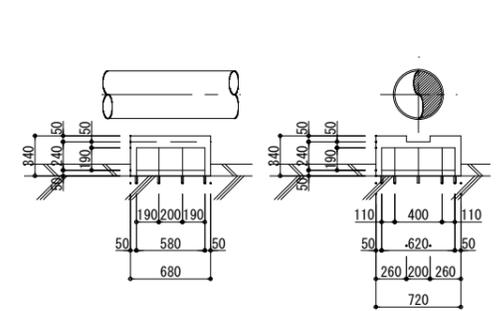
④

平面図



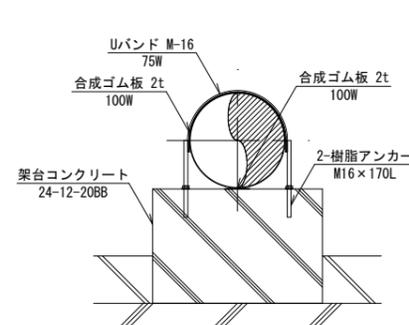
A-A断面図

B-B断面図

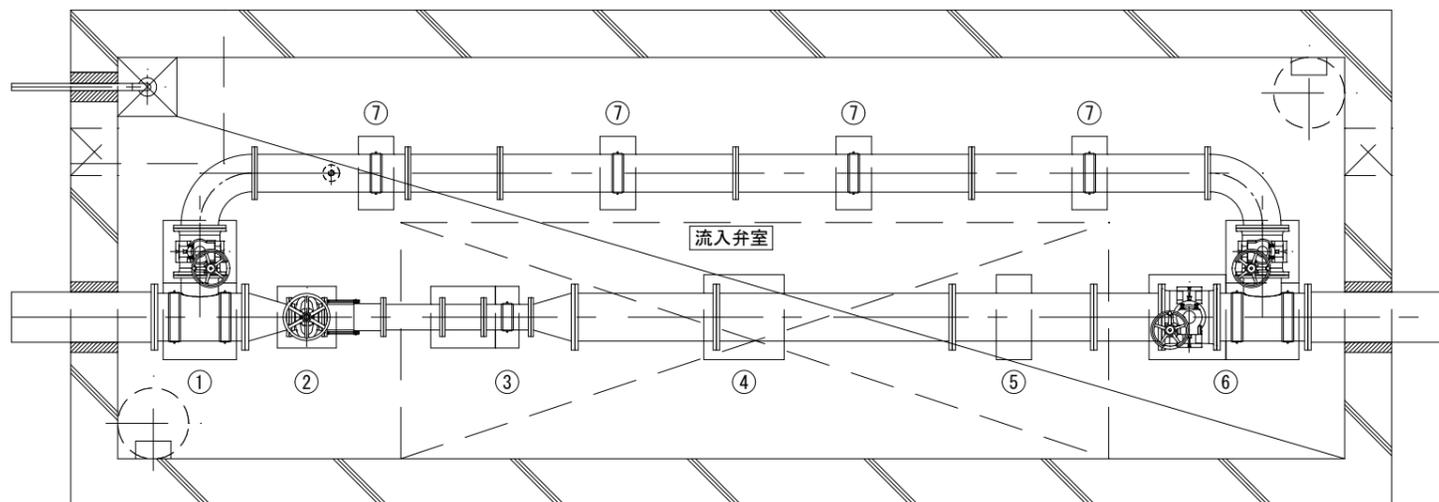
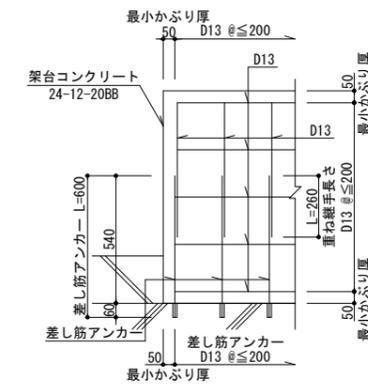


支持金具参考図

※材質はすべてSUS304を使用すること。



配筋標準図



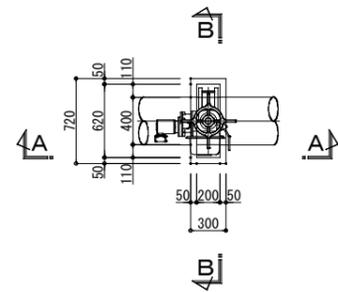
図番	19/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	配管架台詳細図(1)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/30		
制作日			
設計者	製図者		

配管架台詳細図(2)

S=1/30

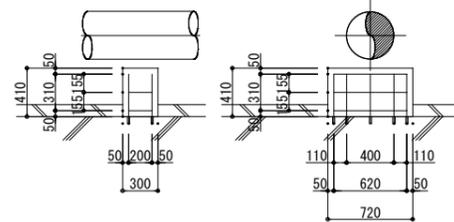
⑤

平面図



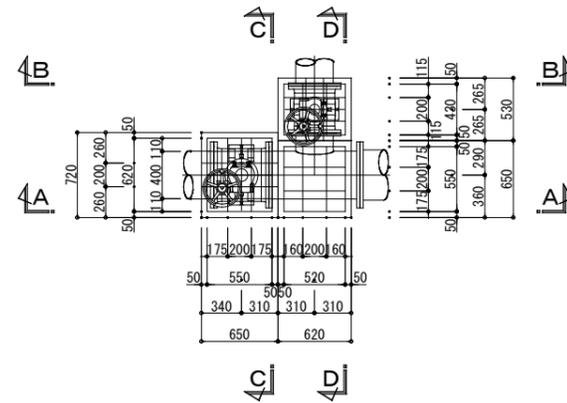
A-A断面図

B-B断面図



⑥

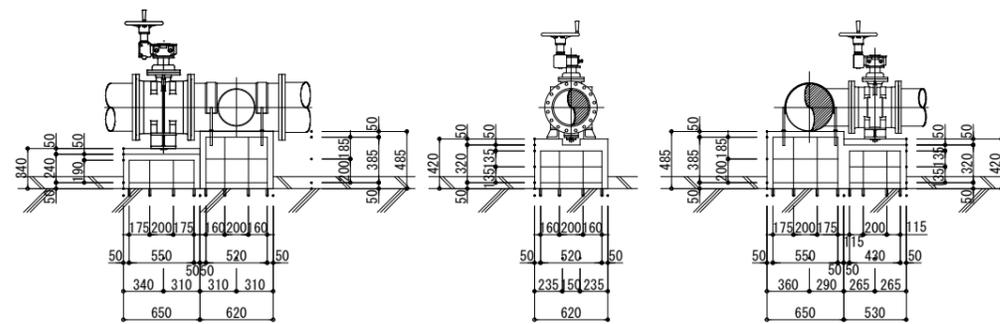
平面図



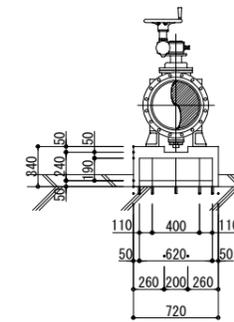
A-A断面図

B-B断面図

D-D断面図

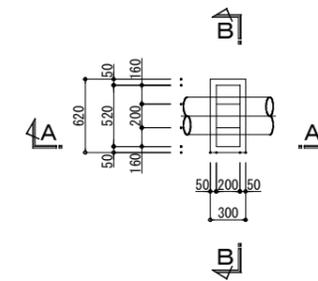


C-C断面図



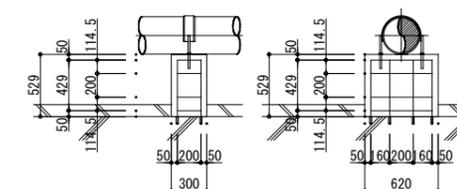
⑦

平面図



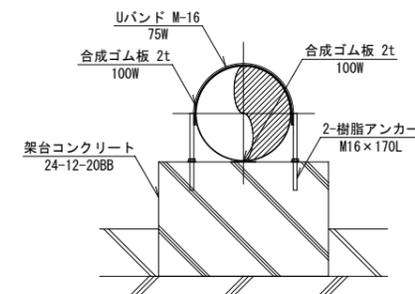
A-A断面図

B-B断面図

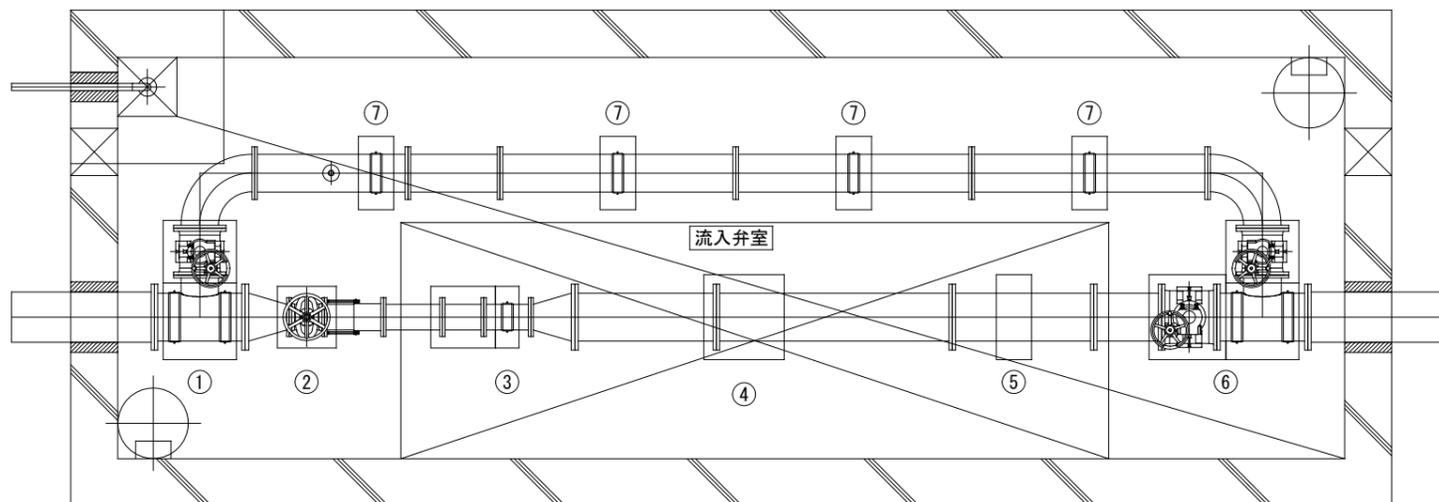
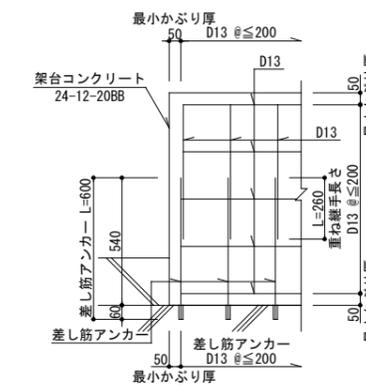


支持金具参考図

※材質はすべてSUS304を使用すること。



配筋標準図

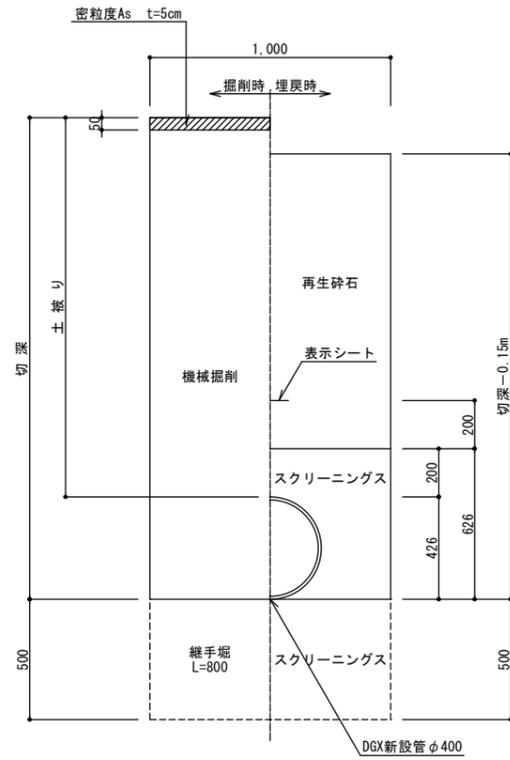


図番	20/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	配管架台詳細図(2)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/30		
制作日			
設計者	製図者		

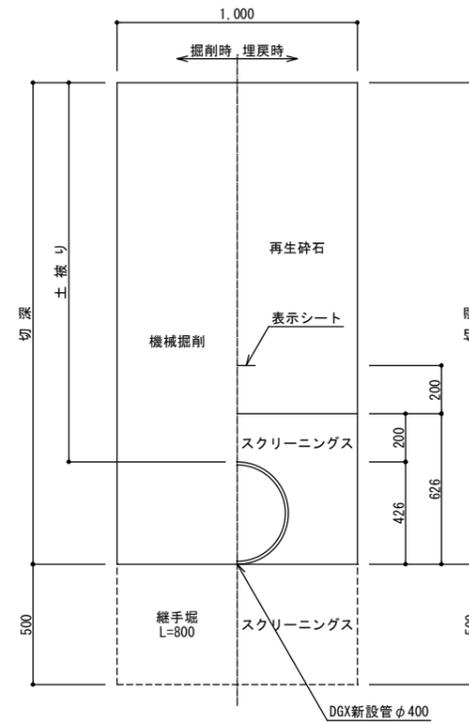
標準掘削断面図

縮尺 NONE SCALE

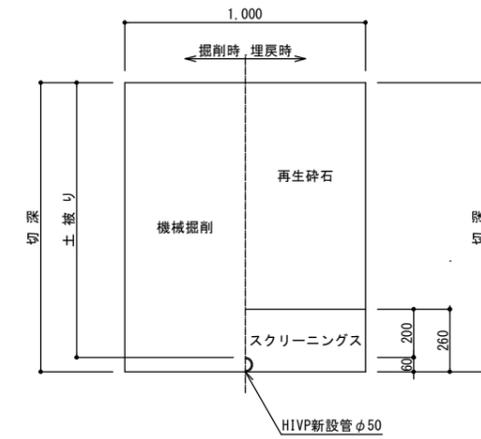
土工A
浄水場 As 1 層



土工B



土工C

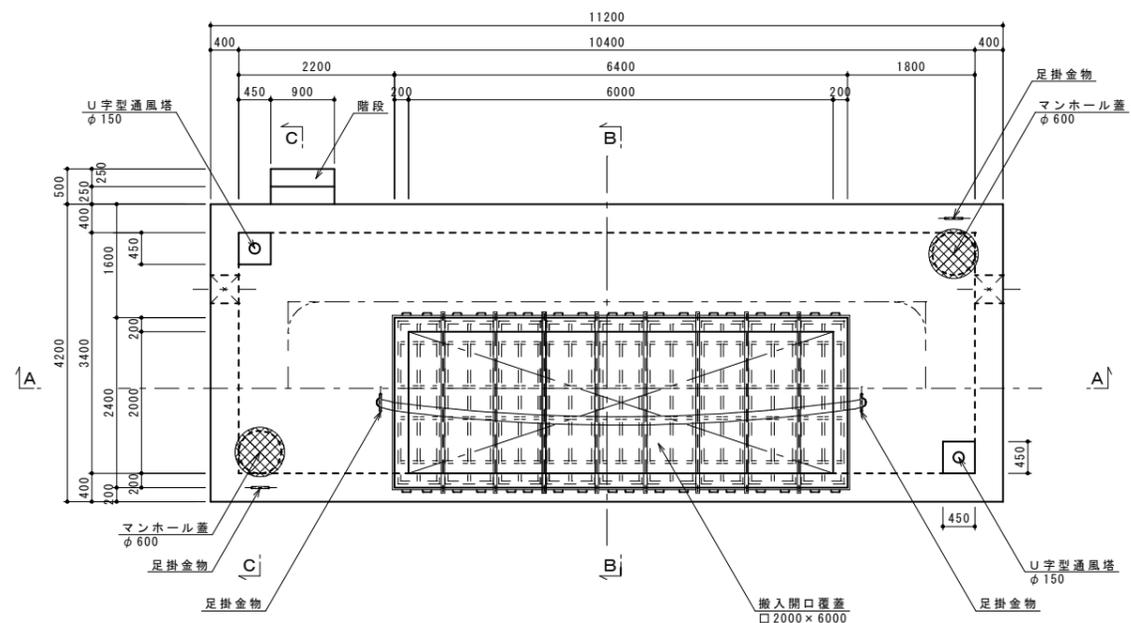


図番	21/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	標準掘削断面図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	NONE SCALE		
制作日			
設計者		製図者	

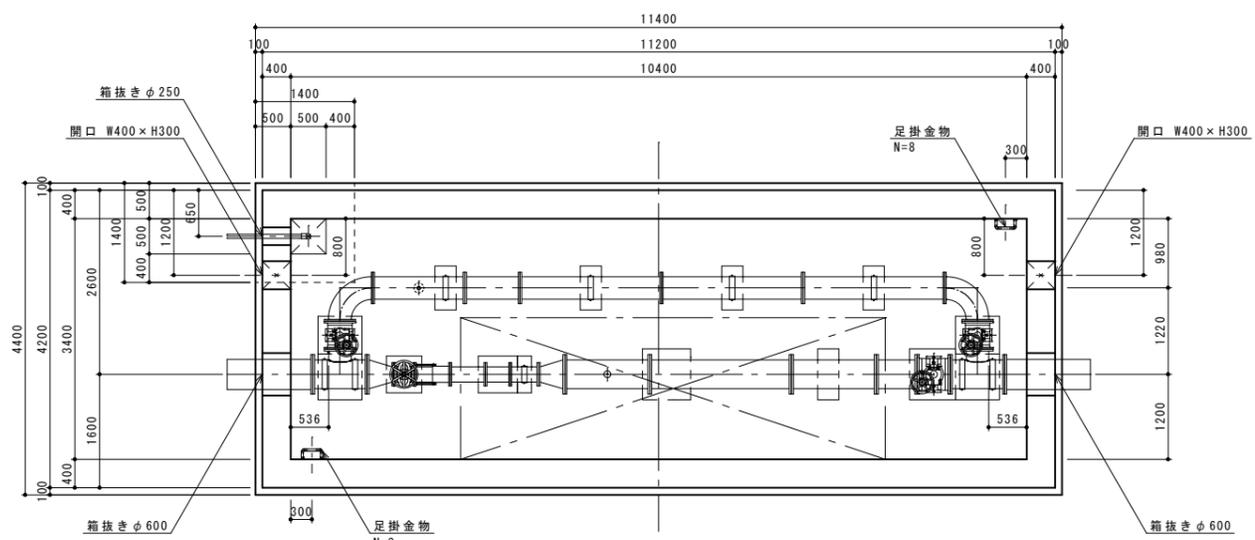
流入弁室構造図 (1) S=1/50



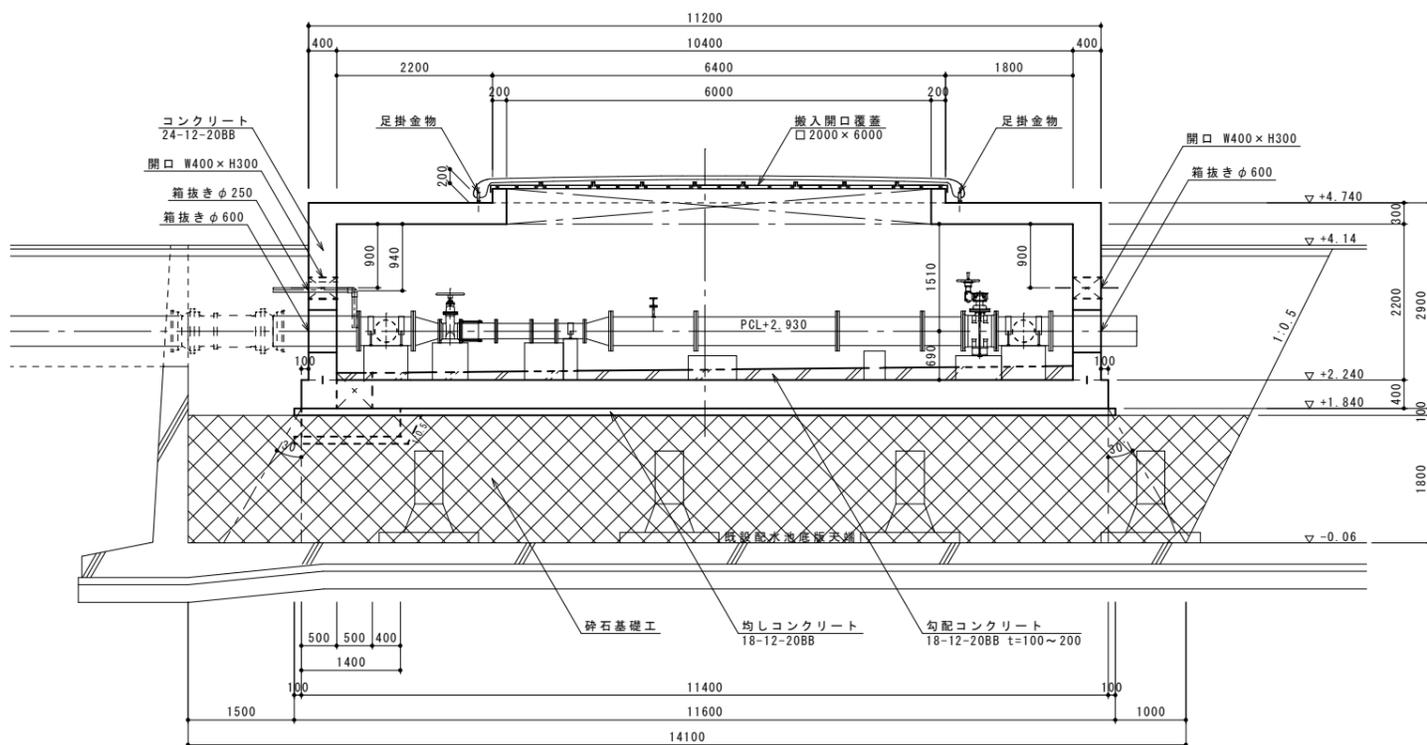
上部平面図



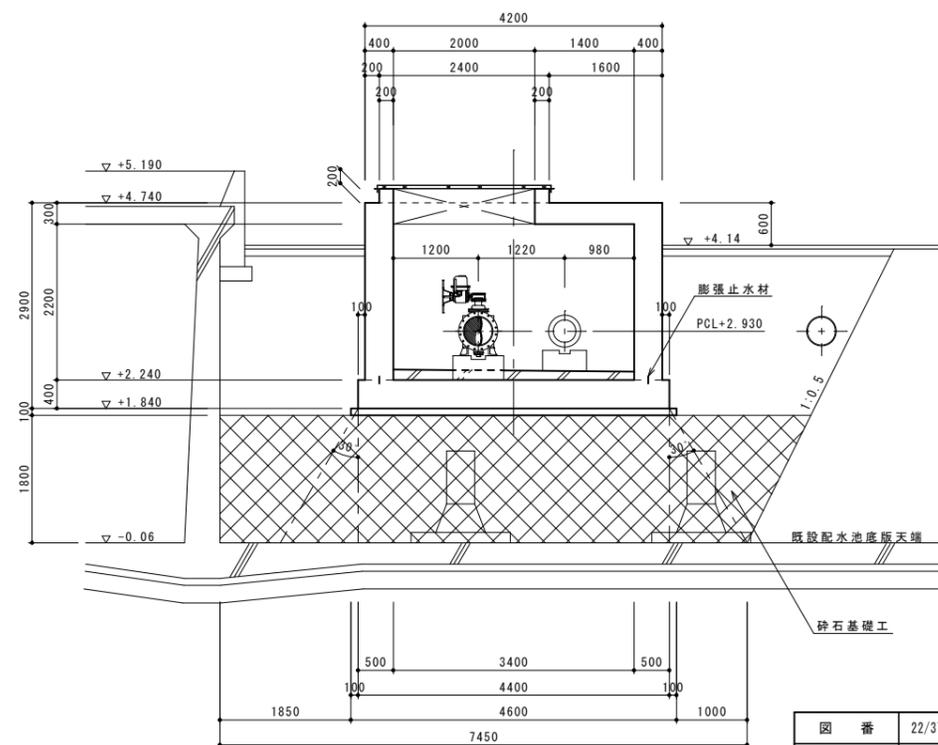
中部平面図



A - A

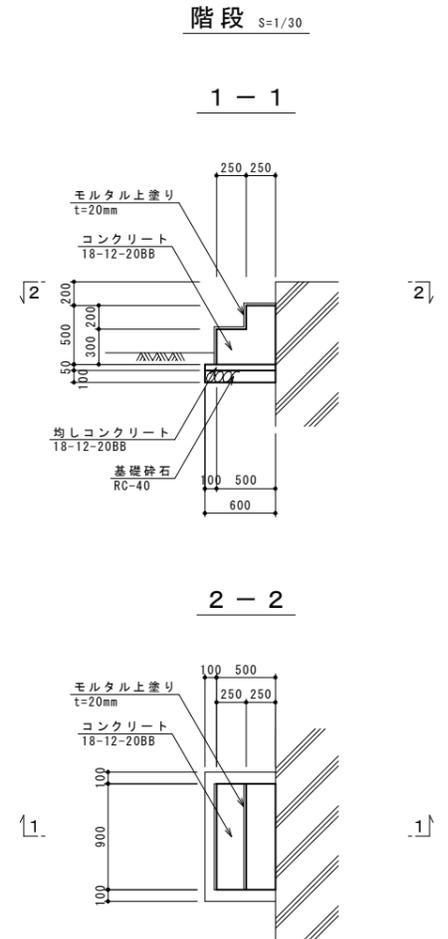
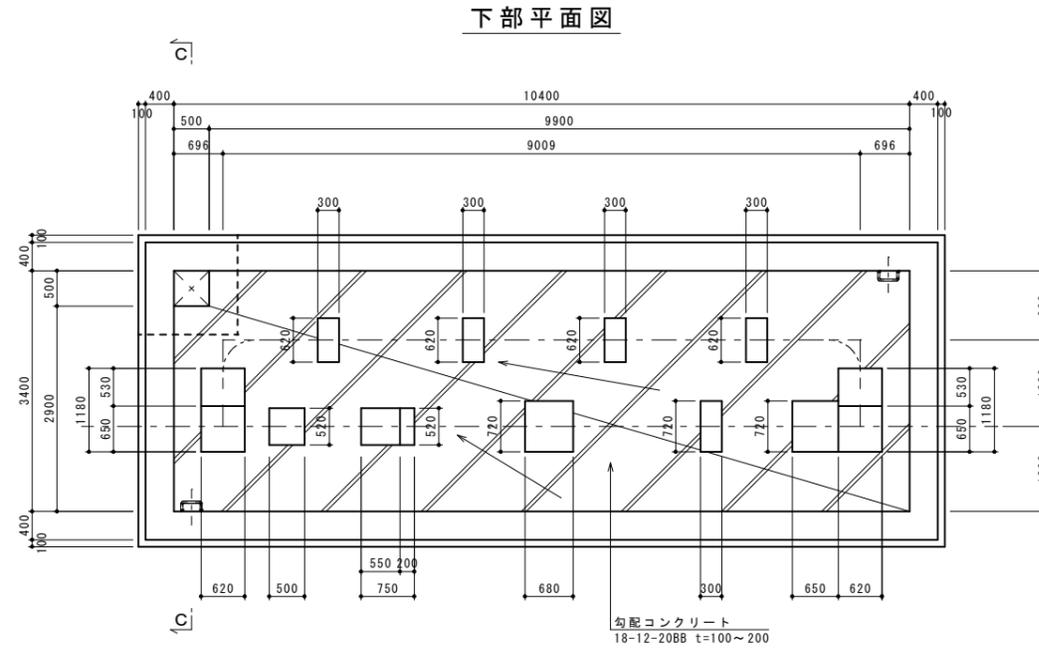
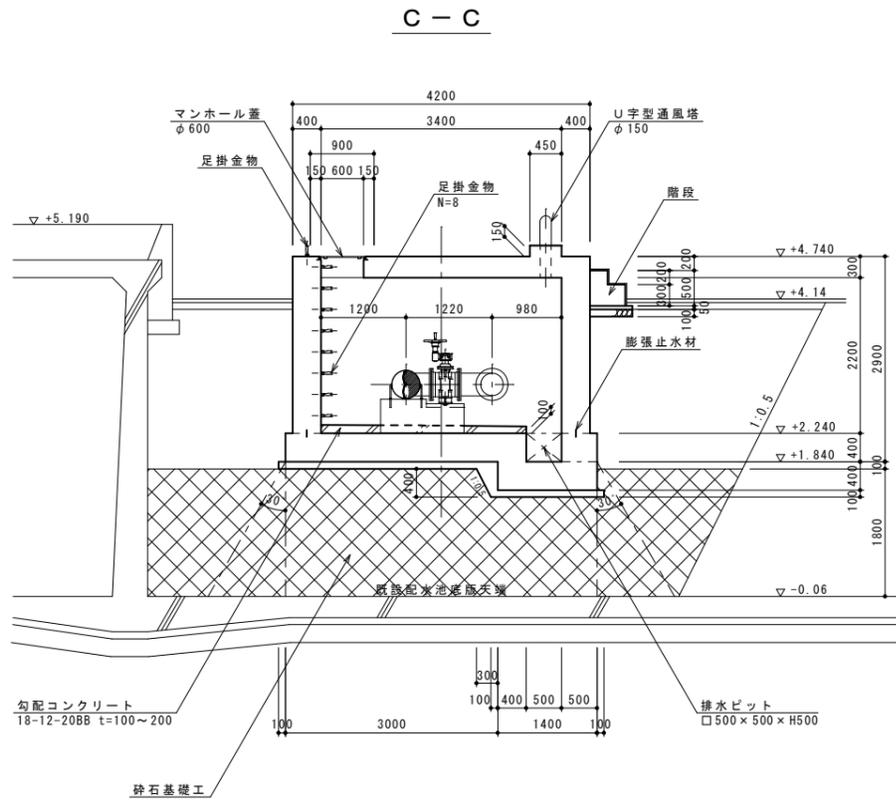


B - B

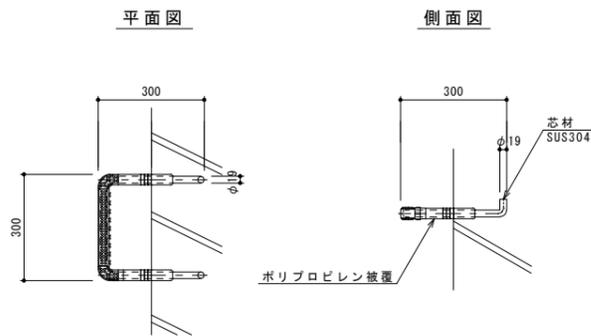


図番	22/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	流入弁室構造図(1)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/50		
制作日			
設計者	製図者		

流入弁室構造図 (2) S=1/50

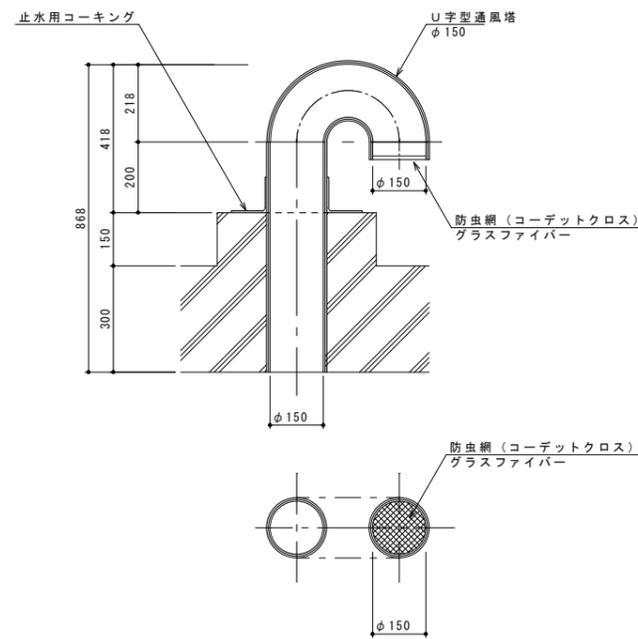


足掛金物詳細図 S=1/10
(B300・心材SUS製・ポリプロピレン被覆)



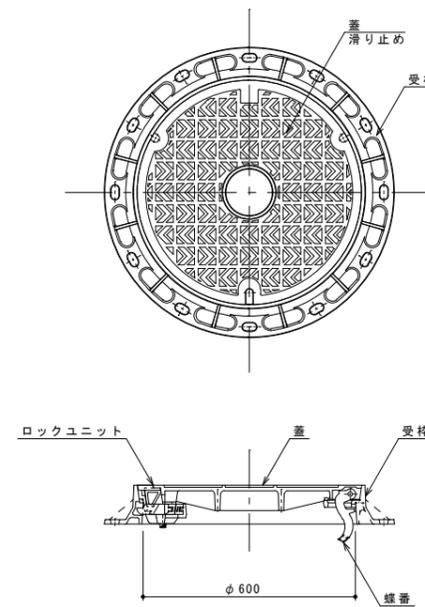
- 特記仕様
- ・壁に100mm以上埋め込むこと。
 - ・足掛り部のスリップ止めは150mm以上必要。
 - ・300ピッチ取付を原則とする。
 - ・形状および寸法は参考とし、各メーカーの仕様による。

U字型通風塔 S=1/10
(φ150・SUS製・防虫網付き・参考図)



- 特記仕様
- ・通風塔φ150(SUS製)とし、形状および寸法は参考とし、各メーカーの仕様による。

マンホール蓋 S=1/10
(φ600・鋳鉄製・参考図)



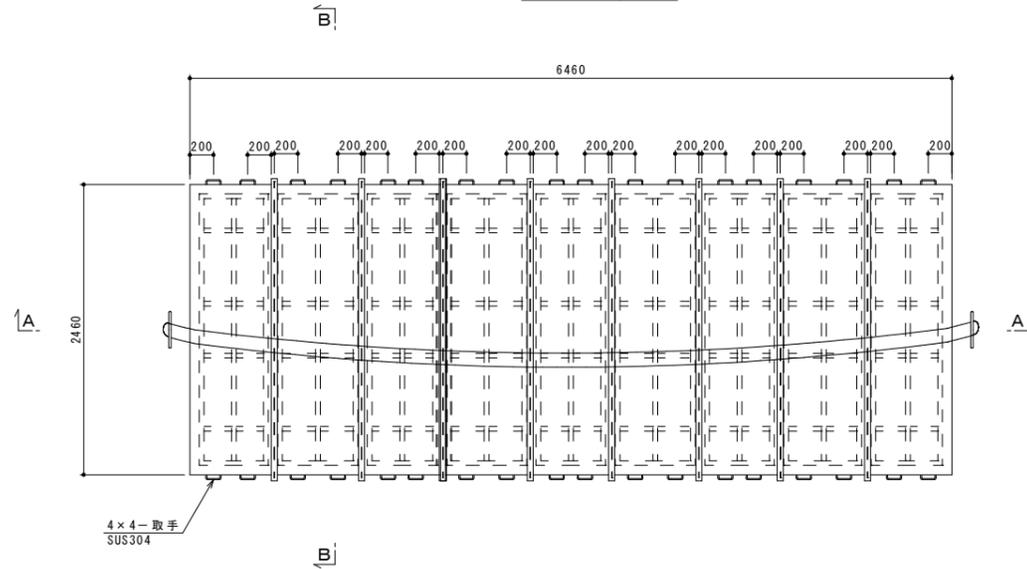
- 特記仕様
- ・マンホール蓋及び受枠は、鋳鉄製とする。
 - ・適用荷重：T-2
 - ・形状および寸法は参考とし、各メーカーの仕様による。

図番	23/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	流入弁室構造図(2)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/50, 1/30, 1/10		
制作日			
設計者		製図者	

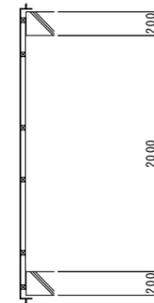
流入弁室構造図 (3)

搬入開口覆蓋

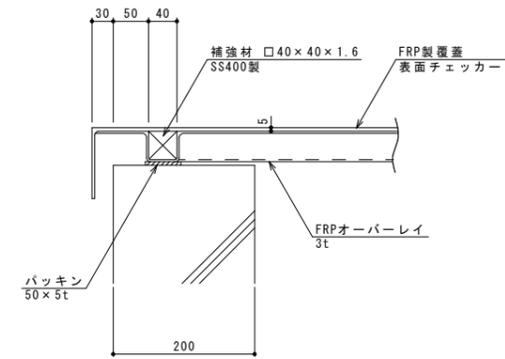
平面図 S=1/30



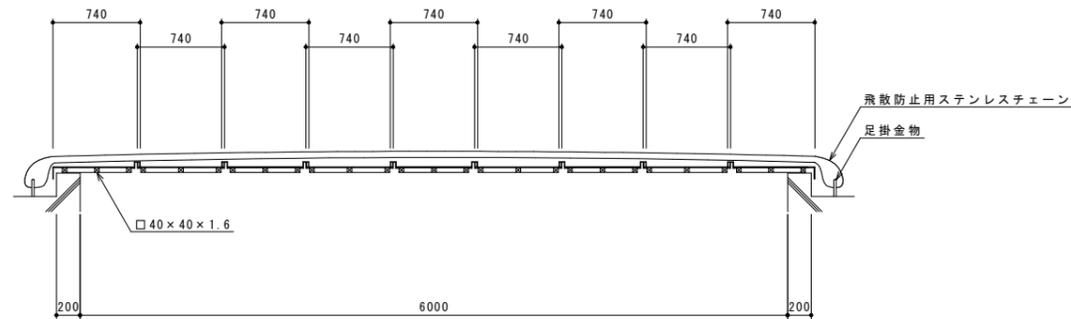
B - B S=1/30



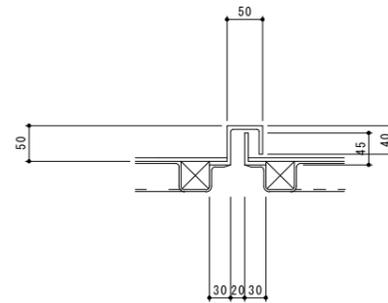
蓋据え付け詳細図 S=1/5



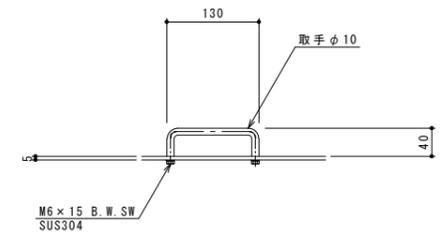
A - A S=1/30



ジョイント詳細図 S=1/5



取手詳細図 S=1/5



特記仕様

- ・蓋の表面は、チェッカー模様（滑り止め加工）とする。
- ・蓋の色相は、グリーンとする。
- ・取手等の金具類の材質は、SUS304製とする。
- ・設計条件 設計荷重3.5kN/m²とする。

図番	24/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	流入弁室構造図(3)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/30, 1/5		
制作日			
設計者		製図者	

流入弁室配筋図 (1) S=1/30

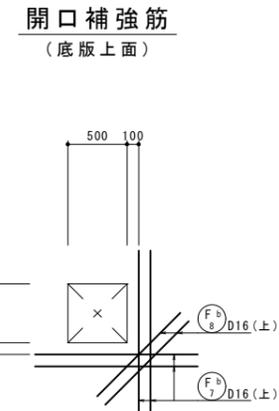
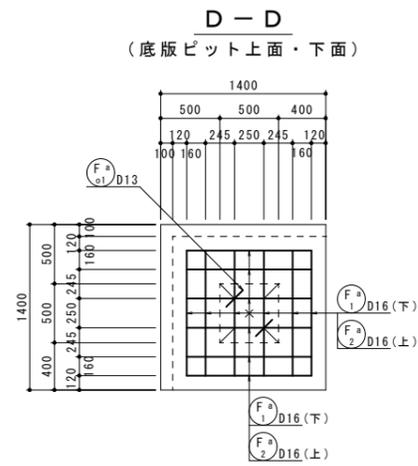
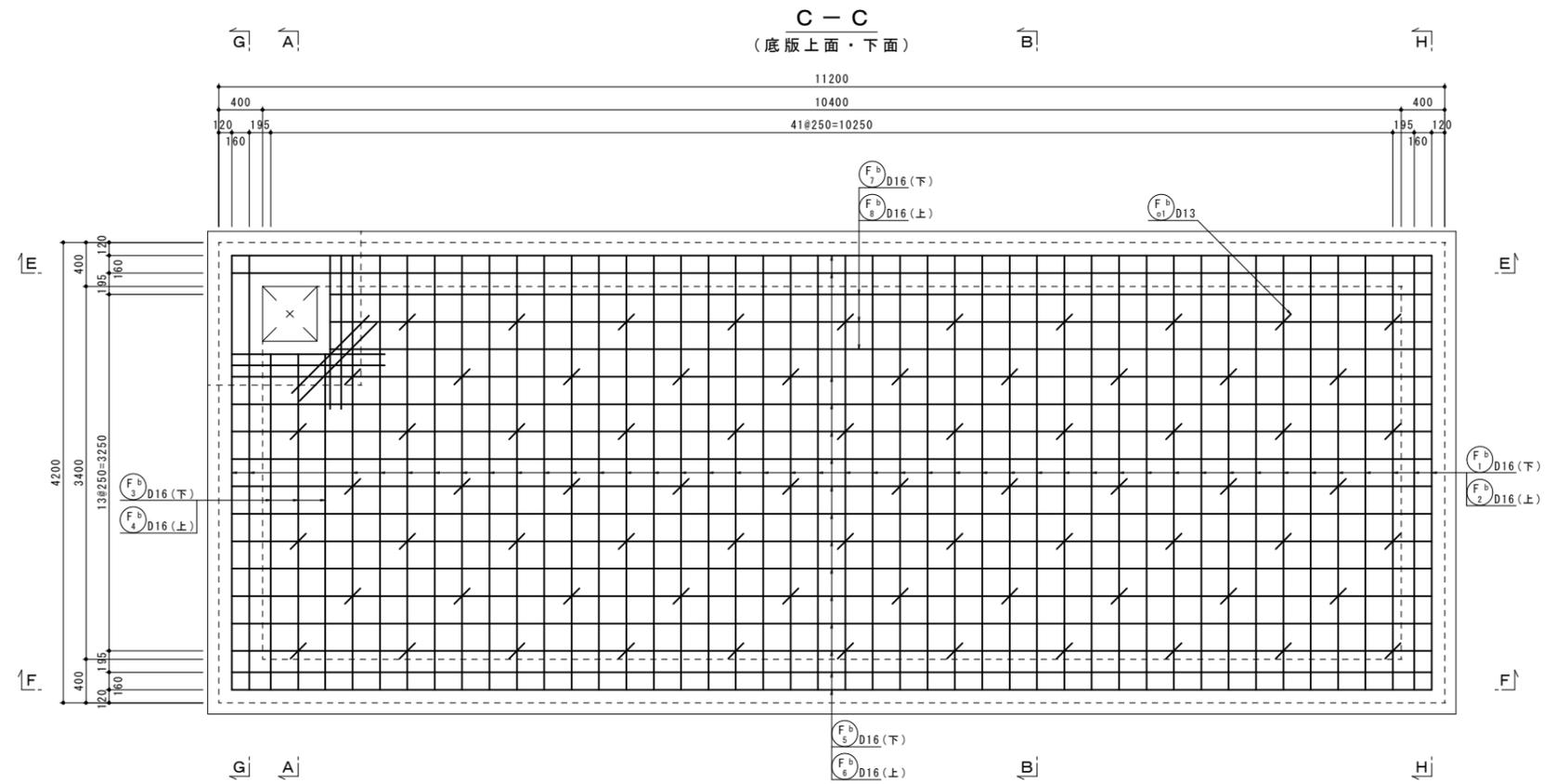
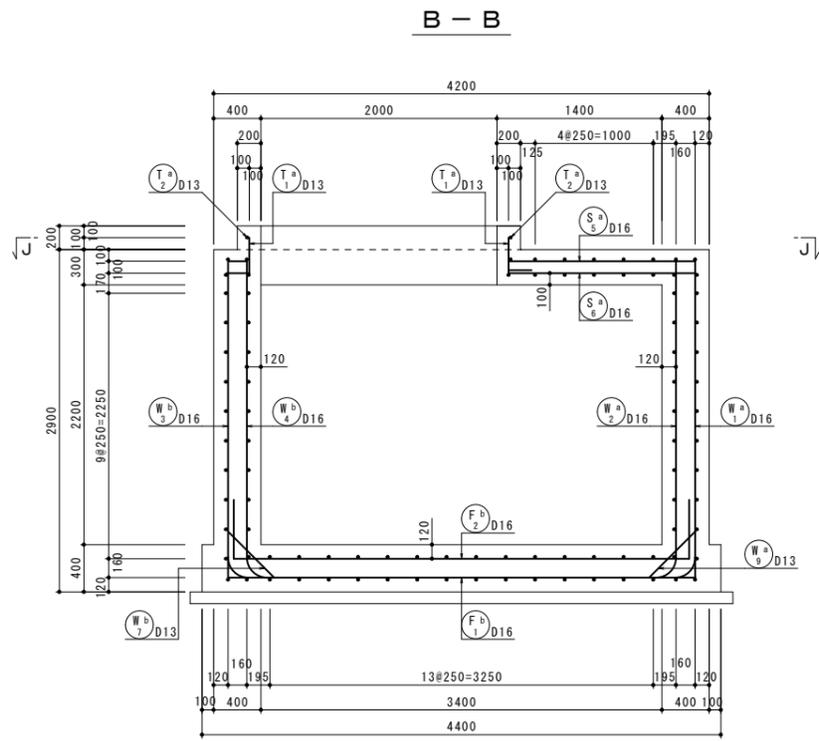
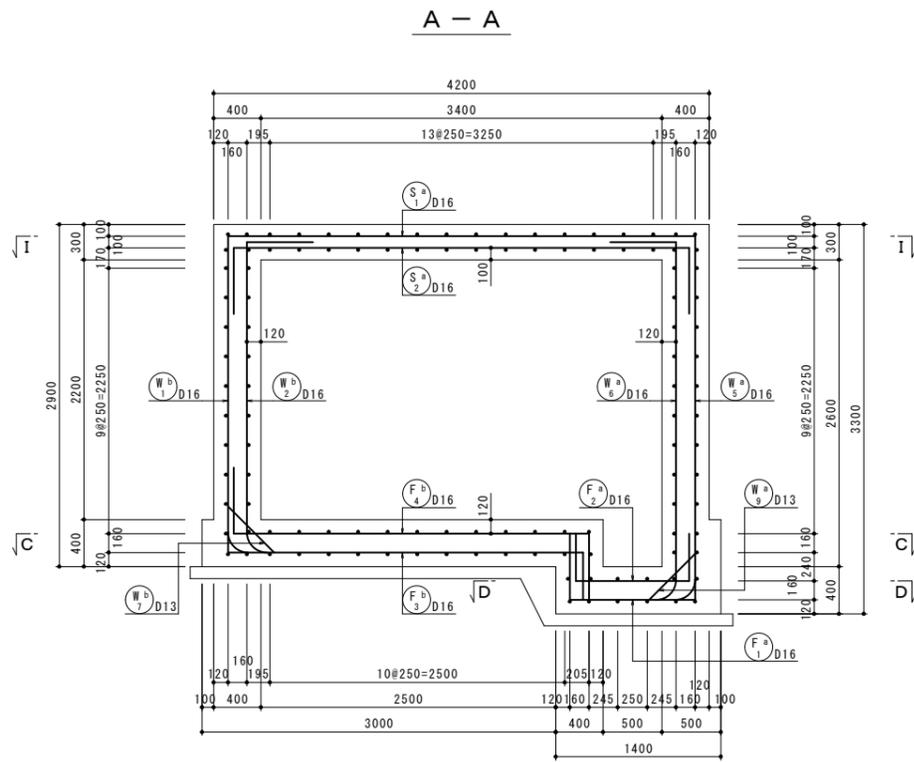
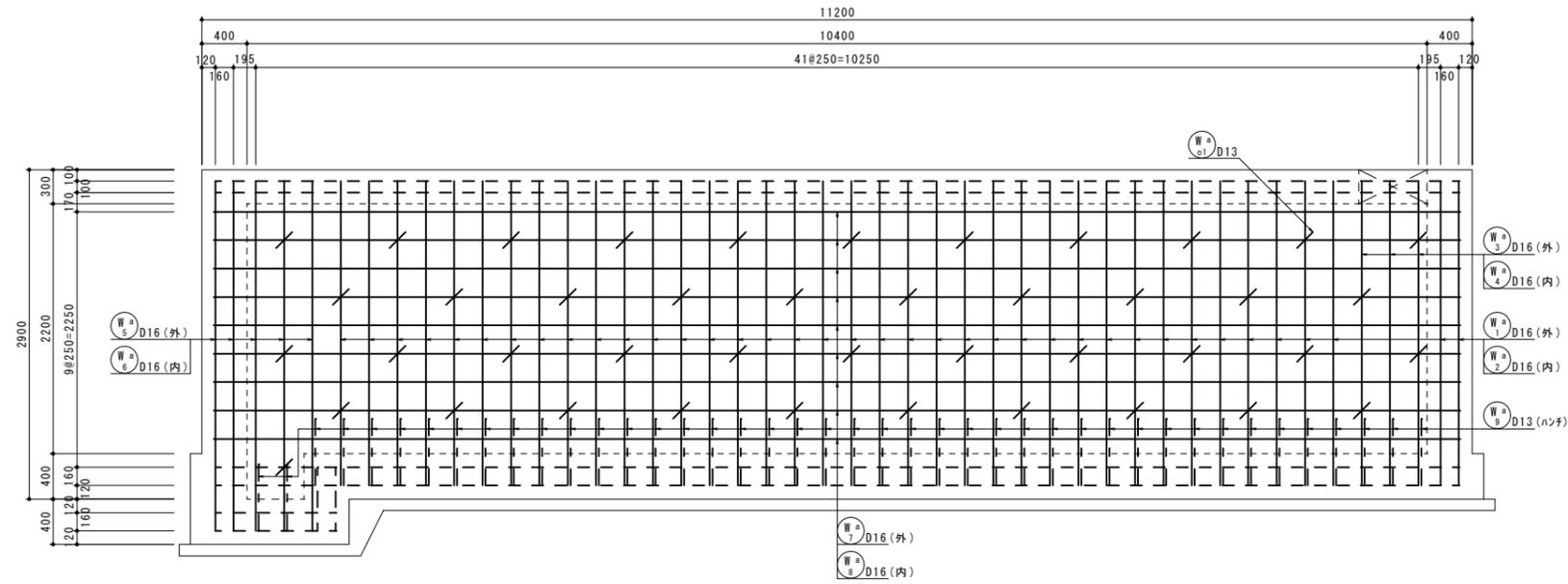


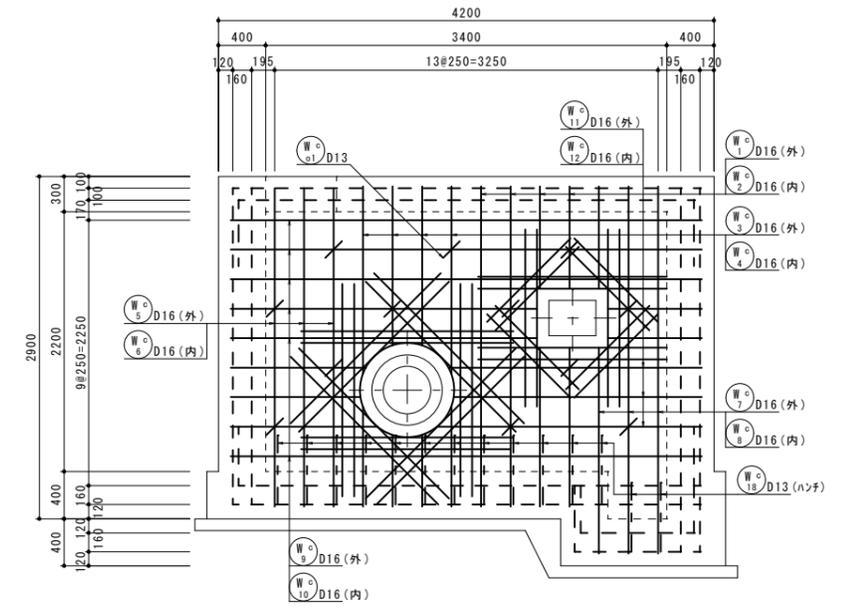
図 番	25/37	施工年度	令和5年度
工 事 名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図 種	流入弁室配筋図 (1)		
場 所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮 尺	1/30		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

流入弁室配筋図 (2) S=1/30

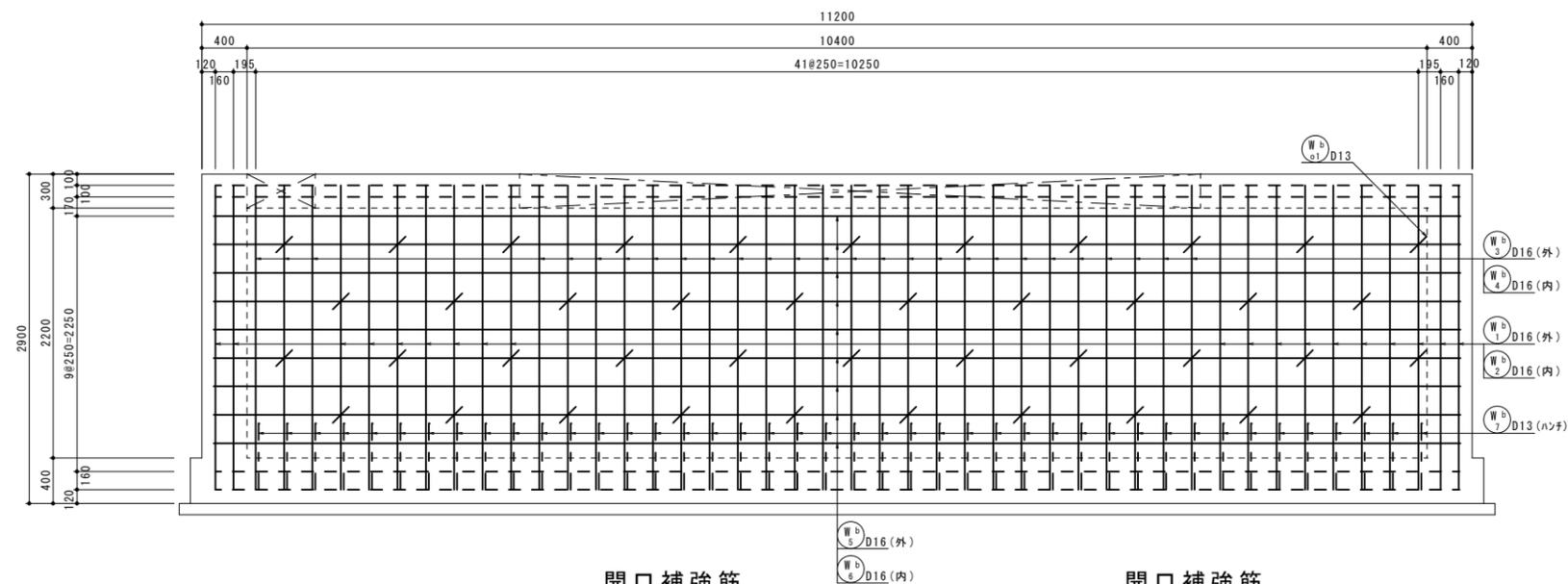
E-E
(側壁外面・内面)



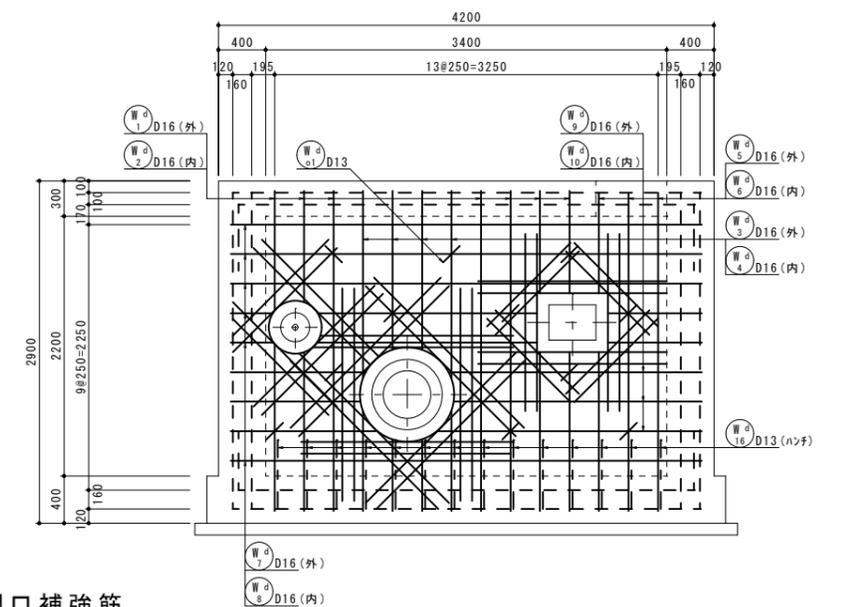
G-G
(端壁外面・内面)



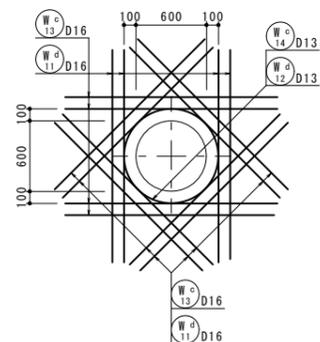
F-F
(側壁外面・内面)



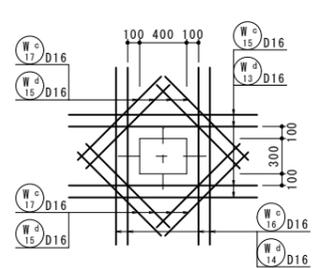
H-H
(端壁外面・内面)



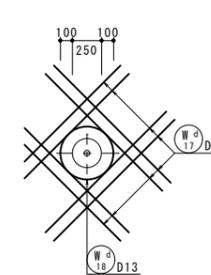
開口補強筋
(端壁外面・内面・n=2)



開口補強筋
(端壁外面・内面・n=2)

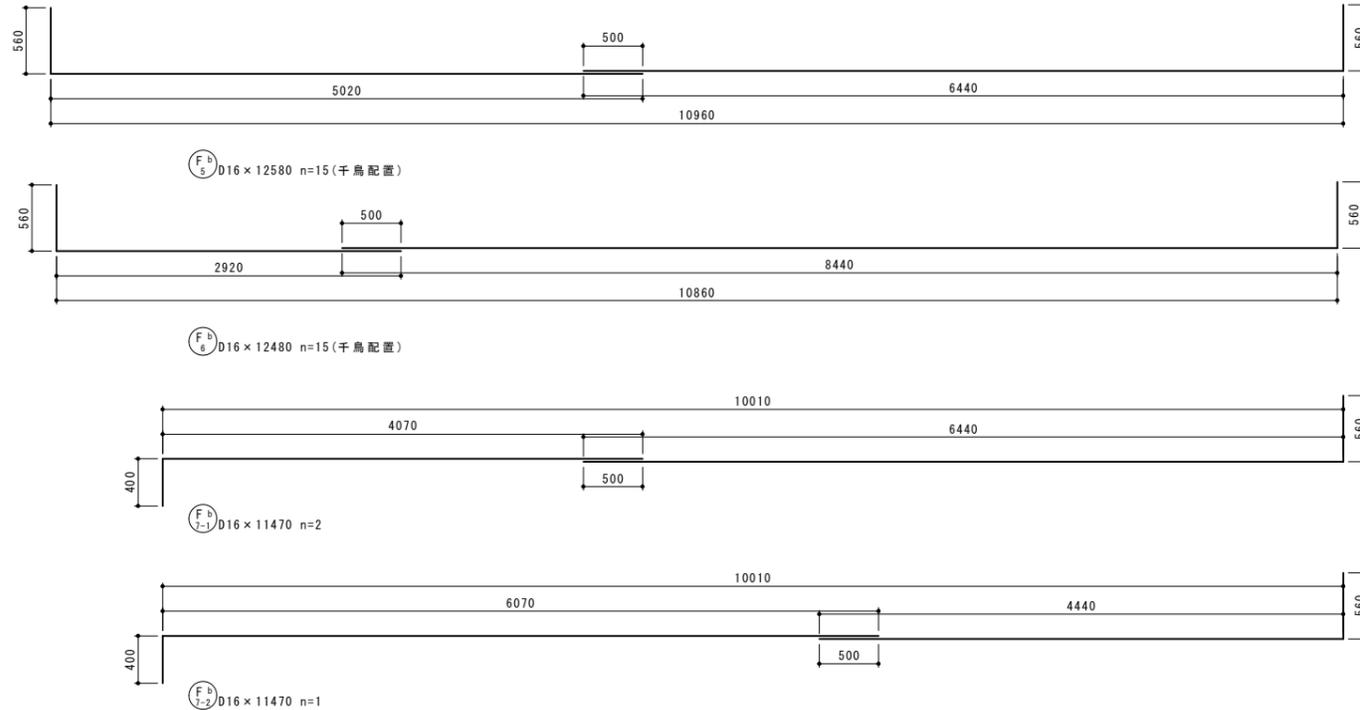
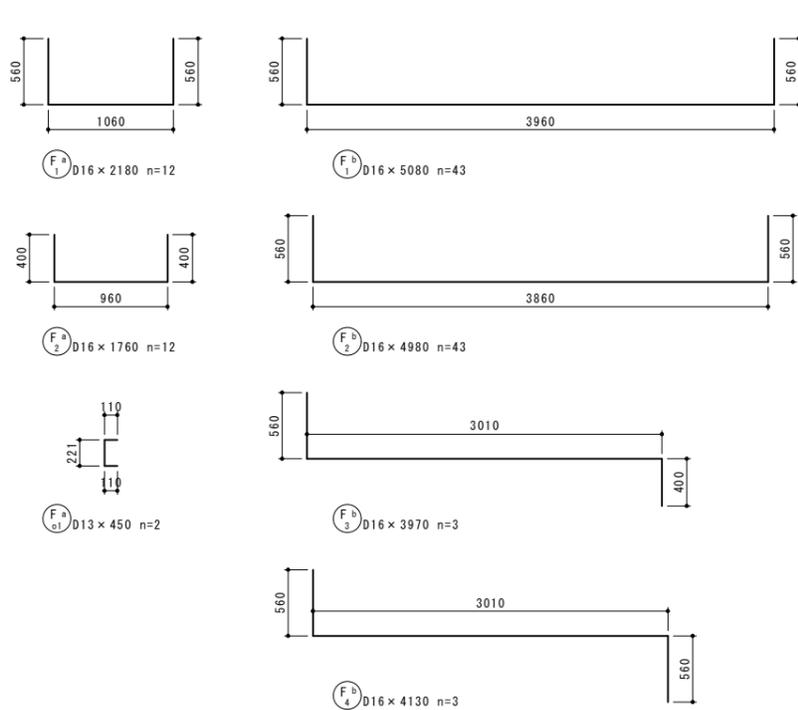
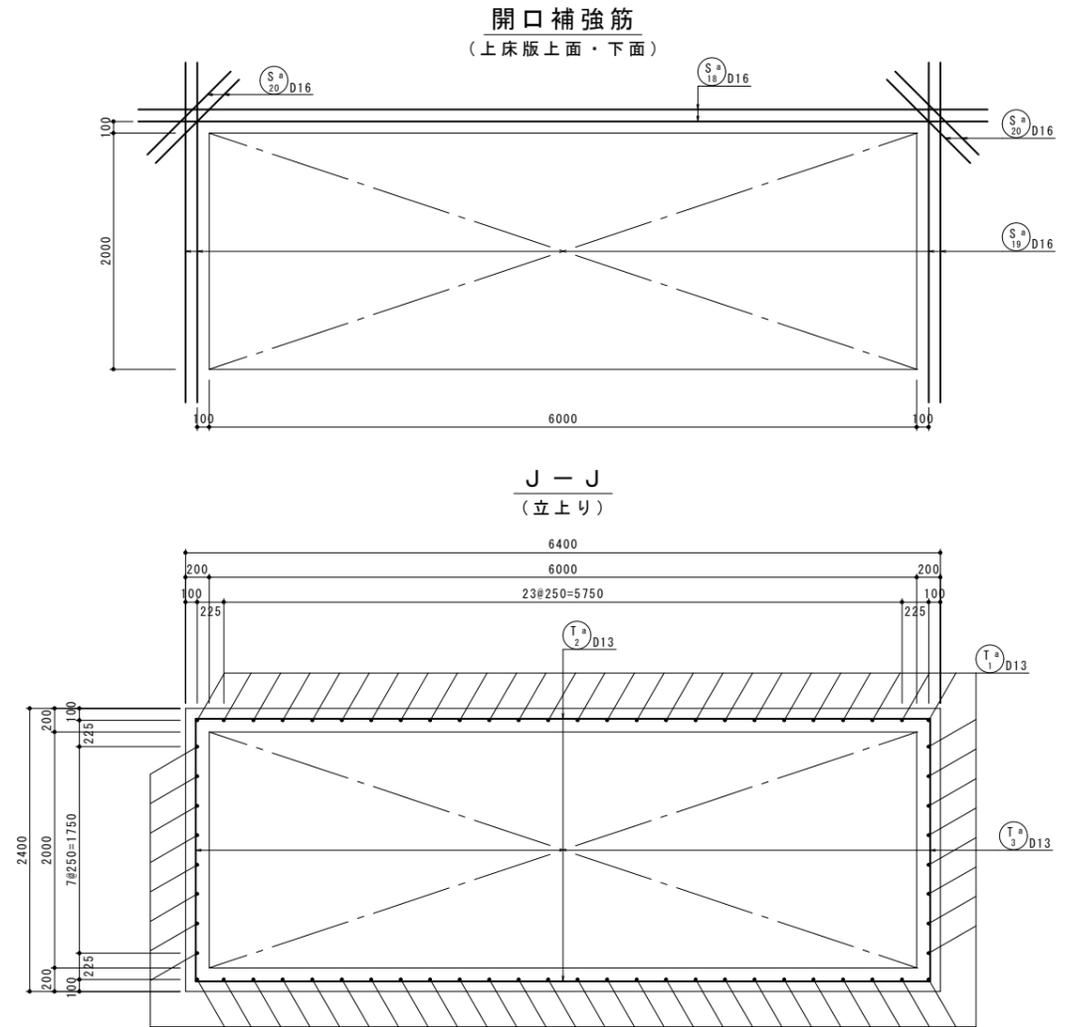
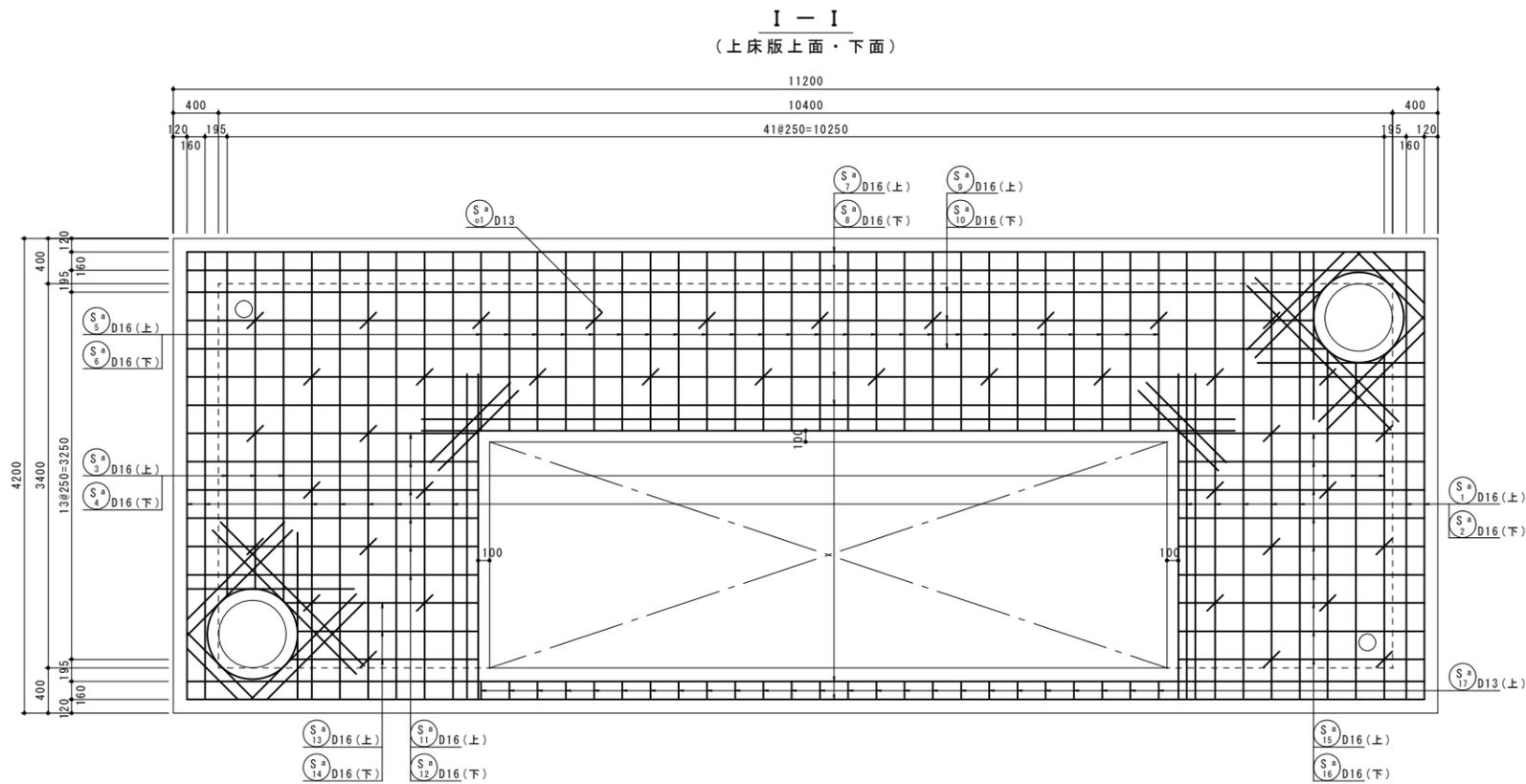


開口補強筋
(端壁外面・内面)



図番	26/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	流入弁室配筋図(2)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/30		
制作日			
設計者		製図者	

流入弁室配筋図 (3) S=1/30



開口補強筋
(上床版上面・下面・n=2)

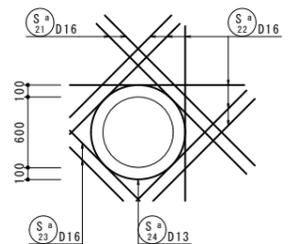
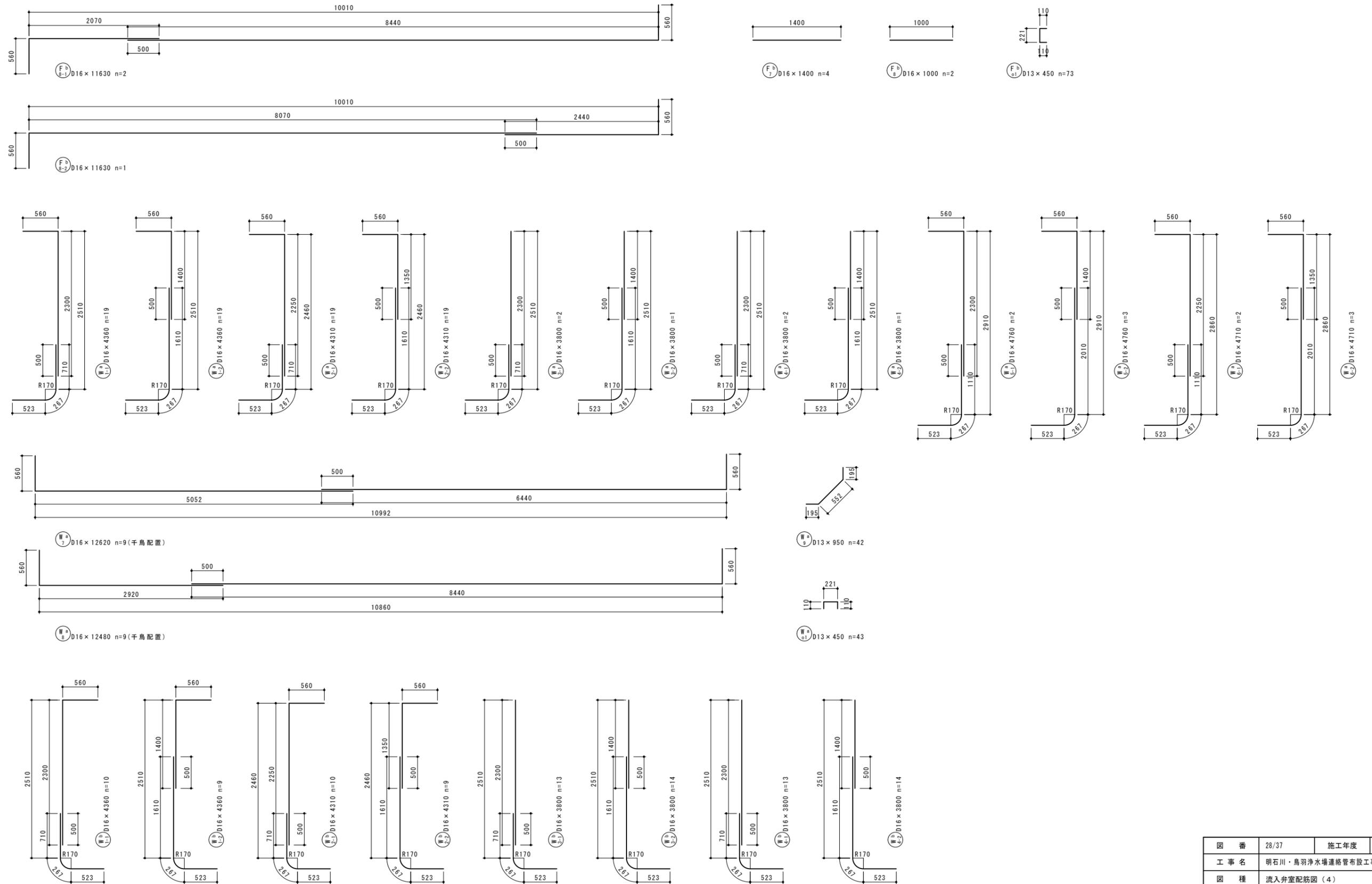


図 番	27/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図 種	流入弁室配筋図 (3)		
場 所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮 尺	1/30		
制作日			
設計者		製図者	

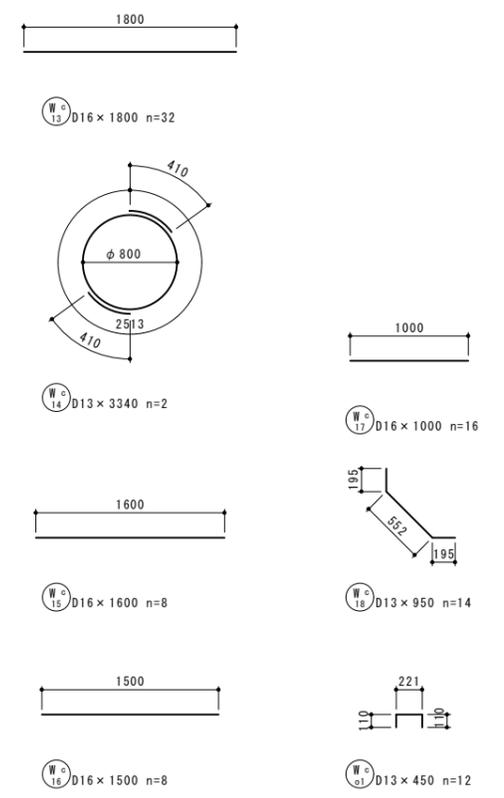
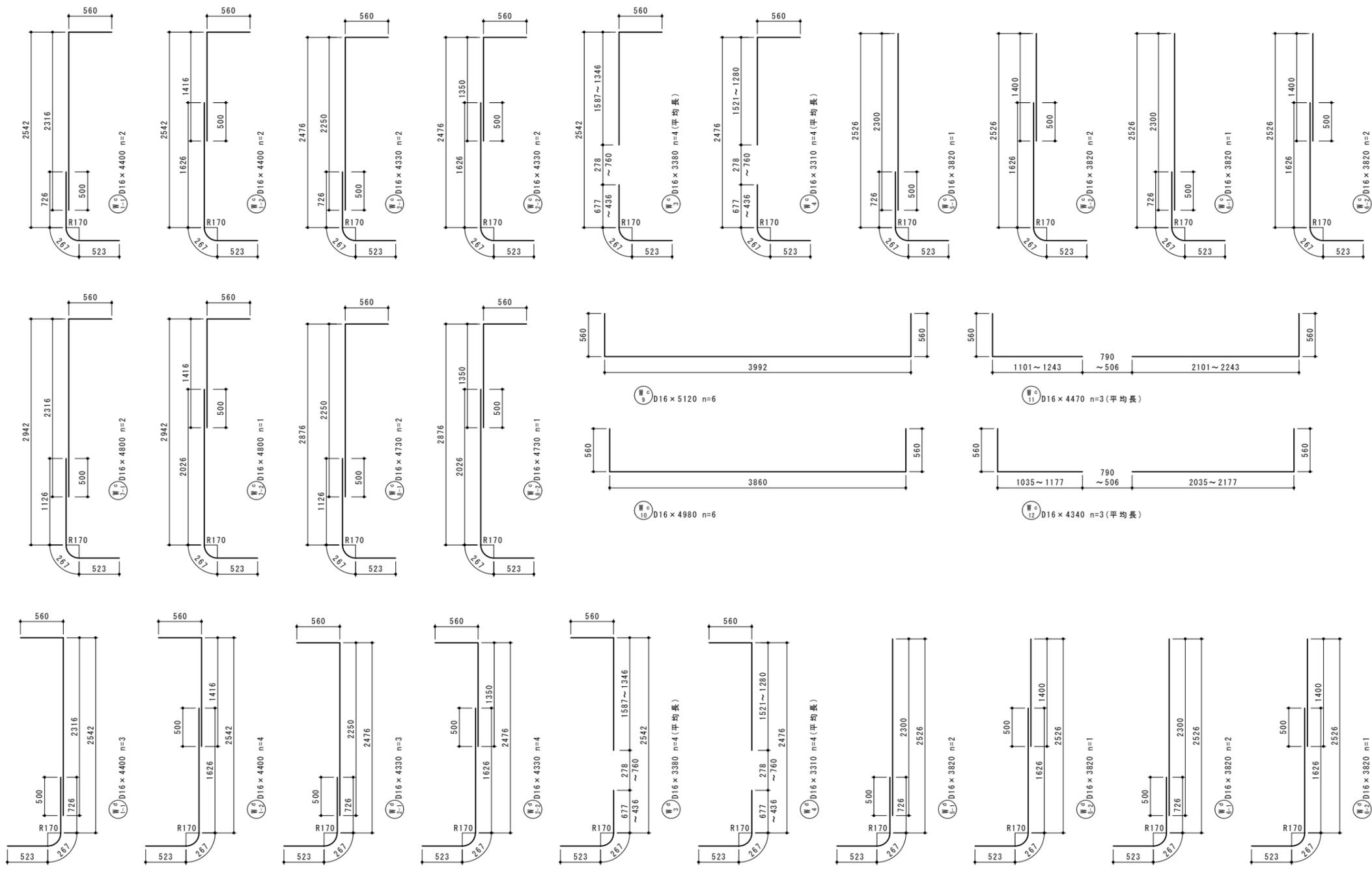
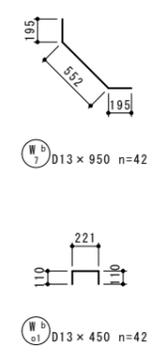
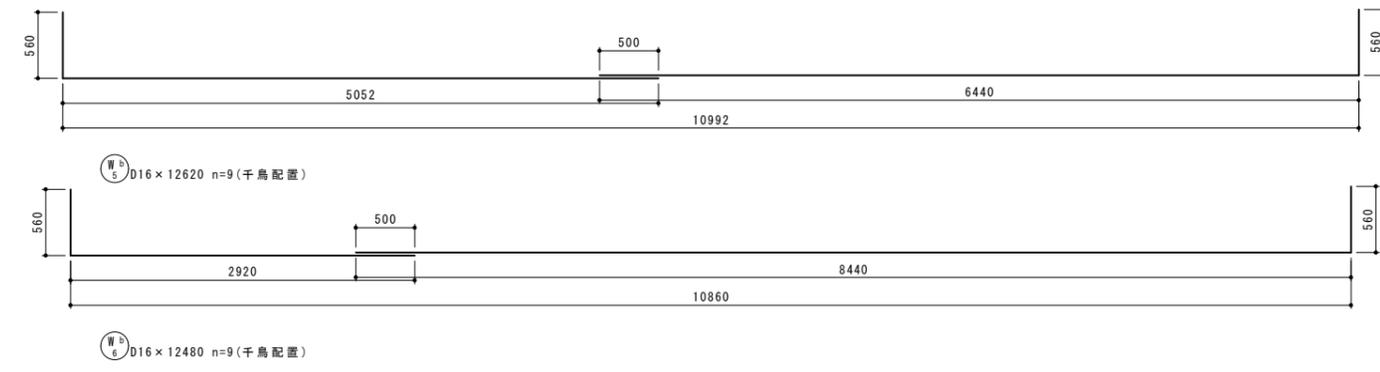
流入弁室配筋図 (4) S=1/30



図番	28/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	流入弁室配筋図(4)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/30		
制作日			
設計者		製図者	

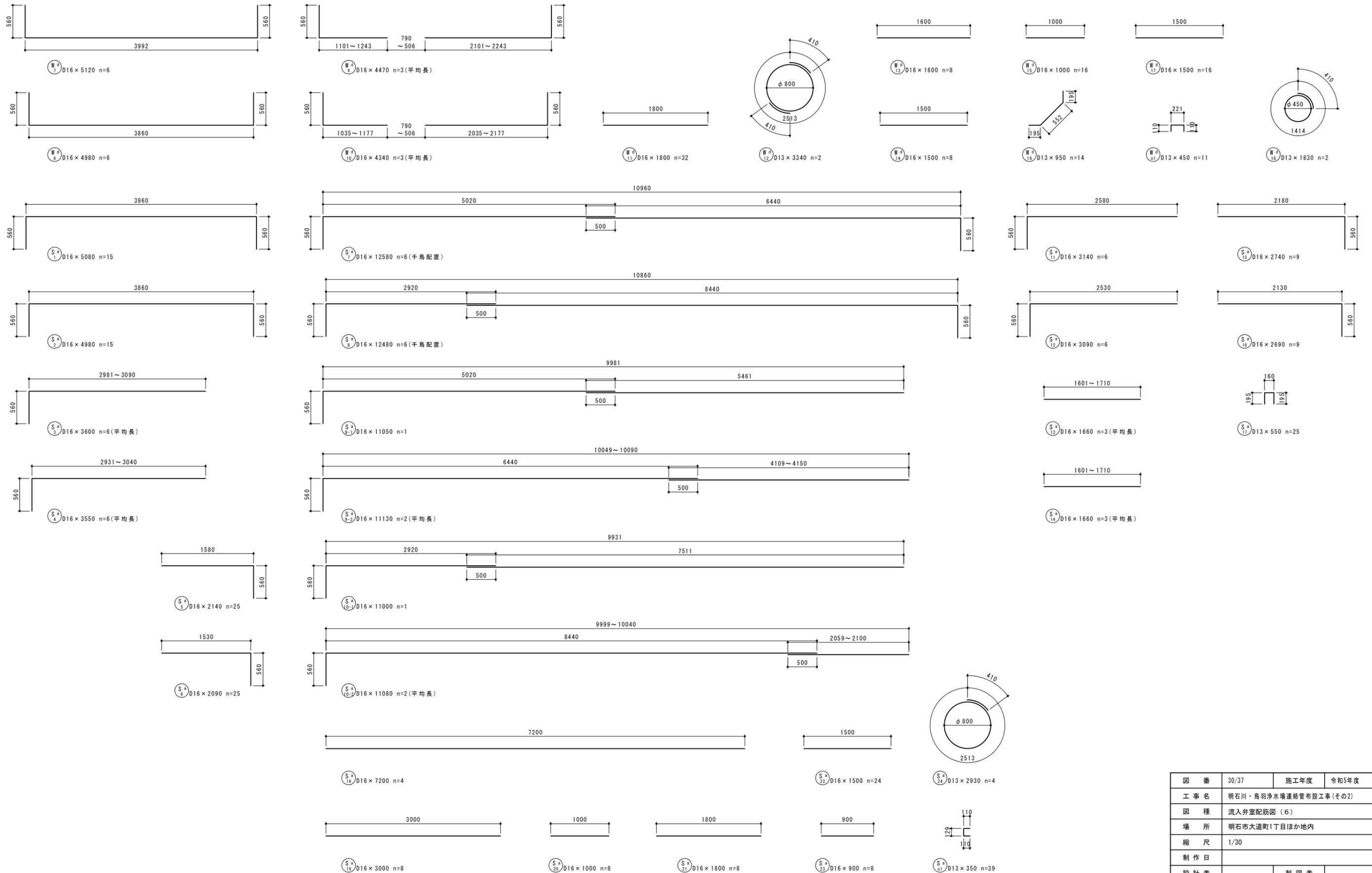
流入弁室配筋図 (5)

S=1/30



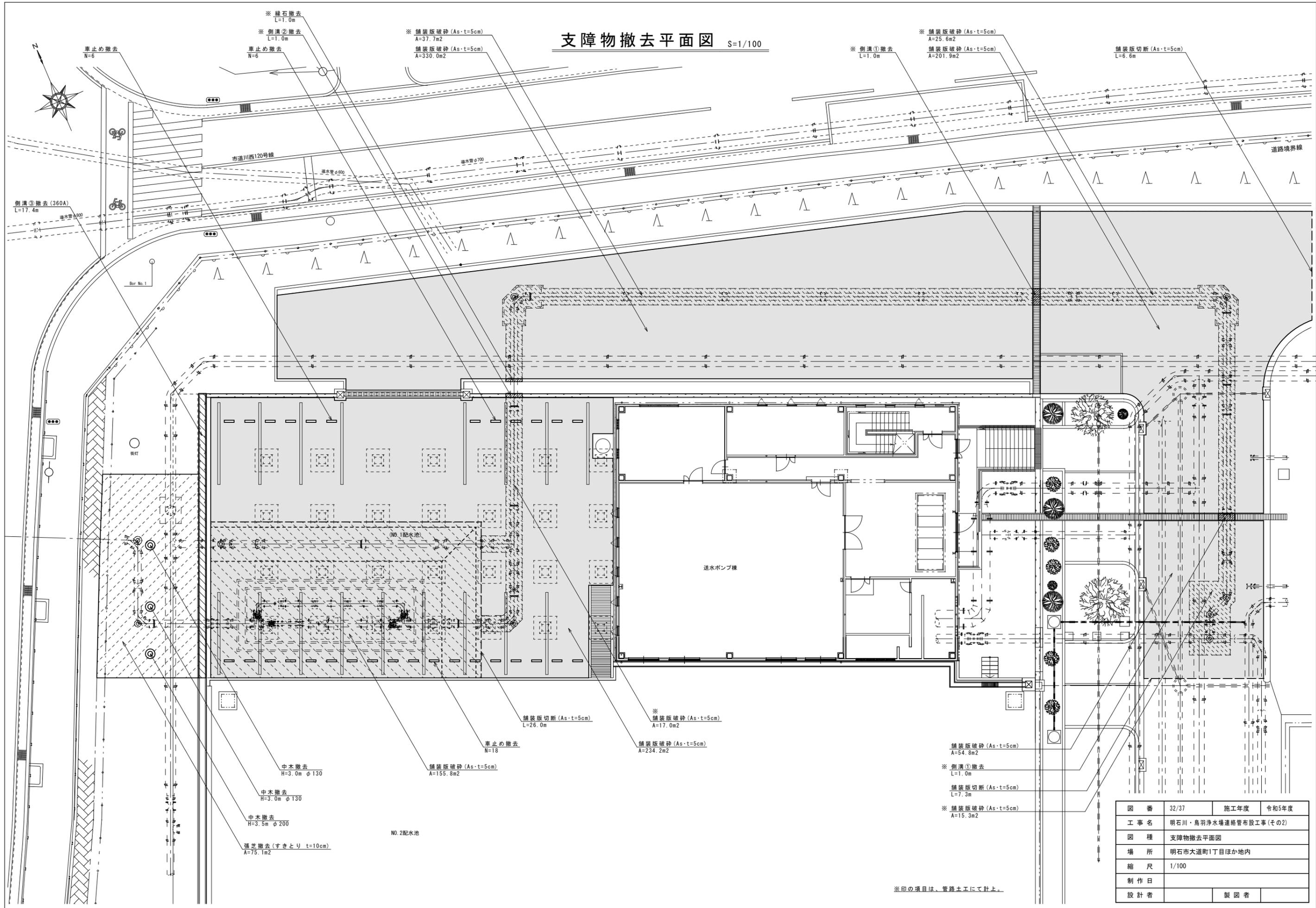
図番	29/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	流入弁室配筋図 (5)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/30		
制作日			
設計者		製図者	

流入弁室配筋図 (6) S=1/30



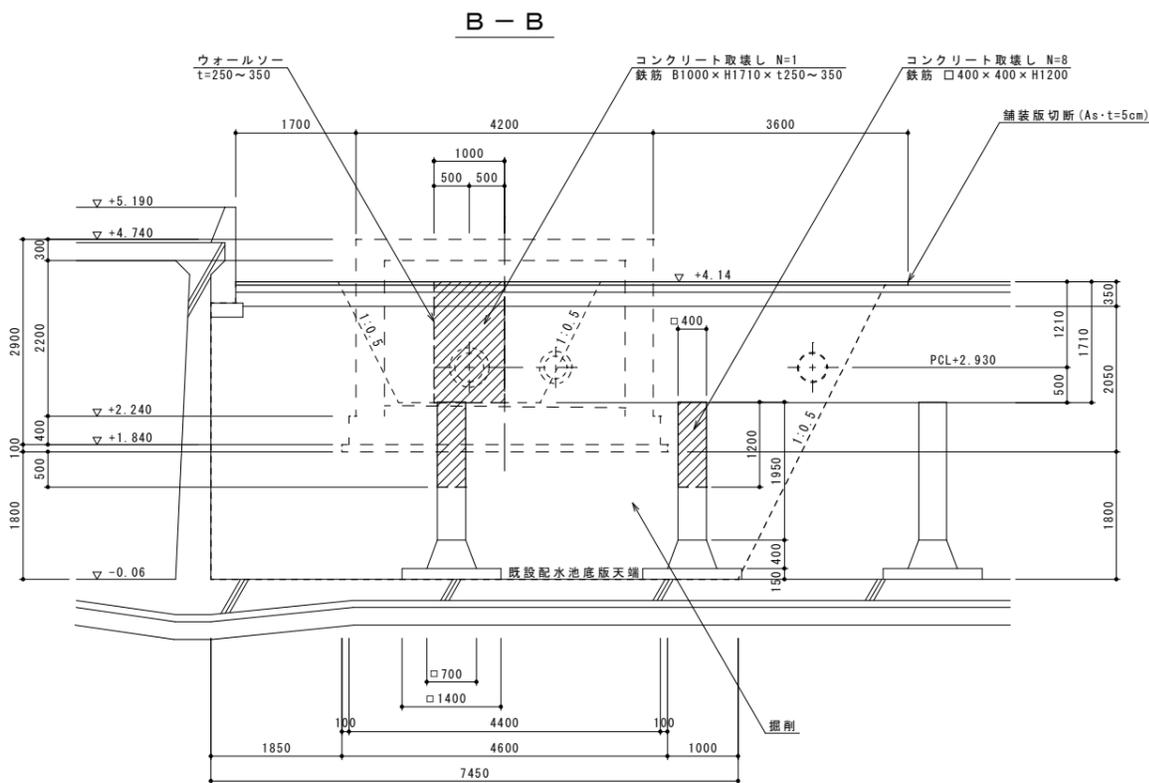
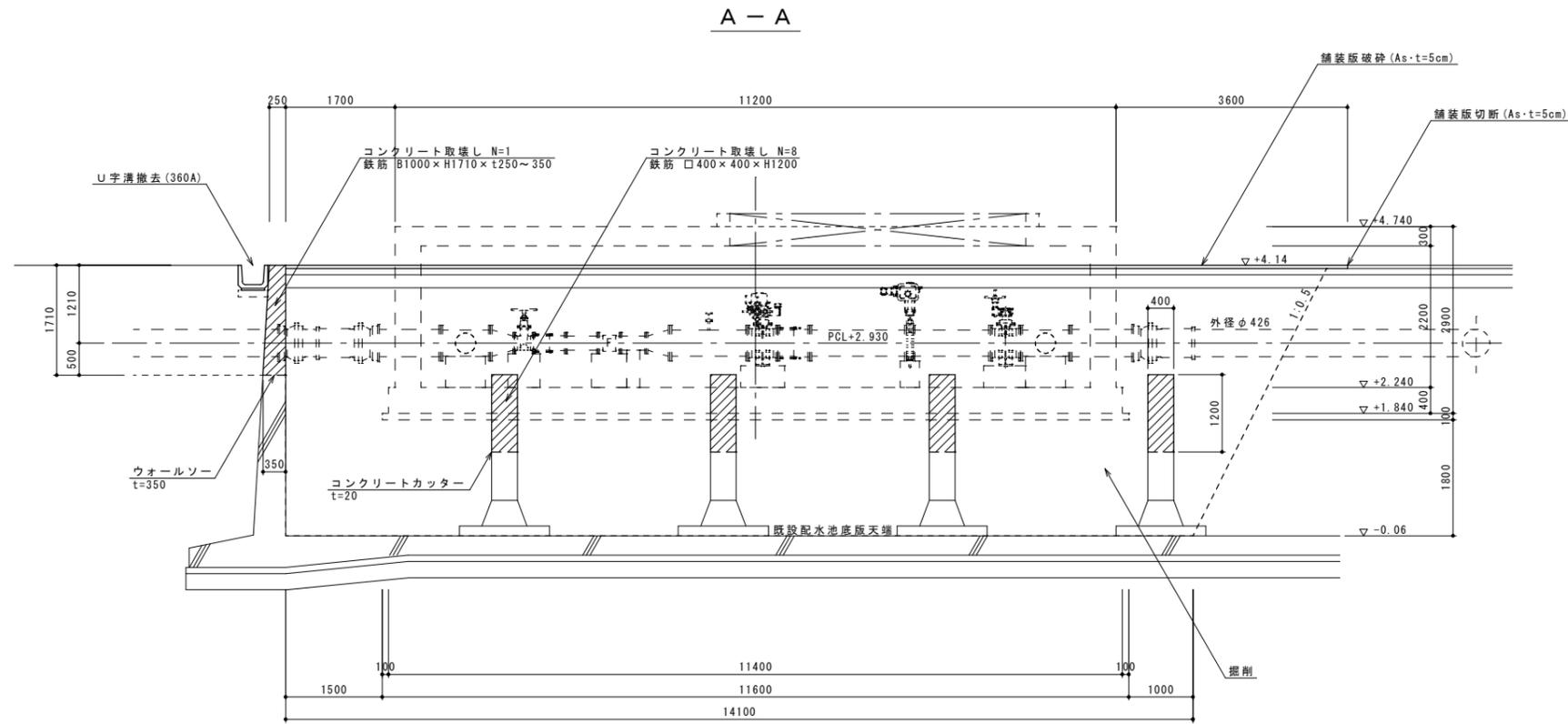
図番	30/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	流入弁室配筋図(6)		
場所	明石市大進町1丁目ほか地内		
縮尺	1/30		
制作日			
設計者		製図者	

支障物撤去平面図 S=1/100

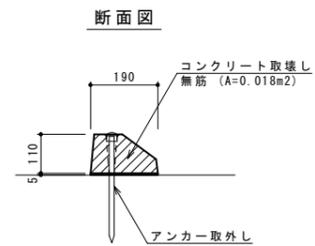


図番	32/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	支障物撤去平面図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100		
制作日			
設計者	製図者		

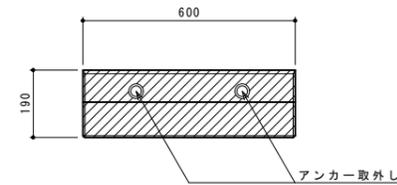
支障物撤去断面図 S=1/50



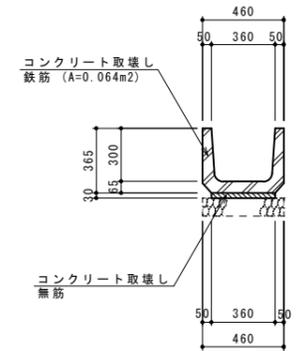
車止め撤去 S=1/10



平面図

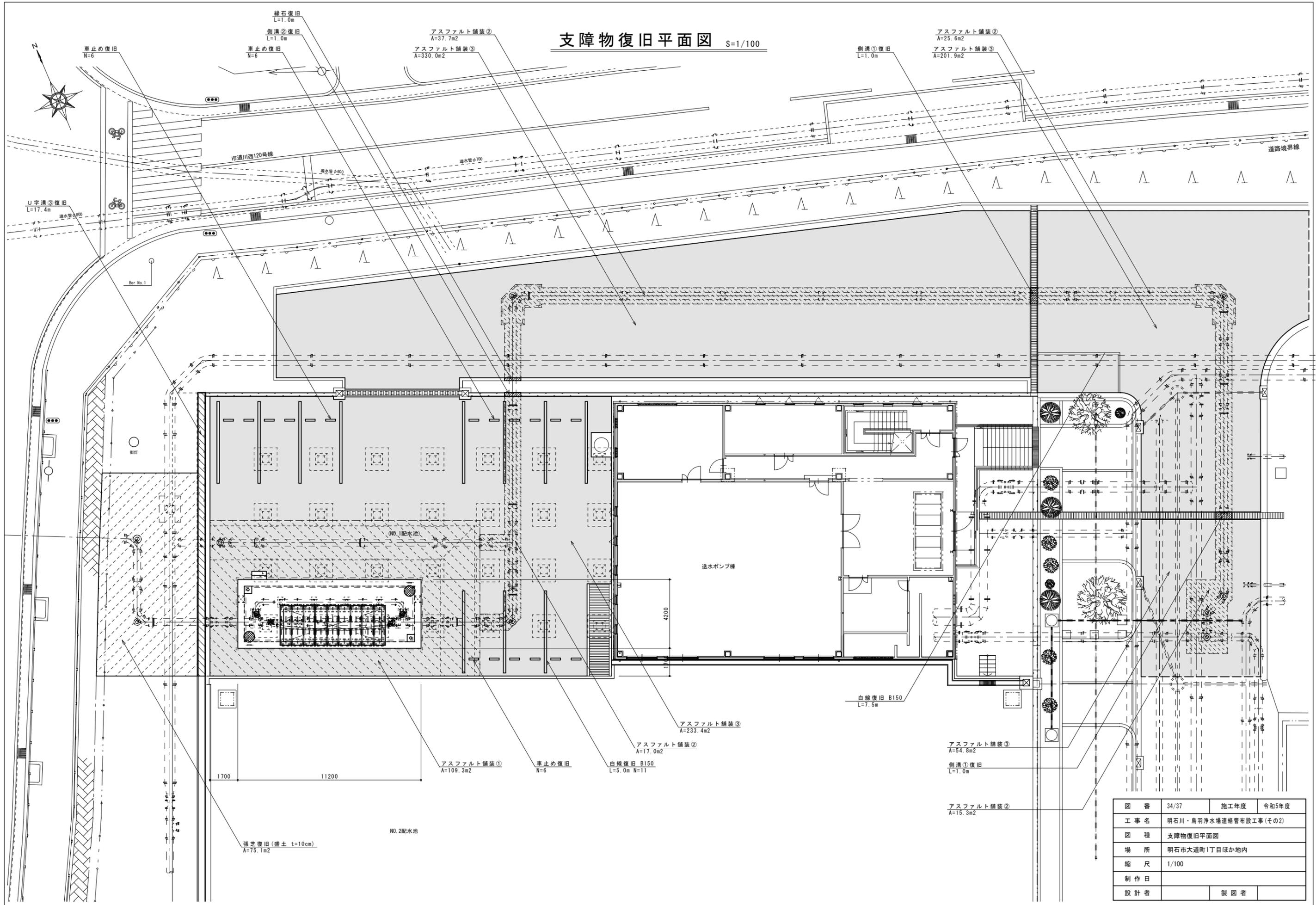


側溝③撤去 S=1/20 (360A)



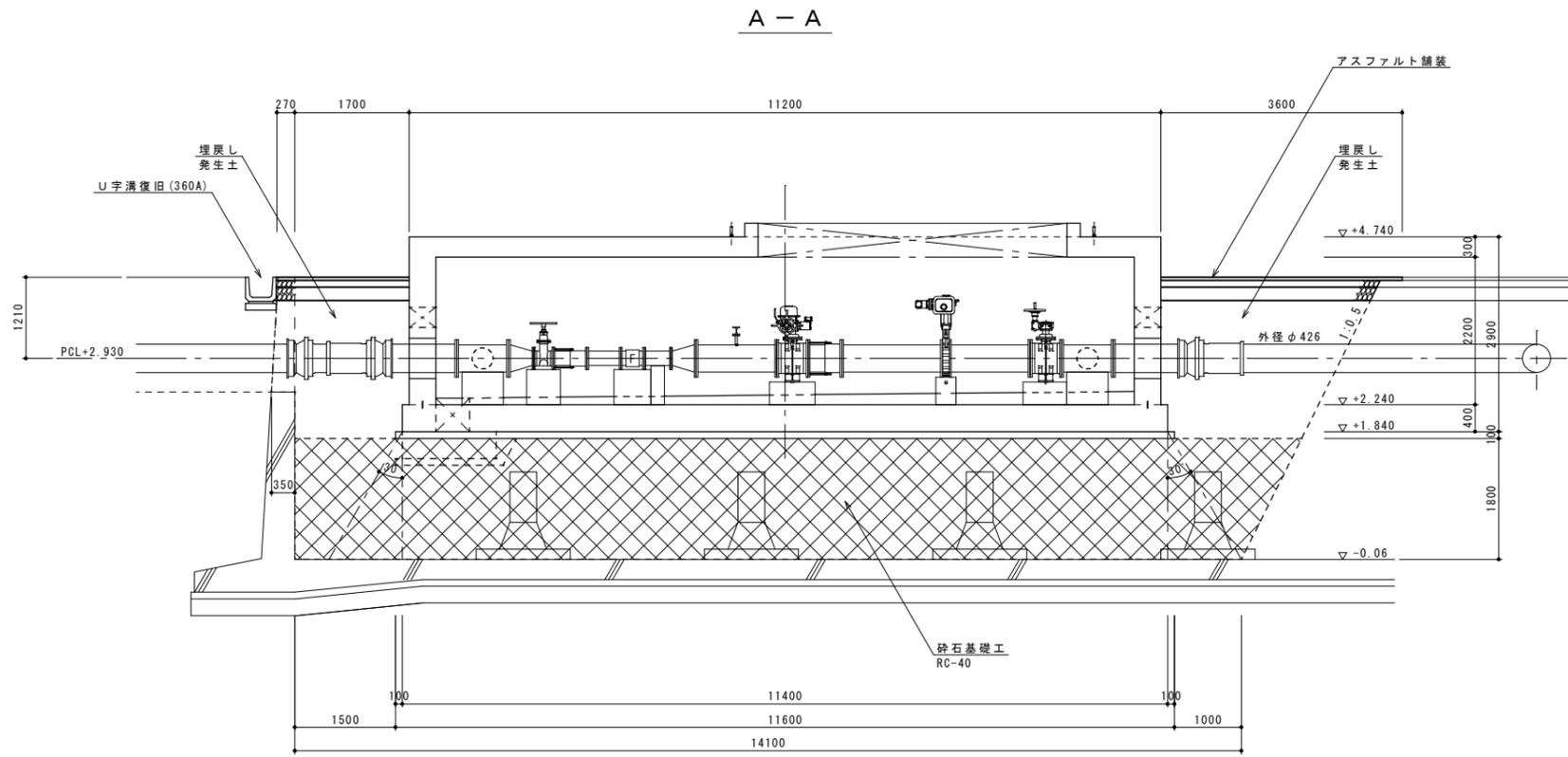
図番	33/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	支障物撤去断面図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/50, 1/20, 1/10		
制作日			
設計者		製図者	

支障物復旧平面図 S=1/100

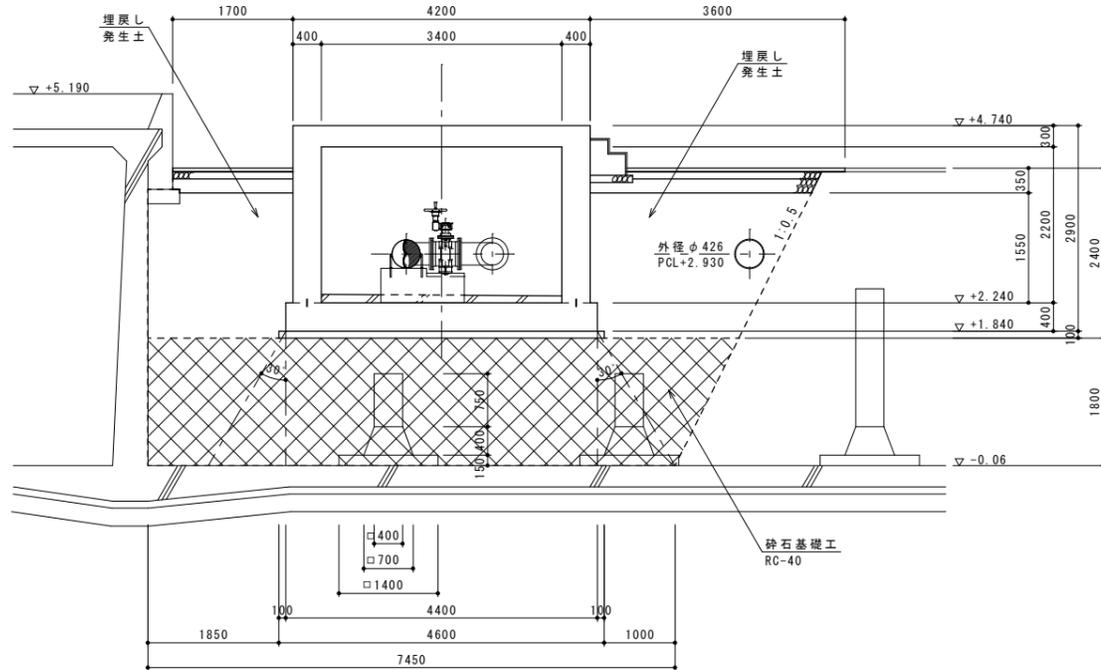


図番	34/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	支障物復旧平面図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/100		
制作日			
設計者			製図者

支障物復旧断面図 S=1/50

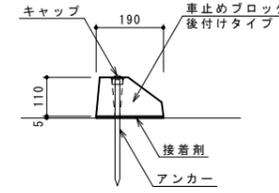


B-B

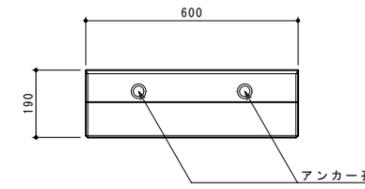


車止め復旧 S=1/10

断面図

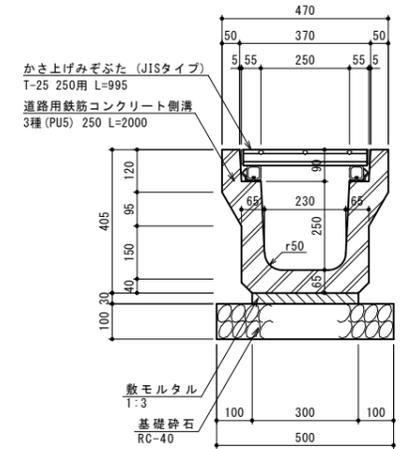


平面図

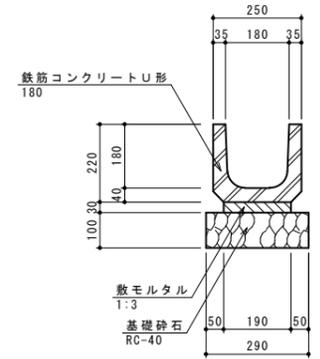


○形状および寸法は参考とし、メーカーの仕様に進捗すること。

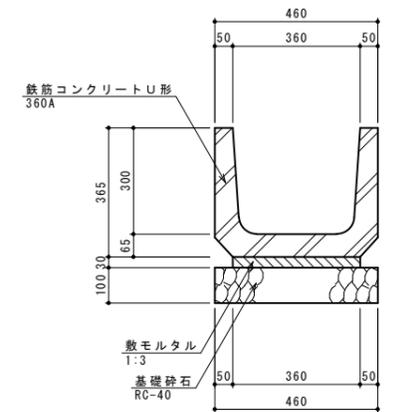
側溝①復旧 S=1/10



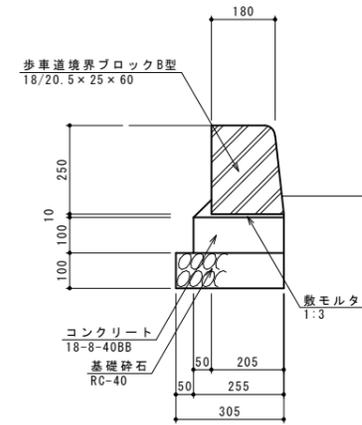
側溝②復旧 S=1/10



側溝③復旧 S=1/10

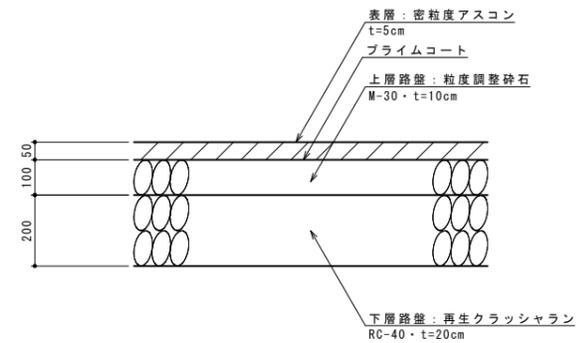


縁石復旧 S=1/10



アスファルト舗装 S=1/10

①～③



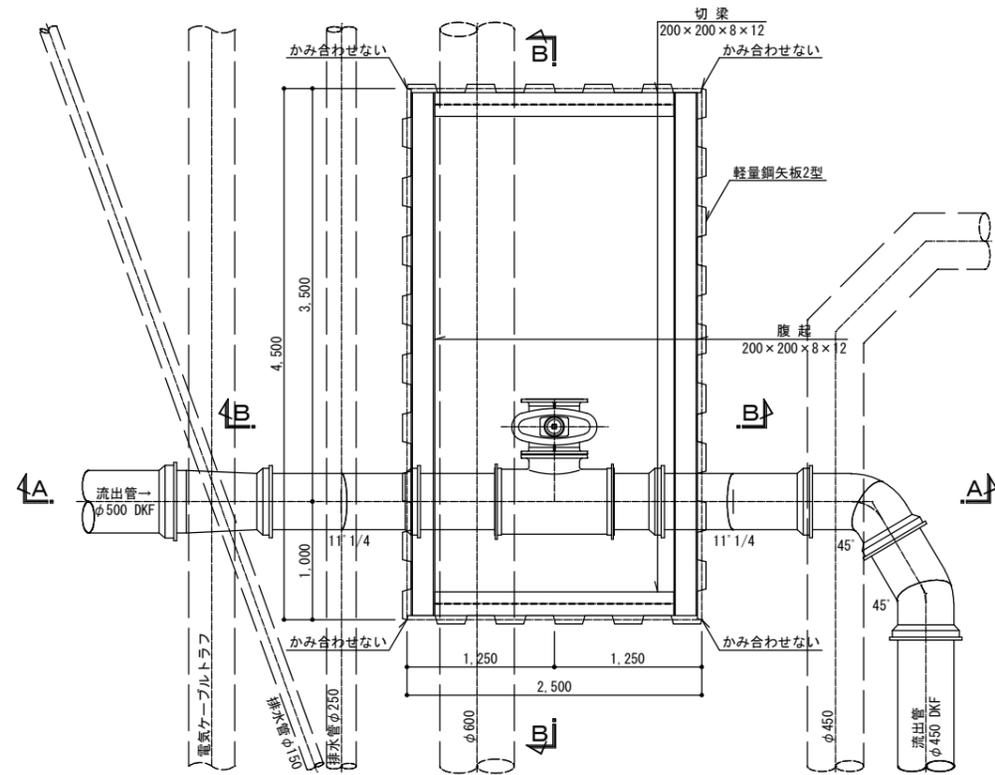
- ① 流入弁室土工部・・・表層+上層路盤+下層路盤
- ② 管路土工部・・・表層+上層路盤
- ③ 舗装やり替え部・・・表層+不陸整正(M-30 t=3cm)

図番	35/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	支障物復旧断面図		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/50, 1/10		
制作日			
設計者	製図者		

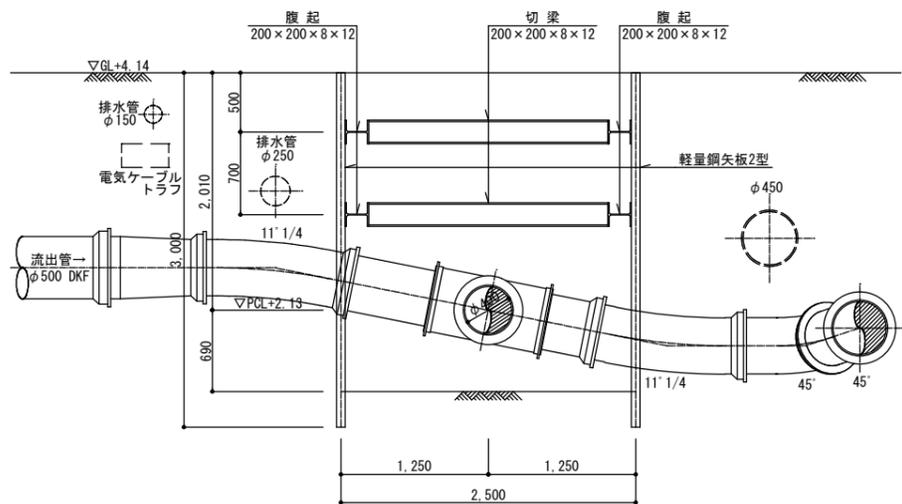
終点部不断水接続工図(参考図)

S=1/30

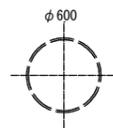
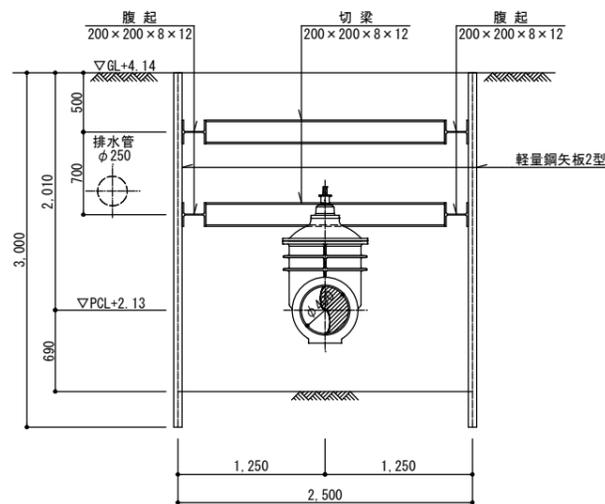
平面図



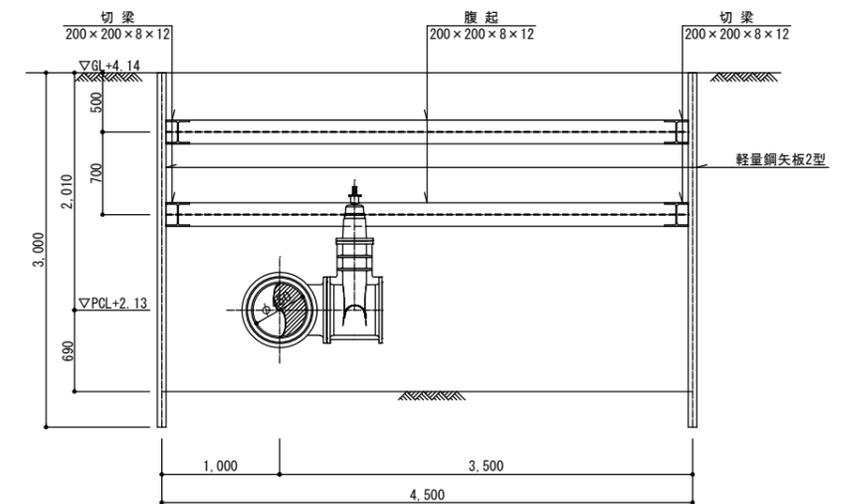
A-A断面図



B-B断面図



C-C断面図

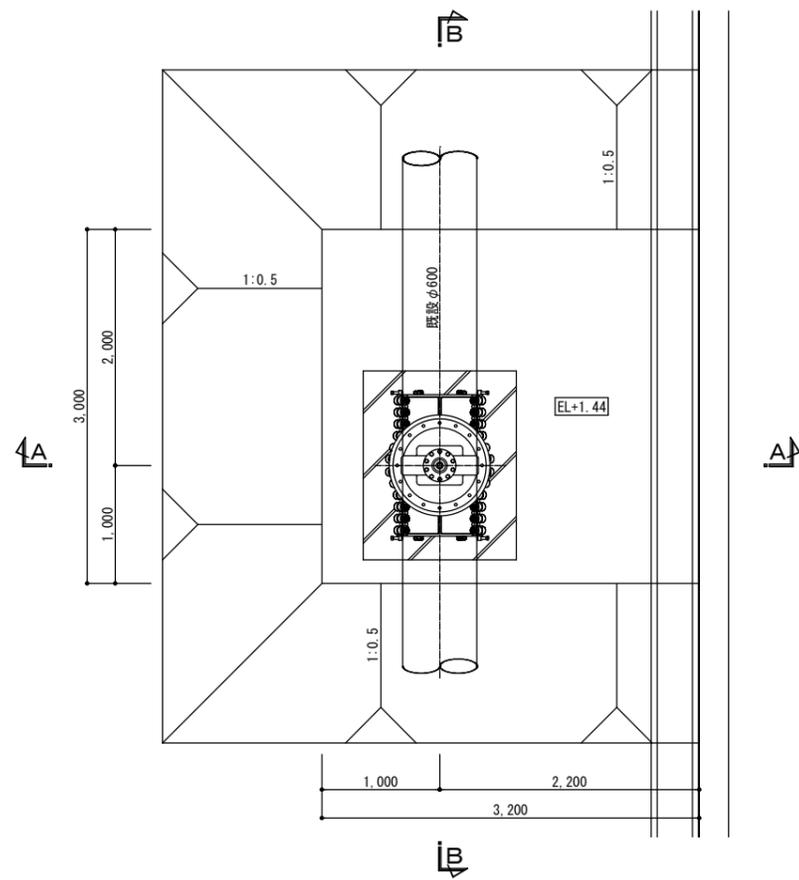


図番	36/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	終点部不断水接続工(参考図)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/30		
制作日			
設計者		製図者	

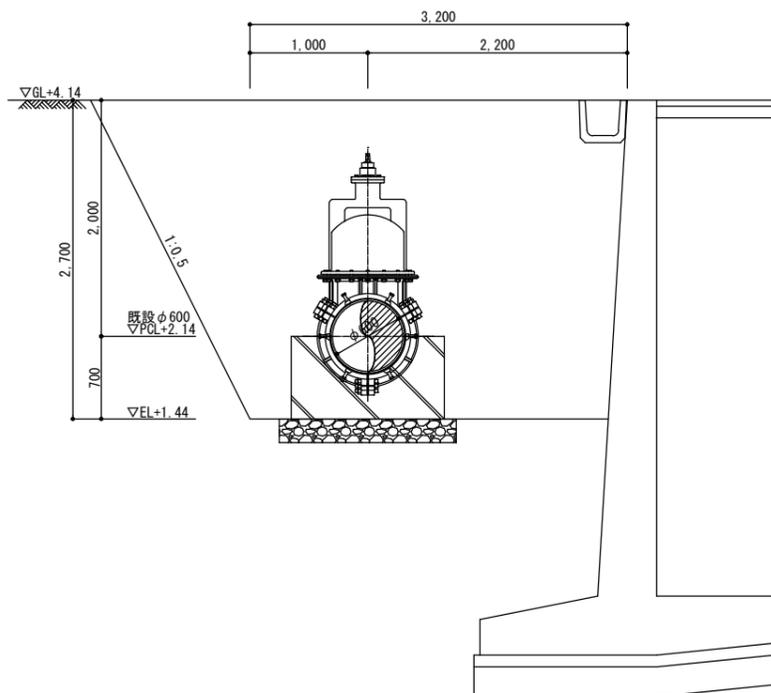
不断水閉止弁挿入工図(参考図)

S=1/30

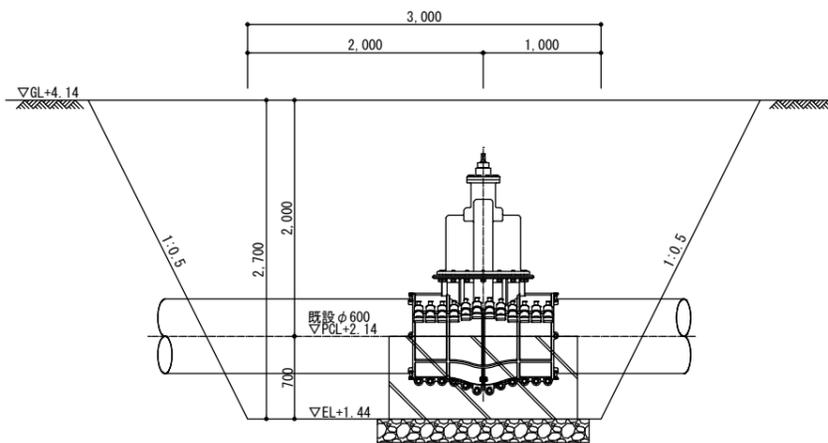
平面図



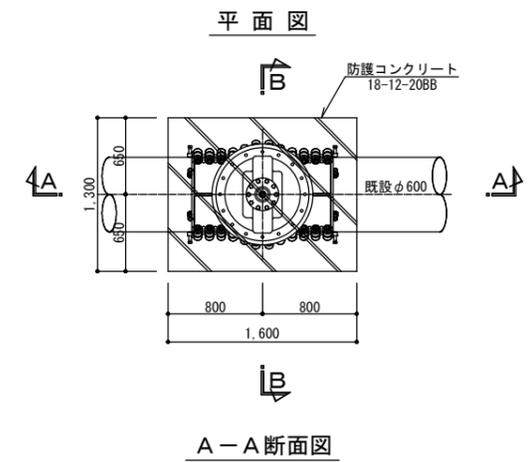
A-A断面図



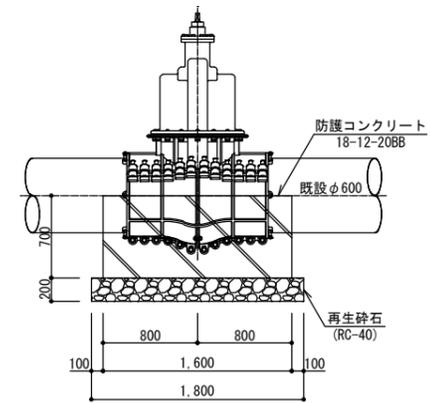
B-B断面図



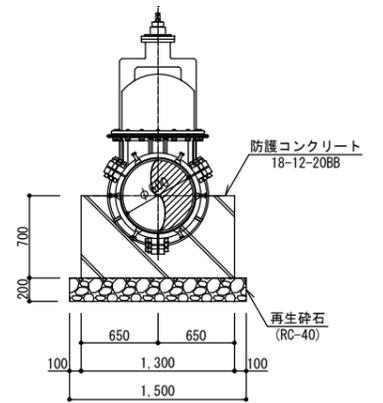
防護コンクリート詳細図



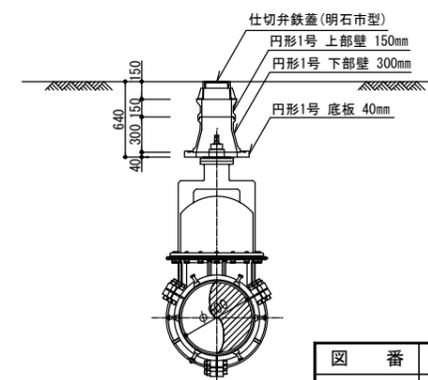
A-A断面図



B-B断面図

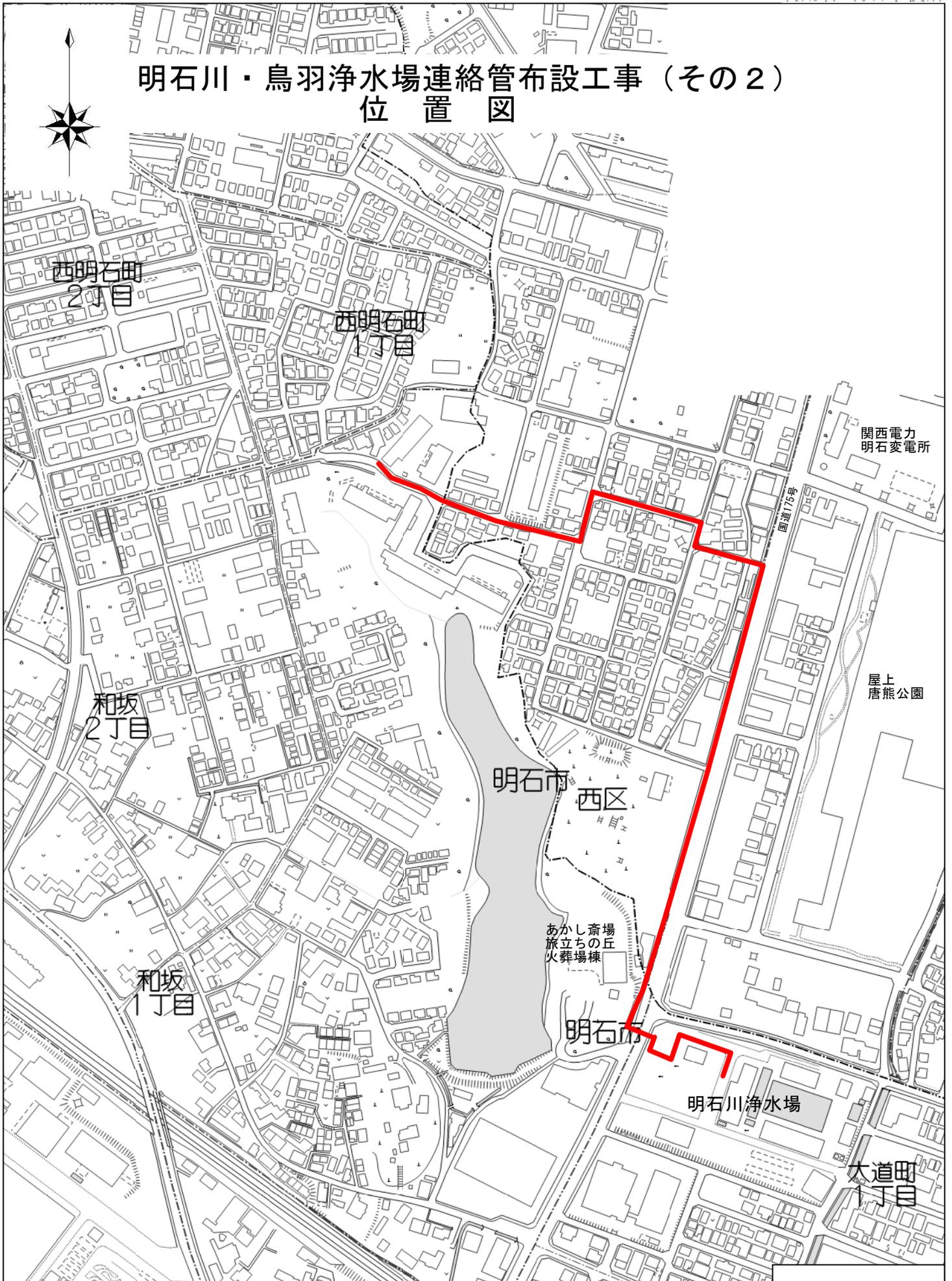


閉止弁室詳細図



図番	37/37	施工年度	令和5年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)		
図種	不断水閉止弁挿入工図(参考図)		
場所	明石市大道町1丁目ほか地内		
縮尺	1/30		
制作日			
設計者	製図者		

明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事（その2） 位置図



見 積 参 考 図 書									
年 度	令和5年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	第3次整備事業費	
工 事 番 号	05-1252							設 計 年 月 日	令和5年4月4日
着 工 番 号								精 算 年 月 日	令和5年4月4日
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市大道町1丁目ほか地内					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限		請 負 単価契約 令和6年3月10日まで	
工 事 名 称	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その2)					支 払 い 方 法		前 払 金	あり(40%以内)
								中 間 前 払 金	あり(20%以内)
								部 分 払	あり(3回以内)
工 事 概 要	連絡管布設工計 L=808.2m								
	連絡管布設工 φ400 L=808.2m								
	バタフライ弁設置工 φ400 5基 , φ300 2基								
	仕切弁設置工 φ400 1基 , φ200 1基 空気弁設置工 φ75 2基								
	場内配管工 1式								
	流入弁室築造工 1式								
	舗装復旧工 1式								
当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円		
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円		
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円		

総括情報表

単価適用年月日	0-05.04.01(0)		
工種区分 施工地域区分 工事価格丸め	今 回 01 開削工事及び小口推進工事 23 一般交通影響あり(2) 01 万円丸め	前 回	

工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0373

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
	管路					
	管路 (φ400) 開削					
	管布設工 (φ400)					
	管布設土工	1	式			工種 第0001号明細表
	付帯工	1	式			工種 第0005号明細表
	撤去復旧工					
	舗装復旧工	1	式			工種 第0009号明細表
	区画線工	1	式			工種 第0015号明細表
		1	式			工種 第0023号明細表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0373

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通管理工					
交通管理工	1	式			工種 第0027号明細表
直接工事費計					
共通仮設費計					
運搬費		式			
重建設機械分解組立輸送費	1	式			工種 第0030号明細表
仮設材運搬費	1	式			工種 第0031号明細表
準備費		式			
試掘調査工	1	式			工種 第0032号明細表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0004/0373

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
路面復旧監督費						
	1		式			工種 第0033号明細表
技術管理費						
			式			
通水試験費						
	1		式			工種 第0034号明細表
共通仮設費率分						
			式			
純工事費計						
現場管理費						
			式			
工事原価計						
一般管理費等						
			式			
工事価格						

工 事 費 内 訳 書

頁0-0006/0373

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
附帯工事費						
管路						
管路 (φ400) 開削						
管布設工 (φ400)						
		1	式			工種 第0035号明細表
作業土工						
		1	式			工種 第0042号明細表
付帯工						
流入弁室築造工						
		1	式			工種 第0046号明細表
舗装復旧工						
		1	式			工種 第0056号明細表
交通管理工						

工 事 費 内 訳 書

頁0-0007/0373

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通管理工					
	1	式			工種 第0061号明細表
直接工事費計					
共通仮設費計					
運搬費					
		式			
仮設材運搬費					
	1	式			工種 第0063号明細表
準備費					
		式			
試掘調査工					
	1	式			工種 第0064号明細表
技術管理費					
		式			
通水試験費					
	1	式			工種 第0065号明細表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0008/0373

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			
工事価格						
消費税相当額			式			
合 計						
工事価格計						

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ400×6000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	116	本			K 管材費
DGX-1 直管 φ400×6000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	17	本			K 管材費
DGX 曲管 φ400×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	18	個			K 管材費
DGX 曲管 φ400×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	14	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ400×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	8	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ400×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	9	個			K 管材費
DGX フランジ付きT字管 φ400×75 10K ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 継ぎ輪 φ400 ロックリング含 内面球形粉体塗装	2	個			K 管材費
GX形継ぎ輪用特殊押輪 φ400	4	個			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX 両受短管 φ400 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	1	個			K 管材費
GX形バタフライ弁 φ400 ロックリング含 内面珪酸樹脂粉体塗装	2	基			K 管材費
バタフライ弁ボックス(円形3号) (H=640) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	2	組			施工 第0-0023号内訳表
カムレバーロック式急速空気弁 φ75 フランジ一体型 1.0MPa、FCD 内外面珪酸粉体塗装	1	基			K 管材費
カレップ式消火栓(浅埋形)(損料) φ75×65 JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa FCD 内外面珪酸粉体塗装	1	基			
フランジ短管(損料) φ75×200 0.75MPa 内面珪酸粉体塗装	1	個			
フランジ短管 φ75×200 1.0MPa 内面珪酸粉体塗装	1	個			K 管材費
フランジ短管(損料) φ75×300 0.75MPa 内面珪酸粉体塗装	1	個			
フランジ短管 φ75×300 1.0MPa 内面珪酸粉体塗装	1	個			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
補修弁 キャップ式(損料) φ 75×100 JWWA B 126, 0.75MPa FCD 内外面エポキシ粉体塗装	1	基			
補修弁 (キャップ式) φ75×100 JWWA B 126, 1.0MPa FCD 内外面エポキシ粉体塗装	1	基			K 管材費
フランジ継手材(損料) φ 75 ボルト・ナット(SUS製)及びGF形カスケット2号 防食タイプ	1	組			
フランジ継手材(損料) φ 75 ボルト・ナット(SUS製)及びRF形カスケット 防食タイプ	3	組			
フランジ蓋 φ 75 0.75MPa RF形 フランジ継手材含む	1	個			K 管材費
フランジ接合補強具(LSP形) φ 75 10K LSPパッキン ボルト・ナット(SUS304製)緩み防止仕様	4	組			K 管材費
空気弁ボックス(円形3号) (H=1040) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0024号内訳表
仮消火栓ボックス(円形3号) (H=1040) 鉄蓋含む	1	組			施工 第0-0025号内訳表
GX形接合セット φ400 異形管・V用	73	組			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
GX形ライク φ400 ライクボード含	45	組			K 管材費
GX形挿しロリング φ400 ライクボード含	46	組			K 管材費
DK フランジ付きT字管 φ400×75 JIS G 5527, 5528, JWWA G 112, 114 内面エポキシ粉体塗装	1	個			K 管材費
DK 特殊押輪(3DkN以上) φ400 接合材含む	1	組			
DK 帽 φ400 特殊押輪, 接合材含む 内面エポキシ粉体塗装	1	個			K 管材費
表示帯	808.2	m			
ポリエチレンスリーブ φ400 固定材料含む	808.2	m			施工 第0-0026号内訳表
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り	95	巻			
合計	1	式			

手間 (φ400)

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0015/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鑄鉄管吊込み据付 (機械力) 呼び径 400mm	791.0	m			施工 第0-0027号内訳表
鑄鉄管切断・溝切り加工 (同時) 呼び径400mm、GX形継手	39	口			施工 第0-0028号内訳表
鑄鉄管 (新設管) 溝切り加工 ダクタイル鑄鉄管 呼び径400mm	7	口			施工 第0-0029号内訳表
ハタフライ弁 (鑄鉄製) 設置 (機械力) 縦型ハタフライ弁 呼び径 400mm	2	基			施工 第0-0030号内訳表
円形3号ボックス設置工 (H=640) 鉄蓋設置含む	2	箇所			
空気弁 設置 呼び径 75mm 機械施工	1	基			施工 第0-0036号内訳表
消火栓 (地下式 単口) 設置・撤去工 機械施工 フランジ 接合1口含む	1	箇所			施工 第0-0038号内訳表
フランジ継手 接合 (呼び径 75(80)mm) JWWA 7.5K	4	口			施工 第0-0039号内訳表
フランジ継手 取外し (呼び径 75(80)mm) JWWA 7.5K	3	口			施工 第0-0040号内訳表

手間 (φ400)

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0016/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) JWWA 10K	4	口			施工 第0-0041号内訳表
円形3号ボックス設置工(H=1040) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
円形3号ボックス設置撤去工(H=1040) 鉄蓋設置撤去含む	1	箇所			
G X継手接合(呼び径 400mm) 直管	130	口			施工 第0-0050号内訳表
G X継手接合(呼び径 400mm) 異形管	71	口			施工 第0-0051号内訳表
G X継手挿口加工(呼び径 400mm) タッピンねじ式	46	口			施工 第0-0052号内訳表
メカカル継手 接合(呼び径 400mm) 継手: K形 特殊押輪補正あり	2	口			施工 第0-0053号内訳表
管明示シート工	792.0	m			施工 第0-0054号内訳表
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 400mm)	792.0	m			施工 第0-0055号内訳表

手間 (φ400) 【夜間施工】

工種明細表

頁0-0018/0373

工種 第0004号明細表

国道横断部

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
名称・規格 鋳鉄管吊込み据付 (機械力) 呼び径 400mm	16.2	m			施工 第0-0057号内訳表
G X継手接合(呼び径 400mm) 直管	3	口			施工 第0-0058号内訳表
G X継手接合(呼び径 400mm) 異形管	6	口			施工 第0-0059号内訳表
管明示シート工	16.2	m			施工 第0-0060号内訳表
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 400mm)	16.2	m			施工 第0-0061号内訳表
管明示テープ工 (鋳鉄管布設工) 呼び径400mm×6000mm	16.2	m			施工 第0-0062号内訳表
合計	1	式			
D=1 通常勤務外		E=1.5	労務費調整		

土工 (φ400)

工種明細表

工種 第0006号明細表

頁0-0020/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	820	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cmを超え30cm以下	750	m			施工 第0-0063号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	411	m ²			施工 第0-0002号内訳表
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚→15cmを超え35cm以下	377	m ²			施工 第0-0064号内訳表
特殊ブロック舗装 作業区分→撤去	3	m ²			施工 第0-0065号内訳表
掘削積込工	1,300	m ³			施工 第0-0066号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔(株)NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=13.2km	134	m ³			施工 第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(株)明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.2km	1,300	m ³			施工 第0-0020号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 8cm	377	m ²			施工 第0-0067号内訳表

土工 (φ400)

工種明細表

工種 第0006号明細表

頁0-0021/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	413	m2			施工 第0-0013号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 320mm	377	m2			施工 第0-0068号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 250mm	324	m2			施工 第0-0069号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 190mm	3	m2			施工 第0-0070号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 140mm	25	m2			施工 第0-0071号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 100mm	62	m2			施工 第0-0072号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->再生切込碎石)	680	m3			施工 第0-0010号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->スクリーンガス)	390	m3			施工 第0-0007号内訳表
アルミ矢板建込引抜工 (両側分)	653.8	m			施工 第0-0073号内訳表

土工 (φ400)

工種明細表

工種 第0006号明細表

頁0-0022/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
アルミ矢板建込引抜工 (両側分)	94.2	m			施工 第0-0074号内訳表
アルミ矢板建込引抜工 (両側分)	34.3	m			施工 第0-0075号内訳表
アルミ矢板建込引抜工 (両側分)	10.6	m			施工 第0-0076号内訳表
土留支保工 (設置+撤去) 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ 牒 ^ト	653.8	m			施工 第0-0077号内訳表
土留支保工 (設置+撤去) 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ 牒 ^ト	139.1	m			施工 第0-0078号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.0m用）	653.8	m			
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.5m用） 2段	94.2	m			
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板3.0m用）	34.3	m			
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板3.5m用）	10.6	m			
アルミ矢板整備費	5.6	t			
アルミ矢板賃料	88.5	t			
合計	1	式			

土工 (φ400) 【夜間施工】

工種明細表

頁0-0024/0373

工種 第0008号明細表

国道横断部

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cmを超え30cm以下	31	m			施工 第0-0079号内訳表
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚->15cmを超え35cm以下	15	m ²			施工 第0-0080号内訳表
掘削積込工	27	m ³			施工 第0-0081号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 8cm	15	m ²			施工 第0-0083号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 320mm	15	m ²			施工 第0-0086号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->再生切込碎石)	15	m ³			施工 第0-0087号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->スクリーニングス)	7	m ³			施工 第0-0089号内訳表
アルミ矢板建込引抜工 (両側分)	15.3	m			施工 第0-0090号内訳表
土留支保工 (設置+撤去) 切梁種別 水圧式ハブポート	15.3	m			施工 第0-0092号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ブロック積	(1)	式			工種 第0010号明細表
国道歩車道境界ブロック	(1)	式			工種 第0011号明細表
横断防止柵	(1)	式			工種 第0012号明細表
転落防止柵	(1)	式			工種 第0013号明細表
メッシュフェンス	(1)	式			工種 第0014号明細表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工 無筋構造物	2	m3			施工 第0-0093号内訳表
構造物とりこわし工 無筋構造物	1	m3			施工 第0-0093号内訳表
残塊処分工(無筋コンクリート) 〔田口建材(株)〕 運搬距離 L=8.0km	3	m3			施工 第0-0094号内訳表
コンクリートブロック積工 普通ブロック 水抜き孔設置含む	5	m2			施工 第0-0097号内訳表
洞込・裏込コンクリート 間知ブロック・緑化ブロック	0.5	m3			施工 第0-0098号内訳表
洞込・裏込材(碎石) 施工箇所→間知・平・連節・緑化ブロック 不要(施工手間のみ)	3	m3			施工 第0-0099号内訳表
天端コンクリート 18-12-20BB[水セメント比 60%以下]	0.2	m3			施工 第0-0100号内訳表
現場打基礎コンクリート 18-8-40BB[水セメント比 60%以下]	0.2	m3			施工 第0-0101号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
歩車道境界ブロック撤去 撤去後->再利用	2	m			施工 第0-0102号内訳表
構造物とりこわし工 無筋構造物	0.2	m3			施工 第0-0093号内訳表
残塊処分工(無筋コンクリート) 〔田口建材(株)〕 運搬距離 L=8.0km	0.2	m3			施工 第0-0094号内訳表
歩車道境界ブロック再利用設置 標準部 C型 基礎砕石:無し 基礎コン:無し	2	m			施工 第0-0103号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	0.2	m3			施工 第0-0104号内訳表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.6	m2			施工 第0-0105号内訳表
基礎砕石 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュ RC-30, RC-40	2	m2			施工 第0-0106号内訳表
合計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
国道車道アスファルト3層 実掘削部打替え及び切削オーバーレイ	(1)	式			工種 第0016号明細表
国道車道アスファルト3層【夜間施工】 実掘削部打替え及び切削オーバーレイ	(1)	式			D=通常勤務外, E=労務費調整 工種 第0017号明細表
国道側道アスファルト3層	(1)	式			工種 第0018号明細表
国道歩道アスファルト1層	(1)	式			工種 第0019号明細表
国道歩道平板ブロック	(1)	式			工種 第0020号明細表
神戸市道車道アスファルト2層	(1)	式			工種 第0021号明細表
明石市道車道アスファルト1層	(1)	式			工種 第0022号明細表
合 計	1	式			

実掘削部打替え及び切削オーバーレイ

工種 第0016号明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	374	m2			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工	64	m3			施工 第0-0066号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔(株)NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=13.2km	30	m3			施工 第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(株)明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.2km	64	m3			施工 第0-0020号内訳表
不陸整正工(補足材なし) 施工幅：1.8m 未満	374	m2			施工 第0-0113号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 瀝青安定処理材(再生材) TOP25 t = 100mm	374	m2			施工 第0-0114号内訳表
基層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再] (20)	374	m2			施工 第0-0115号内訳表
中間層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再生改質As I 型] (20)	374	m2			施工 第0-0116号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再] (13)	374	m2			施工 第0-0117号内訳表

国道車道アスファルト3層【夜間施工】

工種明細表

頁0-0035/0373

実掘削部打替え及び切削オーバーレイ

工種 第0017号明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	15	m2			施工 第0-0122号内訳表
掘削積込工	3	m3			施工 第0-0081号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔(株)NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=13.2km	1	m3			施工 第0-0123号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(株)明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.2km	3	m3			施工 第0-0127号内訳表
不陸整正工(補足材なし) 施工幅：1.8m 未満	15	m2			施工 第0-0130号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 瀝青安定処理材(再生材) TOP25 t = 100mm	15	m2			施工 第0-0132号内訳表
基層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再](20)	15	m2			施工 第0-0133号内訳表
中間層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再生改質As I型](20)	15	m2			施工 第0-0134号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	15	m2			施工 第0-0135号内訳表

国道車道アスファルト3層【夜間施工】

工種明細表

頁0-0036/0373

工種 第0017号明細表

実掘削部打替え及び切削オーバーレイ

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	27	m			施工 第0-0136号内訳表
廃材処分工 〔(株)NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=13.2km	8	m3			施工 第0-0137号内訳表
路面切削 全面切削6cm以下(4000m2以下) 段差すりつけの撤去作業無し	155	m2			施工 第0-0139号内訳表
排水性舗装・表層(車道・路肩部) t = 50mm 導水パイ無し アスファルト合材 ホーラスアスコン(13)	155	m2			施工 第0-0140号内訳表
合計	1	式			
D=1 通常勤務外		E=1.5	労務費調整		

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚->15cmを超え35cm以下	9	m2			施工 第0-0064号内訳表
掘削積込工	0.5	m3			施工 第0-0066号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔(株)NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=13.2km	2	m3			施工 第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(株)明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.2km	0.5	m3			施工 第0-0020号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 未満、補足材厚3cm	9	m2			施工 第0-0141号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 瀝青安定処理材(再生材) TOP25 t = 100mm	9	m2			施工 第0-0114号内訳表
基層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再] (20)	9	m2			施工 第0-0115号内訳表
中間層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再] (20)	9	m2			施工 第0-0142号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再生改質As II型] (13)	9	m2			施工 第0-0143号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	11	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	78	m2			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工	11	m3			施工 第0-0066号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔(株)NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=13.2km	4	m3			施工 第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(株)明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.2km	11	m3			施工 第0-0020号内訳表
不陸整正工(再生切込碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	78	m2			施工 第0-0144号内訳表
フィルター層 t =40mm以上60mm未満 洗砂	78	m2			施工 第0-0146号内訳表
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚 t = 1 0 0 1層施工 再生クワッシャー RC-30, RC-40	78	m2			施工 第0-0147号内訳表
透水性アスファルト舗装 t = 5 0 mm 一般・4t以下乗入部→開粒度As(13)	78	m2			施工 第0-0148号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	3	m2			施工 第0-0002号内訳表
特殊ブロック舗装 作業区分→撤去	3	m2			施工 第0-0065号内訳表
掘削積込工	1	m3			施工 第0-0066号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔(株)NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=13.2km	0.1	m3			施工 第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(株)明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.2km	1	m3			施工 第0-0020号内訳表
不陸整正工(再生切込碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	5	m2			施工 第0-0144号内訳表
フィルター層 t =40mm以上60mm未満 洗砂	5	m2			施工 第0-0146号内訳表
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚 t = 1 0 0 1層施工 再生クワッシャー RC-30, RC-40	5	m2			施工 第0-0147号内訳表
特殊ブロック舗装 作業区分→再利用設置	5	m2			施工 第0-0149号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	280	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	873	m2			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工	60	m3			施工 第0-0066号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔(株)NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=13.2km	71	m3			施工 第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(株)明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.2km	60	m3			施工 第0-0020号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 以上 仕上り厚5cm	873	m2			施工 第0-0150号内訳表
基層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再] (20)	873	m2			施工 第0-0151号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再] (13)	873	m2			施工 第0-0152号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	70	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	226	m2			施工 第0-0002号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔(株)NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=13.2km	11	m3			施工 第0-0016号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	226	m2			施工 第0-0153号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	226	m2			施工 第0-0154号内訳表
合計	1	式			

区画線工 (一般舗装部)

工種明細表

工種 第0024号明細表

頁0-0046/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置 [熔融式] 実線 15cm t=1.5mm	110	m			施工 第0-0155号内訳表
区画線設置 [熔融式] 破線 15cm t=1.5mm	19	m			施工 第0-0158号内訳表
区画線設置 [熔融式] 実線 30cm t=1.5mm	3	m			施工 第0-0161号内訳表
区画線設置 [熔融式] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	7	m			施工 第0-0164号内訳表
合計	1	式			

区画線工 (排水性舗装部)

工種明細表

工種 第0025号明細表

頁0-0047/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置 [熔融式] 実線 15cm t=1.5mm	370	m			施工 第0-0167号内訳表
区画線設置 [熔融式] 破線 15cm t=1.5mm	140	m			施工 第0-0170号内訳表
区画線設置 [熔融式] 実線 30cm t=1.5mm	6	m			施工 第0-0173号内訳表
区画線設置 [熔融式] 実線 45cm t=1.5mm	16	m			施工 第0-0176号内訳表
区画線設置 [熔融式] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	2	m			施工 第0-0179号内訳表
区画線設置 [熔融式] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	19	m			施工 第0-0182号内訳表
合計	1	式			

区画線工 (排水性舗装部) 【夜間施工】

工種明細表

工種 第0026号明細表

頁0-0048/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置 [熔融式] 実線 15cm t=1.5mm	55	m			施工 第0-0184号内訳表
区画線設置 [熔融式] 破線 15cm t=1.5mm	5	m			施工 第0-0187号内訳表
区画線設置 [熔融式] 実線 45cm t=1.5mm	8	m			施工 第0-0190号内訳表
区画線設置 [熔融式] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	19	m			施工 第0-0193号内訳表
合計	1	式			
D=1 通常勤務外		E=1.5	労務費調整		

管布設工 (φ400)

工種明細表

工種 第0035号明細表

頁0-0057/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
場内配管工 (φ400)	(1)	式			工種 第0036号明細表
流入弁室内配管工	(1)	式			工種 第0037号明細表
床排水管工	(1)	式			工種 第0038号明細表
手間 (φ400)	(1)	式			工種 第0039号明細表
流入弁室内配管手間	(1)	式			工種 第0040号明細表
床排水管手間	(1)	式			工種 第0041号明細表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ400×6000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	10	本			K 管材費
DGX-1 直管 φ400×6000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	7	本			K 管材費
DGX 曲管 φ400×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	9	個			K 管材費
DGX 曲管 φ400×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 曲管 φ400×11° 1/4 ロックリング含 内面球形粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ400×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	3	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ400×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 二受T字管 φ400×400 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX フランジ付きT字管 φ400×75 10K ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX 継ぎ輪 φ400 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	6	個			K 管材費
DGX 短管1号 φ400 10K ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	2	個			K 管材費
GX形バタフライ弁 φ400 ロックリング含 内面珪酸樹脂粉体塗装	2	基			K 管材費
ソフトシル仕切弁(フランジ形) φ400 JWWA B 120, 1.0MPa, 内ねじ FCD 内外面珪酸粉体塗装	1	個			K 管材費
割T字管 φ450×400	1	個			K 管材費
DGX 伸縮可とう管 φ400 U-U 200m/m沈下 SUSタイロット付	1	個			K 管材費
DGX 伸縮可とう管 φ400 U-S 200m/m沈下 SUSタイロット付	1	個			K 管材費
カムレバーロック式急速空気弁 φ75 フランジ一体型 1.0MPa、FCD 内外面珪酸粉体塗装	1	基			K 管材費
補修弁(キャップ式) φ75×100 JWWA B 126, 1.0MPa FCD 内外面珪酸粉体塗装	1	基			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
GX形ライゲ φ400 ライゲボード含	11	組			K 管材費
GX形接合セット φ400 異形管・V用	36	組			
GX形挿しロリング φ400 ライゲボード含	28	組			K 管材費
GX形継ぎ輪用特殊押輪 φ400	10	個			K 管材費
フランジ接合補強具(LSP形) φ400 10K LSPパッキン ボルト・ナット(SUS304製)緩み防止仕様	3	組			K 管材費
フランジ耐震金具 φ400(3DkN以上)	3	組			
フランジ接合補強具(LSP形) φ75 10K LSPパッキン ボルト・ナット(SUS304製)緩み防止仕様	2	組			K 管材費
不断水簡易バルブ(鋳鉄管用) φ600	1	基			K 管材費
表示帯	120.5	m			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレンスリーブ φ400 固定材料含む	113.8	m			施工 第0-0026号内訳表
管明示テープ (幅50mm 1巻 20m) 年号入り	14	巻			
仕切弁ボックス(円形1号) (H=640) 鉄蓋含む	1	組			施工 第0-0204号内訳表
仕切弁ボックス(円形1号) (H=1240) 鉄蓋含む	1	組			施工 第0-0205号内訳表
パタライ弁ボックス(円形3号) (H=640) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	2	組			施工 第0-0023号内訳表
空気弁ボックス(円形3号) (H=940) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0206号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DIP片フランジ管 φ400 外面：DD 内面：粉体 挿口GX形加工 L=1.210m F-10K	1	個			K 管材費
DIP片フランジ管 φ400 外面：DD 内面：粉体 挿口GX形加工 L=1.211m F-10K	1	個			K 管材費
NCP 両ネックフランジ管 φ400 L=1.20m 2Fネックフランジ 10K	1	個			K 管材費
NCP 両ネックフランジ管 φ400 L=2.00m 2Fネックフランジ 10K	1	個			K 管材費
NCP 両ネックフランジ管 φ300 L=2.00m 2Fネックフランジ 10K	3	個			K 管材費
NCP 両ネックフランジ管 φ300 L=0.779m 2Fネックフランジ 10K	1	個			K 管材費
NCP 両ネックフランジ管 φ200 L=0.50m 2Fネックフランジ 10K	1	個			K 管材費
NCP 両ネックフランジ管 φ200 L=0.40m 2Fネックフランジ 10K	1	個			K 管材費
NCP ネックフランジ T字管 φ400×300 L=0.77m H=0.355m 3Fネックフランジ 10K	2	個			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
NCP ネットフランジ 片落管 φ400×200 L=0.372m 2F ネットフランジ 10K	2	個			K 管材費
NCP ネットフランジ 曲管 φ300×90° L=0.465m 2F ネットフランジ 10K	2	個			K 管材費
NCP 両ネットフランジ 管 φ400 L=0.575m 2F ネットフランジ 10K	1	個			K 管材費
NCP ネットフランジ T字管 φ300×40 L=1.30m H=0.35m 3F ネットフランジ 10K 下向き溶接	1	個			K 管材費
伸縮管 φ200 L=0.50m 2F 10K	1	個			K 管材費
バタフライ弁 φ400 2F 10K 手動 丸ハンドル付	1	個			K 管材費
バタフライ弁 φ300 2F 10K 手動 丸ハンドル付	2	個			K 管材費
ソフトシール仕切弁 φ200 2F 10K 手動 ハンドル付	1	個			K 管材費
SUS製ボール弁 φ40 2F 10K	1	基			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
NCP ネックフランジ T字管 φ400×20 L=1.20m H=0.35m 3Fネックフランジ 10K 上向き溶接	1	個			K 管材費
NCP 両ネックフランジ 管 φ200 L=0.35m 2Fネックフランジ 10K	1	個			K 管材費
SUS製ボール弁 φ20 2F 10K	1	基			K 管材費
TSソケット φ50	1	個			K 管材費
フランジ継手材 φ400 SUS 10K	9	組			K 管材費
フランジ継手材 φ300 SUS 10K	10	組			K 管材費
フランジ継手材 φ200 SUS 10K	6	組			K 管材費
フランジ継手材 φ40 SUS 10K	1	組			K 管材費
フランジ継手材 φ20 SUS 10K	1	組			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管 HIパイプ 径50×厚4.5×長4000mm	1	本			
TSエルボ φ50	2	個			K 管材費
TSソケット φ50	1	個			K 管材費
合 計	1	式			

手間 (φ400)

工種明細表

工種 第0039号明細表

頁0-0067/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鑄鉄管吊込み据付 (機械力) 呼び径 400mm	114.6	m			施工 第0-0207号内訳表
G X継手接合(呼び径 400mm) 直管	17	口			施工 第0-0050号内訳表
G X継手接合(呼び径 400mm) 異形管	36	口			施工 第0-0051号内訳表
メカニカル継手 接合(呼び径 400mm) 継手: K形 特殊押輪補正あり	10	口			施工 第0-0208号内訳表
鑄鉄管切断・溝切り加工(同時) 呼び径400mm、GX形継手	20	口			施工 第0-0028号内訳表
鑄鉄管(新設管)溝切り加工 ダクタイル鑄鉄管 呼び径400mm	8	口			施工 第0-0029号内訳表
G X継手挿口加工 (呼び径 400mm) タッピンねじ式	28	口			施工 第0-0052号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 400mm) J WWA 10K	2	口			施工 第0-0209号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) J WWA 10K	2	口			施工 第0-0041号内訳表

手間 (φ400)

工種明細表

工種 第0039号明細表

頁0-0068/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
バクワイ弁(鋳鉄製)設置(機械力) 縦型バクワイ弁 呼び径 400mm	2	基			施工 第0-0210号内訳表
空気弁 設置 呼び径 75mm 機械施工	1	基			施工 第0-0036号内訳表
円形1号ボックス設置工(H=640) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
円形1号ボックス設置工(H=1240) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
円形3号ボックス設置工(H=640) 鉄蓋設置含む	2	箇所			
円形3号ボックス設置工(H=940) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
伸縮可とう管設置(呼び径 400mm) 接合形式 U×U	1	基			施工 第0-0220号内訳表
伸縮可とう管設置(呼び径 400mm) 接合形式 U×S	1	基			施工 第0-0221号内訳表
鋳鉄管用割T字管設置工 φ450×400	1	基			

手間 (φ400)

工種明細表

工種 第0039号明細表

頁0-0069/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
不断水バルブ設置工(鑄鉄管用) φ600	1	基			
管明示シート工	120.5	m			施工 第0-0054号内訳表
ホリエチレンスリーブ被覆(呼び径 400mm)	113.8	m			施工 第0-0055号内訳表
管明示テープ工(鑄鉄管布設工) 呼び径400mm×6000mm	113.8	m			施工 第0-0056号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	9	m ³			施工 第0-0222号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	24	m ²			施工 第0-0223号内訳表
基礎碎石 碎石厚→17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシュ RC-30, RC-40	12	m ²			施工 第0-0224号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鋳鉄管吊込み据付 (機械力) 呼び径 400mm	2.4	m			施工 第0-0207号内訳表
鋼管吊込み据付 (機械力) 呼び径 400mm 呼び厚さ A種	7.3	m			施工 第0-0225号内訳表
鋼管吊込み据付 (機械力) 呼び径 300mm 呼び厚さ A種	10.7	m			施工 第0-0226号内訳表
鋼管吊込み据付 (機械力) 呼び径 200mm 呼び厚さ A種	1.8	m			施工 第0-0227号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径 50mm	1.6	m			施工 第0-0228号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工 (呼び径 50mm)	2	口			施工 第0-0229号内訳表
硬質塩化ビニル管 (新設管) 切断工 φ 50mm	2	口			施工 第0-0230号内訳表
フランジ継手 接合 (呼び径 400mm) J WWA 10K	9	口			施工 第0-0209号内訳表
フランジ継手 接合 (呼び径 300mm) J WWA 10K	10	口			施工 第0-0231号内訳表

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
フランジ継手 接合(呼び径 200mm) J W W A 10K	6	口			施工 第0-0232号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 65mm以下) J W W A 10K	2	口			施工 第0-0233号内訳表
バタフライ弁(鋳鉄製)設置(機械力) 縦型バタフライ弁 呼び径 400mm	1	基			施工 第0-0210号内訳表
バタフライ弁(鋳鉄製)設置(機械力) 縦型バタフライ弁 呼び径 300mm	2	基			施工 第0-0234号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 200mm	1	基			施工 第0-0235号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	2	m3			施工 第0-0236号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	11	m2			施工 第0-0223号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.099	t			施工 第0-0237号内訳表
差し筋アンカー D13 L=600 (材工共)	148	本			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
400A用 鋼管用支持金物 SUS製 (材工共)	4	箇所			
300A用 鋼管用支持金物 SUS製 (材工共)	4	箇所			
200A用 鋼管用支持金物 SUS製 (材工共)	1	箇所			
管廻り防水処理工 φ 400/ φ 600 t=40cm	2	箇所			施工 第0-0238号内訳表
管廻り防水処理工 φ 50/ φ 250 t=40cm	1	箇所			施工 第0-0240号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土工	(1)	式			工種 第0043号明細表
アルミ矢板賃料	(1)	式			工種 第0044号明細表
支障物撤去工	(1)	式			工種 第0045号明細表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	178	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	94	m ²			施工 第0-0002号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔(株)NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=13.2km	5	m ³			施工 第0-0016号内訳表
掘削積込工	258	m ³			施工 第0-0066号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(株)明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.2km	258	m ³			施工 第0-0020号内訳表
埋戻工(埋戻し材→スクリーングス)	94	m ³			施工 第0-0007号内訳表
埋戻工(埋戻し材→再生切込砕石)	123	m ³			施工 第0-0010号内訳表
軽量鋼矢板建込引抜工(両側分)	4.3	m			施工 第0-0241号内訳表
軽量鋼矢板建込引抜工(両側分)	19.4	m			施工 第0-0242号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.0m用）	4.3	m			
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.5m用） 2段	19.4	m			
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板3.0m用）	14.0	m			
鋼矢板賃料 軽量型（Ⅱ型・Ⅲ型） 供用日（1日～90日）	11.7	t			
鋼矢板整備費 軽量型（Ⅱ型・Ⅲ型）	11.7	t			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
基礎工	(1)	式			工種 第0047号明細表
躯体工	(1)	式			工種 第0048号明細表
仮設工	(1)	式			工種 第0049号明細表
附帯設備工	(1)	式			工種 第0050号明細表
階段工	(1)	式			工種 第0051号明細表
既設構造物撤去工	(1)	式			工種 第0052号明細表
支障物撤去工	(1)	式			工種 第0053号明細表
土工	(1)	式			工種 第0054号明細表
支障物復旧工	(1)	式			工種 第0055号明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	57	m3			施工 第0-0248号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	191	m2			施工 第0-0223号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	3	m2			施工 第0-0249号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D16mm	5.51	t			施工 第0-0250号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.30	t			施工 第0-0237号内訳表
膨張止水材	29.2	m			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	5	m3			施工 第0-0222号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.1	m2			施工 第0-0247号内訳表
床コンクリート直押え 金ごて 直均し仕上げ	31	m2			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール蓋 φ600 鋳鉄製 防水型 T-2	2	箇所			
搬入開口蓋 □2000×6000 FRP製	1	箇所			
弁室用通風塔 φ150 SUS製 防虫網付	2	箇所			
足掛金物 B300 @300 芯材φ19 SUS製ポリプロピレン被覆	20	箇所			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
基面整正	0.7	m2			施工 第0-0246号内訳表
基礎碎石 碎石厚->7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュ RC-30, RC-40	0.7	m2			施工 第0-0106号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	0.03	m3			施工 第0-0253号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.1	m2			施工 第0-0247号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	0.2	m3			施工 第0-0253号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.9	m2			施工 第0-0223号内訳表
階段モルタル上塗 t=20 金ごて	1.3	m2			
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ウォールソーイング工 t=250～350mm	4.4	m			
コンクリートカッター t=20～30mm	12.8	m			
構造物とりこわし工 鉄筋構造物	2	m3			施工 第0-0254号内訳表
残塊処分工(鉄筋コンクリート) 〔田口建材(株)〕 運搬距離 L=8.0km	2	m3			施工 第0-0255号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	40	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	977	m2			施工 第0-0002号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔(株)NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=13.2km	49	m3			施工 第0-0016号内訳表
構造物とりこわし工 鉄筋構造物	1	m3			施工 第0-0254号内訳表
残塊処分工(鉄筋コンクリート) 〔田口建材(株)〕 運搬距離 L=8.0km	1	m3			施工 第0-0255号内訳表
構造物とりこわし工 無筋構造物	0.5	m3			施工 第0-0093号内訳表
残塊処分工(無筋コンクリート) 〔田口建材(株)〕 運搬距離 L=8.0km	0.5	m3			施工 第0-0094号内訳表
張芝すきとり工	8	m3			施工 第0-0258号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(株)明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.2km	8	m3			施工 第0-0020号内訳表

土工

工種明細表

工種 第0054号明細表

頁0-0090/0373

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 土砂 標準 土留→無し	530	m3			施工 第0-0263号内訳表
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	200	m3			施工 第0-0264号内訳表
再生切込碎石 (0~30mm・0~40mm)	200	m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	180	m3			施工 第0-0265号内訳表
路床盛土	8	m3			施工 第0-0266号内訳表
タンパ締固め	390	m3			施工 第0-0267号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔(株)明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.2km	320	m3			施工 第0-0020号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
歩車道境界ブロック再利用設置 標準部 B型 基礎砕石:有り(再生砕石 RC-40) 基礎コン:有	1.0	m			施工 第0-0268号内訳表
U型側溝 機械・労務	2.0	m			施工 第0-0269号内訳表
U型側溝 機械・労務	1.0	m			施工 第0-0270号内訳表
プレキャストU型水路 [U形側溝(トラフ)] PUS263	17.4	m			施工 第0-0271号内訳表
車止め設置	18	個			施工 第0-0273号内訳表
張芝 野芝(ヘタ張り)	75	m ²			施工 第0-0274号内訳表
合計	1	式			

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6.0	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	2.0	m2			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	1.9	m3			施工 第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	1.0	m3			施工 第0-0006号内訳表
埋戻工(埋戻し材→スクリーニングス)	1.0	m3			施工 第0-0007号内訳表
埋戻工(埋戻し材→再生切込砕石)	1.7	m3			施工 第0-0010号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	2.0	m2			施工 第0-0011号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	2.0	m2			施工 第0-0013号内訳表
残塊処分工(アスファルト) [(株)NIPPO神戸合材センター] 運搬距離 L=13.2km	0.1	m3			施工 第0-0016号内訳表

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0104/0373

[摘要]

1

m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

施工単価表

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0106/0373

掘削積込工(補助的作業なし)

[規格1]	[規格2]	[摘要]			
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
バックホ運転		時間			
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			

掘削（人力）

[規格1] 土砂 現場制約あり

[規格2]

積算単価算出表

[摘要]

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0107/0373

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員				普通作業員		
R								
Z								
						計		
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=4	現場制約あり					

施工単価表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0109/0373

埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
クワ運転（賃料）		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=5 =3	再生切込砕石 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0111/0373

仮復旧工 [密粒度[再](13)]

[規格1]厚 5cm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
再生密粒度アスコン TOP13		t			
振動ローリ運転		日			1
振動コンパクタ運転		日			1
諸雑費		%			#01
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0024号内訳表

頁0-0119/0373

空気弁ボックス(円形3号)(H=1040)

[規格1] 鉄蓋及び無収縮モルタル含む

[規格2]

[摘要]

1 組 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空気弁鉄蓋(円形3号) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
ボルト・ナットM16×150 3セット	1	個			
無収縮モルタル(25kg)	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 中部壁H=200	2	個			
円形3号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形3号BOX 底版H=40	1	個			
単 位 当 り	1	組			

施工単価表

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0137/0373

レジンコンクリート製ボックス設置・撤去（円形）

[規格1]円形3号 内径500 上部壁 高さ 200mm [規格2]

[摘要]

1 個 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=3			
B 規格		=3			
C 調整箇所		=2			
D 高さ		=4			

設置・撤去
3号 内径500
上部壁
高さ 200mm

施工単価表

施工 第0-0049号内訳表

頁0-0140/0373

レジンコンクリート製ボックス設置・撤去 (円形)

[規格1]円形3号 内径500 底版

[規格2]

[摘要]

1

個 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
単位当り	1	個			
A 作業区分		=3			
B 規格		=3			
C 調整箇所		=5			

設置・撤去
3号 内径500
底版

施工単価表

施工 第0-0053号内訳表

頁0-0144/0373

メニカル継手 接合(呼び径 400mm)

[規格1]継手：K形 特殊押輪補正あり

[規格2]

[摘要]

1

口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			#01 (接合) 2
特殊押輪使用による割増		%			#02 (接合)
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分		=1	接合		
B 継手の種類		=5	K形		
C 呼び径		=8	呼び径 400mm		
E 特殊押輪使用による補正の有無		=2	特殊押輪補正あり		
F ★★割増補正(%)		=	★★割増補正(%)		
G 現場状況		=2	普通(係数 1.2)		

舗装版切断(アスファルト舗装版)

[規格 1] As舗装版厚->15cmを超え30cm以下

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0063号内訳表

頁0-0154/0373

[摘要]

1

m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリートカッタ 切削深30cm級 [ハキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式(超低騒音型)・湿式] 30cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径30インチ			舗道版切断 カッタープレート 径30インチ			
Z2		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z3		コンクリートカッタ(プレート) 径14インチ			舗装版切断 カッタープレート 径14インチ			
Z4		ガソリン レキユラー スタント			レキユラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=2		15cmを超え30cm以下				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
K1	コンクリート圧砕機(単体) [大割機] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN			バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置(大割機)] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN			
K2	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.45m3級			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別 =1		アスファルト舗装版				
B	障害等の有無 =1		無し				
C	騒音振動対策 =2		必要				
D	舗装版厚 =3		15cmを超え35cm以下				
F	積込作業の有無 =1		有り				

特殊ブロック舗装
[規格1] 作業区分→撤去

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0065号内訳表

頁0-0156/0373
m2 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		ブロック工			ブロック工			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=2	撤去					

施工単価表

施工 第0-0067号内訳表

頁0-0158/0373

仮復旧工 [密粒度[再](13)]

[規格1]厚 8cm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
再生密粒度アスコン TOP13		t			
振動ローリ運転		日			1
振動コンパクタ運転		日			1
諸雑費		%			#01
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 320mm

積算単価算出表

施工 第0-0068号内訳表

頁0-0159/0373
 m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータロータ	幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロッドロー	質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドロー [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤロー	質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=350mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	材料	=3		粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=320		全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=3		3層施工				

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 250mm

積算単価算出表

施工 第0-0069号内訳表

頁0-0160/0373
 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータロータ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロッドロー 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドロー [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=200mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=250	全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=2	2層施工				

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 190mm

積算単価算出表

施工 第0-0070号内訳表

頁0-0161/0373
 m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータロータプレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]				モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロッドロー 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]				ロッドロー [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含				タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K								
R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R2	特殊作業員				特殊作業員			
R3	普通作業員				普通作業員			
R4	土木一般世話役				土木一般世話役			
R								
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=200mm				粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 ハトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	材料	=3		粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=190		全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=2		2層施工				

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 140mm

積算単価算出表

施工 第0-0071号内訳表

頁0-0162/0373
 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
K1	モータロータ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロッドロー 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドロー [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=140	全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1	1層施工				

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0072号内訳表

頁0-0163/0373
 m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータロータ	幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロータ	質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロータ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤロー	質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	材料	=3		粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=100		全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1		1層施工				

施工単価表

施工 第0-0073号内訳表

頁0-0164/0373

アルミ板建込引抜き工 (両側分)

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
トラックレン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=2	掘削深 2.0m以下		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0074号内訳表

頁0-0165/0373

アルミ矢板建込引抜き工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転		時間			
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜き		
B 掘削深		=3	掘削深 2.5m以下		
C バックホウ規格		=3	バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)		

施工単価表

施工 第0-0075号内訳表

頁0-0166/0373

アルミ板建込引抜き工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
トラックレン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜き		
B 掘削深		=4	掘削深 3.0m以下		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)		

施工単価表

施工 第0-0076号内訳表

頁0-0167/0373

アルミ矢板建込引抜き工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転		時間			
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜き		
B 掘削深		=5	掘削深 3.5m以下		
C バックホウ規格		=3	バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)		

施工単価表

施工 第0-0077号内訳表

頁0-0168/0373

土留支保工（設置＋撤去）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	[規格2] 単位	[規格2] 単価	[摘要] 金額	100 m 当り 備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 施工区分		=3			
B 切梁種別		=1			
C 設置段数		=1			

設置＋撤去
切梁種別 水圧式ハイドロカット
設置段数 1段 2.0m以下

舗装版切断(アスファルト舗装版)

[規格 1] As舗装版厚->15cmを超え30cm以下

[規格 2]

積算単価算出表

[摘要]

施工 第0-0079号内訳表

頁0-0170/0373

1 m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリートカッタ 切削深30cm級 [ハキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式(超低騒音型)・湿式] 30cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(ブレード) 径30インチ			舗道版切断 カッターブレード 径30インチ			
Z2		コンクリートカッタ(ブレード) 径22インチ			舗道版切断 カッターブレード 径22インチ			
Z3		コンクリートカッタ(ブレード) 径14インチ			舗装版切断 カッターブレード 径14インチ			
Z4		カソリン レギュラー スタント			レギュラーカソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=2		15cmを超え30cm以下				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
K1	コンクリート圧砕機(単体) [大割機] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN			バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置(大割機)] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN			
K2	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.45m3級			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別 =1		アスファルト舗装版				
B	障害等の有無 =1		無し				
C	騒音振動対策 =2		必要				
D	舗装版厚 =3		15cmを超え35cm以下				
F	積込作業の有無 =1		有り				

施工単価表

施工 第0-0083号内訳表

頁0-0173/0373

仮復旧工 [密粒度[再](13)]

[規格1]厚 8cm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
再生密粒度アスコン TOP13		t			
振動ローリ運転		日			1
振動コンパクタ運転		日			1
諸雑費		%			#01
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 320mm

積算単価算出表

施工 第0-0086号内訳表

頁0-0174/0373
 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータロータ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロッドロー 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドロー [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=350mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=320	全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=3	3層施工				

施工単価表

施工 第0-0087号内訳表

頁0-0175/0373

埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0～30mm・0～40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
クワ運転（賃料）		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類		=5	再生切込砕石		
B バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0089号内訳表

頁0-0176/0373

埋戻工（埋戻し材→スクリーングス）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
スクリーングス (0~2.5mm)		m3			
バックホウ運転		時間			
タンク運転（賃料）		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類		=6	スクリーングス		
B バックホウ規格		=3	バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0090号内訳表

頁0-0177/0373

アルミ矢板建込引抜き工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転		時間			
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜き		
B 掘削深		=3	掘削深 2.5m以下		
C バックホウ規格		=3	バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)		

施工単価表

施工 第0-0092号内訳表

頁0-0178/0373

土留支保工（設置＋撤去）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	[摘要] 単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 施工区分 B 切梁種別 C 設置段数		=3 =1 =2	設置＋撤去 切梁種別 水圧式ハイクレートの 設置段数 2段 3.5m以下		

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	ブロックの種類	=1	間知ブロック・緑化ブロック					
B	生コンクリート規格	=1	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]					

胴込・裏込材(砕石)

[規格1] 施工箇所->間知・平・連節・緑化ブロック

[規格2] 不要(施工手間のみ)

積算単価算出表

施工 第0-0099号内訳表

頁0-0185/0373

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
	積算単価 =							
A	ブロックの種類	=1		間知・平・連節・緑化ブロック				
B	胴込・裏込材規格	=4		不要(施工手間のみ)				

天端コンクリート
 [規格1] 18-12-20BB[水セメント比 60%以下]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0100号内訳表

頁0-0186/0373
 m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	生コンクリート規格	=1	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]					
B	養生工の種類	=1	一般養生					

現場打基礎コンクリート
 [規格1] 18-8-40BB[水セメント比 60%以下]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0101号内訳表

頁0-0187/0373
 m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K2	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	生コンクリート規格	=1	18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
B	基礎碎石の有無	=1	有り				
C	養生工の種類	=1	一般養生・特殊養生(練炭)				

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		小型バックホウ 山積0.22m3(平積0.16) [クローラ型超小旋回型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型超小旋回 山積0.22m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R4		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	再利用区分	=2	再利用					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	小型バックホウ 山積0.09m3(平積0.07)0.9t吊 [クローラ型クレーン付後方超小旋回型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クローラ後方超小旋回クレーン0.9t山積0.09m3			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	作業区分	=2	再利用設置				
B	ブロック種別	=1	歩車道境界ブロック				
C	ブロック規格	=3	標準部 C型				
D	基礎砕石規格	=1	無し				
E	均し基礎コンクリート規格	=1	無し				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 24-12-20BB 水セメント比55%以下			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物					
B	打設工法	=3	バックホウ(クレーン機能付)打設					
C	コンクリート規格	=18	24-12-20BB[水セメント比 55%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0-0105号内訳表

1
頁0-0191/0373
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=2	小型構造物					

基礎砕石

[規格1] 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下

[規格2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0106号内訳表

頁0-0192/0373

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	砕石の厚さ	=2	7.5cmを超え12.5cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クラッシャー RC-30, RC-40					

施工単価表

施工 第0-0110号内訳表

頁0-0196/0373

マッシュフェンス撤去

[規格1]	[規格2]	[摘要]				100 m 当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考	
土木一般世話役		人			1	
普通作業員		人			1	
バックホ運転 (賃料)		日			1	
諸雑費		%			#01 #01	
合 計	100	m				
単 位 当 り	1	m				

施工単価表

施工 第0-0112号内訳表

頁0-0197/0373

マシユフェンス設置

[規格1]	[規格2]	[摘要]				100 m 当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考	
土木一般世話役		人			1	
普通作業員		人			1	
バックホ運転 (賃料)		日			1	
諸雑費		%			#01 #01	
合 計	100	m				
単 位 当 り	1	m				

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 瀝青安定処理材(再生材) TOP25

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0114号内訳表

頁0-0199/0373
 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理(40) t=80mm			瀝青安定処理(再生材)			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=2	瀝青安定処理材(再生材) TOP25				
B	平均幅員	=2	1.4m未満(1層当り平均厚50mm超え100mm以下)				
C	1層当り平均仕上り厚(mm)	=100	1層当り平均仕上り厚(mm)				

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格 1] 瀝青安定処理材(再生材) TOP25

[規格 2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0114号内訳表

頁0-0200/0373

[摘要]

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
F	夜間割増の有無	=1	無し					
G	瀝青材料種類	=2	プライコート PK-3					

基層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0-0115号内訳表

頁0-0201/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生粗粒度アスコン TOP20			
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚	=50	1層当り平均仕上り厚				
C	材料	=2	粗粒度アスコン[再](20)				

基層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0-0115号内訳表

頁0-0202/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
	D 夜間割増の有無 =1	無し					
	E 瀝青材料種類 =1	タックコート PK-4					

中間層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再生改質As I型](20)

積算単価算出表

施工 第0-0116号内訳表

頁0-0203/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			改質As 再生粗粒II型 TOP20			
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=4	粗粒度アスコン[再生改質As II型](20)				

中間層(車道・路肩部)
[規格1] t=50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再生改質As I型](20)

積算単価算出表

施工 第0-0116号内訳表

頁0-0204/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
	D 夜間割増の有無 =1	無し					
	E 瀝青材料種類 =1	タックコート PK-4					

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0117号内訳表

頁0-0205/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0117号内訳表

頁0-0206/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単価	補正 構成比	備考
D	夜間割増の有無	=1	無し						
E	瀝青材料種類	=1	タックコート	PK-4					

殻運搬(路面切削)
[規格1]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0119号内訳表

頁0-0208/0373
1
m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		タンブトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			タンブトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	DID区間の有無	=2	有り					
B	運搬距離	=24	14.5km以下					

路面切削

[規格1] 全面切削6cm以下(4000m2以下)

[規格2] 段差すりつけの撤去作業無し

積算単価算出表

施工 第0-0120号内訳表

頁0-0209/0373

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	路面切削機 切削幅2.0m [ホイール式・廃材積込装置付・排ガス(第3次)]			路面切削機 [ホイール式・廃材積込装置付・排ガス(第3次)] 2.0m×23cm			
K2	路面清掃車 ホッパ容量1.5m3 [ブラシ・四輪式]			路面清掃車 [ブラシ・四輪式] ホッパ容量1.5m3			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	施工区分・平均切削深さ	=1	全面切削6cm以下(4000m2以下)				
B	段差すりつけの撤去作業	=1	無し				

排水性舗装・表層(車道・路肩部)
 [規格1] t=50mm 導水パイプ無し

[規格2] アスファルト合材 ホーラスアスコン(13)

積算単価算出表

施工 第0-0121号内訳表

頁0-0210/0373
 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシュ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシュ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
K2	ロードローラー 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラー(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K3	タイヤローラー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	ホーラスアスコン TOP13 t=50mm			ホーラスアスコン(ホーリマー改質AS新規材) TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PKR コム入り			アスファルト乳剤 コム入り			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

排水性舗装・表層(車道・路肩部)
 [規格1] t = 50mm 導水パイプ無し

[規格2] アスファルト合材 ポーラスアスコン(13)

積算単価算出表

施工 第0-0121号内訳表

頁0-0211/0373
 m2 当り

標準単価		代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
A	平均施工幅員	=2	2.4m以上					
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)					
C	導水パイプの設置	=2	無し					
E	材料	=2	アスファルト合材 ポーラスアスコン(13)					
F	夜間割増の有無	=1	無し					
G	瀝青材料の規格	=1	タックコート PKR(ゴム入り)					

施工単価表

施工 第0-0128号内訳表

頁0-0217/0373

運搬

[規格1]処理対象->土砂

[規格2]

[摘要]

10

m3 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 路面：良好		日			
合計	10	m3			
単位当り	1	m3			
A ダンプトラック規格		=2			
B 積込機械・規格		=3			
C 土質区分		=1			
D 運搬距離(km)		=6.2			
E DID区間		=2			
F 路面状態		=1			

ダンプトラック4t積
バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3)
土砂
運搬距離(km)
DID有
路面：良好

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 瀝青安定処理材(再生材) TOP25

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0132号内訳表

頁0-0220/0373

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理(40) t=80mm			瀝青安定処理(再生材)			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=2		瀝青安定処理材(再生材) TOP25			
B	平均幅員	=2		1.4m未満(1層当り平均厚50mm超え100mm以下)			
C	1層当り平均仕上り厚(mm)	=100		1層当り平均仕上り厚(mm)			

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 瀝青安定処理材(再生材) TOP25

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0132号内訳表

頁0-0221/0373
 m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
F	夜間割増の有無	=2	有り				1	
G	瀝青材料種類	=2	プライマコート PK-3					

基層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0-0133号内訳表

1
頁0-0222/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生粗粒度アスコン TOP20			
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚	=50	1層当り平均仕上り厚				
C	材料	=2	粗粒度アスコン[再](20)				

基層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0-0133号内訳表

頁0-0223/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	標準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
	D	E						
	夜間割増の有無	=2	有り					
	瀝青材料種類	=1	タックコート PK-4					

中間層(車道・路肩部)
[規格1] t=50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再生改質As I型](20)

積算単価算出表

施工 第0-0134号内訳表

頁0-0224/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			改質As 再生粗粒II型 TOP20			
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=4	粗粒度アスコン[再生改質As II型](20)				

中間層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再生改質As I型](20)

積算単価算出表

施工 第0-0134号内訳表

頁0-0225/0373

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
D	夜間割増の有無 =2	有り					
E	瀝青材料種類 =1	タックコート PK-4					

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0135号内訳表

1
頁0-0226/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単価	補正	備考
	D	E						構成比	
	D	夜間割増の有無	=2	有り	タックコート PK-4				
	E	瀝青材料種類	=1						

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0136号内訳表

頁0-0228/0373

1 m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

殻運搬(路面切削)
[規格1]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0138号内訳表

頁0-0230/0373
m3 当り

1

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)					ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む				
K										
R1	運転手(一般)					運転手(一般)				
R										
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油					軽油				
Z										
						計				
積算単価 =										
A	DID区間の有無			=2	有り					
B	運搬距離			=24	14.5km以下					

路面切削

[規格 1] 全面切削6cm以下(4000m2以下)

[規格 2] 段差すりつけの撤去作業無し

積算単価算出表

施工 第0-0139号内訳表

頁0-0231/0373

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	路面切削機 切削幅2.0m [ホイール式・廃材積込装置付・排ガス(第3次)]			路面切削機 [ホイール式・廃材積込装置付・排ガス(第3次)] 2.0m×23cm			
K2	路面清掃車 ホッパ容量1.5m3 [ブラシ・四輪式]			路面清掃車 [ブラシ・四輪式] ホッパ容量1.5m3			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	施工区分・平均切削深さ	=1	全面切削6cm以下(4000m2以下)				
B	段差すりつけの撤去作業	=1	無し				

排水性舗装・表層(車道・路肩部)
 [規格1] t=50mm 導水パイプ無し

[規格2] アスファルト合材 ホーラスアスコン(13)

積算単価算出表

施工 第0-0140号内訳表

頁0-0232/0373
 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシュ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシュ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
K2	ロードローラー 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラー(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K3	タイヤローラー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	ホーラスアスコン TOP13 t=50mm			ホーラスアスコン(ホーリマー改質AS新規材) TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PKR コム入り			アスファルト乳剤 コム入り			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

排水性舗装・表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm 導水パイプ無し

[規格2] アスファルト合材 ポーラスアスコン(13)

積算単価算出表

施工 第0-0140号内訳表

頁0-0233/0373

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
A	平均施工幅員	=2	2.4m以上					
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)					
C	導水パイプの設置	=2	無し					
E	材料	=2	アスファルト合材 ポーラスアスコン(13)					
F	夜間割増の有無	=2	有り					
G	瀝青材料の規格	=1	タックコート PKR(ゴム入り)					

中間層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0-0142号内訳表

1
頁0-0235/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ロー(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ロー(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生粗粒度アスコン TOP20			
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=2	粗粒度アスコン[再](20)				

中間層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0-0142号内訳表

頁0-0236/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
	D	夜間割増の有無	=1	無し				
	E	瀝青材料種類	=1	タックコート PK-4				

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再生改質As II型](13)

積算単価算出表

施工 第0-0143号内訳表

頁0-0237/0373
1 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			改質As 再生密粒II型 TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=12	密粒度アスコン[再生改質As II型](13)				

表層(車道・路肩部)
[規格 1] t = 50mm

[規格 2] 密粒度アスコン[再生改質As II型](13)

積算単価算出表

施工 第0-0143号内訳表

頁0-0238/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
D E	夜間割増の有無 瀝青材料種類	=1 =1	無し タックコート	PK-4				

施工単価表

施工 第0-0144号内訳表

頁0-0239/0373

不陸整正工(再生切込砕石)

[規格1]施工幅:1.8m以上、補足材厚3cm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
振動ロー運転(賃料)		日			
クワ運転(賃料)		日			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A 施工幅 B 補足材の種類 C 補足材厚		=2 =3 =3	施工幅:1.8m以上 再生切込砕石 3cm		

フィルター層
[規格1] t=40mm以上60mm未満

[規格2] 洗砂

積算単価算出表

施工 第0-0146号内訳表

頁0-0240/0373
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.28m3(平積0.2) [クローラ型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クローラ後方超小旋回 山積0.28m3			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンバインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバインド型 3~4t			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		砂 再生砂			砂 洗砂			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	平均厚さ	=1		40mm以上60mm未満				
B	フィルター材種別	=1		洗砂				

上層路盤(歩道部)

[規格1] 全仕上り厚 t = 100 1層施工

[規格2] 再生クラッシャーラン RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0147号内訳表

頁0-0241/0373

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バックホウ 山積0.11m3(平積0.08) [クローラ型] 排出ガス対策型含			小型バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型 山積0.11m3級			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンパインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンパインド型 3~4t			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		再生粒度調整碎石 RM-30 全厚t=100mm			再生切込碎石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	全仕上り厚	=100	全仕上り厚					
B	施工区分	=1	1層施工					
C	材料	=3	再生クラッシャーラン RC-30, RC-40					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシュ 舗装幅1.4~3.0m [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)]			アスファルトフィニッシュ [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 1.4~3.0m			
K2	振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗・コンパインド式・排ガス(1次)]			振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンパインド式・排出ガス対策型(第1次)] 3~4t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	開粒度アスコン TOP13 t=40mm			開粒度アスコン(ストレートAS新規材) TOP13			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=2	1.4m以上2.4m未満				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=1	一般・4t以下乗入部->開粒度As(13)				
D	夜間割増の有無	=1	無し				

特殊ブロック舗装
[規格1] 作業区分→再利用設置

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0149号内訳表

頁0-0243/0373
m2 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		ブロック工			ブロック工			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=3		再利用設置				

基層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0-0151号内訳表

頁0-0245/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
K2	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K3	ロードローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生粗粒度アスコン TOP20			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

基層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0-0151号内訳表

頁0-0246/0373

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
A	平均幅員		=4	3.0m超					
B	1層当り平均仕上り厚		=50	1層当り平均仕上り厚					
C	材料		=2	粗粒度アスコン[再](20)					
D	夜間割増の有無		=1	無し					
E	瀝青材料種類		=2	プライムコート PK-3					

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0152号内訳表

頁0-0247/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
K2	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K3	ロータローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロータローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

積算単価算出表

施工 第0-0152号内訳表

頁0-0248/0373
m2 当り

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

[摘要]

1

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
A	平均幅員		=4		3.0m超				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)		=50		1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料		=8		密粒度アスコン[再](13)				
D	夜間割増の有無		=1		無し				
E	瀝青材料種類		=1		タックコート PK-4				

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0154号内訳表

頁0-0250/0373

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
K2	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K3	ロータローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロータローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0154号内訳表

頁0-0251/0373
m2 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	A	平均幅員	=4	3.0m超				
	B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
	C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				
	D	夜間割増の有無	=1	無し				
	E	瀝青材料種類	=2	プライムコート PK-3				

施工単価表

施工 第0-0157号内訳表

頁0-0254/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=1	実線15cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

施工単価表

施工 第0-0159号内訳表

頁0-0256/0373

区画線設置 [溶融式] 機械・労務

[規格1] 名称・規格	[規格2]	[摘要]	1	m	当り
名称・規格	数	単位	単価	金額	備考
区画線設置工 溶融式(手動) [昼間] 破線15cm 豪雪無 制約無 供用区間		m			
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=5	破線 15cm		
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		

施工単価表

施工 第0-0160号内訳表

頁0-0257/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考	1000 m 当り
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg				1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg				1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg				1
軽油		L				1
諸雑費		%			#01	
合計		m				
単位当り	1	m				
A 規格・仕様区分		=5	破線15cm			
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装			
C 未供用区間の補正		=1	供用区間			
D 塗布厚		=1	t=1.5mm			
E 塗料区分		=1	白			
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用			

施工単価表

施工 第0-0163号内訳表

頁0-0260/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=3	実線30cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

1000 m 当り

施工単価表

施工 第0-0165号内訳表

頁0-0262/0373

区画線設置 [溶融式] 機械・労務

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置工 溶融式(手動) [昼間] 矢印・記号・文字15cm換算 豪雪無 制約無 供用区間		m			
単 位 当 り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=13	矢印・記号・文字	15cm換算	
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		

施工単価表

施工 第0-0166号内訳表

頁0-0263/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=13	矢印・記号・文字		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

1000 m 当り

施工単価表

施工 第0-0169号内訳表

頁0-0266/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考	1000 m 当り
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg				1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg				1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg				1
軽油		L				1
諸雑費		%			#01	
合計		m				
単位当り	1	m				
A 規格・仕様区分		=1	実線15cm			
B 排水性舗装の補正		=2	排水性舗装			
C 未供用区間の補正		=1	供用区間			
D 塗布厚		=1	t=1.5mm			
E 塗料区分		=1	白			
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用			

施工単価表

施工 第0-0172号内訳表

頁0-0269/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=5	破線15cm		
B 排水性舗装の補正		=2	排水性舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

1000 m 当り

施工単価表

施工 第0-0175号内訳表

頁0-0272/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=3	実線30cm		
B 排水性舗装の補正		=2	排水性舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

1000 m 当り

施工単価表

施工 第0-0178号内訳表

頁0-0275/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=4	実線45cm		
B 排水性舗装の補正		=2	排水性舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

1000 m 当り

施工単価表

施工 第0-0179号内訳表

頁0-0276/0373

区画線設置 [溶融式]

[規格1] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm

[規格2]

[摘要]

1 m 当り

名称・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置 [溶融式] 機械・労務			m			施工 第0-0180号内訳表
区画線設置 [溶融式] 材料			m			施工 第0-0181号内訳表
単 位 当 り	1		m			
A 夜間作業の有無			=1			
B 規格・仕様区分			=13			
C 時間的制約の有無			=1			
D 排水性舗装の補正			=2			
E 未供用区間の補正			=1			
F 塗布厚			=1			
G 塗料区分			=1			
H プライマー規格			=1			
I 1日未満で完了する作業			=1			

昼間作業
 矢印・記号・文字 15cm換算
 時間的制約なし
 排水性舗装
 供用区間
 t=1.5mm
 白
 アスファルト舗装用
 適用しない

施工単価表

施工 第0-0181号内訳表

頁0-0278/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考	1000 m 当り
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg				1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg				1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg				1
軽油		L				1
諸雑費		%			#01	
合計		m				
単位当り	1	m				
A 規格・仕様区分		=13	矢印・記号・文字			
B 排水性舗装の補正		=2	排水性舗装			
C 未供用区間の補正		=1	供用区間			
D 塗布厚		=1	t=1.5mm			
E 塗料区分		=1	白			
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用			

施工単価表

施工 第0-0183号内訳表

頁0-0280/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 黄 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0 鉛・クロムフリー		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=13	矢印・記号・文字		
B 排水性舗装の補正		=2	排水性舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=2	黄		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

施工単価表

施工 第0-0186号内訳表

頁0-0283/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考	1000 m 当り
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg				1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg				1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg				1
軽油		L				1
諸雑費		%			#01	
合計		m				
単位当り	1	m				
A 規格・仕様区分		=1	実線15cm			
B 排水性舗装の補正		=2	排水性舗装			
C 未供用区間の補正		=1	供用区間			
D 塗布厚		=1	t=1.5mm			
E 塗料区分		=1	白			
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用			

施工単価表

施工 第0-0189号内訳表

頁0-0286/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=5	破線15cm		
B 排水性舗装の補正		=2	排水性舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

1000 m 当り

施工単価表

施工 第0-0192号内訳表

頁0-0289/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=4	実線45cm		
B 排水性舗装の補正		=2	排水性舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

1000 m 当り

施工単価表

施工 第0-0193号内訳表

頁0-0290/0373

区画線設置 [溶融式]

[規格1] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm

[規格2]

[摘要]

1 m 当り

名称・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置 [溶融式] 機械・労務			m			施工 第0-0194号内訳表
区画線設置 [溶融式] 材料			m			施工 第0-0195号内訳表
単 位 当 り	1		m			
A 夜間作業の有無			=2			
B 規格・仕様区分			=13			
C 時間的制約の有無			=1			
D 排水性舗装の補正			=2			
E 未供用区間の補正			=1			
F 塗布厚			=1			
G 塗料区分			=1			
H プライマー規格			=1			
I 1日未満で完了する作業			=1			

夜間作業
矢印・記号・文字 15cm換算
時間的制約なし
排水性舗装
供用区間
t=1.5mm
白
アスファルト舗装用
適用しない

施工単価表

施工 第0-0195号内訳表

頁0-0292/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=13	矢印・記号・文字		
B 排水性舗装の補正		=2	排水性舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

施工単価表

施工 第0-0200号内訳表

頁0-0297/0373

建設機械運搬 [車載]

[規格1]路面切削機[廃材積込装置付切削幅2.0m]

[規格2]

[摘要]

1

式 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
建設機械運搬費 (往路)		台			
建設機械運搬費 (復路)		台			
<< 1台当りの金額 >>		台			
<< 1式当りの金額 >>		式			
<< 1式当り (配分額) >>		式			
単 位 当 り	1	式			
A 機械種別		=1	路面切削機[廃材積込装置付切削幅2.0m] 排出ガス対策型(第3次基準) 運搬距離(km)		
B 排出ガス対策区分		=4			
C 運搬距離(km)		=10			
D 使用台数(台)		=1	使用台数(台) 経費配分率		
E 経費配分率		=1			

施工単価表

施工 第0-0206号内訳表

頁0-0302/0373

空気弁ボックス(円形3号) (H=940)

[規格1] 鉄蓋及び無収縮モルタル含む

[規格2]

[摘要]

1 組 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空気弁鉄蓋(円形3号) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
ボルト・ナットM16×150 3セット	1	個			
無収縮モルタル(25kg)	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 中部壁H=300	1	個			
円形3号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形3号BOX 底版H=40	1	個			
単 位 当 り	1	組			

施工単価表

施工 第0-0208号内訳表

頁0-0304/0373

メニカル継手 接合(呼び径 400mm)

[規格1]継手：K形 特殊押輪補正あり

[規格2]

[摘要]

1 口 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			#01 (接合) 2
特殊押輪使用による割増		%			#02 (接合)
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分		=1	接合		
B 継手の種類		=5	K形		
C 呼び径		=8	呼び径 400mm		
E 特殊押輪使用による補正の有無		=2	特殊押輪補正あり		
F ★★割増補正(%)		=	★★割増補正(%)		
G 現場状況		=1	良好(係数 1.0)		

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1		無筋・鉄筋構造物				
B	打設工法	=3		バックホウ(クレーン機能付)打設				
C	コンクリート規格	=10		18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類	=2		一般養生				

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 鉄筋・無筋構造物

積算単価算出表

施工 第0-0223号内訳表

頁0-0316/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=1	鉄筋・無筋構造物					

基礎砕石

[規格 1] 砕石厚->17.5cmを超え20.0cm以下

[規格 2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0224号内訳表

頁0-0317/0373

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	砕石の厚さ	=4	17.5cmを超え20.0cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クラッシャー RC-30, RC-40					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 24-12-20BB 水セメント比55%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1		無筋・鉄筋構造物				
B	打設工法	=4		人力打設				
C	コンクリート規格	=18		24-12-20BB[水セメント比 55%以下]				
E	養生工の種類	=2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無	=2		無し				

モルタル練
[規格1] 普通 混合比->1:3

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0239号内訳表

頁0-0332/0373
1
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入			普通ポルトランドセメント (袋物25kg入り)			
Z2		砂 細目(洗い)			砂 洗砂			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	セメント種別	=1	普通					
B	砂種類	=1	洗砂					
C	混合比	=3	1:3					

施工単価表

施工 第0-0241号内訳表

頁0-0334/0373

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転		時間			
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=2	掘削深 2.0m以下		
C バックホウ規格		=3	バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)		

施工単価表

施工 第0-0242号内訳表

頁0-0335/0373

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
トラックレン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=3	掘削深 2.5m以下		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0243号内訳表

頁0-0336/0373

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転		時間			
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=4	掘削深 3.0m以下		
C バックホウ規格		=3	バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)		

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
K										
R1		普通作業員					普通作業員			
R										
Z										
							計			
積算単価 =										

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 均しコンクリート

積算単価算出表

施工 第0-0247号内訳表

1
頁0-0340/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=4	均しコンクリート					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリートポンプ車 圧送能力90~110m3/h [トラック架装・ブーム式]			コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 90~110m3/h			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 24-12-20BB 水セメント比55%以下			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物					
B	打設工法	=1	コンクリートポンプ車打設					
C	コンクリート規格	=18	24-12-20BB[水セメント比 55%以下]					
D	設計日打設量	=1	10m3以上100m3未満					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
F	圧送管延長距離区分	=1	延長無し					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)

積算単価算出表

施工 第0-0249号内訳表

頁0-0342/0373
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z							
				計			
積算単価 =							
A	型枠の種類	=1	一般型枠				
B	構造物の種類	=3	鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)				

施工単価表

施工 第0-0251号内訳表

頁0-0344/0373

足場工設置・撤去

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
とび工		人			1
普通作業員		人			1
ラフテレンクレーン(排出ガス対策型含) 油圧伸縮ジブ型 25t吊 オペレータ付き		日			1
諸雑費		%			#01
合計	100	掛m2			
単位当り	1	掛m2			
A 工法 B 安全ネットの有無		=1 =1	手摺先行型枠組足場 安全ネットなし		

施工単価表

施工 第0-0252号内訳表

頁0-0345/0373

支保工設置・撤去

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
型わく工		人			1
とび工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
合計	100	空m3			
単位当り	1	空m3			
A 支保工法・支保耐力 B 施工規模		=1 =1	ハイポット支保 40kN/m2以下 総設置数量->40空m3超		

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=10	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					

施工単価表

施工 第0-0259号内訳表

頁0-0352/0373

中木撤去

[規格1]	[規格2]	[摘要]			
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
バック杓運転		時間			
合計	10	本			
単位当り	1	本			

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		トラック トラック2t積 2.0t吊 [クレーン装置付]			トラック [クレーン装置付] 2t級 2.0t吊			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	トラック機種	=1		クレーン装置付2t積2t吊				
B	片道運搬距離(km)	=3		9.0km以下				
C	1回当たり平均積載質量(t)	=2		0.1t超0.2t以下				

床掘り
[規格1] 土砂 標準

[規格2] 土留->無し

積算単価算出表

施工 第0-0263号内訳表

頁0-0355/0373
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=1	標準					
C	土留方式の種類	=1	無し					
D	障害の有無	=1	無し					

埋戻し
[規格1] 最小埋戻幅4m以上

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0264号内訳表

頁0-0356/0373
1
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		ブルドーザ 15t級 [普通・排出ガス対策型(第1次基準値)]			ブルドーザ [普通・排出ガス対策型(第1次基準値)] 15t級			
K2		バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.8/0.6m3			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	施工方法	=1	最小埋戻幅4m以上					

埋戻し
[規格1] 最大埋戻幅1m以上4m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0265号内訳表

頁0-0357/0373

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.8/0.6m3			
K2	振動ローラ(舗装用) 質量0.8~1.1t [ハンドガイト式]			振動ローラ ハンドガイト式 0.8~1.1t			
K3	タンパ及びランマ 質量60~80kg			タンパ(ランマ) 60~80kg			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レキユラー スタント			レキユラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A 施工方法	=3		最大埋戻幅1m以上4m未満				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		ブルドーザ 7t級 [湿地] 排出ガス対策型含			ブルドーザ (排出ガス対策型含) 湿地7t			
K2		振動ローラ(土工用) 質量11~12t [フラット・シングルドラム型] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) フラット・シングルドラム型 11~12t			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
	積算単価 =							
A	施工幅員	=3	4.0m以上					
B	施工数量	=1	10,000m3未満					
C	障害の有無	=1	無し					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	タンパ及びランマ 質量60~80kg			タンパ(ランマ) 60~80kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R							
Z1	カソリン レギュラー スタンド			レギュラーカソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		小型バックホウ 山積0.09m ³ (平積0.07)0.9t吊 [クローラ型クレーン付後方超小旋回型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クローラ後方超小旋回クレーン0.9t山積0.09m ³			
K2		バックホウ 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m ³ 級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		型わく工			型わく工			
R								
Z1		生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z3		再生クラッシュヤーン RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=2		再利用設置				
B	ブロック種別	=1		歩車道境界ブロック				
C	ブロック規格	=2		標準部 B型				

施工単価表

施工 第0-0274号内訳表

頁0-0367/0373

[規格1]野 芝(べた張り)	[規格2]	[摘要]	100	m2	当り
名称・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			12
造園工		人			12
普通作業員		人			12
野芝 (半土付)		m2			2
真砂土 (植栽用)		m3			2
諸雑費		%			#01
植栽割増費		%			#02
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A 芝の種類 B 張芝の形状 D 芝串使用の有無		=1 =1 =2	野 芝 べた張り 芝串使用->あ り		

施工単価表

施工 第0-0276号内訳表

頁0-0369/0373

路盤工(粒調碎石)

[規格1]上層路盤 施工幅:1.8m以上 仕上り厚10cm [規格2]

[摘要]

100

m2 当り

名称・規格	数	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)		m3			
振動ロー運転(賃料)		日			
クワ運転(賃料)		日			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A 路盤工種別		=1	上層路盤		
B 施工幅		=2	施工幅:1.8m以上		
C 路盤材の種類		=2	粒調碎石		
D 仕上り厚		=6	10cm		

施工単価表

施工 第0-0280号内訳表

頁0-0373/0373

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=1	実線15cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=2	未供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

1000 m 当り